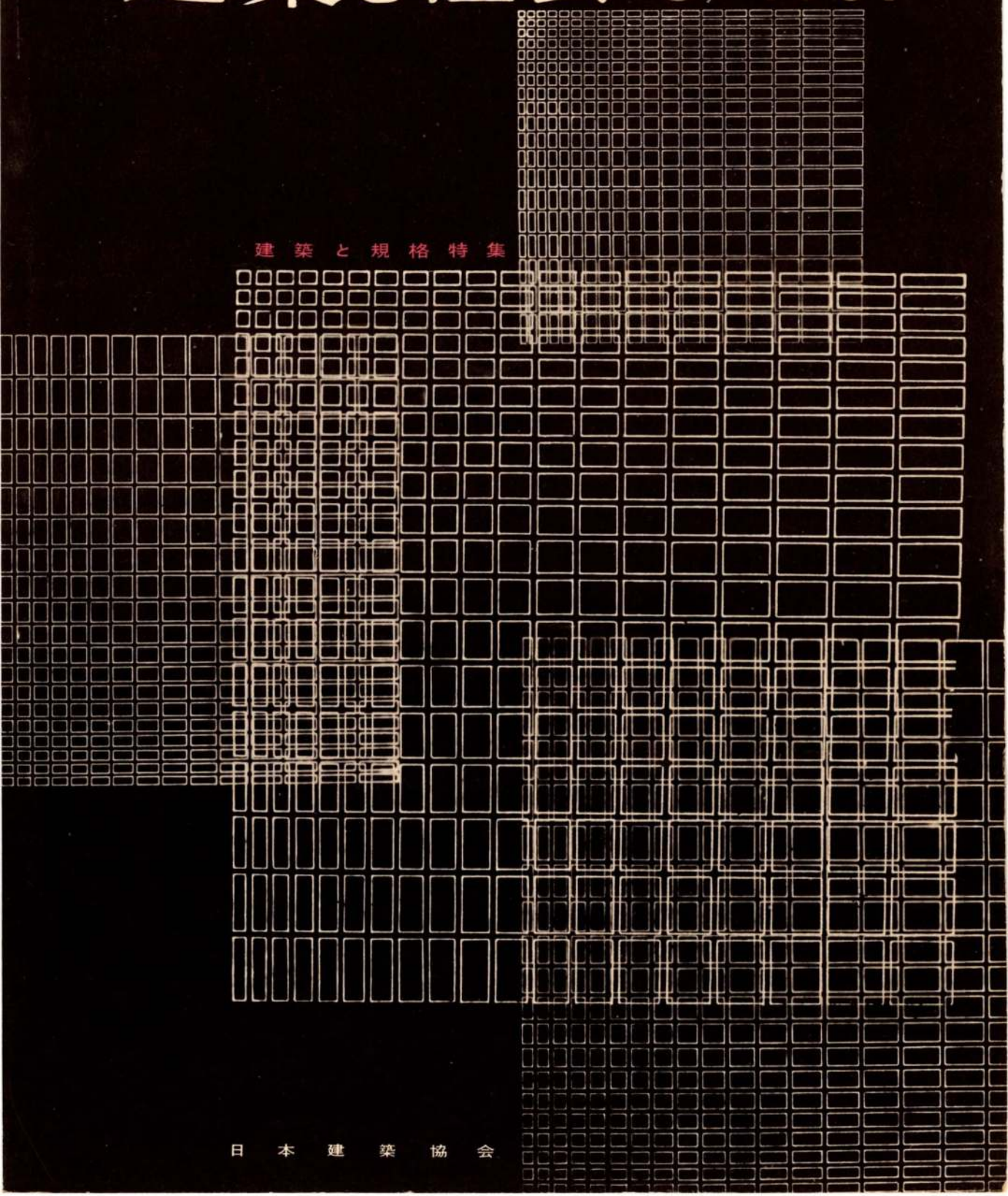
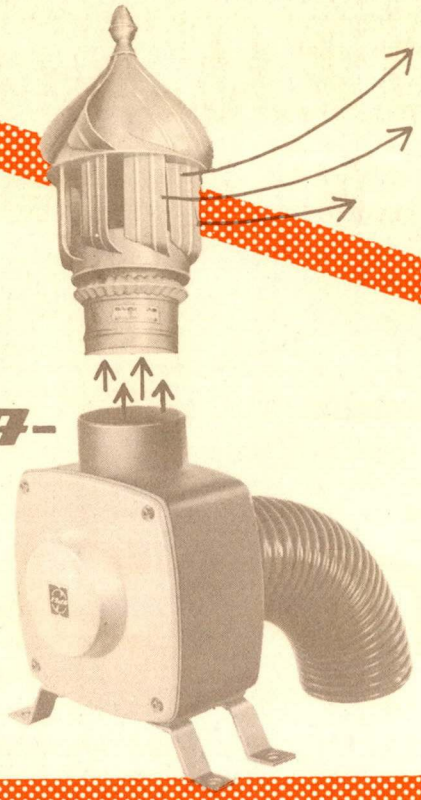
昭和24年3月19日第3種郵便物認可　昭和36年8月20日印刷　昭和36年8月25日発行　第42輯第8号（毎月1回25日発行）

建築と社会 8/1961

建築と規格特集



日本建築協会



いやなニオイが
サッと消える！

コーナーベンター

ナショナル

松下電器

トイレや暗室にぜひお取付け下さい。悪臭が消え通気もよくなるので、いつも涼しくさわやかです

トイレ・暗室専用換気扇
（コーナーベンター）
12センチC2正価 六、八〇〇円

換D1718イ昭

鉄路を護る保線手と建物を護る防水工事

何れも目立たぬ蔭の存在ですが絶えず何千万の人命を、又総ゆる建物の寿命を黙々と護つて、大切な役割を果して居ります。

TRADE MARK



DOG

メンブレン式防水

の補強材料は35年の経歴と信用を誇る

ドッグ印で!!

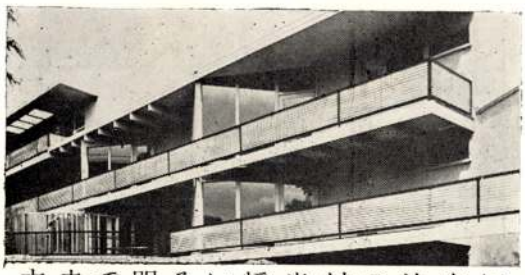
製品種目

ドッグ印 アスファルト ルーフイング
アスファルト フエルト
石綿ルーフイング
石綿フエルト
砂付ルーフイング
メルタイト ルーフイング
キンマレアタイト
ヘッシヤン ファブリック
コットン ファブリック
白麻ファブリック
ゲオンタイト

株式会社
工英社

本社・工場 大阪市西成区橘通9丁目24番地
電話 ㊻ 代表 8861 ㊺ 7381

日東紡の新建材



丈夫で明るい採光材の決定板



美しく丈夫なプラスチック床材

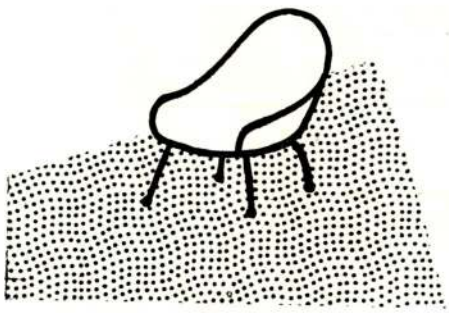
日東紡
FILON
ファイロン　ニットータイル

日東紡績株式会社

東京本社　東京都中央区八重洲6－1　TEL（281）0211　大阪支店　大阪市東区高麗橋5－1　TEL　（202）1301

名古屋営業所　名古屋市中区御幸本町通り9－8　TEL(230)945・4414　福岡出張所　福岡市橋口町15－1　TEL福岡（74）8992

皆様の設計と施工に東洋の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンジシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

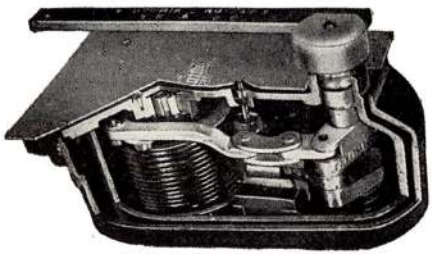
東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話 伊丹 代表3531・大阪㊽4490
東京支店　東京都中央区銀座4　三和ビル
電話（561）1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2　三和ビル
電話（23）0375～0379

S.K

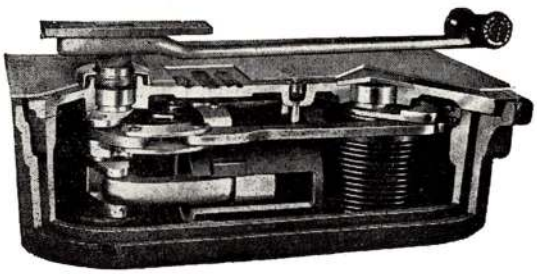
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印

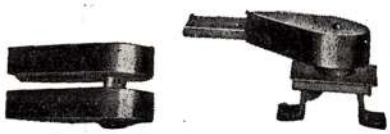


(片開持出吊り型)

フロアーヒンヂ　ピボットヒンヂ



(中心吊自由開型)



(ピボット・ヒンヂ持出し吊り型)

(カタログ御入用の節は御申込下さい)

製造元

敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地　電話 布施(72)7713(代)7714番
東京都千代田区神田三崎町2／26　電話 東京(301)0403(332)5310番

505型 七年間研究の成果

MPボイラ

重油炎許可なしで
伝熱面積50m²以下で
蒸発量3.5Ton 以上
ボイラ効率85%以上



株式会社 平川鐵工所

本社・工場　大阪市大淀区大仁西2－1　電(45)1975(代)
東京営業所　東京都中央区八重洲6－7　電(281)7787(代)3100
九州営業所　小倉市富野525　電(5)4862

● あなたの忠実な…

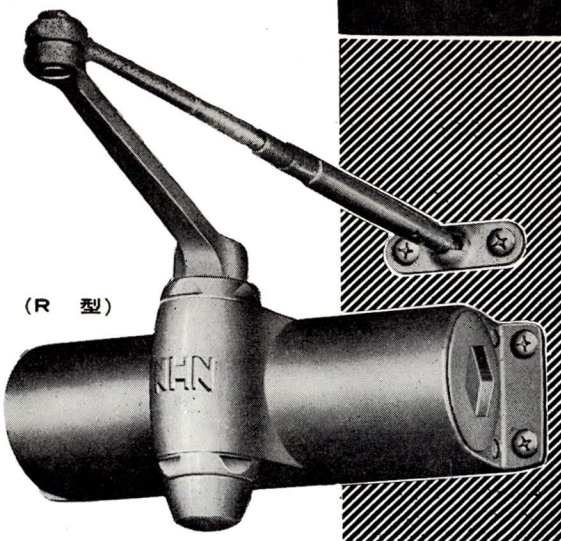
ドアーボーイ！

NHN

＊紫綬褒章に輝く＊

日・米・英・独，各国特許

ニッカナ ドアーチエック



（R 型）

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無

錆びない

岩住の

サッシ・ドアー

弊社製品の総てに

尼崎新工場稼動

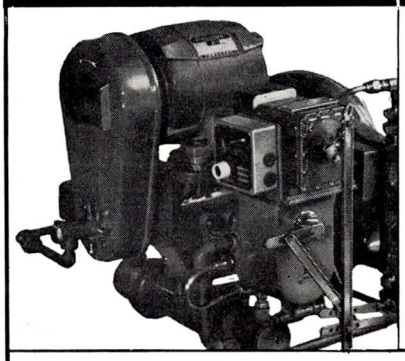
オートメーションに依る ボンデライトを
錆止メ塗装は 焼付塗装を
実施致しまして 完全防錆を
期しています 是非御採用の程願上ます

株式会社 岩住鐵工所

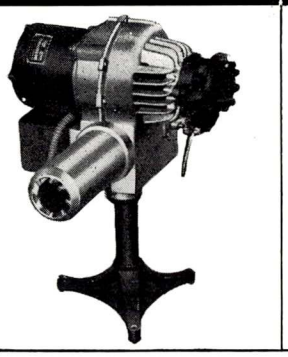
本社及本社工場 大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地 電話（47）代表 5123・3000
尼崎工場 尼崎市守部字下河原一五番地 電話 ㊵ 6751～3（代表）

最高水準を行く

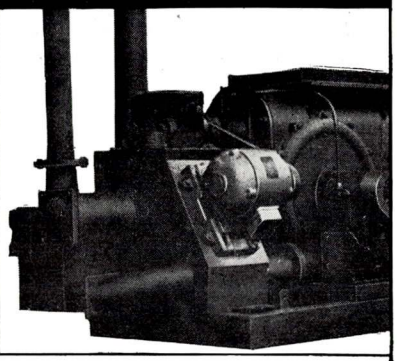
サンレー 重油は
全自動 ロータリー
重油バーナー



サンヒート 軽油は
全自動 ガンタイプ
軽油バーナー



サンレー 石炭は
全自動 ニューマチック
スプレッダー **ストーカー**



NIKKYO
日共冷熱機材株式会社

本社 大阪市大淀区天神橋筋六丁目五（天六阪急ビル）
電話 大阪 ㊾ 代表 1476（直通）・7071（交換）

東京出張所 東京都千代田区神田神保町1丁目
電話 東京 (291) 2718

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル
（2粍厚）

新製品



K－タイル
（1.5粍厚）

アスタイル

藤森建材株式会社

東京本社 東京都中央区日本橋通1—2(大倉ビル) TEL (271) 6432～5
大阪営業所 大阪市東区博労町2—65(藤森ビル) TEL (27)3191～5・7385
福岡営業所 福岡市薬院大通2—73 TEL (74) 1945 (75) 3473
札幌営業所 札幌市南二条西10丁目 TEL (4) 2511～3

最新の設備　優秀の製品

三和シヤッター

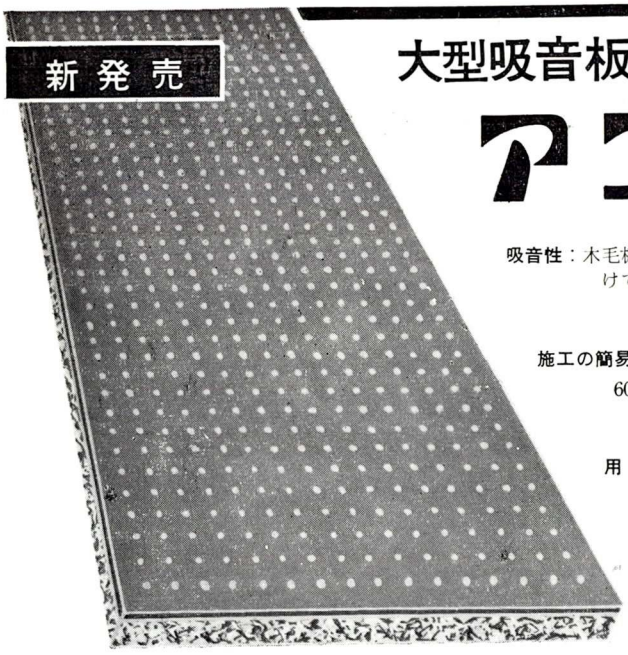


建設大臣登録
(ト)4082

甲種・乙種防火シヤッター
電動式・手動式・スプリング式
其他のシヤッター全般

三和シヤッター株式会社

本店	尼崎市久々知字コエ23	電 代表(40)5341
札幌支店	札幌市琴似町琴似522	電(3)7438 (5)1519・6873
旭川営業所	旭川市常盤通三丁目	電 5097
帯広出張所	帯広市西2条南7丁目6	電 3856 3857
東北支店	仙台市土樋112	電(3)3296・9618
秋田営業所	秋田市橋山虎ノ口外張新町九	電 2783
新潟営業所	新潟市春日町西2丁目	電 (3)1443
盛岡営業所	盛岡市茶園城ヶ町1丁目14	電 (2)7407
東京支店	東京都新宿区新宿1丁目60	電(341)2478・3696・9678(351)9226
神田営業所	東京都千代田区神田松住町12 山京ビル	電(251)6278 (291)3841～4
横浜営業所	横浜市中区弁天通3丁目45	電 (2)7278
高崎営業所	高崎市下和田町4299	電 2166
宇都宮営業所	宇都宮市旭町1丁目3428	電 7722
甲府営業所	甲府市紅梅町21	電 2442
名古屋支店	名古屋市中村区広井町2丁目46八洲ビル	電(54)2846(55)9786
静岡営業所	静岡市音羽町188	電 (3)2846
長野営業所	長野市妻科町739	電 (2)5292
松本出張所	松本市袋町149	電 2497・4744
四日市出張所	四日市市四ッ谷新町2823	電 2443
大阪支店	尼崎市久々知字コエ23	電 代表(40)5341
大阪南営業所	大阪市阿倍野区三明町1丁目22ノ3	電 (77)8217
大阪北営業所	大阪市大淀区天神橋筋8丁目23	電 (35)9800
神戸営業所	神戸市葺合区生田町3丁目23	電 (2)0189
京都営業所	京都市中京区新町通御池上ル中之町42	電 (22)0900
金沢営業所	金沢市栄町65	電 (3)3130
彦根営業所	彦根市四番町88	電 2053
高松営業所	高松市塩上町809	電 (3)4290
高知営業所	高知市旭町3丁目50	電 (2)1576
徳島営業所	徳島市船場町2丁目12	電 (2)0659
広島営業所	広島市千田町3丁目8556	電 (4)3756
九州支店	福岡市渡辺通5丁目92	電(75)5181(75)6901
熊本営業所	熊本市南千反畑町1622	電 (2)0893
佐世保営業所	佐世保市島瀬町1400	電 5513
鹿児島営業所	鹿児島市平野町1199	電 (2)6762



新発売

大型吸音板

アコニオン

吸音性：木毛板と多孔面石綿板を積層し、接着部に空気層を設けて騒音の吸収を効果的にしており、さらに防火性、耐水性に富んだ吸音板です。

施工の簡易、仕上りの美感：
60×182cm・90×182cmの大型板で美しく仕上り、しかも工期が短縮されるので経済的です。

用　途：工場、映画館、格納庫の内壁、天井野地板兼用材として理想的です。

規　格　厚.　20㎜・30㎜
巾.　60㎝～100㎝
長.　182㎝～200㎝　（説明書送呈）

アコニオン吸音率（アコニオン20mm＋空気層30mm＋鋼体）

周波数(c/s)	200	400	600	1000	2000	4000	6000
吸音率(%)	52	76	86	67	76	62	57

旭化工板製造株式会社

大阪営業所　大阪市北区茶屋町38　TEL大阪(37)代表6555～7
東京出帳所　東京都中央局区日本橋人形町2の2（大林ビル）　TEL東京(671)9866
工　場　尼　崎・鈴　鹿

社団法人

日本サッシ協会

関西支部賛助会員

スチールシャッター
小俣製作所大阪支店
三和シャッター株式会社
鈴木シャッター商会
日本シャッター製作所
本田工業株式会社

錠前
昭和金属工業株式会社
谷山製作所

サッシ附属金物
近松金物株式会社

ドアー附属その他建築金物
石倉商店
協同金属工業株式会社
渋谷幸雄商店
日本ドアーチェック製造(株)
平安伸銅工業株式会社

サッシバー
加納鉄鋼株式会社大阪支店
東都実業株式会社大阪出張所
東鋼商事株式会社大阪営業所
西村金属株式会社大阪出張所

サッシ・ドアー製造用諸機械
関西鉄工所

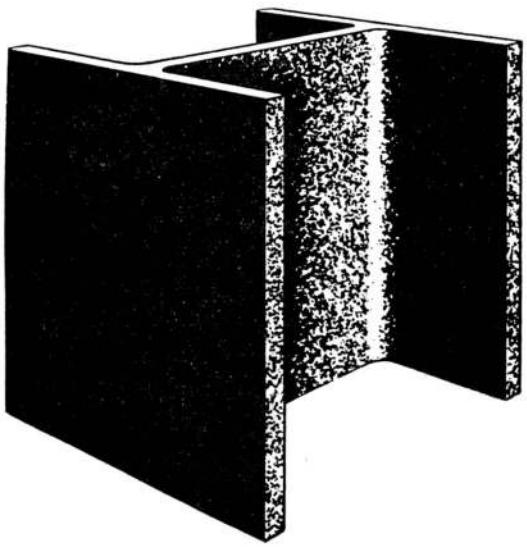
パーカー
日本パーカライジング株式会社大阪出張所

（五十音順）

● 明日の日本を礎く……

H形鋼

■構造用H形鋼
■基礎杭用H形鋼



用途

- 基礎杭
- 仮設
- 地下鉄
- 建築
  - ビル
  - 工場
  - 発電所
  - 学校
  - その他
- 隧道
- 橋梁
- 鉄塔、鉄柱
- 港湾
- 桟橋
- 船舶
- 機械



八幡製鐵株式會社

アスファルト防水は年限保證する
日本アスファルト防水工業会の仕様による
経験と技術の工業会員へ

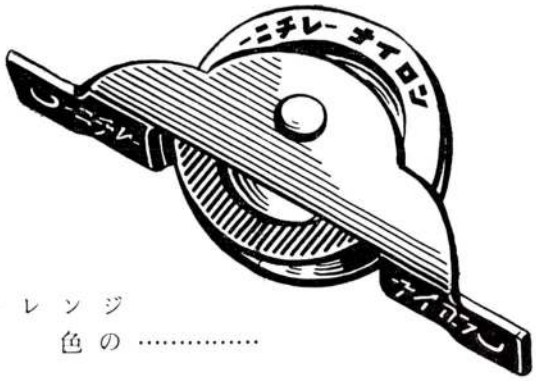
日本アスファルト工業会員名簿　（イロハ順）

地区別	会社名	住所	電話
北海道地区	日本スレートKK	札幌市北三条東4－1	②3458・4426
東北地区	大和工業KK 仙台出張所	仙台市二日町1－2	③7790・②0335
関東地区	井上瀝青工業KK	東京都中央区銀座東2－13	(541)1974-5
	伊藤建材KK	東京都台東区浅草田島町77	(871)5311(841)5729
	北条瀝青工業KK	東京都中央区湊町3－7	(551)2676・4382
	YK金岡興業	東京都新宿区柏木5－1172	(361)5947・(371)1337
	高山工業KK	東京都千代田区神田小川町1－8	(251)0161-3・1301-2
	瀝青建材KK	東京都中央区銀座東3－11	(541)6945・7834
	桑原建材KK	東京都文京区新諏訪町6	(921)0448・0647
	大和工業KK	東京都荒川区南千住6－42	(891)1144-6・7155-7
	マサル瀝青工業KK	東京都台東区新坂本町61	(841)8501・(871)2851
	藤井工業KK	東京都文京区林町94	(941)0271・2582
	KK三柏商会	東京都千代田区神田同朋町3	(251)8867・7517
	KK金港商店	横浜市西区高島町1－1	㊹7846・8476-7
東海地区	中央建材工業KK	名古屋市中区南久屋町3－12	㉔0496・2066・8700
	日本建材興業KK	名古屋市西区南押切町5－12	㊺6860・2574・0415
近畿地区	日新工材KK	大阪市西区新町北通1－17	㊹3785-6・2721
	マルエス工業KK	大阪市福島区上福島南1－152	㊺2360・2030
	KK新光商店	大阪市南区塩町2－13	㉖7195-7・4467
	高山工業KK 大阪営業所	大阪市北区老松町2－19	㉞5976-8
	清水興業KK	大阪市北区鶴野町34	㊲0251-3
中国地区	豊永建材KK	広島市南竹屋町103	④3567
	東中國防水工業YK	岡山市磨屋町22	③2211・6302
四国地区	大三工業KK	高松市内磨屋町7	②8697
	KK山本商会	松山市萱町2－95	②2717・8422
九州地区	日新興業KK	延岡市本小路74	4305
	大同工業KK	宮崎市橘通6－82	8155-6
	KK工材社	門司市大里東通10丁目	㊳1468-9
	安藤工事KK	福岡市大浜1丁目新町95	②6968・③5765
	KK北原建材商会	鹿児島市上之園町62	④0001-2

日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通1-18　日新工業KK大阪営業所（53）5281-3

ニチレ ナイロン 戸車

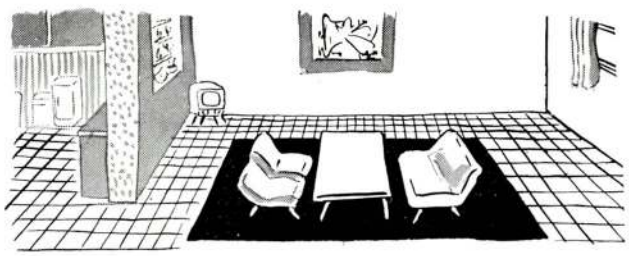


オレンジ
色の……

静かで
くさらず
永久に

規格寸法	種　類
25m/m（8　分）	鉄枠丸平
30m/m（1　寸）	イモノ枠丸平袖
36m/m（1寸2分）	ナイロン枠　丸平
43m/m（1寸4分）	三種類アリ

Nitiray Nylon



手軽に買える 豪華な品質！

- パイルはナイロン１００％ですから、摩耗に対して強く、永持ちして経済的です。
- 裏は特製スポンジですから、心地よいクッションがあります。
- 染色は鮮明で美しく、堅牢染ですから、日光や洗濯に対しても変・褪色しません。
- 軽くて取扱いが簡単です。ゴミは電気掃除機では勿論、ふつうのほうきでも簡単にとれます。
- 施工方法は簡単ですから、容易にお好みの寸法に仕上げられます。

日本レイヨンの NIPPON RAYON'S

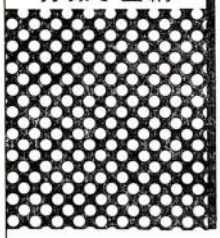
ニチレ® ナイロン ノーブル カーペット

総発売元

日本レイヨン株式会社　　伊藤萬株式会社

KYOWA

打抜き金網



■カタログ進呈■

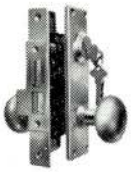
協和の建築金物！



オールプラスチック製
二枚羽根丸型
レヂスター



協和実用新案ＣＦ４
防臭用ダストシュート



新案
握玉付シリンダー錠



箱型
レール用ドアーハンガー

協和産業株式会社

本　　社　大阪市東区本町５丁目１１番地
電　話（代表）　大　阪　25 － 5978　番
（御堂筋本町４丁目交叉点　西へ半丁北側）
東京出張所　東京都千代田区六番町１５番地
電　話（代表）　東　京　301 － 0624　番
（国電四谷駅南口　主婦連合会館東隣）
工　　場　大阪市都島区内代町４丁目１番地
電　話（代表）　大　阪　33 － 4431　番

プラスチックが生んだ最高のアイデア

特許出願中

ハイロック



一度の施工で両面の壁が
仕上る組立式間仕切材

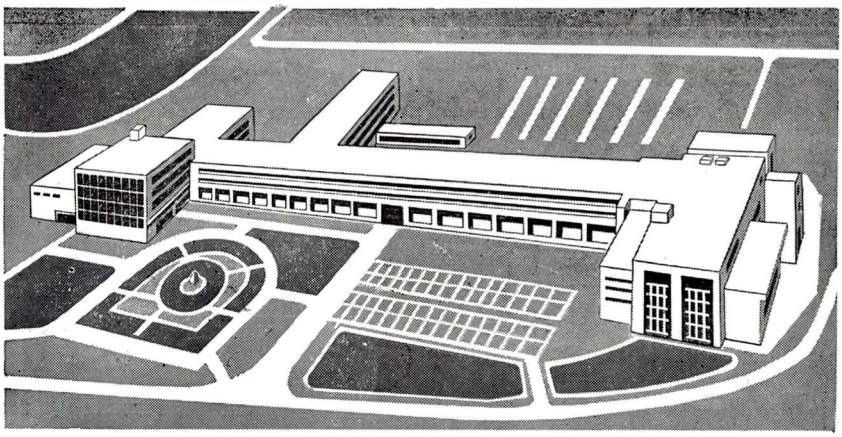


資料提供

代理店
岩谷産業株式会社
日綿実業株式会社
住友商事株式会社

製造元

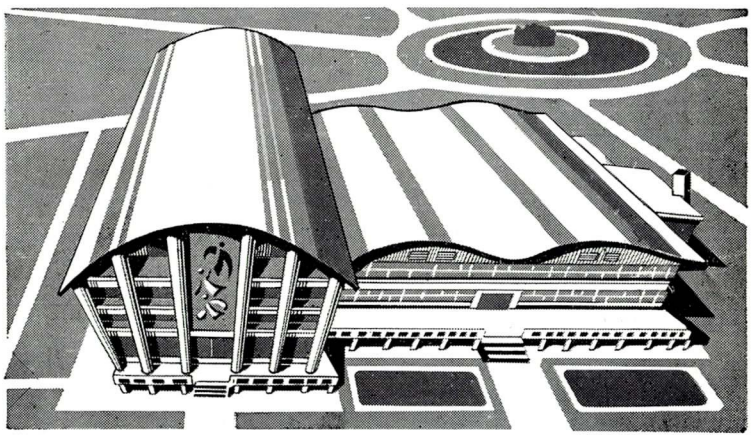
竹原化成工業株式会社
営業部　大阪市北区梅ケ枝町１００
TEL　(34)６７７６(代)



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL(271)7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL (807) 代表 0161～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL(39)0924～5・2045・2079

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具 (Toyotoki印)

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具 (TTK印)

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458　TEL ⑤ 2481～5

大阪営業所　大阪市東区高麗橋5－32　TEL ㉓ 4518～9

各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌・仙台・富山　TEL 2105～8

茅ヶ崎工場
神奈川県茅ヶ崎市



床材の王座（キング）！

新発売

ロンタイルK

30 cm × 30 cm ・ 厚さ 2 mm

ロンリウムK

182 cm 巾 ・ 厚さ 2mm、3mm ・ 長尺

従来のロンリウム・ロンタイルの姉妹品として、川口ゴムの最新の設備で完成したビニル新床材で、色調・摩耗性・耐燃性・耐油性など格段と優秀性を有します。ロンリウムK・ロンタイルKはいずれも全層同質で耐摩耗が強化され、然もソフトな質感は公共建築・ビル・車輌の床にピッタリとし価格も一層経済的になっています。

ロンプレート
網入等各種類そろった塩ビ波板

ニューロンプレート
使いやすい、トタン小波の普及品

ロンガラス
用途の広い、透明・半透明塩ビ平板

ロンフイックス
丈夫で汚れない最新の壁・襖貼材

ロンリウム
品質随一と定評のある床張材

ロンタイル
あらゆる床にマッチする美しい床材

川口ゴム工業株式会社

本社・工場　東京都葛飾区本田四ッ木町54　電話　東京(697)6141(代表)
瀬生工場　埼玉県越谷市大字瀬生2740　電話草加(0871)2033瀬生112
外国部　東京都千代田区神田鍛冶町2－16　電話　東京(291) 3588～9
神田営業所　東京都千代田区神田鍛冶町2－16　電話　東京(291) 0003～4
大阪営業所　大阪市南区北炭屋町33　電話　大阪(27) 4358～9



大阪市立大学医学部附属病院手術室

DK ダントウタイル

滋陶株式会社

DK ダントウの新製品

Non Frozen Tile

耐寒タイル（NFタイル）

外装にも
寒冷にも
耐酸にも

特に御注意
- ○裏のNFマークに御注意下さい
- ○吸水性がありませんから磁器タイルと同様の施行をして下さい
- ○床に使用出来ません　床にはやはり床タイルを使用して下さい

取扱品目

ダントウ タイル
耐寒タイル
ダントウフロアータイル

淡陶株式会社

大阪支店　大阪市西区阿波座南通り1の1
電話　代表（54）8523
東京支店　東京都中央区日本橋浜町2の47
電話（671）7309　（661）7297

本社及阿万工場　兵庫県三原郡南淡町伊賀野　電話 阿万10・110.
福良工場　兵庫県三原郡南淡町福良　電話 福良19・322

会員の表彰

会員の受彰

本年の国土建設週間に際し，下記会員諸氏は，多年にわたり建設関係の向上発展に貢献した功労者として，建設大臣から表彰せられました。ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

大林芳郎君	柄谷吉太郎君
古林義敦君	坂本広吉君
須賀豊治郎君	中沢誠一郎君
藤阪捨次郎君	

会館基金へ寄附金受領

会館基金へ寄附金受領

会館建設資金借入金の本年抽せん償還分の内，会館基金として協会へご寄附いただきましたものを先般報告申上げましたが，その後下記のとおりご寄附いただきました。ここに誌して厚く感謝の意を表します。

記

￥50,000　　日本レイヨン株式会社殿

要望書提出

要望書提出

京都大学建築学科の講座増設と学生の定員増加に関し，友好団体連署の上次のとおり要望書を提出いたしましたので報告申し上げます。

要望書

わが国における近年の建築技術の進歩と建設産業の発展は，誠に目ざましいものがありご同慶に堪えないところでありますが，一面研究対象の拡大と専門化の傾向はますます著しくなって，これがため充分に研究指導された技術者の不足はいよいよ激化する状勢にあります。

しかるに，東京大学に次ぐ古い歴史と伝統をもつ京都大学建築学教室は，大正8年に創設せられ爾来40余年，多くの人材を出してわが国建築界の発展に非常な貢献をいたしておりますが，その内容においては創設当時と多く異ならず，創設時の4講座はその後僅かに1講座の増設をみたのみであり，収容学生数においても本年の如き需要数の4%を満たすに過ぎない状態で，社会の要請に応えるには極めて不充分な現状であります。

このたび，京都大学においてはこの事態に鑑み，建築学教室の研究体制の充実発展を計るため，建築意匠学，建築材料学，建築環境学の三講座を増設するとともに，学生定員1学年60名への増員の計画をたてられた趣につきましては，下名等建築関係者として誠に時宜に適した措置としてその実現の一日も速からんことを切望する次第であります。

どうかこの計画が速やかに実現されますよう何卒格別のご高配を賜わりたく要望申し上げます。

昭和36年7月　日

社団法人 日本建築協会	会長	尾崎久助
社団法人 大阪府建築士会	会長	渡辺節
大阪建設業協会	会長	大林芳郎
社団法人 日本建材協会	会長	中村文夫
日本建築学会近畿支部	支部長	元良勲
日本建築家協会関西支部	支部長	村野藤吾

提出先

文部大臣	荒木万寿夫殿
文部省大学学術局長	小林行雄殿
大蔵大臣	水田三喜男殿
大蔵省主計局長	石原周夫殿

若い会員の集い
夏の懇親会

第4回　若い会員の集い　夏の懇親会
クラブOTA見学とビールパーティ

1. 日　時　8月26日（土）午後1時30分(集合)～4時30分(解散)
1. 集合所　クラブOTA玄関前（梅田新道東映会館南二つ目角・京美堂・西へ約150m左側）
1. 会　費　300円（ビールパーティ経費・別に補助あり）
1. 申　込　23日までに電話による。（ただし定員50名に達し次第締切ります）
1. お願い　会費は当日いただきます。申込者で当日無断欠席の場合は会費の負担を願います。（ただし25日中に取消の場合は結構です。）
1. 行　程　クラブOTA見学（1時30分→3時）
ビールパーティ：桜橋キリンビヤホール（桜橋交叉点西北角・新桜橋ビル地下1階）

クラブOTA建物概要

設　計　彦谷建築設計事務所
施　工　株式会社　藤木工務店
所在地　大阪市北区曽根崎新地2—42—4
規　模　鉄筋コンクリート造地上4階
建築面積　144.59m²　延建築面積　512.08m²
工　期　昭和35年9月～昭和36年2月
建築内部は建築と社会5月号p9～p11に，外観はp50に掲載しております。

特殊建築物の定期報告

特殊建築物の定期報告に関して

建築基準法第12条に基く特殊建築物の定期報告の件につき，大阪府関係において，本年7月19日付大阪府告示第556号を以て「報告の時期」および「報告すべき事項」が告示されましたので関係者各位にお知らせ申し上げます。

なお本制度制定の趣旨ならびにその重要性についてはすでに充分了知されていることではありますが，このたび関係官庁より重ねて留意方の通牒もありますので，関係建築士の方々には，これら特殊建築物の調査に当っては本制度の趣旨に従って充分適正を期せられたく，また報告書の作成についても報告義務者を適宜ご指導下さるよう特別ご配慮方お願い申し上げます。

暑中お見舞申上げます　昭和36年盛夏　(50音順)

浅海正雄
大阪市東区北浜2—69
浅海電気株式会社

浅野重太郎
第一工業株式会社大阪支店

井原巌
大阪市大淀区天神橋筋9—8
井原築炉建設株式会社

五十嵐芳雄
株式会社　大林組

伊丹久吉
大阪市東区両替町1—13
株式会社　藤木工務店　専務取締役

伊東正也
大阪市東区南久宝寺町4—7
伊東建築設計事務所
電大阪㉕5063・6648

伊藤和美
大阪市東区高麗橋5—32
東洋陶器㈱大阪営業所

池田宮彦
自宅　堺市上野芝向ヶ丘町4—1405
勤務先　大阪市西区京町堀2—75
株式会社　大阪建築事務所

石川良興
大阪市西区土佐堀通1—16
日本冷熱工産株式会社

一円俊郎
名古屋市中区南大津通4—1
社団法人日本建築協会東海支部長

稲垣皎三
株式会社　大林組

今西壽雄
大阪市天王寺区上本町7—2—1上六ビル
株式会社　今西組

今村騰
大阪市北区梅ヶ枝町25
中央電気工業株式会社

岩崎甚太郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社　大林組

内田成之
須賀工業株式会社

浦辺鎮太郎
倉敷レイヨン株式会社

小川正
株式会社　竹中工務店設計部

小河吉之助
大阪市南区瓦屋町4番町
小河建築設計事務所

暑中お見舞申上げます　昭和36年盛夏　（50音順）

小津利一

自宅　神戸市東灘区魚崎町横屋612
勤務先　内外木材工業株式会社

尾亀清四郎

株式会社　三晃商会

尾崎久助

大阪市東区横堀2—38
日建設計工務株式会社　取締役会長

置塩章・置塩光

大阪市北区堂島上1—2　新山本ビル
神戸市生田区京町70　松岡ビル
置塩建築事務所

大井弘治郎

大井建築設計事務所
大阪市北区宗是町44第一ビル2階
電　大阪　㊹4220

大阪生コンクリート株式会社

大阪市北区堂島浜通1—25（新大ビル3階）

大沢幸平

自宅　豊中市豊中本通1—16
勤務先　大幸建設株式会社取締役社長

大林芳郎

株式会社　大林組

岡三郎

自宅　箕面市桜ケ丘205
勤務先　株式会社　岡組

岡田平蔵

名古屋市西区西菊井町2—12
岡田建材株式会社取締役社長

岡本行善

株式会社　昭和建築設計事務所

海上静一

大阪市南区鰻谷仲之町23（寿ビル）
株式会社　海上静一建築事務所

笠原梯治郎

大阪市西区京町堀1—74
田島応用化工大阪出張所

梶本秀尾

大阪市東区森之宮東之町392
八千代電設工業株式会社取締役社長

金光五郎

万年スレート株式会社

神田正平

大阪市東淀川区田川通6—38
株式会社　日本シヤッター製作所

川口哲雄

尼崎市南竹谷町2—89
田中工業株式会社大阪出張所長

川崎敬三

株式会社　近畿建設

暑中お見舞申上げます　昭和36年盛夏　(50音順)

河井覚弘
北区兎我野町15
河井建築設計事務所

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀5—5

木戸口信義
大阪市天王寺区北河堀町54
大洋建設工業株式会社

城戸七太郎
西区土佐堀通2—2
清水建設株式会社 大阪支店

一級建築士事務所 京都建築事務所
京都市中京区烏丸通二条上ル
光正企業ビル

久保幸一
株式会社 久保商店

小西岬
株式会社 田中小西建築事務所

小林得志
大阪市北区堂島北町20
小林得志建築事務所

佐藤重夫
広島大学工学部建築学科教授
日本建築家協会員

佐藤辰夫
大東市深野南100
内外木材工業株式会社

佐藤太
大阪市北区南扇町11
近畿電気工事株式会社

佐野正一・三国利道
川村種三郎・藤井兼治
武田健三
大阪市東区淡路町2—34　安井建築設計事務所

雑賀孝夫
和歌山市小松原通5—1
株式会社 雑賀建築設計事務所

斉藤光夫
株式会社 三晃商会

坂内幾男
株式会社 坂内建築設計事務所

貞永直義
豊中市曽根東1—41
貞永建築士事務所　電 豊中② 3172

三座建築事務所
代表者 徳永正三
大阪市北区中之島4—33　電㊃4940・5448・8687
東京都中央区築地3—8　電㈹3745・3746

島田孝治
大阪市大正区南恩加島町1
株式会社 片山鉄工所

暑中お見舞申上げます　昭和36年盛夏　（50音順）

島村佐次郎

和歌山市四番丁　電②3338
島村建築事務所

高橋慶夫

自宅　大阪市東淀川区相川中通2—2—4
勤務先　大阪市西区京町堀通2—37
株式会社　大阪建築事務所

白井徳蔵

大阪市東区伏見町2—22
三建設備工業㈱大阪支店

竹中錬一

株式会社　竹中工務店

菅谷三郎

大阪市西区江戸堀1—60
株式会社 大阪電気商会 大阪暖房商会

千原大五郎

東京都港区赤坂溜池町30　溜池東急ビル
株式会社 大阪建築事務所東京支所 取締役所長

鈴木清市

大阪市東淀川区新高南通1—14
株式会社　ケントク　取締役社長

地頭政人

大阪市北区若松町30　電㉞9004・9016
株式会社 小俣製作所大阪支店 取締役支店長

銭高輝之

大阪市西区阿波座上通3—2
株式会社 銭高組 取締役社長

塚本猛次

日建設計工務株式会社

仙田四郎

大阪市住吉区万代東6—3
関西暖房工業株式会社取締役社長

東畑謙三

大阪市東区伏見町5—19
株式会社 東畑建築事務所 電(202)0391

太刀川達太郎

大阪市西淀川区御幣島町中3—4
不二サツシ工業株式会社大阪支店

中沢誠一郎

大阪府守口市滝井元町3—27
大阪市北区富田町38新日清ビル(富田町分室)
中沢建築事務所

田村巍

大阪市東区南久宝寺町4—47
亀井株式会社　取締役社長

中西六郎

中西建築事務所
大阪市北区中之島3 朝日ビル

大元商事株式会社

大阪市東区高麗橋詰町7—1

中原茂

建設省近畿地方建設局営繕部

暑中お見舞申上げます　昭和36年盛夏　(50音順)

中道朝男
大阪市都島区相生町27
株式会社 中道組

長尾正大
日本エレーベータ工業株式会社

西島修吉
大阪市東成区大今里町北4—385
協同金属工業株式会社

西嶋徳太郎
自宅 箕面市桜ケ丘320
勤務先 大阪市西区京町堀2—75
株式会社大阪建築事務所

伴秀雄
大阪市大淀区中津南通4—44
株式会社 西原衛生工業所大阪店

彦谷邦一
大阪市東区平野町4—7 新杵ビル
彦谷建築設計事務所

平田作太郎
株式会社 平田タイル
大阪市西区阿波座中1—4

平山京平
大阪市西区江戸堀2—2
平山工業株式会社

藤井徳義
大阪市東区大川町1淀屋橋勧銀ビル4階
電 ㊀ 4761 (大代表)
新晃工業株式会社 取締役社長

藤木正一
大阪市東区両替町1—13
株式会社 藤木工務店 取締役社長

藤原巧
自宅 奈良市菅原町963—232電西奈良ⓑ1754
勤務先 大阪市東区今橋1—14電㊀3264・3265
株式会社 増岡組大阪支店

藤本三朗
大阪市東成区東今里3—4
不二化学工業株式会社

藤本庄之助
大阪市城東区西鴫野6—43
株式会社 工盛社

宝来佐市郎
大阪市東区京橋3—75
株式会社 大林組

前野慶太郎
大阪市北区堂島上2—11
株式会社 あめりか屋 取締役社長

牧村利勝
大阪市東区横堀2—70
株式会社 間組 大阪支店 取締役支店長

町田信治
伊丹市伊丹558
東洋リノリューム株式会社 社長

松田昌平
松田順吉
福岡市下西町二番地 明治屋ビル
株式会社 松田設計事務所

暑中お見舞申上げます　昭和36年盛夏　(50音順)

松本大平
大阪市西区京町堀1—74
田島応用化工大阪出張所

向井保晴
伊丹市伊丹558
東洋リノリューム株式会社

村石秋吉
大阪市浪速区幸町通3—20
浪速合板株式会社代表取締役

村上一郎
大阪市北区芝田町35
浅野スレート株式会社大阪支店　取締役支店長

室谷山水
神戸市生田区山本通4—161

八十島健二
西宮市甲子園2—24

山口吾郎
大阪市西区阿波座上通4—8
不二建設株式会社　社長
自宅　豊中市栄通2—5

山口武雄
大阪市西区阿波座南通1—1
淡陶株式会社大阪支店

山田文次
大阪市西区京町堀1—62
山田工業株式会社

山邑勵二
大阪市阿倍野区阿倍野筋2—33
鹿島建設株式会社

山本博三
大阪市北区中之島3—3
朝陽電気株式会社　取締役社長

山本義樹
株式会社　銭高組

山本竜太郎
大阪市北区西堀川町15
株式会社 ヤマト電気商会 取締役社長
自宅　大阪市住吉区帝塚山西4—21

吉田信武
大阪府大東市三箇1140

若林繁吉
二葉屋装備工業株式会社

鷲尾健三
大阪市都島区東野田9
大阪大学工学部構築工学教室

渡部圭吾
大阪市北区絹笠町16　大江ビル
株式会社 渡部建築設計事務所 ㉞1521
自宅　大阪府箕面市桜井20電大阪(0287)2209

渡辺節
渡辺道輝
大阪市東区本町2丁目(綿輸連会館)
渡辺建築事務所　電大阪 ㉖7279

暑中お見舞申しあげます　昭和36年盛夏　（追加分）

和田友一

大阪市城東区野江中之町1—9
浪速合板株式会社取締役社長

知見義夫

株式会社斉藤省三商店大阪支店長

尾崎博一

旭化工板製造株式会社

山本潔

大阪市東淀川区西淡路町3—176
山本窯業研究所電㈹9025

田辺信

大阪市東区京橋3—70
西日本建設業保証株式会社

飯田精次郎

大阪市北区富田町9
共同設計株式会社取締役社長

白杉嘉明三

神戸市東灘区本山町野寄19—1

庄野勝

大阪市南区鰻谷仲之町57
不動建設株式会社

坂倉準三建築研究所

東京都港区赤坂桧町6
大阪市西区京町堀2—122

日本建築家協会会員
藤村清一

大阪市北区永楽町8（日産ビル）
㈱日新建築設計事務所代表取締役

富家宏泰

京都市中京区烏丸通り押小路上ル
大阪市東区平野町2丁目平ビル内
東京都中央区八重洲4—5
富家建築設計事務所

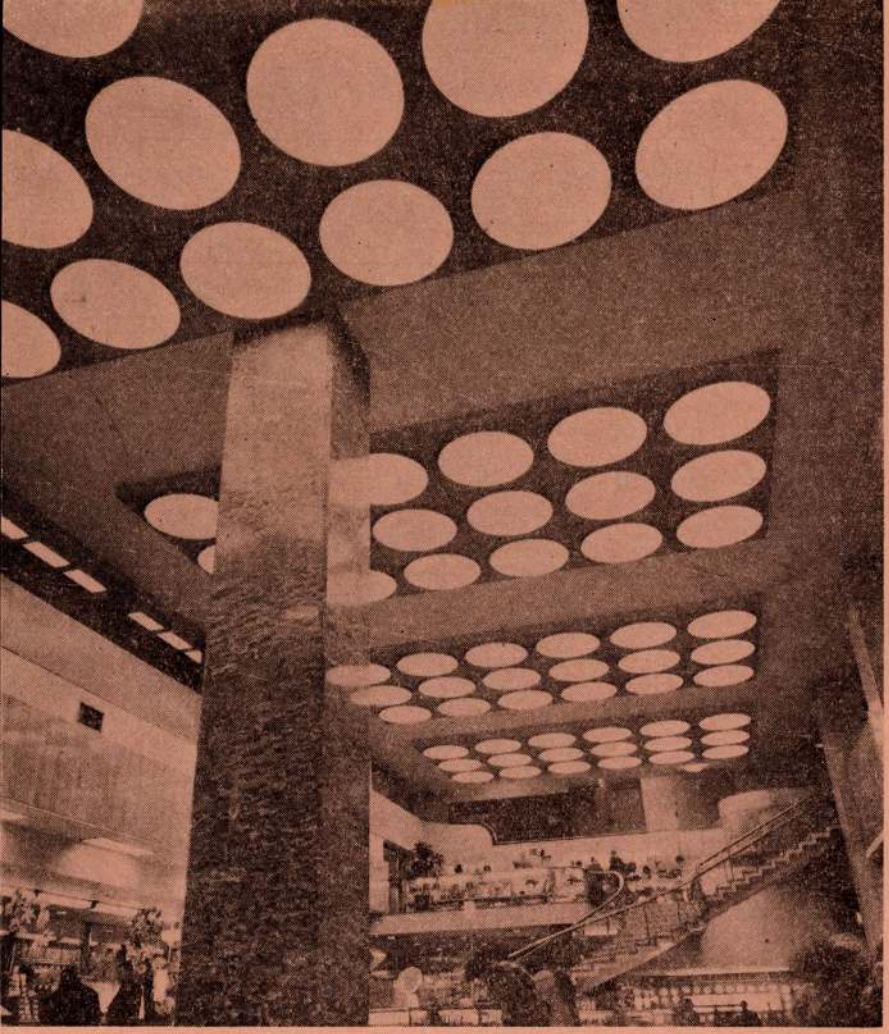
森本良

大阪市西区南堀江大通5丁目15
大阪朝日瀝青株式会社　取締役社長

訂正

暑中見舞欄のうち，和田友一氏の社名がちがっておりましたので，下記のとおりつつしんで訂正いたします。

和田友一
大阪市城東区野江中之町1—9
浪速建材工業株式会社　取締役社長



大阪そごう光り天井

カタログ進呈・誌名ご記入の上ご請求下さい。

七大特色

- 軽くて強靭である。
- 加工が自由，特に曲面加工が容易である。
- 光学的に光線透過率が優れている。
- 光学的にエッジライテイング・パイプラテイングの効果を有する。
- 電気絶縁性が良行である。
- 耐水，耐熱，耐化学薬品性が優れている。
- 着色が自由である。

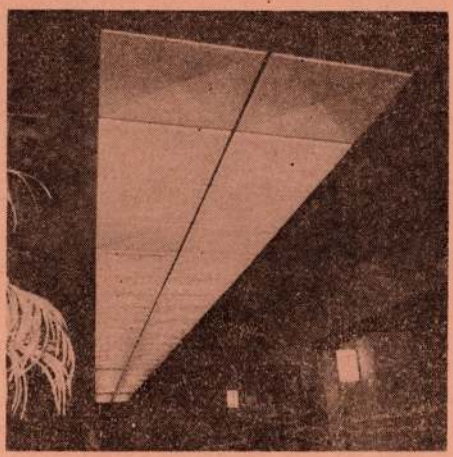
用　途

サナトリウム，サンルームその他の窓ガラスにホール，工場，商店街等の採光用に……特殊波型アクリライトドアー（アクリドアー）
間仕切に，階段手摺，腰板，壁面，装飾柱，カウンタートップに，各種電気機械器具および部品，ルーバー，照明器具カバーに，屋内表示板，屋外看板，広告照明灯，店内装飾に。

すきとおる美しい光のプラスチックス！

ACRYLITE®

アクリライト®



宝塚劇場ルーバー

三菱レイヨン株式会社

本　社　東京都中央区京橋2の8（新光ビル）　TEL（281）5551（代表）
支　店　大阪市北区中之島2の22（新朝日ビル）　TEL（202）2241（代表）
名古屋市中村区堀内町4の1（毎日会館）　TEL（55）7131（代表）



梁の被害

白蟻

の駆除予防工事専門

諸官庁・諸会社御指定

全国各地方に社員が出張いたしておりますから
遠近に拘らず御一報次第蟻害対策の御相談に参
上致します

調査無料!!

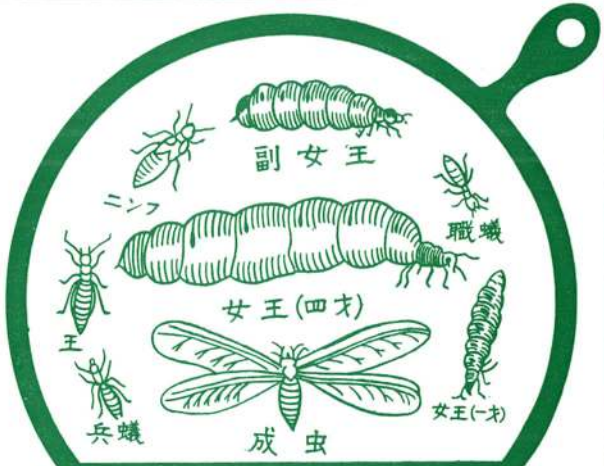
和歌山市小松原通四丁目一番地（日赤病院前）

前田白蟻研究所

電話（和歌山）②１３８９番

建物樹木の害虫

白　蟻



イエシロアリの一族

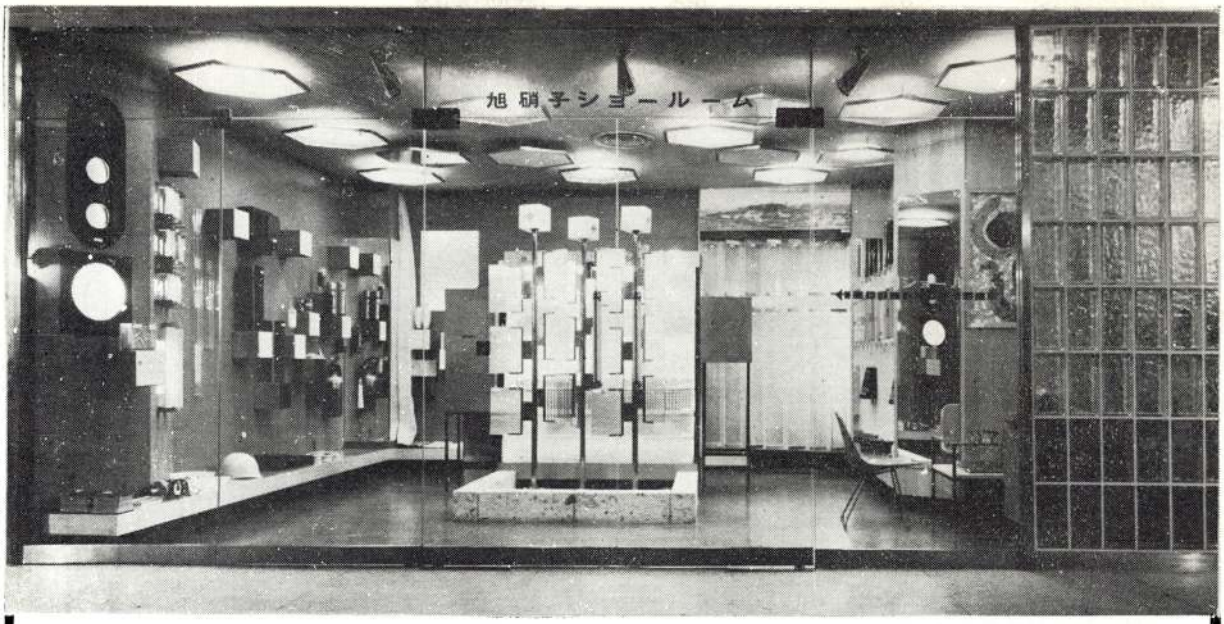
イエシロアリの巣



和歌山市小松原通四丁目一番地(日赤病院前)

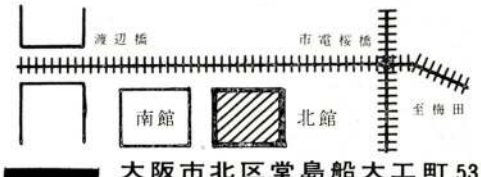
前田白蟻研究所

電　話（和歌山）②１３８９番

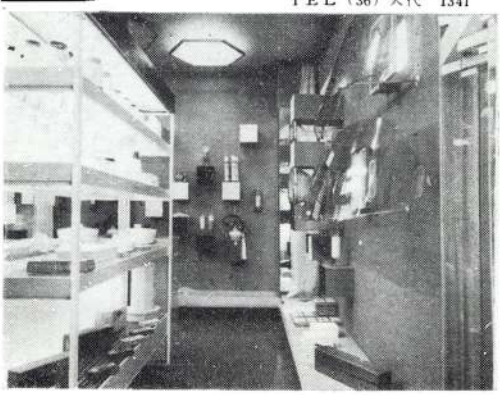


大阪 旭硝子ショールーム開設

このほど左記に、ショールームを開設いたしました。板ガラスを主体とし、ソーダ、肥料、耐火レンガなど旭硝子の各製品と関連会社の製品を多数展示して、ご来館をおまちしております。



所在地 大阪市北区堂島船大工町53
毎日大阪会館北館1階
TEL (36) 大代 1341



旭硝子株式会社

本　社　東京都千代田区丸ノ内2の16　(28) 代4821
大阪支店　大阪市北区堂島船大工町53　(34) 代6851



淀屋橋勧銀ビル

設計施工　ＫＫ 竹中工務店

淀　屋　橋　勧　銀　ビ　ル

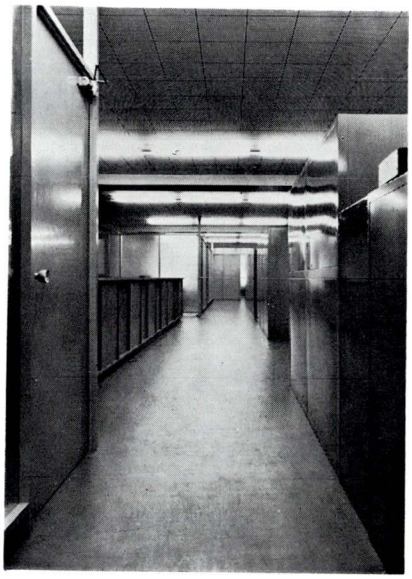


理研パールタイル貼工事（アルマイト吸音天井板）

理　研　電　化　工　業　株　式　会　社

4階以上各階リノリューム使用

東　洋　リ　ノ　リ　ュ　ー　ム　株　式　会　社







淀屋橋勧銀ビル

一階営業室

床ソフトタイル3粍厚



三階会議室

床ソフトタイル2粍厚



田島応用化工株式会社

床ソフトタイル3.2粍厚

淀屋橋勧銀ビル



大建吸音板
味之素吸音板　納　入

株式会社　室　谷　商　店

日進式軽量鉄骨
ボード用下地営業室天井

株式会社

奥村重兵衛商店



全館塗装工事

株式会社　三木塗装店



淀　屋　橋　勧　銀　ビ　ル



1階　営　業　室



1階　営　業　室



1階　大　金　庫　室



2階　書　庫　室

デスク・チェア・ファイルネット・カード
ネット・ホカンコ・ロッカー・セルビング
ホールドドア・書庫室内装工事等什器納入

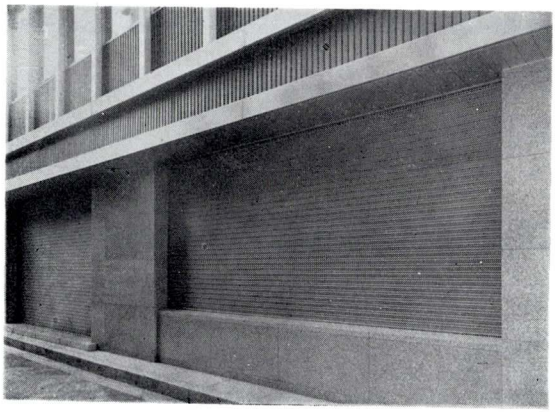
株式会社 伊藤喜商店

淀屋橋勧銀ビル



銀行ホール　大理石工事

株式会社　矢橋大理石商店



シャタァ工事

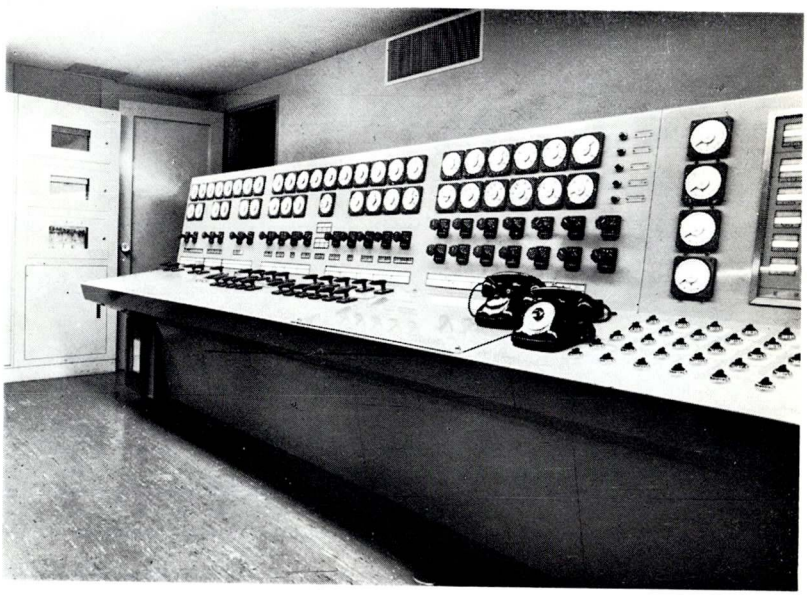
株式会社　鈴木シャクァ商会

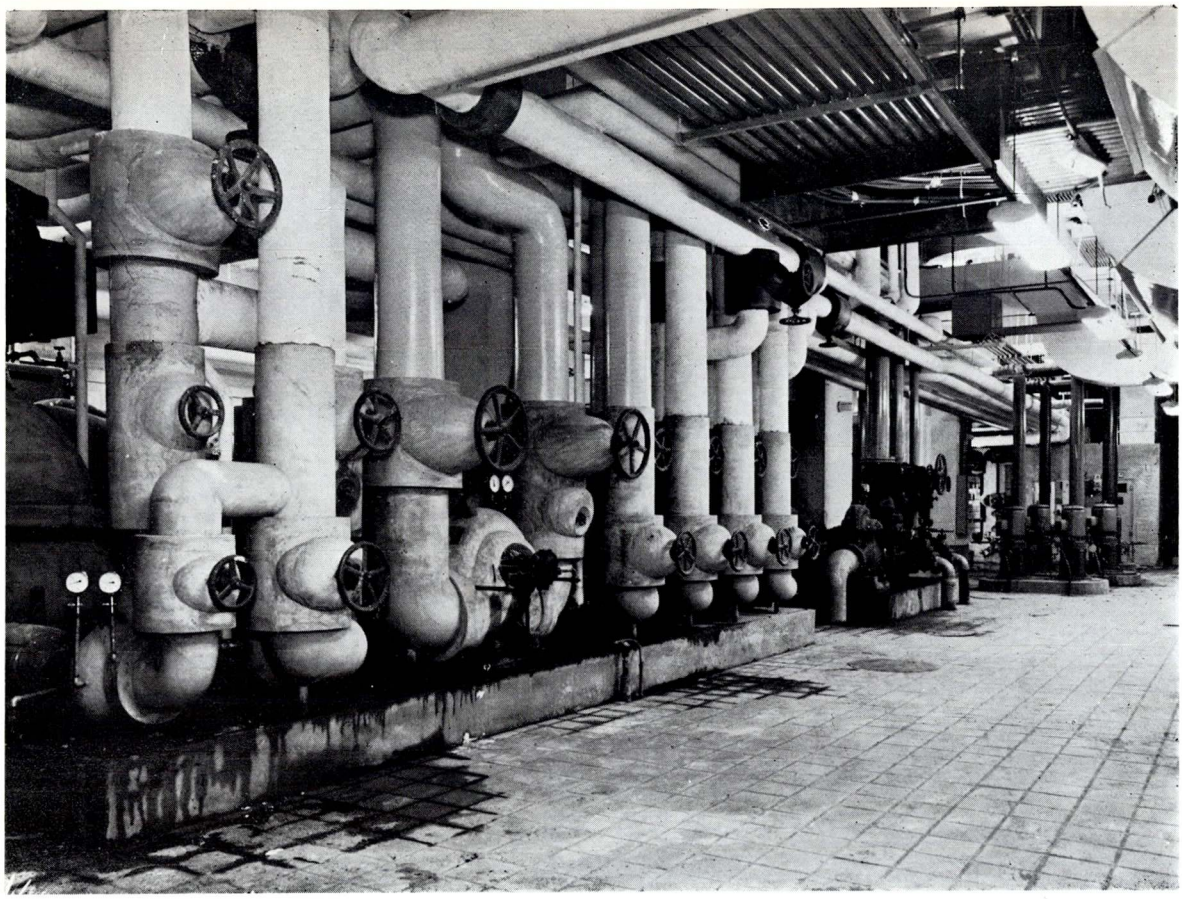
電気設備施工

栗原工業株式会社

地下4階中央操作室

監視盤





淀屋橋勧銀ビル　　地下4階機械室の冷凍機配管

須賀工業株式会社

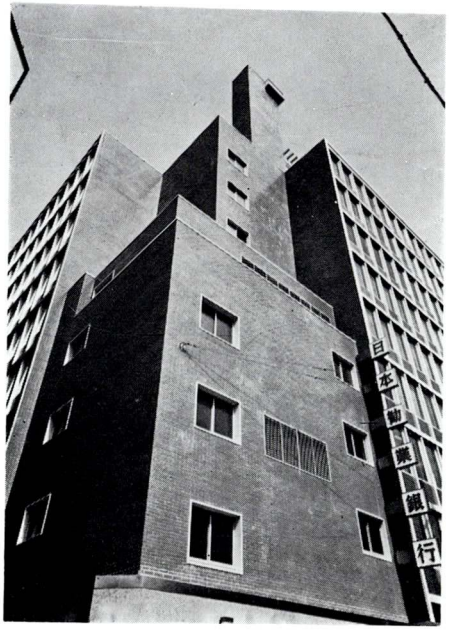
淀屋橋勧銀ビル

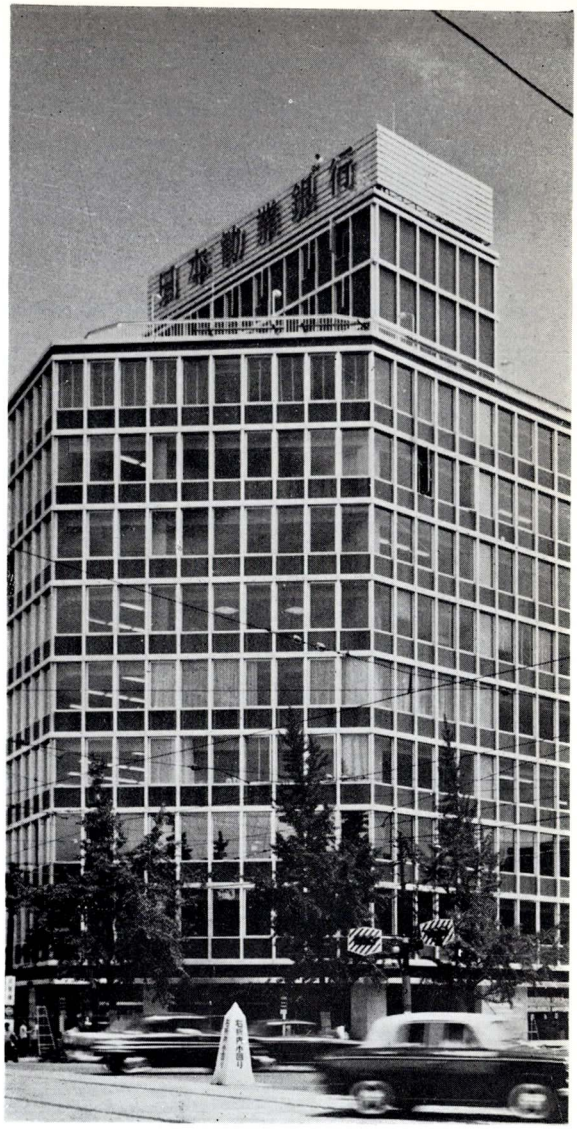
鉄骨工事
松尾橋梁株式会社

鉄骨工事
日本橋梁株式会社

ガラス工事
株式会社 大阪硝子店

外装タイル（磁器二丁掛）
外装タイル（磁器40粍角）　使用
有田タイル株式会社



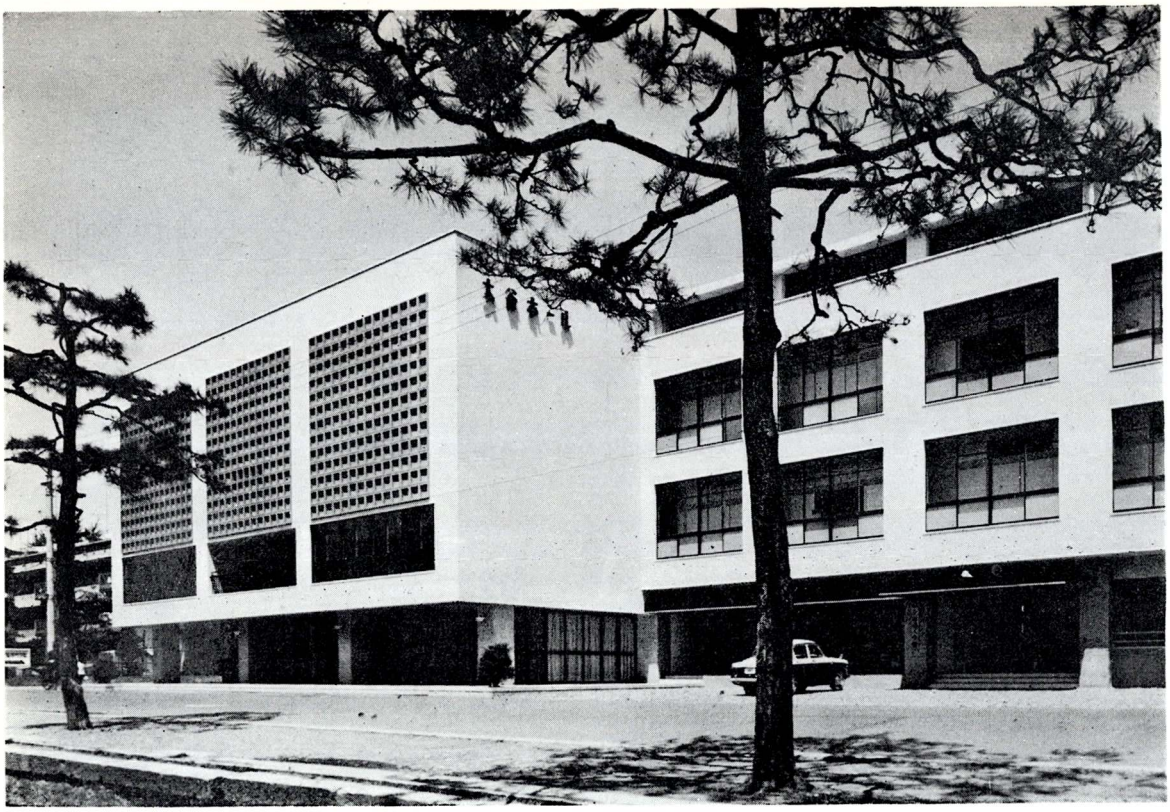


淀屋橋勧銀ビル

ペヤグラス
テンパライト・ドア

淀屋橋勧銀ビルには，ペヤグラス，テンパライト・ドアなど各種の菱印板ガラスが大量に使われています。とくに外窓に使われているペヤグラスは，都会地の騒音防止と冷暖負荷の軽減に役立っています。

旭硝子株式会社



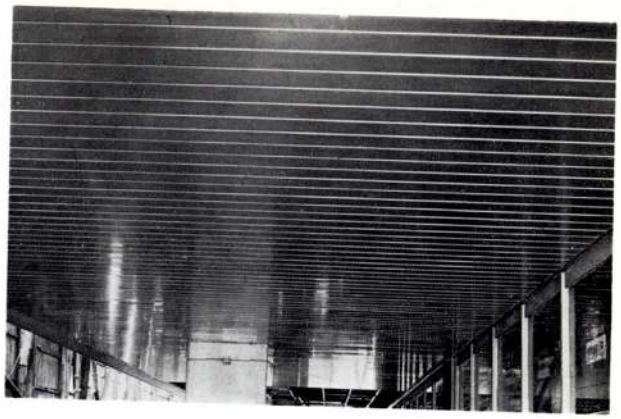
大谷婦人会館

設計　KK 安井建築設計事務所

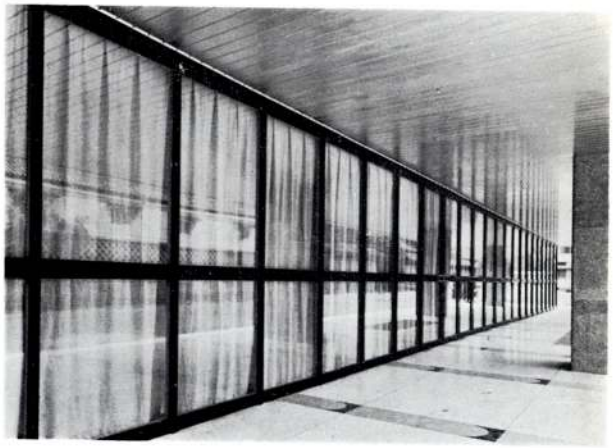
施工　東海興業株式会社

大　谷　婦　人　会　館

アルミニウムスパンドレル
株式会社
奥村重兵衛商店



浪建式
スチールサッシュおよびドアー
浪速建材工業株式会社



アイチの連結椅子　愛知株式会社





広銀ビル（大阪）

設計　河内義就設計事務所

施工　株式会社　増岡組

広　銀　ビ　ル　（大　阪）

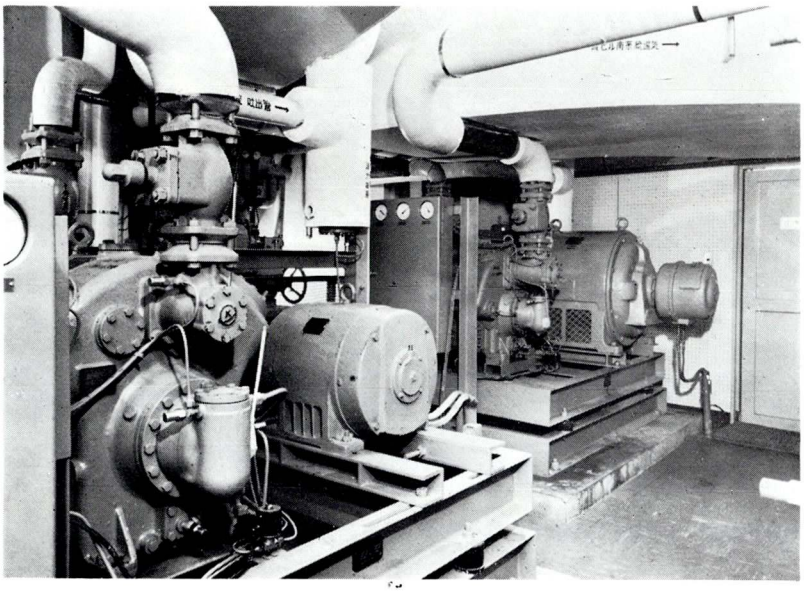
外装タイル（磁器二丁掛）
床　タイル（磁器40粍角）　使　用

有　田　タ　イ　ル　株　式　会　社

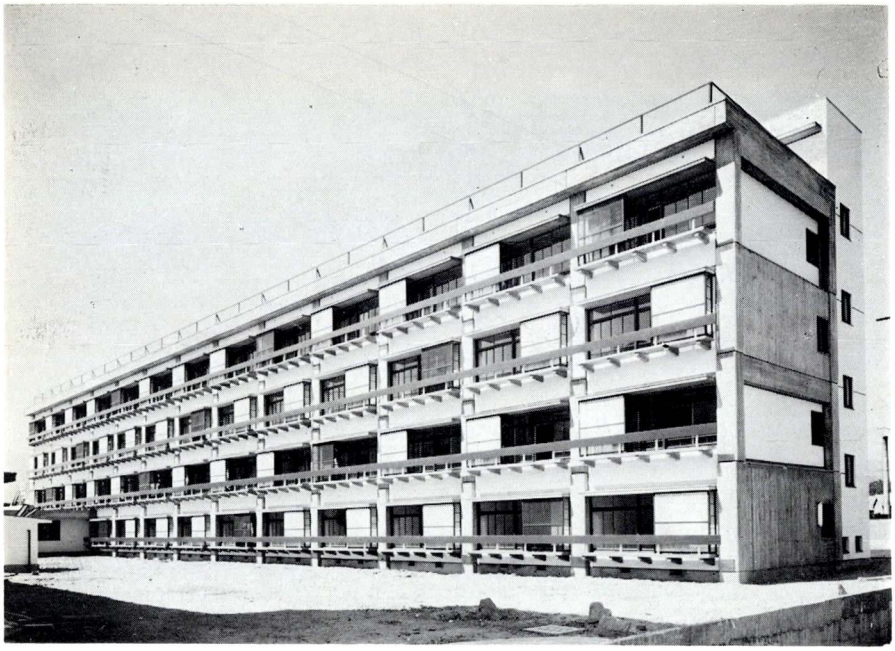


空　気　調　和　・　衛　生　設　備

株式会社　　三　　晃　　商　　会



8階機械室





川崎製鉄KK甲風寮　　設計　KK大阪建築事務所

施工　株式会社　新井組

建物クリーニングの店

（登録商標）

住宅「美素」工事の創始者

◎ビルディングの洗浄工事
◎建物外塗サンドブラスト工事
◎建物外壁各種吹付工事
◎建物外壁シリコーン防水工事
◎月極め清掃工事
◎木造建築洗浄美素仕上工事

（登録商標）

株式会社 美素工業所

大阪市東区瓦町二丁目（三和ビル）　電話㉓4938・5888・㊼8050

三星の床材

プラスタイル"P"

（Pタイル）

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話 ㊹ 5408・5486

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話 ㉞ 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪営業所
大阪市西区南堀江大通1の19 電話 ㉞ 6161～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）
電話 ㉕ 0471～2・0371 ㉗ 7604
京都営業所 京都市中京区河原町六角下ル 電話 ㉓ 3277

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話 ㊸ 0137 ㊹ 3286

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話 ⑤ 2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル 電話 ㉞ 4468

岡田建材株式会社
名古屋市西区西菊井町2ノ12 電話㊸0121・2057

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2 電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本社・名古屋中区東瓦町39 電話 ㉔ 6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話 ②2281～4
岡山・岡山市東田町3 電話②7911・8169
福岡・福岡市万行寺前町14 電話 ③ 1225～6

関西三星タイル会員

Toray
Reg. Trade Mark
東洋レーヨン株式会社

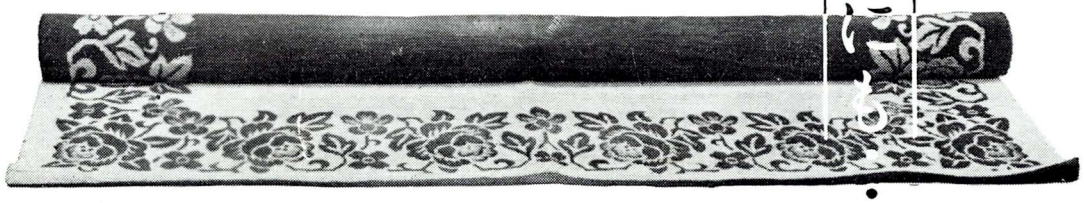
美しい
花園をお部屋に・・・

丈夫で弾力性に富み、ホコリがたたないので大へん衛生的です。
お部屋の雰囲気にマッチしたカーペットをお選びいただくため、あらゆる色柄を豊富に準備いたしております。室内に豪華な感覚と新鮮で楽しい雰囲気を漂わす東レ・カーペットをぜひお試し下さい

東レ カーペット

二重織・銀鈴織・富士織・三重織・装美織
・額縁三重織・三美織などがございます

東レ・カーペットのほか、東レ・フラットーヨー使用
ファンシーラッグ(夏の敷物)も好評を頂いております



東レカーペット発売元—(株)辻田文平商店(大阪市住吉区南住吉町4の59)　ファンシーラッグ発売元—丸紅飯田(株)

ビニデラックスは当社の技術陣が久しく鋭意研究を続けて完成した新しい型の合成樹脂ラテックスペイントで，他のラテックスペイントに比べて，多くの優れた性能をもつ品質優秀なアクリル系合成ゴムを主成分とする塗料です。
ビニデラックスの用途は主にコンクリート・モルタル・プラスター面などの塗装に好適な塗料で，建築内外部用塗料として発売以来好評を博しております。

● ビニデラックスの特徴

■ 作業性が非常によい
ハケヌバキが非常に軽く，乾燥も普通のエマルジョンペイントより速くて，作業能率がよろしい。

■ 耐久力がよく〝やけ〟がない
アクリル系合成ゴムを主成分とするため，他のラテックスペイントにみられる〝やけ〟がなく，耐久力に優れています。

■ 耐水性・耐水洗性がよい
乾燥塗膜は非常に強靱で撥水性があるため耐水性がよく，特に塗膜が汚れたときには石鹸水で洗うと，たやすくきれいになります。

■ 優雅な光沢ある仕上り
塗面はエマルジョンペイントに見られない優雅な光沢があります。

■ 付着力がよい
コテ仕上のよい平滑な塗面や，ハードプラスター，調合ペイント塗面にもよく付着し，シート状にはげることがありません。

■ 耐薬品性がよい
耐アリカリ性が強く，稀薄な酸にも耐え，又カビが生えません。

● 色見本付カタログご希望の方は当社宣伝課Z係までお申付け下さい。



建築内外部用塗料
ラテックスペイント
ビニデラックス

関西ペイント株式会社
大阪市東区伏見町5丁目

建築と社会

8

建築と規格特集

1961年・第42集・8月号・目次

作品作風

淀屋橋勧銀ビル……設計：KK 竹中工務店設計部…21
施工：KK 竹中工務店

大谷婦人会館……設計：安井建築設計事務所…28
施工：東海興業KK大阪支店

広銀ビル（大阪）……設計：河内義就設計事務所…32
施工：KK 増岡組

建築の眼……36

担当（50音順）：鍛治延男・上村幸之・寺谷敏行・前田 治

本文

部材と規格——JISと建築——……長沢 武…37
モデュールと規格……鈴木 雅夫…41
規格とプレファブ……吉田 圭三…45
公団住宅の部品規格化について……田中 彌一…48

設計と規格——標準ディテールの問題——

1. 標準ディテールの歩み……KK竹中工務店設計部…51
標準図面……52
2. 標準ディテールへのアプローチ……大林組 岩崎甚太郎…57
施工標準図集——防水関係……58
3. 標準詳細とその周辺……電々公社近畿電通局…68
標準詳細図……69
4. 標準ディテールへのアプローチ……近畿地建 片山 光生…73
5. 公団住宅標準詳細図集……住宅公団 小西 嘉夫…75
標準詳細図……77

建築と規格アンケート……81
三輪泰司ほか10名……82

トピックス

新農林規格……広瀬久治郎・若木寛・脇田勝之・喜多聖泰…83
規格サッシ……斎藤祐義・井上千寿…84
義務教育用家具……杉垣仙治郎…84

近代建築調査委員会報告20

三菱銀行神戸西支店……坂本勝比古…85
三菱銀行大阪支店……林野 全孝…87
会報（6月分）……89

8

建築と社会

第42集

1961

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会
SMデザイングループ

売　価　1部　150円・送料共
昭和36年8月20日印刷
昭和36年8月25日発行
編集人　松井昭光
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話　大阪㉓9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
発行人　沖田誠一
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㊱2091～3番
印刷者　網野栄



（撮影：多比良　敏雄）

1. 外観詳細

淀屋橋勧銀ビル

設計施工　KK 竹中工務店



2. 土佐堀河畔よりみた全景



3. 外 観 詳 細

淀屋橋勧銀ビル設計について

小川　正

大阪の誇る御堂筋入口と金融街北浜との角地を占め，対岸は美しいシビックセンター中之島を配した，恵まれた敷地の空白もこの勧銀ビルによって埋められた。

平面計画は，建築主の日本勧業銀行大阪支店を主体とする配置に，上階の貸事務室，一階・地階の貸店舗，駐車場，機械室，および将来開通する京阪電鉄淀屋橋地下駅舎の一部と公衆連絡通路，階段などが考慮され，明後年の開通時にはさらに市営地下鉄淀屋橋駅とも地下一階にて連絡口を設けて公衆の便を計っている。

ただ専用ターミナルビルを持たない地下終端駅コンコースと地上への連絡階段の配置は充分考えられるが，乗降客流動の偏在に対して，このビルの負荷が大き過ぎる場合が懸念される。

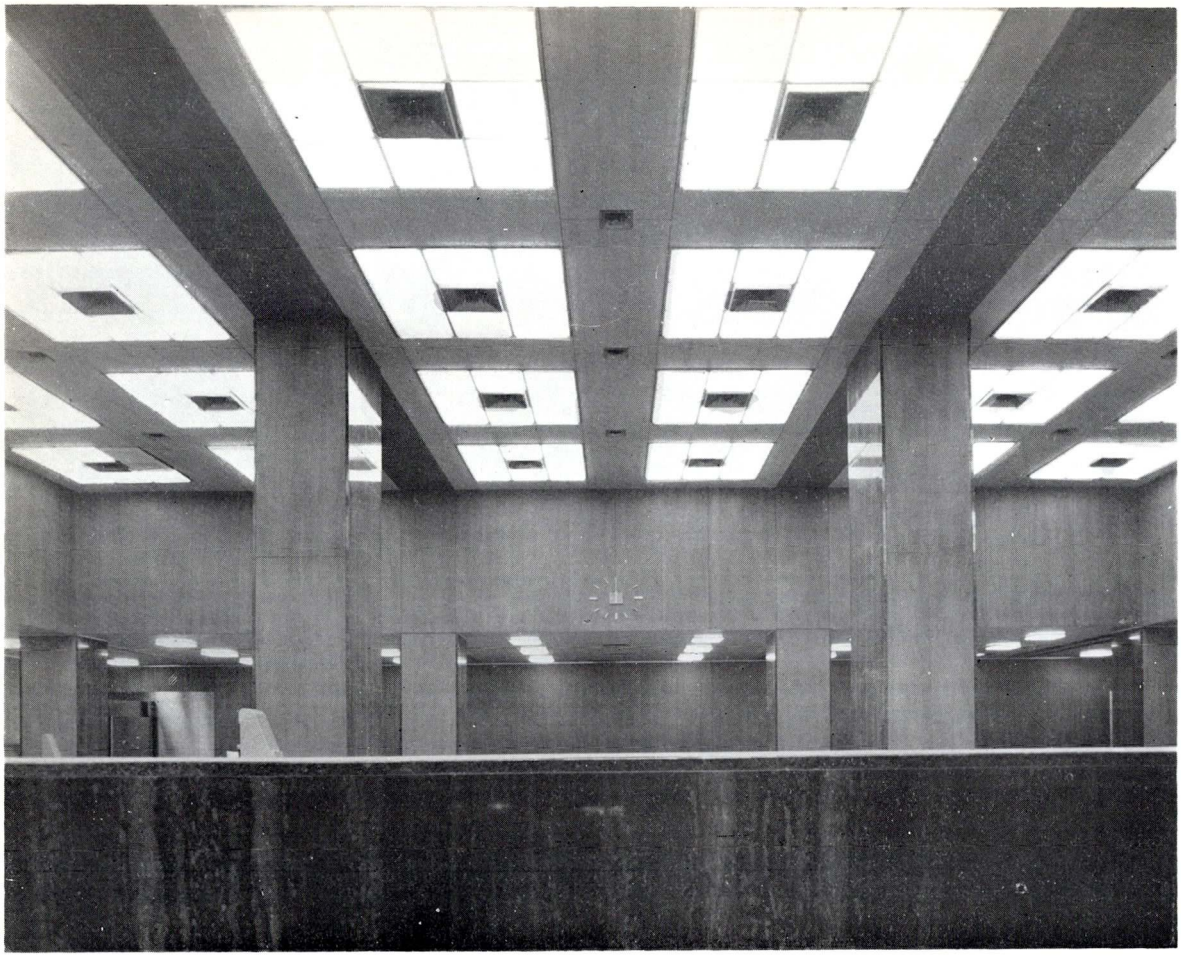
立面はアルミニューム押出材の格子と硫酸アルマイト（黒灰色）のスパンドレルとアンチサンペアグラスの単純な構成であり，縦軸回転窓の構造，保守の限界面積に基ずいて全壁面を割付けた型である。デイテールについては，可動部と固定部との統一について，また壁面，硝子面，組格子の量感のバランスが要点であったといえる。

周辺の高層建築の基礎状態，地下鉄チューブとの接近条件，敷地に対する利用率をあげるため，特許竹中式潜函工法を採用したが，予測通りの成果をおさめたといえる。

（KK竹中工務店取締役設計部長）

淀屋橋勧銀ビル

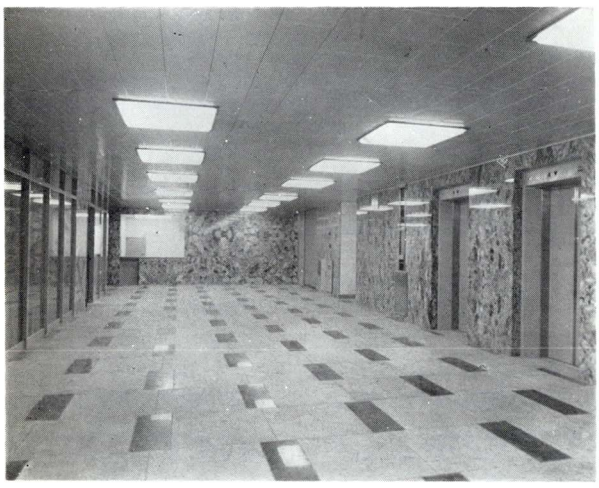
設計施工　KK 竹中工務店



4.

4. 銀行営業室　床　：ゴムタイル・ソフトタイル
巾木：外国産大理石
壁・柱：外国産大理石
くるみ練付ベニヤ，クリヤラッカー
天井：アルミパールタイル
くるみ練付ベニヤ，クリヤラッカー
カウンター：外国産大理石

5. エレベータロビー（地1階）



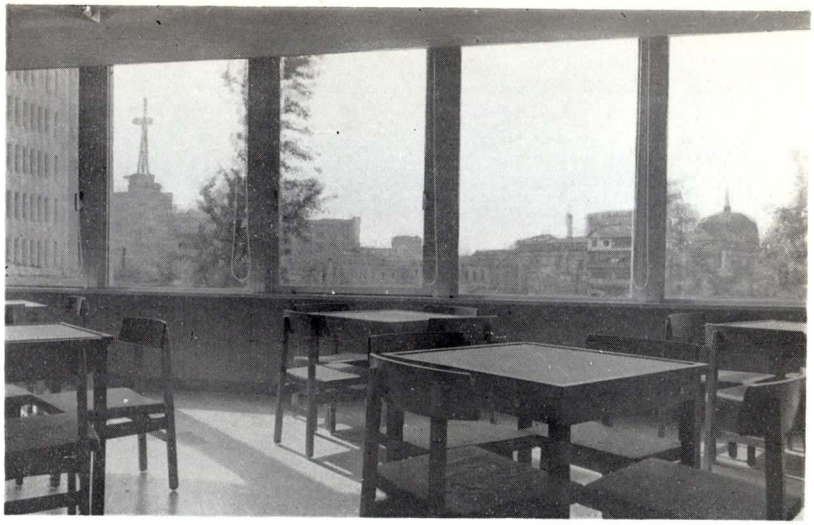
所在地	大阪市東区大川町1番地
敷地面積	659.41坪　（都市計画による）
建築面積	2,008.19m²　（　607.48坪）
延面積	26,228.67m²　（7,934.17坪）
階数	地下4階　地上9階　塔屋4階
高さ	軒高　31.0m　　塔屋　43.0m
深さ	基礎下端まで　16.9m
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
外装	1階柱壁　稲田石本磨き
	2階以上　庇方押出アルミ材 スパンドレル アルミアルマイトリブ張り
	窓1階　　ステンレスサッシ
	2階以上　アルミサッシ
工期	地鎮祭　昭和34年7月25日
	竣工　昭和36年6月末日
地下工法	竹中式潜函方法　刃型先端まで GL−19.0m

淀屋橋勧銀ビル

6. 銀行クラブルーム（3階）

7. 銀行貴賓室（3階）

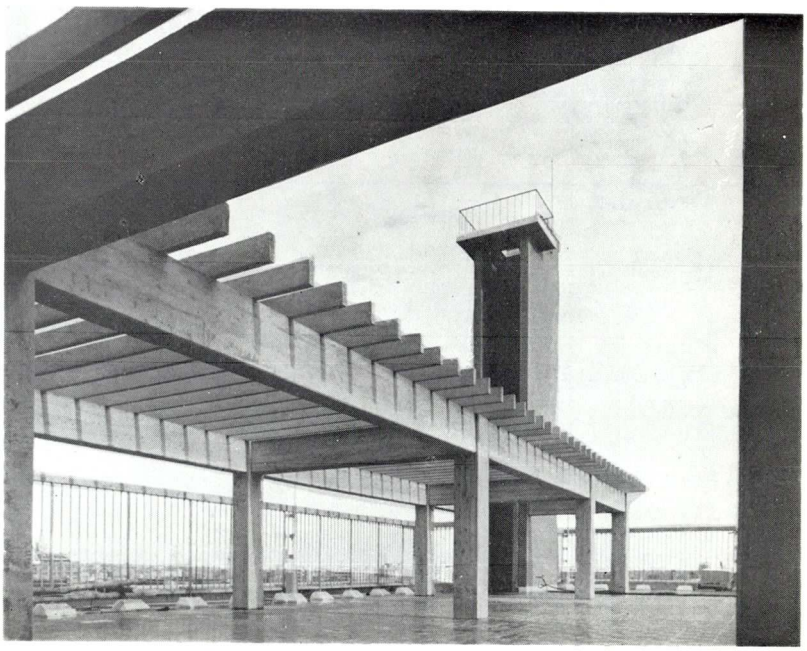
8. 屋上パーゴラ



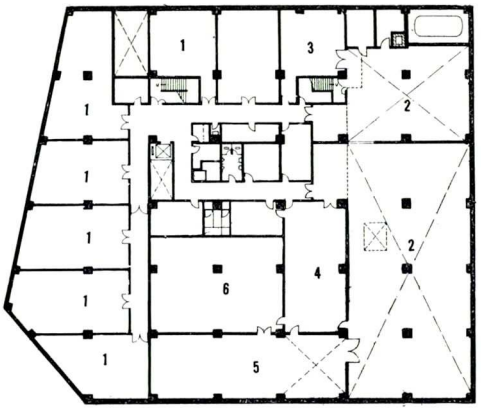
6



7

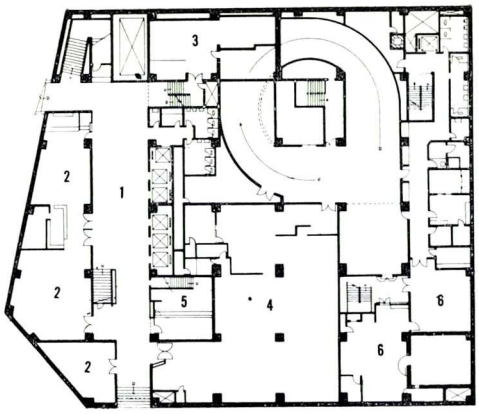


8



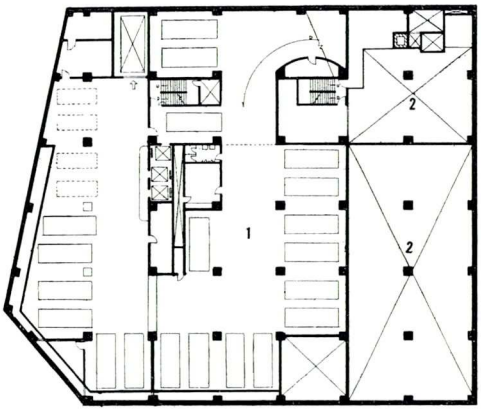
B 4 階

1. 貸　倉　庫　2. 機　械　室　3. 発 電 気 室
4. 中央操作室　5. 特高変電室　6. 変　電　室



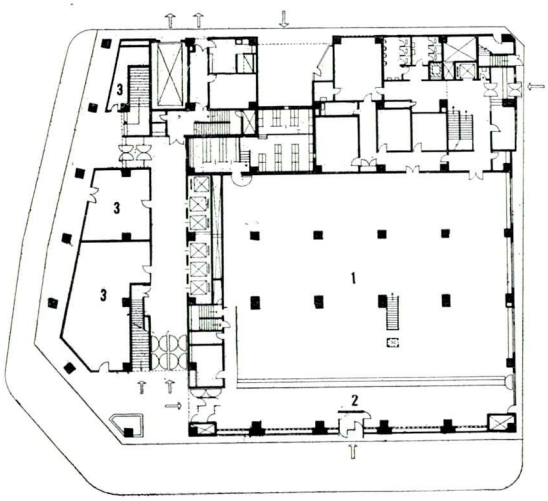
B 1 階

1. エレベーターロビー　2. 貸 店 舗　3. 理 髪 室
4. グ　リ　ル　5. 銀行デポジット　6. 事　務　室



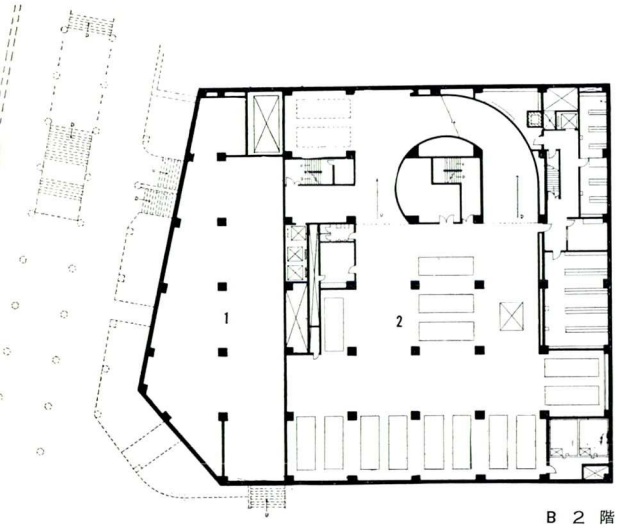
B 3 階

1. 車　　庫　2. 機械室、吹抜



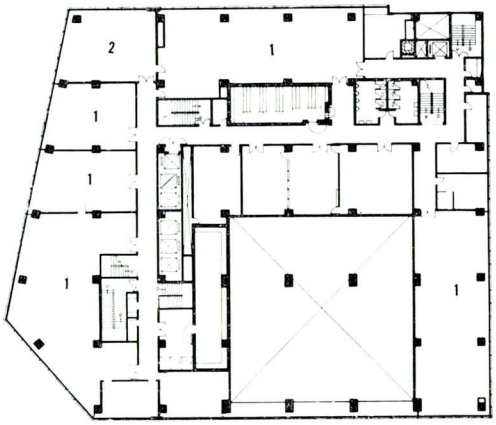
1　階

1. 営　業　室　2. ロ　ビ　ー　3. 貸　店　舗



B 2 階

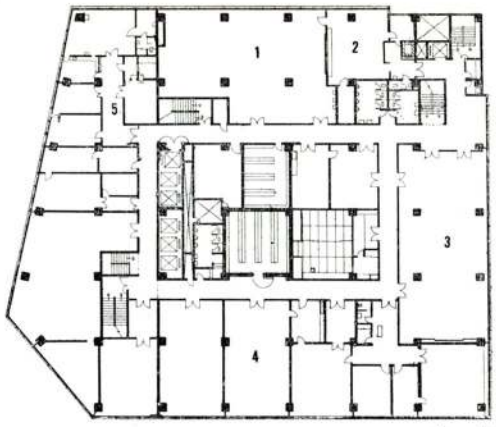
1. 京阪電鉄淀屋橋駅　2. 車　　庫



2　階

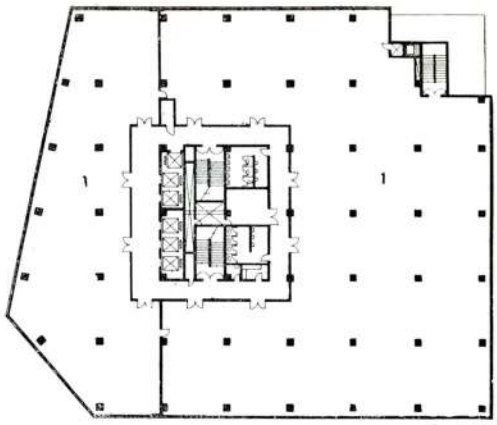
1. 事 務 室　2. 会 議 室

淀　屋　橋　勧　銀　ビ　ル　平　面　図



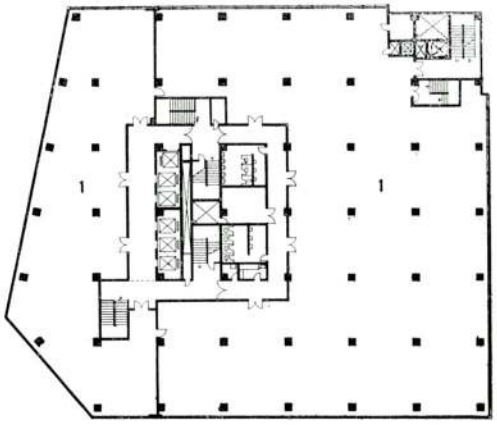
3 階

1. 行員食堂　2. 厨　房　3. 大会議室
4. 会 議 室　5. 診 察 室



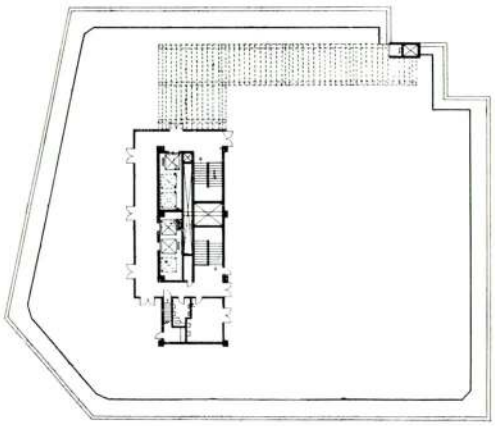
6~9 階

1. 貸　室

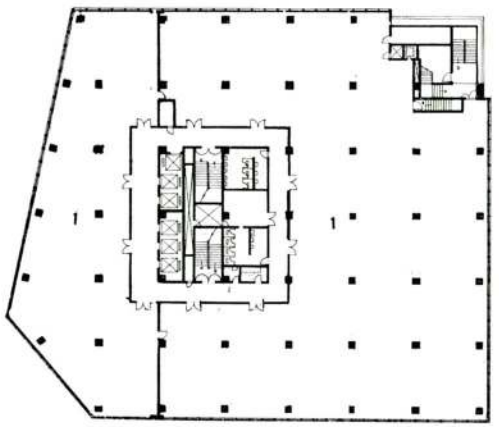


4 階

1. 貸　室

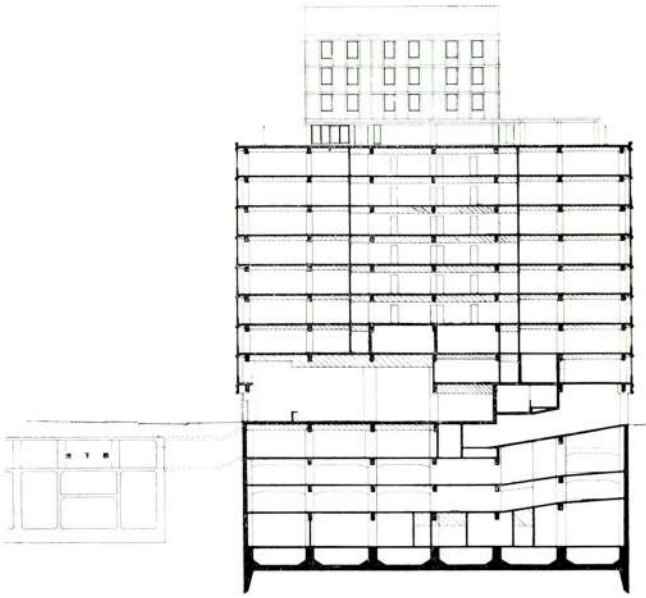


塔 1 階

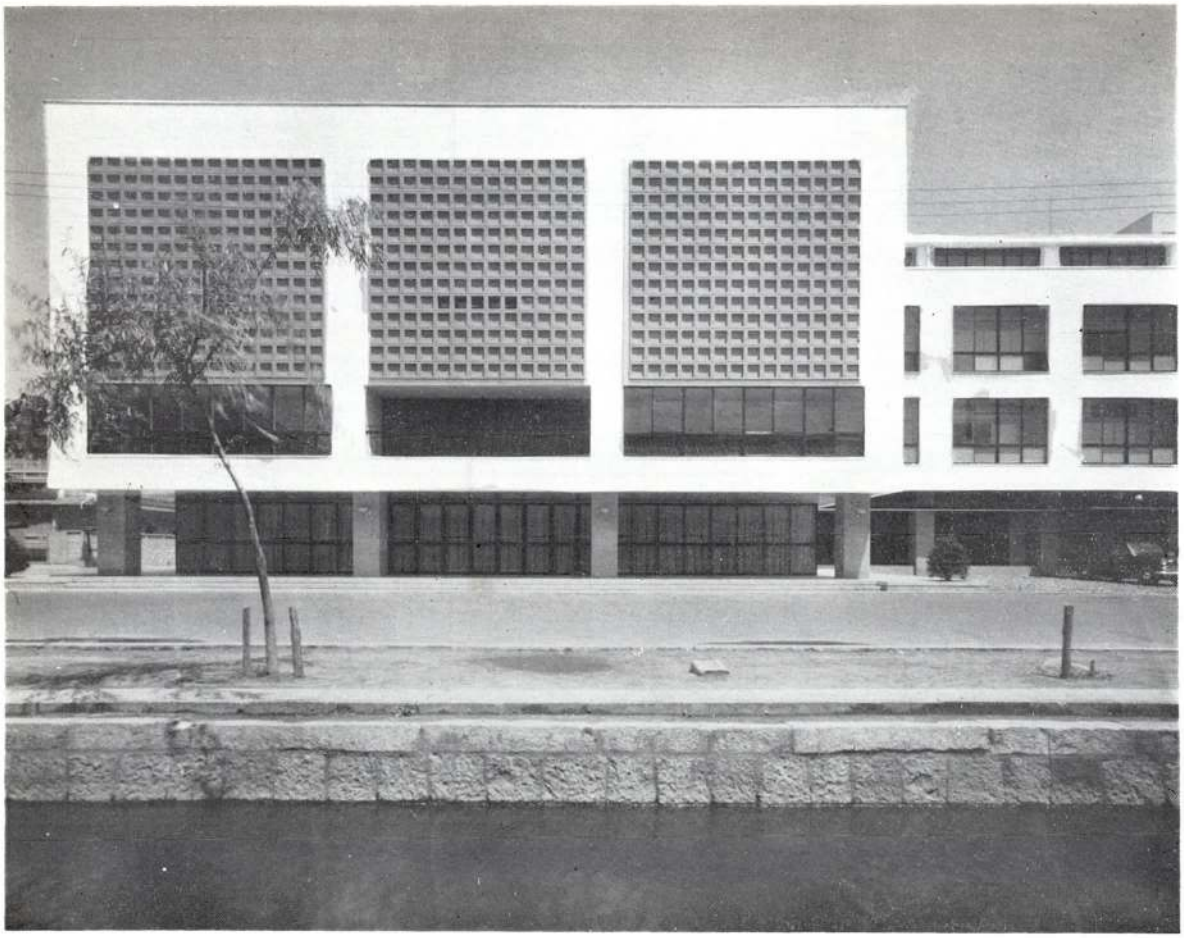


5 階

1. 貸　室



淀屋橋勧銀ビル平面図・断面図



大谷ホール正面（撮影：多比良　敏雄）

大谷婦人会館

設　計　KK安井建築設計事務所
施　工　東海興業KK大阪支店

位　置	京都市下京区諏訪町通六条下ル	
構　造	鉄骨鉄筋コンクリート造	
延面積	本　館	1,808.14m² 546.97坪
	ホール	1,699.07m² 513.96坪
	合　計	3,507.21m² 1,060.93坪
工　期	着工	昭和35年2月1日
	竣工	昭和36年4月1日

大谷婦人会館施工者のことば

東海興業(株)大阪支店

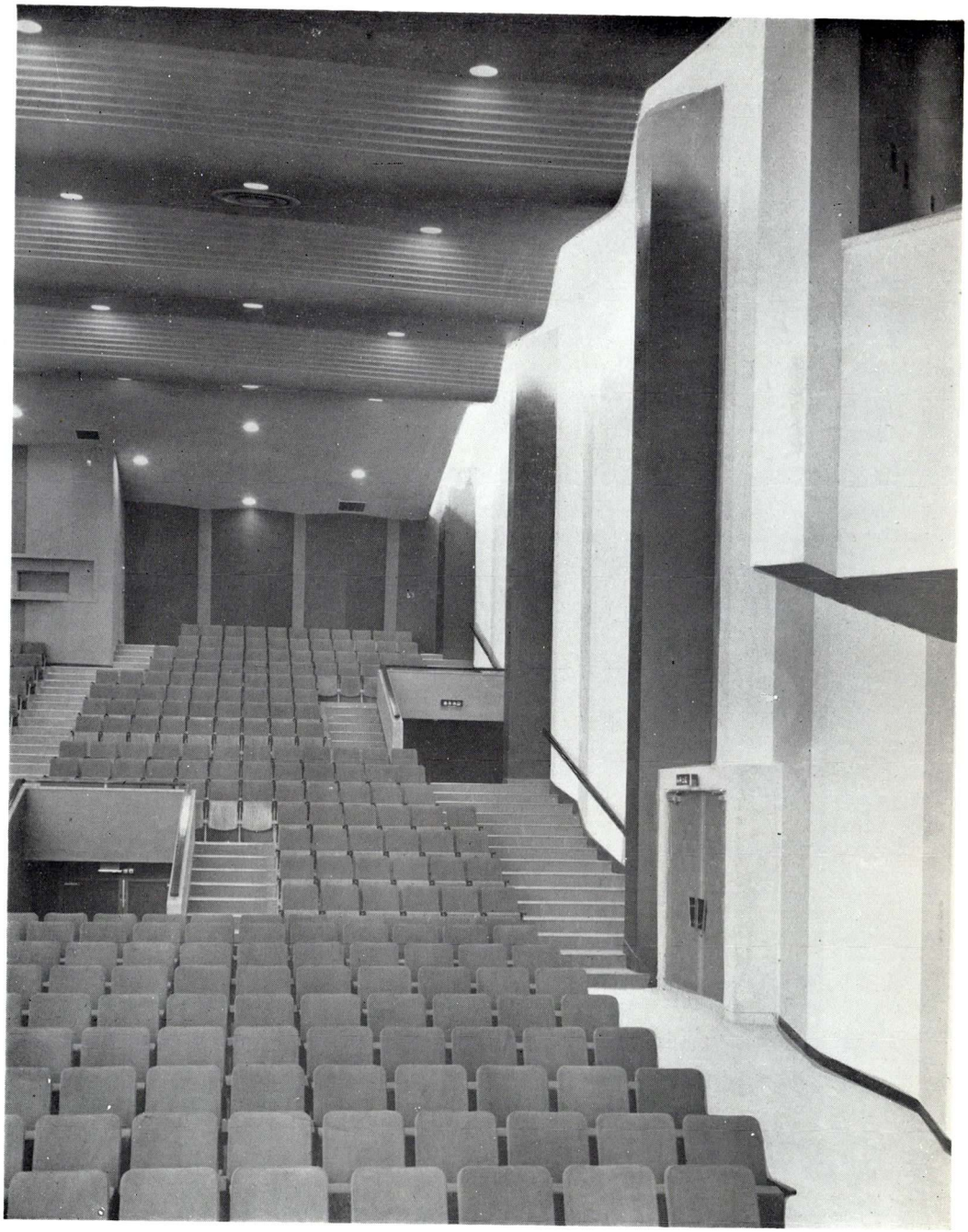
今春行なわれた親鸞聖人七百回大遠忌は，まことに盛大な行事であったが，これには，宗祖の霊を祀るということのほかに，この機会に全国信徒の信仰を高めて宗門の繁栄を図るという大切な目的があった。したがって五十年に一度の，この盛儀に因んで，種々の記念事業が計画され，信徒の研修道場，教役者養成機関の拡充などがそれぞれ整備されるに至った。

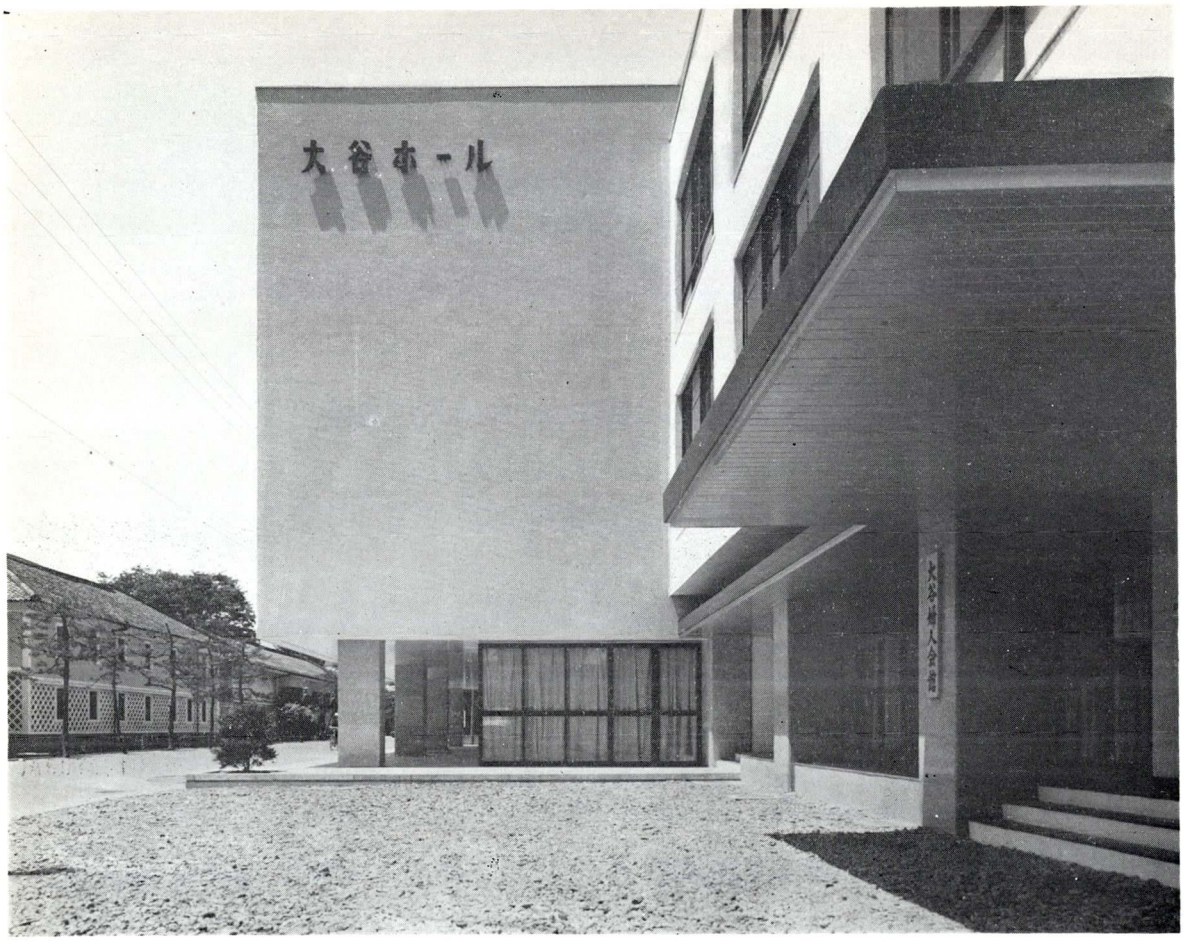
この会館は，大谷智子裏方が主宰される，全国十余万の婦人会員信徒の懇志の結晶として，七年前から計画され，今日の完成を見るに至ったもので，研修，懇親の機関として申し分がなく，会館は大小各種の和風集会室，裏千家流茶室，その他よりなり，全国信徒に開放され，また附設の大谷ホールは，婦人会大会，大谷楽苑演奏会などに用いられるほか，京都市での文化的な集りにも提供される。

工事は京都特有の良好な砂利層地盤と，地下一階程度までは湧水の無い好条件とに恵まれて，施工上の難点も無く，順調に進み，特記するような事柄は起らなかった。

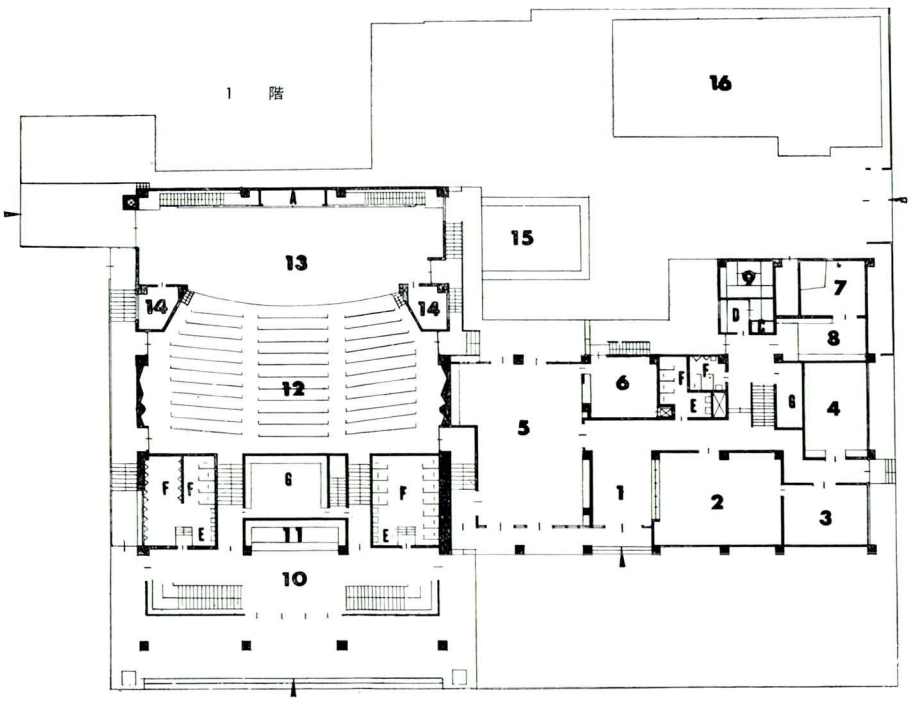
さきに完成した古風な様式の同朋会館と，今回完成の婦人会館とはまことに対照的で，このような記念建造物を，東本願寺大伽藍の両翼に建設できたことは施工者としても感慨深いものがある。

ホール内部





大谷ホール側面



1 階

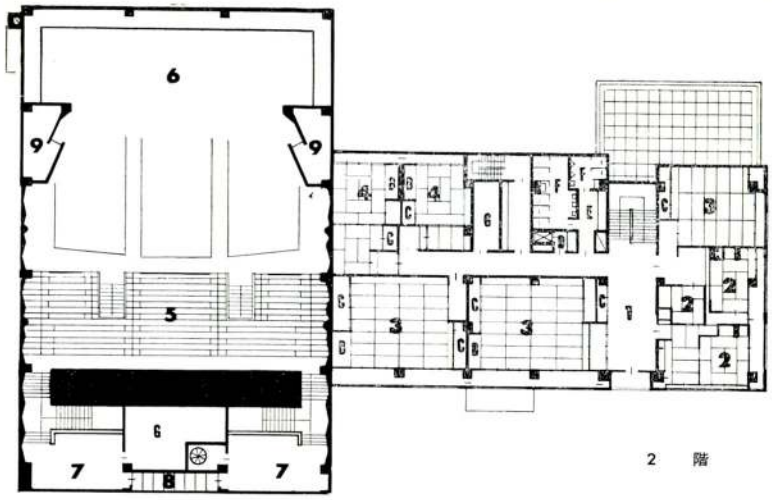
1. ホール
2. 事務室
3. 会長室
4. 会議室
5. 食堂談話室
6. 厨房配膳室
7. 浴室
8. 脱衣室
9. 宿直室
10. ロビー
11. クローク
12. 客席
13. ステージ
14. 調整室
15. 貯水池
16. 在来建物

大谷婦人会館

A 御内仏
B 床間
C 押入
D 湯沸場
E 化粧室
F 便所
G 物入

2 階

1. ホール
2. 茶室
3. 研修室
4. 休憩室
5. 客席
6. 舞台上部
7. 喫煙室



2 階

3 地

1. ホール
2. 大広間
3. 集会室
4. 広間
5. 客席
6. 映写室
7. 技士室
8. 舞台上部



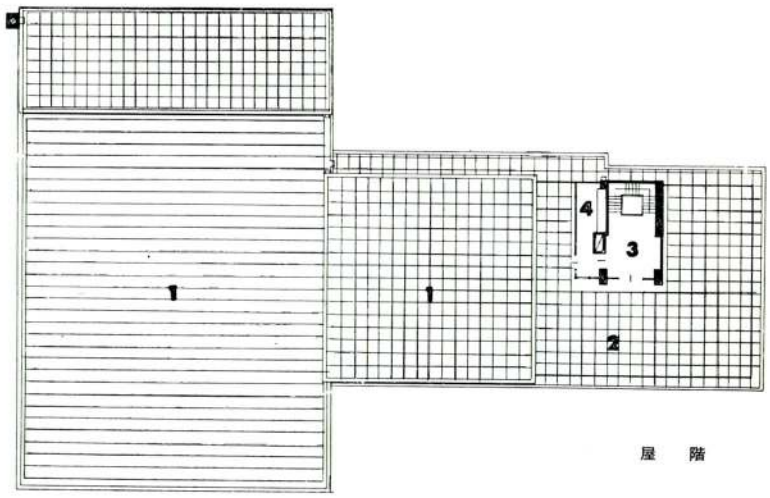
3 階

地 階

1. 通路
2. 機械室
3. 控室
4. 倉庫
5. 電気室



地 階



屋 階

1. 屋上
2. 露台
3. ホール
4. 洗濯場



大阪
広銀ビル

設計監理　河内義就設計事務所
施　工　株式会社　増　岡　組



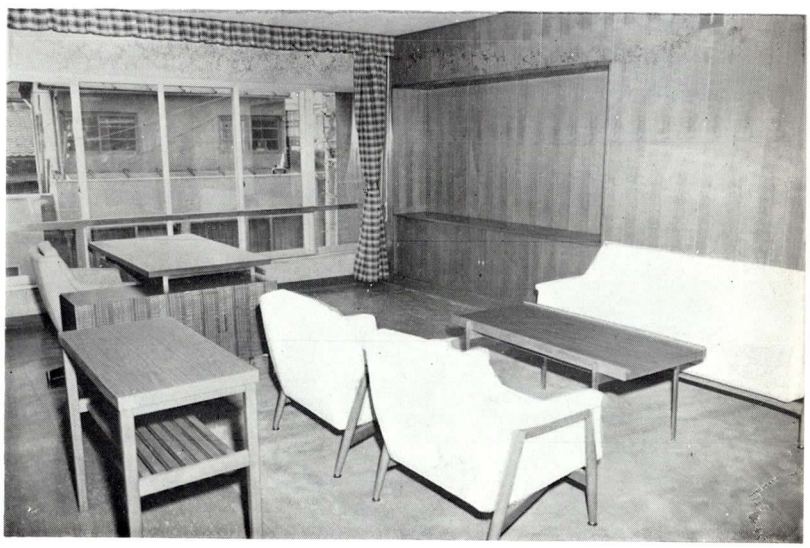
建　物　概　要

建物位置	大阪市東区北浜3丁目7番地
敷地面積	502,636.25m² 角地
建物面積	建築面積464.940m²
	延面積 4,886.381m²
工　期	着工 昭和35年3月1日
	竣工 昭和36年6月中旬
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階　数	地下2階 地上8階 塔屋2階
建物高さ	塔屋上端 39.30 m
	屋階パラペット 31.00 m
	基礎下端 −9.075m
建物外装	床：万成御影板石小叩
	2階窓上迄柱型：北木錆石本磨き
	1階および中2階窓上から2階窓
	水切迄：浮金石本磨き
	窓下：アルミニュームスパンドレル壁：半磁器タイル貼
	外部窓：完全防熱防音ペアー硝子使用

大阪
広銀ビル







附帯設備概要

電気設備

発電設備　ディゼルエンジン直結交流発電機設置

電灯設備　全階螢光照明

電話設備　局線200回線
各階別に交換設備設置可能

エレベーター　正面玄関2台　各16人乗
自動車リフト1台（地下室）

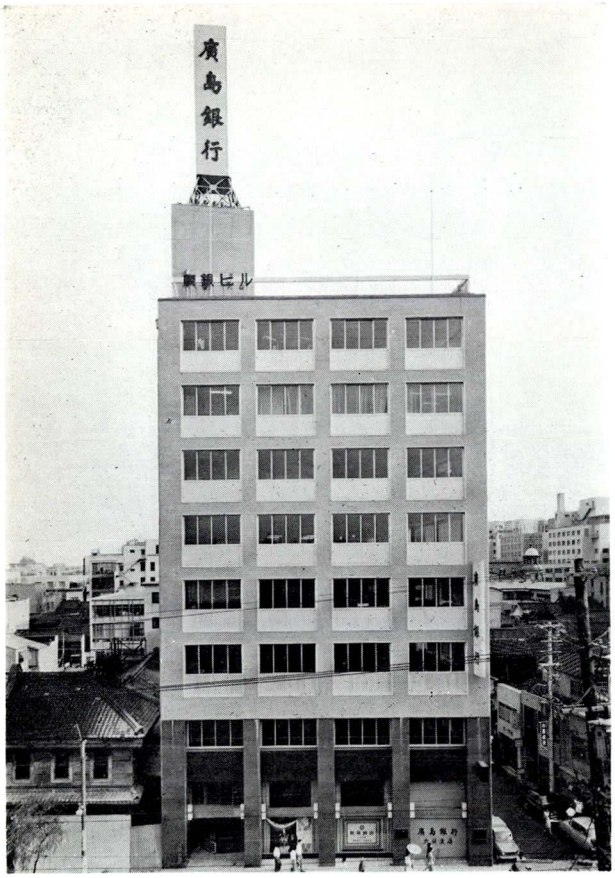
その他　車庫内　ターンテーブル
火災報知装置
避雷針設備
テレビ共同アンテナ
電気時計
銀行玄関オートマチック（電気自動）ドアー2カ所

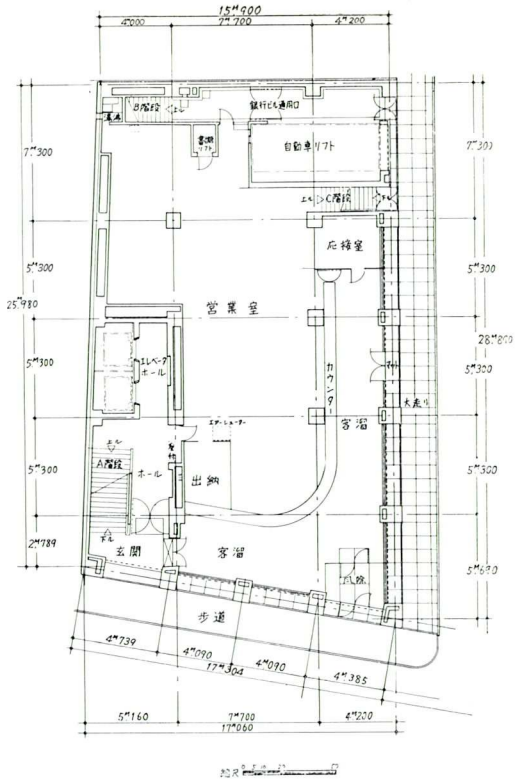
冷暖房設備

全館冷暖房空冷ヒートポンプ式ダクトシステム
車庫，倉庫，各階便所，湯沸室は機械換気とする

衛生設備

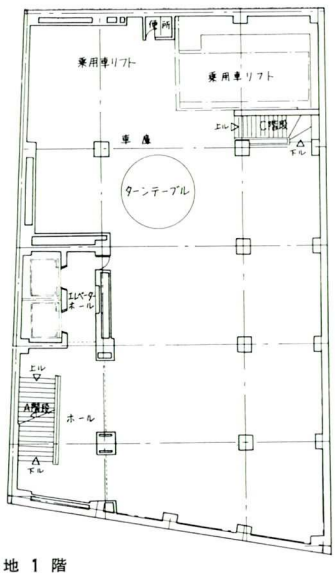
全館水道水使用給水施設完備
各階水洗便所，湯沸室施設完備
消火栓は各階1カ所設置瓦斯施設その他





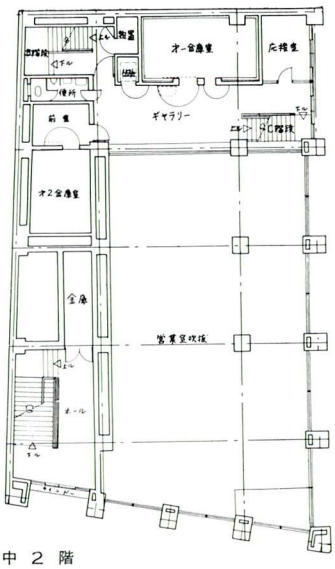
1　階

大阪
広銀ビル

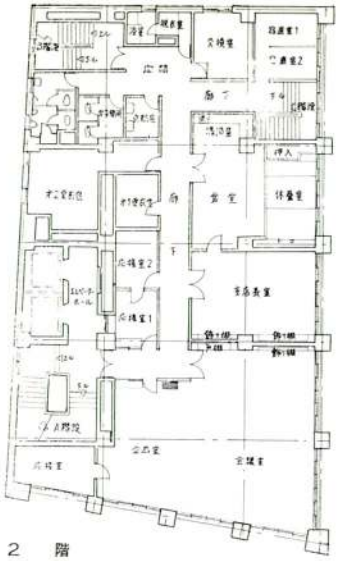


地 1 階

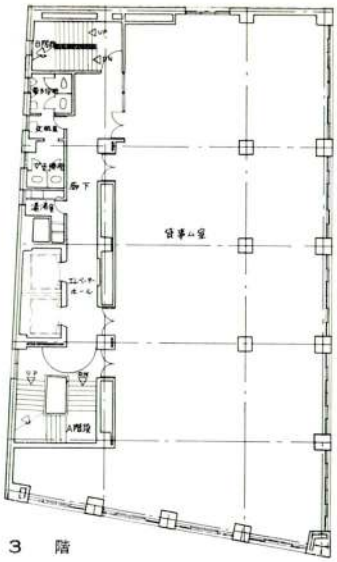
（地 2 階はこれとほぼ同様）



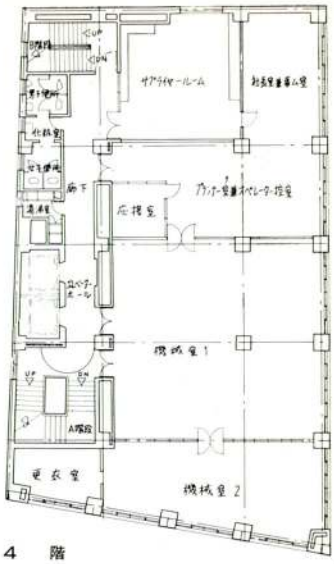
中 2 階



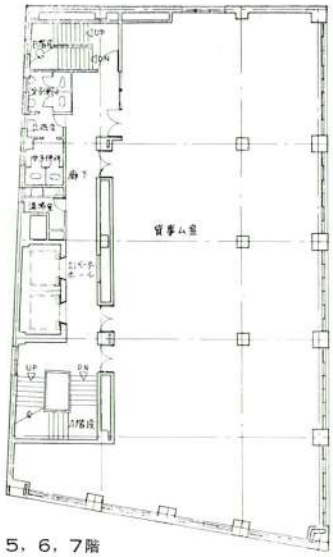
2　階



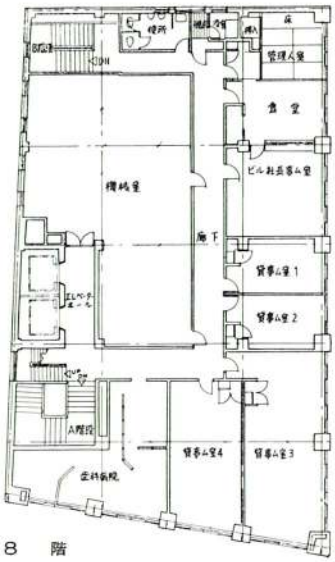
3　階



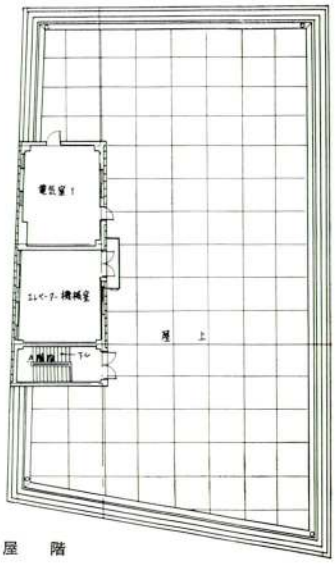
4　階



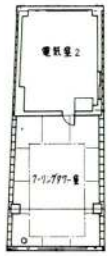
5，6，7階



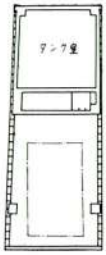
8　階



屋　階



塔２階



塔３階



塔　屋

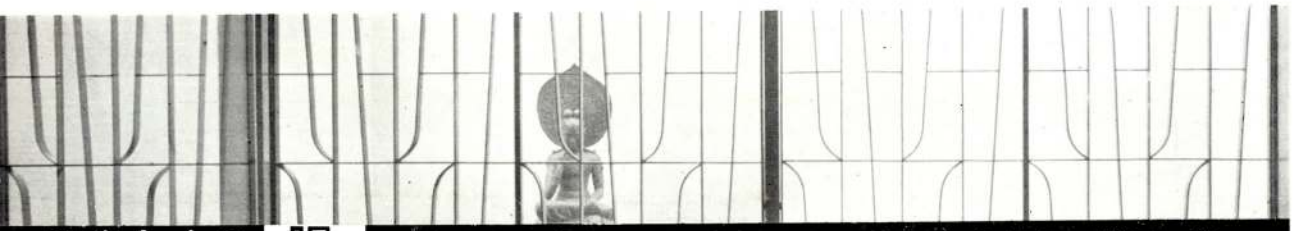
広銀ビル（大阪）平面図

建　築　の　混　乱

都市における建築の混乱があらゆるジャーナリズムを賑わし，もはや建築家だけの手には負えないような感じがする。近代資本主義を基盤として進展した混乱を救済するに，社会主義的手段をもって望まねばならぬような羽目に落ちこんでいる。建築家がオリジナリティを自負する間は問題解決は困難なので，これを放棄する義務のある街区を定めれば，建築家の自尊心も楽になる。もちろん，総高（低いものを高くさせる）・階高・壁面線・スカイラインなどが規制の対象になるだろう。こんなことをいえば「お前は建築屋か」と叱られそうだが，法律的手段によらなければ混乱は加速度を増す一方である。これでは建築家にとってもマイナスではなかろうか。団地開発の新しい町造りに併行して旧い都市の町造りを考えたいものである。建築家が都市において自我を主張し続けた暁に，アイディアに詰りでもしたら，その無秩序を笑われる……などと考えるのはあまりにも思い過しであろうか。　(TT)

建築奇準法について

われわれが建築のデザインを押し進めて行く場合に（それが事務所建築であれオーディトリウムであれアパートであれ），困惑する問題のひとつに建築基準法がある。なるほど不法建築を取締り環境をよくし安全な建物をつくるという立前から基準法ができたことは百も承知しているが，何となく他の法律同様，〝御役所仕事云々〟と皮肉られているように割り切れぬ点が多い。このために基準法のための建物だと苦笑したり，法規とにらみあわしていたら設計ができた？というような珍現象が起ってくる。いま思いついただけでも，居室の開口部，用途地域の実状性，建物の面積算定法，避難階段，建築面積の敷地面積に対する割合，防火区画など数え上げたらきりがない。おまけに建築基準法以外に実にいろいろの法規がある。いわく消防法，医療法，食品衛生法，興業場法等。将来の建築デザインの発展のためにも疑問の多い条項を再検討し，数多くの法律を統一したいものだ。さもなけれ，いつまでも基準法ならぬ奇準法とせせら笑いつづけるだろう。　(KT)



けんちくの眼

担当５０音順：鍛治延男・上村幸之・寺谷敏行・前田　治

（次号は新しい執筆者に担当してもらいます。）

鉄　鋼　組　立　住　宅

最近鉄鋼組立住宅は，単価，規模，タイミングの上からも，一般庶民の感覚をうまくとらえて，ますます伸展しそうな趨勢にある。クーラーの一台でも買う金があれば，インスタントルームが得られるのである。新婚家庭向とか，子供の遊戯室，勉強室にとか，いろいろと使用目的はあるが（現在そのような特定の需要を対象に売出されているように思うが），将来この鉄鋼組立住宅が，単に木材費，労務費の値上り問題ばかりでなく，耐久的な面からも，木造住宅に変る恒久庶民住宅として価値あるものでありたいと思うのである。プレファブ住宅はコストが安いというだけでなく，耐久的，かつ快適なものであってこそローコストが喜ばれるのであり，その意味において，防寒，防暑，遮音，パネルの互換性，将来の増築などの問題をこんごさらに研究改善してゆく必要があるのではなかろうか。最小限住宅は公営住宅においてすでに苦い経験済みである。中規模住宅を目標に今後の発展がのぞまれる。　(MO)

倍　　増

生産の合理化や所得倍増計画が建設業界にも叫ばれるようになったのは喜ばしいが，事故が相変らず多いのは困ったことである。それは倍増を目的とする無理な工程にもよるが，作業員の不足と未熟が，それに拍車をかけているのにもその原因があるように思われる。安全規則や条令などで型の上ではずいぶん揃ってはいるが，作業員の末端にいたるまでに，精神的な面にも浸透されなければ意味はない。技能や資格を要する作業工程がかなり増加しているから，事故は少なくなるはずであるが，作業の機械器具による単調化が頭脳的にかえって悪いのかも知れない。しかし建設業界の好況時にこそ充分な工期を獲得し，作業員は技能を修練しながら生産性の向上に邁進してはじめて，所得倍増の機運が訪れるのではなかろうか。全国的に各職人の労働賃金を上げる運動がおこされている時でもあり，正しい工程管理によってぜひ成功させねばならぬことである。　(KN)

部材と規格 —JISと建築—

長沢武

Ⅰ. まえがき

日本工業規格の制度の根拠法規である「工業標準化法」は昭和24年6月1日に判定されており本年で12年経過したことになるわけである。その間，経済界は敗戦の虚脱期から脱けでて飛躍的に発展し，工業技術はまた戦争中の遅れを埋めてようやく国際水準に伍するようになり，一方新技術新製品の出現もおびただしい数にのぼり，これら前戦の補給部門を受持っているともいえる規格制定の業務もいろいろの意味で難しい時期にさしかかってきた。

建築の分野でも，プレファブとか，モデュールとか，新製品とくに合成樹脂系統の建材へ出現とかいろいろ多岐な問題に当面して，その処理だけでも大変なことであると考えている。もともと建築部門は自動車，車輛，船舶，航空機などの産業とかたをならべて同じく綜合産業の分野に属するものとされているが，著しくその事情を異にしていることはいまさらいうまでもない。たとえば，（1）生産手段が移動しその現場工程が多いこと（2）一品生産であることなどいくつかの根本的な相違点が思いつくわけであるが，それぞれ他産業の規格の体系を一瞥して比較してもそれが原因して長短両様の特長があらわれていることに気がつくものである。

したがって，できるだけ全業種の規格体系と比較しながら，建築の規格体系の全貌を鳥瞰してみることによって現況も把握し，今後の計画も確立するのではないかと考えるわけであるが，短期日の執筆でもあり準備も不足していて，あるいは充分目的が果たせないかもしれないが，その点ご了承いただければ幸いである。

Ⅱ. JSのおいたち

さきに述べたように，工業標準化法にもとずく日本工業規格（JIS）の制度の歴史は今年で10余年にすぎないが，国家が工業標準を制度としてとり上げた時期は，すでに日本の近代がはじまった明治にさかのぼるものである。

明治政府の「殖産興業」「富国強兵」の政策によって工鉱業は手厚い保護育成策がとられ，次第に諸種の産業が急激に発展したわけであるが，工業標準化の面でもそれと軌を同じくして種々対策を樹てられたことが記録に見られるのである。すなわち，陸軍の小銃の制式化や，明治20年「小銃薬，山砲薬，野砲薬の製造法」および明治40年「火薬製造法および受領試験規格」など主として政府購入物資に対する標準が設定されたが，それと同じ目的で明治38年「ポルトランドセメント試験方法」が農商務省告示で公布されているのが建築材料のJISのはしりともいえるものである。また，船舶関係では明治29年「船舶検査法」，明治33年「鉄鋼船検査規程」，明治34年「木船検査規程」「機関検査規程」「船灯信号器救命具検査規程」など一連の規格があり，電気事業関係でも明治44年「電気工事規程」の公布にさきだって，それの先駆をなして明治20年ごろより種々の技術規準類が制定されているが，これらは公共の保安安全を目的とした標準の魁ともいえるものである。

工業標準化の契機としては，以上のように政府購入物資の仕様とか，あるいは公共保安の技術的規準に関連するものなどが極く初期の段階に発生するものであるが，工業が次第に高度化するにしたがって，生産使用両部門間を調整するものとか，製品の均一性あるいは互換性を高めるとか，取引を単純公正化するとかの目的をもった性格のものになるものである。

第2次大戦前のJESや臨JESの制度はまだ読者方の記憶に残っているものと思うが，前者は大正10年に発足した「工業品規格統一調査会」の組織によって審議制定されたもので，昭和16年までに金属材料，その他の材料，電気機器，一般機器の4部門について制定規格数520件，改正規格数154件，合計674件のものが取扱われた。

これは英国の1901年を例外として，アメリカが1918年，フランスが1918年，ドイツが1917年のように欧米先進国では国家規格制度が発足している時期と前後してい

別表（1）

部門別規格制定および表示制度一覧表

（昭和36年3月末現在）

部門記号	部門	制定規格数	表示制度	
			表示指定品目数	許可件数
A	土木建築	181	42	1,196
B	機械	684	165	1,282
C	電気	460	102	855
D	自動車	171	36	114
E	鉄道	85	17	134
F	船舶	382	1	7
G	鉄鋼	166	42	540
H	非鉄金属	216	33	183
K	化学	1,346	165	1,524
L	繊維	338	35	300
M	鉱山	140	12	67
P	パルプ紙	75	17	82
R	窯業	172	42	478
S	日用品	211	75	802
T	医療	125	4	16
W	航空	226	11	16
Z	溶接	42	8	12
	包装	96	27	336
	基本	76	—	—
	放射線	45	9	5
計		5,255	843	7,949

別表（2）

A部門の項目別番号および規格数

番号	項目	規格数
0001～0999	一般構造	3
1000～2999	試験，検査，測量	55
3000～3999	設計および計画	2
4000～4999	設備および建具	10
5000～6999	材料および部品	75
7000～8999	施工	2
8000～8999	施工機械器具	11
9000～9999	雑	31

ることは興味がもたれるものである。

その後，昭和12年日華事変の勃発のため急速に多数の規格を決める必要が生じ「臨時日本標準規格（臨JES）」の制度が生まれたが，これによって従来の工業標準の性格が大きく変換したものであった。すなわち規格制定改正の手続の簡略化，戦時の要求する技術水準の切下げがおこなわれたわけである。これによって昭和14年から終戦までに931件の規格が制定されているが，前記のJESに比べると数的にみて進度がひじょうに大きくなったことがわかるのである。この間，工業規格は経済統制あるいは物価政策と表裏一体の役割を果たしたのであるが，なかんづく，航空機規格，戦標船，S形工作機械などズバリ戦時を象徴したものもあったのである。

戦後，昭和21年2月，前記の「工業品規格統一調査会」は新しく設置された「工業標準調査会」にその業務を引継ぎ，事務局は内閣技術院の廃庁によって商工省外局の特許標準局に移った。この調査会は「日本規格これもJESと称した」とよぶ国家規格を定めたが，これは「日本化学規格」「日本機械規格」……というように20の部門にわかれ，工業標準化法が施行になるまでに約2,100件の規格を制定した。

Ⅲ．JISの現況

以上の諸制度を引きついで，新しく昭和24年6月に発足した「日本工業規格（JIS）」はつぎの通り法，第2条に規定されているように，その対象が広汎な範囲におよぶものであり，また鉱工業品の主管官庁も通産，建設，厚生，農林，運輸，文部，郵政，内閣と各省にわたるものである。

（1）鉱工業品（医薬品，農薬，化学肥料，蚕糸および食料品その他農林物資規格法による農林物資を除く）の種類，形式，形状寸法，構造，装備，品質，等級，成分，性能，耐久度または安全度。

（2）鉱工業品の生産方法，設計方法，製図方法，使用方法もしくは原単位または鉱工業品の生産に関する作業方法もしくは安全条件。

（3）鉱工業品の包装の種類，形式，形状，寸法，構造，性能もしくは等級または包装方法。

（4）鉱工業品に関する試験，分析，鑑定，検査，または測定の方法

（5）鉱工業品の技術に関する用語，略語，記号，符号標準数または単位。

（6）建築物その他の構築物の設計，施工方法または安全条件。

規格の分類は17部門にわかれていて，昭和36年3月末現在の規格数は別表（1）の通り全部で7,949件になっている。

また，規格にはそれぞれ番号がつけられていて，たとえば「A 4601-59 木製建具（カラ戸，フラッシュ戸）」のように，部門記号と4桁の数字および制定あるいは改正の年号を併記するようになっている。なお，はじめの

桁の数字，さらにはつぎの桁の数字によってつぎつぎと細分類されるようになっているが，A部門（建築，土木）では別表（2）の通りである。それによると，各項目ごとの規格数は一般構造，設計および計画，施工の部が極端に低いがこれは数字がかならずしも内容の稠密度を示すものではないにせよ，比較的その分野が充実していないとはいえる。

Ⅳ．建築とJIS

規格の部門別の分類方法としては生産部門による分類と使用部門による分類と2通り考えられ，その間にはっきりした規準があるとはいえないが，原則としては使用部門が1部門にかぎるときは使用部門に分類し，2部門以上にわたるときはそのものの生産部門に分類するようにされている。たとえば石綿スレートなど屋根材は建築にかぎられているのでA部門に，圧延鋼材のように多部門で使用されるものは生産部門のG部門（鉄鋼）に分類されている。それゆえ，建築に関係のあるものが全部A部門に属しているわけではなく，その他の部門に属しているものも一瞥すると別表（3）のようになるのである。

規格が広く利用され滲透するためには基礎的，共通的なものから優先して制定され，各項目間にバランスがとられていなければならないが，前節末尾のように建築部門でも，また広く全規格体系を見渡しても比較的アンバランスであることはいなめない。これは制定されやすいものから順次規格化してきたという安易さもあろうが，重要な意味をもつものでありながら規格としてまとめあげられるにはまだ諸般の条件が成熟していないという原因もあることがおおいに関係している。たとえば「建築諸材料の耐候性試験方法」などにみられるようにその必要なことはだれにも明瞭なことがらでありながら広汎な試験と調査を要し未だに定説がなく実現をみていないのである。そのため工業技術院でも傘下の試験所に特別研究を委托するとか民間団体に研究補助金を交付して共同研究を促進するなどの方法で実現を急いでいるが，これに類する案件はどの部門でも相当数残されていて，大きな問題となっている。

建築モデユールも度量衡の統一，建築産業のプレファブへの移行などの理由から制定を急いでいたが，さいわい関係方面での結晶作用が意外にはかどって制定一歩前のところまできたことはよろこぶべきことである。これなどは基本的な柱として建築関係の全規格に大きな作用をもたらすものと期待できるのである。

Ⅴ．JISマーク表示制度

JISマークについては最近頻繁にマスコミ方面でとりあげられていて，諸者方にも身近かにうけとっていただ

別表（3）

建築関係規格一覧

A部門（土木建築）

土木製図，建築製図，建具記号
コンクリートおよび骨材試験方法，土の試験方法，
建築物および材料の防火試験方法など
木造学校建物，し尿浄化そうの容量算定基準
避雷針，エレベータ，木製建具，鋼製サッシおよびドアー，アルミニユームサッシ
砕石，軽量骨材，石材，衛生陶器およびその附属金具，タイル，土木用セメントおよびコンクリート製品類，建築用セメントおよびコンクリート製品類
錠，丁番，ワイヤラス，メタルラス，釘，戸車，畳床および畳
繊維板類，アスファルトルーフイングおよびフエルト
セツユウボード，石灰およびプラスター
動力ウインチ，ミキサ，コンクリート振動機，鋼製支柱
鋼管製足場，鋼製型ワイパネル，シヨベル，スコツプ，ツルハシ
各種木材の防腐処理方法および防腐処理木材，木材防腐剤の性能試験方法，各種保温保冷材

B部門（機　械）

リベット類，ネヂ類，ボルト，ナット類，バルブ継手類，工具作業用具類，測定計算用機械器具，物理試験機

C部門（電　気）

電気測定，試験用機械器具，電線，電線管およびその附属品，電球，ガイシおよびガイ管，アーク溶接機

G部門（鉄　鋼）

構造用圧延鋼材類，亜鉛鉄板，鋼管類，軟鋼線材，ピアノ線材，軽量形鋼，ワイヤロープ，PC鋼線およびPC鋼より線，溶接金網，ステンレス鋼材

H部門（非鉄金属）

銅板，アルミニウム板，水道用鉛管

K部門（化　学）

アスファルト，ペイントエナメル類，その他塗料類，硬質ビニール管，木材接着材，木材防腐剤類

M部門（鉱　山）

保安帽

R部門（窯　業）

板ガラス，セメント類，陶管，レンガ，耐火レンガ

S部門（日用品）

学校用家具，鋼製事務用家具，学用品

Z部門（基本，一般）

金属材料試験関係，溶接関係，標準フルイ

いているものと考えるが，建築材料では他部門に比較してひじょうに普及し公正取引に役立っているものと見ている。これはその流通機構からみて，あるいは異常な現象としなければならないが，建設省はじめ諸官庁が率先して採用し，また建築部門では官庁需要が他の産業部門に比べてひじょうに比重が高いことがその理由であるわけである。

建築需要は地域的に凹凸はあるにせよ，一応は広く全国に分布しており，また公営住宅などではとくに地元企業のものを優先する傾向があるので，したがってそれに対応してJIS許可工場も輸送の足の短いものはとくにまんべんなく分布していなければ円滑な供給はおこなわれにくいものである。その点，生産者側にも需要者側にもある程度ふんいきが醸しだされているので今後の進展はいままでよりもかなり速度がはやまる見通しであるが，絶えず地域別の講習会説明会を催すとか一方許可工場の検査を厳重に励行して声価の維持に努めるようにして，さらに徹底したものにしなくてはならないと考える。

VI．JISの今後の問題点

第Ⅱ節で述べたようにわが国の工業標準化事業は政府の購入物資および保安の目的から出発したものであり，大正後期に入って産業政策的な方向にむかいはじめたものの，日華事変以降は戦争遂行のためにその本来の姿が歪められた次第であって，工業標準化法の目的である「鉱工業品の品質の改善，生産能率の増進その他生産の合理化，取引の単純公正化および使用または消費の合理化をはかり，あわせて公共の福祉の増進に寄与する」の姿が最近になってどうにか具現化しはじめたものと考えられたいのである。

欧米の先進国では日本のように政府が直接規格の制定をおこなうようなことはせずに，民間機構によって作られたものを必要あるときは政府が承認するような形をとって国家規格としており，民間団体規格と政府規格との間には，はっきり領域をわけるような仕組みになっている。つまり団体規格のなかから基幹的共通的なものを抽象して国家規格ができあがり，枝葉的個別的なものは団体規格に委ねるわけであって国家規格の性格をはっきりとさせているのである。これは技術団体あるいは事業者団体のあり方にも由来するものであるが，工業標準化の普及がなお層の厚いものになるためにはぜひわが国でも団体規格の助長育成策がはっきりうちだされなければならないと考える。さいわい建築関係では日本建築学会がJAASを広汎に制定しておられ，また他分野の規格についてまでも使用者の立場から先導的に提案をおこなわれるなど，ある程度の素地はできているものと思う。

第Ⅳ節で少し触れたように現下の建築規格の焦点は建築モデュールの問題にしぼられるものであって，寸法系列の問題のみならず，それを補遺する製図方法，用語の問題あるいは建築精度の問題など一連の規格をできるだけ短い期間で完成をみ，さらに建築材料，部材などの寸法形状の検討にすすんでいければさいわいであるが，これには広汎な支持と協力がなくては到底不可能なことであり，とくに日本建築協会の下に力が結集されることを要望する次第である。

参考文献：
わが国の工業標準化　日本規格協会発行
規格総目録　〃

（筆者　工業技術院材料規格課長）



建築界待望の新扉錠……！
ゴール ユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式會社 谷山製作所
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37)3117．5871．7724
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠

モデュールと規格

鈴木雅夫

モデュールと規格

規格は，建築界を始め工業界全般に広く存在しているが，そこに使用されている寸法系列は，外来または古来寸法のメートル換算値が多く，表向はメートル制を形どっているが，一貫した寸法のシステムにのっているとはいえない。したがって，多くの部品から構成されている建築物においても，一部の部材（例えば木材など）を除いて，規格寸法に基いた寸法を使用して，各生産部材を効率よく配置することは，ほとんど不可能で無視されているのが現状である。そこには多くの材料の無駄と，建築寸法に合せるための多くの労力が浪費されている。このような状態にある時，現代の産業界は，あらゆる生産材の工場生産化さらに建築物の組立化を要求し，加えてローコストのために混乱している規格寸法，建築寸法を調整しようとする動きが生まれて来た。すなわち，建築に関係するあらゆる寸法を調整し，統一ある一つの体系にまとめあげるという考え方，モデュラー・コオーディネーション（Modular Coordination 略して M・C）の概念である。それは，建築のコスト・ダウンという経済的要求，工場生産化および組立化という社会的要求に答える「現代の建築生産工業化の鍵」として登場したのである。モデュール（Module）は，この体系づけに基本的な寸法単位を与える数値または数値群である。規格寸法はモデュール方式を適用している国では，モデュール数値から選択されるわけである。したがって，モデュールと規格は明確に意味を異にするもので，いうならば，モデュールは，「建築標準数」ともいうべきものであろう。

モデュールの現代的意義

モデュールは，ギリシャ語の[1]モズルス（Modulus）を語源とするように，主に神殿のプロポーション設定のための基本尺度として使用され，美的統一の媒介体であった。わが国における木割も M・C の一種であって，「伝統的な建築設計の経験を帰納的に整理し部材間のプロポーションを完全数化しようとする努力」の結実であると同時に，職人に簡単に技術を習得させかつ地方に至るまで広い伝播性をもっていたことに，単にプロポーションのためのモデュールである以上の大きな意義を持っていた。近代に入って，モデュールはプロポーションの道具としての段階から，建築産業工業化の道具としての段階へと必然的に動いていった。米国の[2]A・F・ベミスの「立体モデュール方式」，独乙の E・ノイフェルトの「オクターメーター法」は際った存在で，戦後の米国および独乙の建築規格の基盤となった方式である。そして，第1次，第2次世界大戦中の軍需工場および兵舎の短期間に大量に必要とする軍需的要求，戦後の極端な住宅不足からくる社会的要求は，現場生産的建築産業界に革命をもたらすような，労働力と資材を節約し，短期間に所要の建物を完成させるような方法が研究され，M・C はそれを解決する鍵としてクローズアップされた。1940～1950年代に入るとモデュールは実験や提案の時期から実施段階へと移行し，各国でそれぞれのモデュール方式が建築規格とし採用され，国際的活動としても，[3]EPA（ヨーロッパ生産本部）が，ヨーロッパ各国の住宅問題解決のためその研究に入り，1953年 EPA. Project No174 のリポートが提出され，さらに第2段階の研究に入っている。M・C は国際的立場から行われた時にその真価が発揮される。この事を考えれば，EPA の活動は実に意義深いものがあるといわねばならない。このように，モデュールの方式は，建築生産工業化という新しい目的をもって，現代建築界に取上られたわけであるが，ここで特異な存在として，1948年フランスのル・コルビジュエに依って提唱された[4]「モデュロール」について触れねばならない。モデュロールは，氏の深い経験と研究，そして鋭い直感力から生まれた。黄金比と人間的天度に基くフィボナチ数列に展開した数列群であった。これは使い方に一般性を持っていなかった（数値が少い。限られたプロポーションである。加算性に対する不満など）ため，ひじょうな敬意と反響を呼んだ反面，広範囲に採用されることはなかったが新しい M・C の考え方に片寄りがちなモデュール

研究に大きな刺激を与えその影響力は少なくなかった。

モデュール方式に対する工業的な面からの要求

現代的衣をまとったモデュールの方式は，どのような要求を満たすものでなければならないか，この点について英国のナンバー・パターンの提唱者，E・エーレンクランツはその著書[5]の中で次のように述べている。」一連の寸法系列は，次の状態を満足するように選択されるべきである。

1. 最初にあげねばならない重要な問題は，ローコストになるべきことである。
2. デザインの自由を認めること，デザイナーに確実さと信頼を与えるようなものであること。
3. 材料それ自体の固有の性質の限度，製造および処理過程について考慮し，自然な状態で使われるようなものであること。
4. デザイナーにとって有益な道具となり，産業のプロセスと相ぶつかり合うことのないようなプロポーションこのシステムを含めるべきである。美的中立性の中には，視覚上のフレキシビリティとプロポーションの関連性を含めるべきである。
5. 数値的に見て，運営していくのに簡単で解り易いものであること。
6. できるなら米制と呎制を採用しているいずれの国にも使うことのできるような方式であるべきである。
7. 各項は加算的性格を含んでいなければならない。
8. 人体測定のデーター，効率のよい経済的構造サイズ建築のようにさまざまな形にきめられた設計寸法との関連性について考慮されるべきである。」

デザインの自由を確保する問題，プロポーションの問題などについては別の機会に譲ることにして，ここでは部品の工場生産化すなわち生産材寸法の標準化にあたって要求されるモデュール方式の性格について考えてみたい。

（1）材料固有の性質あるいは使用上の性質から数値を選択できるような方式であること。例えば，畳は藺草の長さから巾がほぼ1米以内に限定され且つ容易に持ち運びができることが前提とされるように。

（2）各生産工場，組立部品工場の効率を向上させるような方式であること。例えば，パネルなどの寸法をできるだけ減らし，異種のものでも同じような性質を持っているものはできるだけ統一し生産寸法の種類を減らす方向にもってゆくべきである。生産材寸法を幾種類も作らざるを得ないような方式では，工場の能率を著るしく低下させMCの精神に反する結果となる。

（3）経済性を持つものであること。これは（2）とも関連するが，最小の数で最大の自由度を持つことが眼目である。例えば，切断できるパネルは，切断した残りの半端な部分もモデュール数値で他の箇処に利用でき，さらに多くの組合せの可能性が期待できるような寸法であることが望ましい。

（4）各構成材寸法間にも相互に関連性がなくてはならない。モデュールの方式がその数値間に優れた関連性を持つものであるならば，この問題は容易に解決されよう。建物は多くの部品から構成されている。これを一般に構成材(Components)といい，部分品（Sections），構成単位（Units），集成材（Assemb'ies），からなっている。例えば，ユニットとしての窓単位は，スチール，または木製の枠組，ガラス，パネルなどから構成されている。これらの部分品間の寸法と窓単位としての寸法との関連づけ，さらに窓ユニットとそれをはめ込む開口部，それを構成する壁，……等々の関連性も必要になってくるわけである。

（5）従来の既存寸法，規格寸法などを無視したものであってはならない。現在まで使用されてきた生産機械がすべて廃棄処分になるような寸法系列では，工業界から見放されるばかりでなく，大きな混乱をひき起こすことになろう。

以上のようにMCを適用するためのモデュール方式は多くの難しい問題を含有し，数的な組合せだけで解決できるものではないことが明確に理解できるのである。

モデュールはどのように解決してきたか

現在まで提案されてきたさまざまなモデュールのなかで，工業的方向に解答を与えているものを2，3あげ，その特色を概略のべてみる。

（1）立体モデュール方式

これは，1936年米国のA・F・ベミスが，その10年間の研究の成果をその著書「The evolving house Ⅲ」（伸びゆく住宅）において発表した最初の興味深い提案のひとつであった。基本モデュール（3吋と4吋のふたつの寸法をあげているが）寸法の倍数はすべてモデュール寸法として採用するというもので，これによって生産材の寸法の統一をはかり，寸法の範囲を明確にし，かつ無駄をはぶき高い経済性を得ることにあった。これは1945年の米国規格4吋モデュールの骨格をなすもので，米法に換算された10cmモデュールとともに世界的に使用されている方式である。ベミスの考え方は高く評価されMCの工業的方向に一段階を築くものとして注目された。しかし簡単で明快な反面，4吋の倍数の中で使用されない数値が多くある点，数値の数が多い割には4吋の倍数しかないというフレキシビリティの要求，大きな生産材寸法には目盛が小さすぎる点などの欠点が指摘された。これに対して4ft 0″のオーヴァーモデュールなどの考え方が生れるなど，欠点を補いつつ広く使われている。

（2）オクター・メーター法（1表参照）

独乙のエルンスト・ノイフエルトによって提唱されたこの方式は，メートル法に適合し古い伝統的煉瓦ともあまり相違のない煉瓦寸法を定めようとしたときに生まれたもので，1mを8等分する方法なので通常の10進法（Decimal system）に対称させてオクター・メーター法（Octamater system）とした。彼は，第2次世界大戦から戦後まで，法的強制力という強力なバックボーンを得て，2.50^{M}および1.25^{M}を基本モデュールと基準格子を作くり，建築生産材を関連づけそれまでの規格や慣習寸法を統一した。そしてさらに工場や兵舎に留ることなくこの基準格子によって設計から施工までを単純化し，独乙建築産業全体に大きな経済性を生みだすすなわちMCの確立を企り，1951年の独乙建築標準数の基礎を築いた。

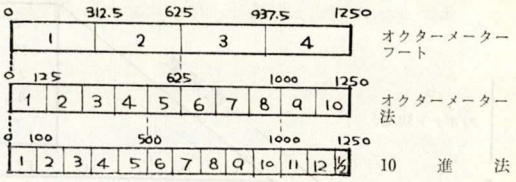
（3）ルナール級数（2表）

これは1880年フランスのルナール大佐が標準数として発表したもので，多くの国で採用している工業標準数の代表的なもので，1945年国際標準機構のR3，R17として国際的にも認められ，工業上関連深い数値系列とし考えないわけにはいかない。十進法，等比級数，2倍級数，πが導入され，単純で，積，商，整数べき，½も標準数であり，工業上使用頻度の多い数値を含んでいる，など優れた点が多い。

（4）ナンバー・パターン（3表）

英国のE・エーレンクランツの提唱になるもので，多くの研究と経験の結果得られた三つのガイド級数すなわち2倍級数，3倍級数，フィボナチ級数をそれぞれのプラスになる性格が残り，マイナスとなる性質がなくなるようにX・Y・Z三方向に展開したものである。そして次のようなすぐれた性格をもっている。i）非常に多くの同じ値の小さな寸法に分けることができる。（ex: 16＝4×4，2×8，…）…グリフト・プランニングに有効である。ii）相異る小さなサイズに分けることができる。（ex: 8＝3＋5，15＝9＋6…）… ファサードの設計に有効。iii）大きな数値と小さな数値に分括できる。（ex: 8＋1＝9，9＋1＝10…）…パネル構造に有効である。iv）広い範囲のプロポーションが含まれている。v）増加の間隔が規則的である。vi）数値の自由度が多彩である。vii）切断しても端数とならずモデュール寸法となる。特にこの方式は（v）～（vii）特色がある。すなわち①能率よく工場で生産できる大きなサイズ，②その半分，③3分の1のサイズ，④3分の2のサイズ，⑤⑥加算性を有するフィボナチの一対のサイズから構成された表（第4表）を作成し，切断できるパネル系統の生産材に有効な解決を与え，それらの規格化にすぐれた示唆を与えるものとして注目してよいものと思う。この表で，下段の小さな数値は，数値間隔（Interval）を表わし，例えば，96″のモデュール寸法では，そのグループのもつ

（1）オクターメーター法

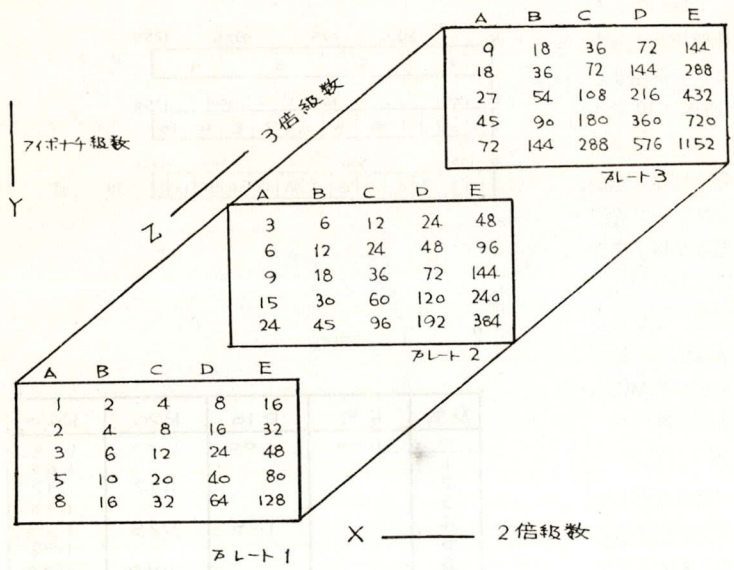


（2）ルナール級数

友数	R5	R10	R20	R40
0	1.00	1.00	1.00	1.00
1				1.06
2			1.12	1.12
3				1.18
4		1.25	1.25	1.25
5				1.32
6			1.40	1.40
7				1.50
8	1.60	1.60	1.60	1.60
9				1.70
10			1.80	1.80
11				1.90
12		2.00	2.00	2.00
13				2.12
14			2.24	2.24
15				2.36
16	2.50	2.50	2.50	2.50
17				2.65
18			2.80	2.85
19				3.00
20		3.15	3.15	3.15
21				3.35
22			3.55	3.55
23				3.75
24	4.00	4.00	4.00	4.00
25				4.25
26			4.50	4.50
27				4.75
28		5.00	5.00	5.00
29				5.30
30			5.60	5.60
31				6.00
32	6.30	6.30	6.30	6.30
33				6.70
34			7.10	7.10
35				7.50
36		8.00	8.00	8.00
37				8.50
38			9.00	9.00
39				9.50
40	10.00	10.00	10.00	10.00

数値（48″，32″，64″，36″，60″）を適当に組合せることによって4″の間隔ですなわち100″，104″，108″……のように寸法が得られることを示し，パネル構造などに多彩なフレキシビリティを与えるわけである。こればかりでなく，三枚の数表パネルは，三枚の透明プラスチック板に印刷され，これを立体的に組合せて，½，⅓などの分括，倍数，フィボナチ数値の一対などが一目で読みとる

（3）ナンバー・パターン



（4）

Base Dimension	24	27	30	32	36	40	45	48	54	60	64	72	80	81	90	96	108	120	128	135	144
1/2	12	13½	15	16	18	20	22½	24	27	30	32	36	40	40½	45	48	54	60	64	67½	72
1/3	8	9	10	—	12	—	15	16	18	20	—	24	—	27	30	32	36	40	—	45	48
2/3	16	18	20	—	24	—	30	32	36	40	—	48	—	54	60	64	72	80	—	90	96
Fibonacci pair	9	—	12	12	13½	16	18	18	—	24	24	27	32	—	36	36	—	48	48	54	54
	15	—	18	20	22½	24	27	30	—	36	40	45	48	—	54	60	—	72	80	81	90
Intervals	3	4½	3	4	4½	4	3	4	9	4	8	3	8	—	6	4	18	8	—	9	12
	4		5		6		4½	6		6					9			12			
										10					15						

ことができるように工夫がこらされ，このシステムを使い易いものにしようとする努力には敬意を表さねばなるまい。

いまやわれわれの時代は1人の人間の名人仕事，あるいは細工物的建築から，均一な工場生産によって組立てるだけでで き上る建築への要望が強くなっている。さまざまな小単位の部材よりは，組合された大きな単位の集成材としての形体をとる傾向が支配的になろう。あらゆる生産材は，一貫した寸法の体系で結びつけられる必要があることは最早いうまでもない。そして規格寸法もモデュールの中から選択されることの方が経済的にも使用上も便利であることは，ここではいいつくされてしまった。

わが国の現状

最後に，わが国におけるモデュールと規格の歩みについて概略的にふれることにする。わが国のMCの発展は，メートル法の導入によって生まれ，それとともに一進一退し，その施行によって始めて結論づけようとしているといっても過言ではない。伝統的な優れたMCの方法に恵まれていた建築界は，明治20年頃の西洋文明の急激な進入すなわちレンガ造，石造，コンクリート造などの洋風建築の導入にあってその設計寸法と材料方法との混乱からそれらをまとめようという考え方が起った。しかし，さまざまな反対，伝統への郷愁のために，その考え方は，度々中断され，本格的研究は，戦後に入ってからであった。東大池辺研究室のGM[6]モデュール，内田[7]研究室のDφ，モデュロールの紹介と改良案などの実験研究が重ねられ，1956年頃からモデュール提案時代に入りさまざまな提案がなされたが，メートル法の施行がひとつの期となって，1959年頃からモデュールの乱立からくる混乱を防ぎひとつの組織に体系付けようとする動きに変り，1960年，日本建築学会モデュール調査委員会提案の建築モデュールが建設，通産両大臣の諮問に対する答申書として提出された。この案は，1）人体動作寸法，2）建築常用寸法，3）材料寸法，4）建築法規およびTIS関係の使用寸法，5）市場品寸法，6）現在提案されている各種モデュールの数値などを基として必要な寸法を選択しただけのもので，数列としての組織性（数値間の関連づけ），10進法との関係，数値個数，など検討されているのが現状である。この点については，多くの人達の関心と理解，よりよきものとするための努力が要求さあれるのでる。

(注)

（1）ウイトルウイウス研究　森田慶一
（2）Albert Farwell Bemis : The Cubical Modular Method.
（3）E. P. A (European Productive Agency)
（4）「Modulor」Le Corbsuier.
（5）「The Modular Number Pattern」Etzra Ehrenkrantz.
（6）G.M 国際建築 58.07
（7）D.φ 〃 58.04

（筆者　大阪市建築局住宅部建設課設計係）

規　格　と　プ　レ　フ　ァ　ブ

吉　田　圭　三

建築の工業化とプレファブ

最近「建築の工業化」が盛んにいわれている。大巾な設備投資や公共投資て建築量が増大した結果労務不足はようやく深刻な問題となってきている。かつての神武景気時の建築ブームには鋼材の不足と高騰で苦労したことは未だ記憶の新しいことだが，今回のブームは規模において遙かに大きいにもかかわらず，鋼材の供給は全く問題になっていない。これは鋼材が工業製品であって，その後の生産増強や設備の近代化で，生産量が2倍程度になっているためである。反面新規の補充が次第に減少している建設労務者はどうにもならない状況であるが，この問題を解決する方法は限られた労務者でより多くの生産を行なうこと，いいかえればひとつの建物をできるだけ少い労務量で完成すること，すなわち建築を工業化して生産性を向上する以外に方法がない。このような背景に立って昨年は20数社がプレファブ住宅の生産を開始した。技術的に未熟な点はあっても建築の工業化えの大きなステップとして大いに意義があると思う。プレファブは住宅だけのものではないが西欧諸国の例を見ても，住宅がつねに先導的役割を演じている。その原因は住宅不足と労務不足であってこの点わが国の場合と同様であるが，西欧の場合には政府施策の共同住宅でプレファブ化が非常に進歩している。住宅は一般建築と比較してプレファブ化に非常に適合性を持っている。すなわち，1）住宅不足に起因する茫大な需要があること，2）使用目的や規模が各々一致している，3）敷地による制約が比較的に少ないこと，4）経済的な制約が大きいことなどがあげられる。とくに大量に自ら建設する公営，公団住宅などは最も有利な状件を具えており，この点住宅建設にたづさわるわれわれとしては，プレファブ住宅はもっとも大きな関心事である。

しかしながら建築の工業化は建築産業全般として考えるべき性質のものでありプレファブ住宅によって代表されるべきものではない。プレファブ住宅は高度に工業化された生産物かも知れないが，これは建築の工業化という大きな流れがなければ過去にあったような単なる試作としてのプレファブに終ってしまうだろう。航空機の発達はたんに航空機工業だけが生んだ産物でなく，もっと広範囲な機械工業や燃料工業の産物である。建築生産の非近代性は従来の一品生産手法により，建築の各々の性格と芸術性に立脚して永い伝統の上に育ってきたが，建築の工業化は先づ「工業製品としての建築」えの認識から出発しなければならない。

建築の工業化の方向を次のように分類して見る。

1）材料，単位部品の工業化
　例，セメント，板硝子，鋼材二次製品，塗料 etc
2）集成部品の量産化
　例，サッシュ，ドアー，エレベーター etc.
3）施工の合理化と機械化

建築の主要材料といわれる鋼材，セメント，硝子などは現状において工業化が非常に進んだ部門であり，ほとんど大企業によって国際水準に達しているといっても差支えない。したがって今後の大きな未開拓分野である部品の量産化と施工の合理化に重点を置かなければならない。部品の量産化と施工方式や機械の発達は建築の部分としてのユニットとしての生産や組立えと容易に発展するであろう。

結局建築の工業化ということは口でいうほど簡単なものではない。一般工業も手工業から大工業化えと同じ過程を経ており，この間には長期間のたゆみない努力と研究と協力が積まれている。遅ればせながらようやく工業化えの意識が擡頭してきたこんにち，われわれは単なる観念論に流れないで，国家も設計者も使用者もメーカーもひとつになってこの問題をあせらずに一歩一歩進めて行く協力体制が最も重要なことではないだろうか。

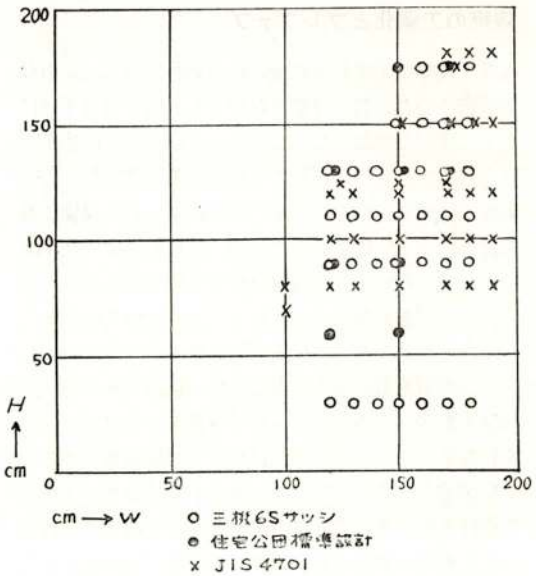
部品と規格について

工業生産は受注生産でなく見込生産を前提としなければならない，この場合まづ問題になるのは製品の寸法，品質に対する規格である。わが国では国家規格(National Standard) として日本工業規格（JIS）がある。これは工

業標準化法に準拠して工業標準調査会を審議機関として決定される。JIS の目的は鉱工業製品の品質改善，生産合理化，能率化，取引の単純公正化であるが，その在り方として科学的合理性を持ち，特定の立場の利益にならないことをあげている。そのほか国際的なものでは国際規格（International Standard）もあるが，もっと身近なものとして適用範囲によって社内規格（Company Standard）と団体規格（Group Standard）がある。適切な例でないかも知れないが建築で例をあげると6Sサッシュはメーカーが作った社内規格であり，公団型流しユニットは使用者が作った社内規格である。さらにサッシュメーカーが協議して規格を決めればこれは団体規格である。規格を充実することは必要であるがこのためには統一性と一貫性がなければならない。ただゴタゴタと複雑になっただけでは規格の目的に反する。社内規格や団体規格が国家規格の JIS と無関係に作られては国家規格の意義がない。社内規格や団体規格は一般性を持った JIS の単純化と充実でなければならない。単純化は用途にしたがってさらに種類を少くすることであり，充実は品質向上のための補足である。したがってこの基本となる JIS の決定については，さらにその基礎となるモデュールや品質の問題についても十分な検討が必要である。いま部品の工業生産の対照となる鋼製建具を例にとって考えて見よう。鋼製建具に JIS があったかとお思いの方も中にはあるかも知れないが，それほどわれわれには縁の少いものともいえる。JIS A 4701 のうち，用途として事務所，学校，住宅，工場などすべてのものを対称として引違鋼製建具として次のものをあげている。（寸法以外は略す）

H	*W*	記号
700	1,000	S 1007
800	1,000	S 1008
	1,200	S 1208
	1,300	S 1308
	1,500	S 1508
	1,700	S 1708
	1,800	S 1808
	1,900	S 1908
1,000	1,200	S 1210
	1,300	S 1310
	1,500	S 1510
	1,700	S 1710
	1,800	S 1810
	1,900	S 1910
1,200	1,200	S 1212
	1,300	S 1312
	1,500	S 1512
	1,700	S 1712
	1,800	S 1812
	1,900	S 1912
1,250	1,250	S 12125
	1,500	S 15125
	1,700	S 17125
1,500	1,500	S 1515
	1,700	S 1715
	1,800	S 1815
	1,900	S 1915
1,740	1,700	S 1717
1,800	1,700	S 1718
	1,800	S 1818
	1,900	S 1918

すなわち JIS には31種類の寸法規格がある。この数の多寡と寸法の適切か否かは今後モデュール数値とも関連して最検討すべきであろうが，この問題はさて置いても，使用目的が非常に多岐に亘っていることから，単純化してもなお相当数は必要であろう。31種類ではよほどの大メーカーでないと全種目を生産することは全く大変で，生産性向上は到底のぞめない。製品のストックのみでも大変な数量になり，とくに中小企業の多いわが国では全く困難な話である。現に規格サッシと銘打って単に型録上の規格で生産の伴っていないものもある。種類寸法を比較するため JIS，三機工業 6S サッシュ，住宅公団標準寸法を比較して見ると



JIS の31種類，6S の 35種類は殆んど無関係であり同一寸法は僅かに 4 種類である。すなわち国家規格と社内規格との関連性はほとんど欠けている。

住宅公団標準設計使用寸法は僅か 9 個である。これは過去の数十種類の思い思いの寸法を整理統一して単純化したものであって，この 9 個の標準はテラスハウス，中層住宅（壁構造およびラーメン構造）ポイントハウスの小家族用から大家族用に至るまで適用し得る。すなわち共同住宅用という一目的を抽出して見ると単純化が可能であることを裏付けている。しかしこれも JIS とは同一寸法は殆んど見当らないで，むしろ 6S サッシュと割合によく合致している。

以上からいえることは住宅グループ，事務所，学校を 1 グループ，工場，倉庫などのグループなどに用途別の分類を行なえば，単純化が行ない易いのではないかと思われる。工場と住宅用では品質や仕様も変ってくるわけであるが，グループ分類は寸法，仕様の点で生産方針と標準化を容易ならしめ，A メーカーは社の方針として住宅用サッシュ，B メーカーは少し高級な仕様にして事務

所専用とかで専門化して品質を向上するといった具合に，さらに小メーカーはジョイントベンチャー方式によってさらに規格を細分し，多種目少量生産を小種目多量生産に切換えて，生産向上と品質向上をねらうといった具合には行かないものであろうか，ともかくこんごスチールサッシュの規格を決める場合には国家規格も再検討するが，上記のようなグループ別の団体規格を作り，この作る方法は使用者，メーカーが充分協議した上で作成し，さらに国家規格とも関連を持たせて単純化と標準化を進めて行くことが重要ではないかと思う。この場合のJISとしては寸法と重点となる品質の規準，測定，試験方法，精度などの基本的事項をかかげあとは社内規格や団体規格として単純化と充実する方針が望ましい。

エレベーターについても全く同様なことがいえる。エレベーターは自動車に較べて値段が高すぎるとよくいわれる。まさにその通りであるが，これは作られ方によって違ってくる。すなわちいずれも大会社が工場生産しているが，自動車の大量生産に対しエレベーターは注文による一品生産である。大メーカーであるM電機会社の，乗用エレベーター生産台数は年間600台であるが，殆んどが別々のものである。現在乗用エレベーターにはJIS A 4301によると籠の形状に次の11種類がある。

記号	積載荷重 kg	最大人員 人	カゴの内法寸法 A	カゴの内法寸法 B	その他
P-6-2S	400	6	1,150	900	
P-7-2S	500	7	1,150	1,100	
P-9-2S	600	9	1,250	1,250	省
P-11-CO	750	11	1,450	1,300	
P-11-2S	750	11	1,300	1,450	
P-13-CO	900	13	1,550	1,350	
P-13-2S	900	13	1,350	1,550	
P-15-CO	1,000	15	1,700	1,400	略
P-17-CO	1,150	17	1,900	1,400	
P-20-CO	1,350	20	2,000	1,500	
P-20-2CO	1,350	20	1,500	2,000	

現在のエレベーターは既成品は殆んど無いため，メーカーがその都度注文に合せて設計，製作する。エレベーターの大きさ，台数は使用人員によって決まるが，これは極めて大まかな仮定で，1人2人を決定付けるほどの根拠はなく，むしろ直感的に決めることが多い。したがって最初の6人用の上は10人用，15人用，20人用ていどの段階で充分であると考える。4種類程度で年間600台も生産したら，値段は驚くほど安くなることは必至で，メーカーにとっても使用者にとっても大変な利益になるばかりでなく，設計者も手数を省けることになる。部品が複雑化すればするほど多種目生産は不利な結果となるから思い切って単純化し，その種類を減すことが必要ではないだろうか。

標準化への道

1） 標準化はすべてのものに

生産性の向上には単純化，標準化，専門化の三つが重要なる役割を果たす。すなわち単純化の結果から統一によって標準化され，さらに標準化によって専門化が促進される。標準化は単に製品規格ばかりでなく作業，機械，設備，運搬，施工，さらに大きく経営にまであらゆるものを通じて行なわれることが望ましい。この標準化の一つの基本になるのが規格であるが，標準化のためには測定単位，用語，記号，設計方法，モデュール，材料規格，製品規格，仕様書などが統一されなければならない。建築施工に対しても熟練者の感による一枚の工程線表で施工管理（単に工程管理）するがごとき非科学性は少くとも建築を近代産業化することはできない。現場作業のすべてに科学的な分析と研究によって標準化し，職員を充分教育，訓練して単なる工程管理だけではなく，さらに品質管理を行なう方向をとらなければならない。

2） 規格の励行

現在規格の中で質，量ともに一番充実しているのはドイツのDINであるといわれている。この充実振りはある建築計画原論の権威者さえも，半端な研究よりはDINをそのまま活用する方が遙かに実用的であるといっている。さらにその規格を忠実に守ることも世界随一といわれているが，この思想が工業国としてのドイツを築いたともいえる。規格を十分検討して決めることも必要であるが，それにも増してこれを守って行くことが，もつとも重要なことで，このためには設計者，使用者，メーカーも大いに協力を必要とする。とくに設計に従事するものの工業化への関心が必要である。工業化設計ともいうべき言葉が当て嵌まるか知れないが，堪能なる職人によって始めて得られる手工芸的な手法をでき得る限り避けて，少しでも機械化やプリファブ的な手法を導入することが必要である。

3） 生産技術に対する研究

建築の工業化は材料，部品，施工すなわち生産技術の向上に帰する。建築技術の研究投資は日本全国のあらゆるものを合計しても一電気メーカーのそれにもおよばない。したがって比較的費用を要する生産技術関係には殆んど金が廻ってこないのが現状である。ここにも建築産業が近代産業から大きく取り残された原因がある。最近のプリファブ住宅が従来の建設業ではなく殆んどが他産業によって開発されていることも大いに注目される。他産業から見れば近代産業から取り残されたひとつの未開拓部門かも知れないが，土地というものから縁を切ることができない特種性は，上にのべたような一般産業の公式通りに行かないことは充分予想される。とくに建築全体としての生産の重要な要素を占めている施工の合理化の研究は，そのスケールが非常に重要であることと経済的な制約からどうしても本番を通じて行なわざるを得ない結果となり，思い切った試験や試作がなかなか困難な場合が多いのもひとつの悩みであるが，最近に見られる施工業者の研究への熱意はでき得る限り従来缺けていた生産技術面へ，おおいに努力して貰いたいものである。

（筆者　日本住宅公団調査研究課長）

公団住宅の部品規格化について

田　中　弥　一

日本住宅公団が発足して，今年で満6年になる。この間，日本の歴史上かってないというと少し大げさな表現だが，それほど前例を越えた大きな住宅団地が，東京，大阪，名古屋，福岡の近傍に続々と建設され，多くの人が，団地内の生活を楽しんでいる。「ダンチ」という言葉が，このように一般性をもったのは，住宅公団が大きな住宅団地を作ってからのことで，住宅公団が，この新しい「ダンチ」という言葉の生みの親である。

このように，沢山の住宅が建設されるのであるから，その生産方法を，多量生産のルートの上にのせて，①品質を確保し，②値段を安くし，③工事期間を短くし，④出来た住宅の補修などの場合，部品が簡単に間に合って，迅速に修繕できるようにするということは，だれでもすぐに考えられることである。

この考え方の線に沿って，日本住宅公団も色々研究をし，実施している。

その内容を分析してみると，

①現場工法の近代化，と

②部品の規格化

の二つの支柱から成り立っていると思う。

このうち現場工法の近代化については，Tilt-up工法や，Sliding-form工法などが研究され，とくに，Tilt-up工法は東京方面で既に500戸程度実施して，その成績も期待を裏切らないものがある。しかしいまの所その実例は，二階建までで，4～5階の中層にはおよんでいない。中層住宅もこのTilt-up工法でできるという見通しがついて，近く実験的に建設される日がくると思うが何にしても，部品が重いコンクリート製品であるから，これを吊上げるのに，相当大規模なクレーの設備がいるので，一寸した造船所のような設備になるので生じつかな戸数では，逆に不経済なことにもなりかねないので，初めから腰をすえてかかる必要がある。そこで，現在のところでは，現場工法は，旧態依然たる現場の，手工業的生産方法によっている，というのが実際の姿である。

第二の支柱の，部品の規格化の方は，これにくらべれば，はるかに進んで，相当の実績を挙げている。

現在大阪支所で，部品が規格化されているものは，次表のように23品目である。

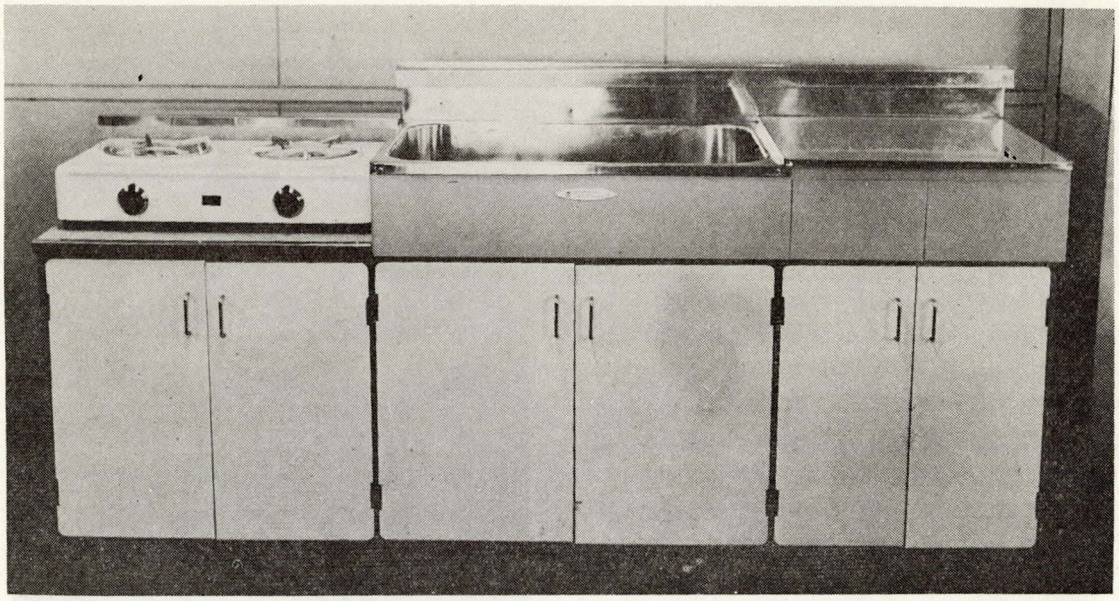
	品名	指定メーカー
建築	◎台所流し台	高島屋，阪神，日本エナメル
	台所釣戸棚	高島屋，阪神
	台所水切棚	—
	牛乳受箱	日本エナメル
	◎玄関ドア	近畿車輛，西日本規格サッシュKK
	名札掛	—
	バルコニー手摺	—
	スチールサッシ	近畿車輛
電気	◎エレベーター	三菱電機KK
	◎小型電気ファン	松下，三菱，栗田，東芝
	◎小型換気ファン用シャッター	〃　〃　〃　〃
	照明器具	各社
	分電盤	〃
衛生	◎洋風便器	東洋陶器，伊奈製陶
	◎小型洗面器	〃　〃
	◎小型手洗器	〃　〃
	（ガス風呂）浴槽	大阪ガス
	焚口カバー	〃
	異型管	各社
	消火栓	〃
土木	道路用街路樹（蓋共）	—
	雨水桝（〃）	—
	L型街渠	—

注　◎はKJマークのもの。

このなかには，メーカーと直結して，真に部品規格化の名に値するものと，単に規格だけを決めて，メーカーはどこでも，規格のものでありさえすればよい，というものと，二種類があるが，後者は，設計段階の意味が加わっていると見られるかも知れない。

＊　　＊　　＊

日本住宅公団における，部品規格の指定の仕組はどう



台所流し台

なっているかというと，一口にいって，公団本所が推薦し，支所が決定する，ということになっている。

住宅公団は一本なのだから，部品規格の決定も一本で全国統一的にやればよいようだけれども，これが支所ごとに決められているのは住宅公団の発足の時の事情からくる歴史的な結果と，現在の生産状態からくる客観的な事情との二つの原因がある。

第1の原因は，住宅公団が，昭和30年の年度半ばに発足して，その年度のうちに，2万戸という沢山の住宅を建てなければならないという，火事場のさわぎのような状態でスタートしなければならなかったことである。普通なら2〜3年調査研究して，その成果を以ってスタートすべきなのに，逆にスタートしてから，研究するようなことになって，統一的なものがなく，各支所がそれぞれに工夫をこらして実際の建設に取りかかった。そのために各支所に独特のものがあって，にわかに統一できないということである。大阪支所の台所流し台の如きは，その最も顕著な事例である。しかしこれは，その後順次統一されて，いまではあまり目立たない程度になり，やがて近い将来は，全く解消して統一されると思う。

第2の原因は，現在の生産，販売の事情が進歩しないと，むつかしい点があるが，全国的な大メーカーの場合は，大体難はないが，中小メーカーになると，生産，販売機構が，一地方に偏在して，製品にクレームのあった場合の処理や，アフターサービスに欠陥のある場合がある。こういったものは，支所毎に規格指定がまちまちになっても仕方がないといえる。例えば錠のごときものである。しかしこれは，メーカーの態勢が調う経済機構の進歩によって，将来は統一の方向に向って行くものと思う。

*　　*　　*

さて本所推薦の部品規格にはいろいろあるが，その根幹をなしているのが，公共住宅用規格部品委員会が製定した規格部品で，いわゆるKJマークのものである。この委員会は，建設者，住宅金融公庫，東京都，神奈川県および住宅公団から委員がでて政府政策による公共住宅の部品の規格をきめて，これを推進するのであるが，この中核になっているのが日本住宅公団である。

KJは毎年その年度の版をだしているが，61年版では13品目が指定になっている。そのうち大阪支所で採用しているのは，別表に示したように8品目である。ただKJと公団住宅と，趣旨が異なっている点がなくはない。KJは木造の場合も含まれているが，住宅公団は鉄筋コンクリート造だけであることと，一般公営住宅と比較して，公団住宅は，家賃も高いので，やや高級のものを採用している点である。この点はやむを得ないと思う。

*　　*　　*

指定品全部について説明してもあまりに細部に亘りすぎ，興味もうすいと思われるので，主なものについて若干の説明を加えたい。

台所流し台　従来鉄筋コンクリート造アパートの流し台は，値段の関係で，人造研ぎ出しだったが，住宅公団ができてから，ステンレス製の流しになって，住宅公団のアパートが，従来の公営住宅などと異る主な特徴となった。（いまひとつの特徴は風呂がついていることである。）単に特徴というのでなく，大きな魅力であった。その意味で，このステンレス製流しを研究し，育て上げた住宅公団の功績は大きいと思う。いま当初は住宅公団

が唯一のおとくいで，製品の100％が住宅公団用であったものが，いまでは僅かに10％あまりで，残りの90％近くは，一般市販品となるまでに，発展したのである。しかしその半面，台所流しは問題の最も多いもので，現在でもKJ型と大阪型はディテールが異っている。したがってKJ型を使用している東京，福岡と異っているわけである。もつとも名古屋が独特のものを使っているから，大阪のみ異端であるというのは当らない。

その相異の主な点は，①コンロ台部分が段落になっている，②台の中央部分に扉がついている，の二点である。この二点は大阪型にも充分の理由があるので，将来KJ型と調整をはかって行きたいと思っている。コンロ台の段落は作業の便宜からいって，コンロ台の高いものより優れていると思う。現に欧米などの台所の設計を見るとすべて段落になっている。また中央部に扉をつけるのは，この部分は流しの管が立下る所で，これを露出すると見場がわるい。単なる台所ならまだよいが，食事室兼用の台所の場合は，扉をつけた方が，部屋としての使い勝手にぴったりするのではなかろうか。このように大阪の型がちがっているのは，前に述べたように，東京と大阪と別々のスタートを切ったからである。大阪では台所流しが公団以外にも売れるようにと，関係大学の先生方に設計の研究をお願して，その結果東京と別設計の台所流しが作られた。大きさも現在の長さ1.8ｍよりも大きい，2.4ｍのものである。当時のメーカーは，高島屋と，三和会であった。その後幾変遷して，現在のメーカーは，高島屋，日本エナメル，阪神百貨店の三社になっている。大阪支所での年間使用数量は約4,500台である。ともあれ，ステンレス製の台所流し台の部品規格指定によって，値段も市価の半分に近い安さとなり，品質も確保できて，大成功を収めている。

スチールドアー　これはKJ型の近畿車輛のものと，西日本規格サッシュKKのものと両方併用している。大阪での使用割合は，前者6：後者4の割合になっている。年間使用数量約7,000枚，即全量である。KJ型は枠内部分がプレス加工によるもので，些少外観において見劣りするが，値段は大分安い。西日本規格サッシュのは従来のフラッシュ式のものであるが，値段をKJ型と同一の処まで下げてもらっているので，引続いて使用している。KJ価格は1枚7,400円である。

洋風便器　大阪の公団住宅は，最初から全部洋風便器を使っている。評判は大変いい。大英断であり先見の明があったと思う。年間使用量は約7,000個でメーカーは東洋陶器と伊奈製陶である。

エレベーター　エレベーターの値段が高いのはオーダーメードだからである。住宅公団はKJ型のものを年間一括契約することによって，半値に近い値段に下げることができた。もつとも設計も改良され，簡単になってい



洋風便器

て，定員11名の小型で，速度も30m/minの低速である。扉方式も1枚戸片引きの簡単なものであるが，10階程度以下の，住宅用としては充分快的である。本年度は36台発注した。大阪では現在まで合計6台使っている。もちろん市街地高層住宅だけで，京都に一台ある他は全部大阪市内である。昇降行程31ｍ，停止個所10個所のKJ価格は396万円である。

小型換気ファン　従来換気ファンは市場に売出されていたが，公団住宅のような構造・規模のものには，小型で，能率がよく，かつやかましくないものでなければならないが，市販のものはこの条件を満足させなかった。そこで公団では各電機メーカーに呼びかけて，公団住宅向のもの，試作を依頼し，公団も研究費を出してその性能について試験を重ね，その結果としてKJ型のものができ上ったのである。最初は，換気風量を多くしようとして回転速度を増すと，音がやかましく，風量と音という二つの相反する要素の調和がむつかしかったが，現在のものは大体目的にかなったものといえよう。すなわちKJ型の性能はモーターの馬力数約1/20馬力，換気風量6.5 m^3/min，騒音は後方1mで55ホーン以下で，羽根の直径15cmである。シャッター付のKJ価格は4,900円である。

結　語

住宅建築は，ある意味で，規格部品の集成物であるかも知れない。その住宅のみを専門につくっている住宅公団としては，規格部品の種類を多くし，内容を豊富にすることを念願し，また努力を重ねている。関係各位のご協力をお願する次第です。

（筆者　日本住宅公団大阪支所次長）

設　計　と　規　格

標準ディテールの問題

1.　竹中工務店

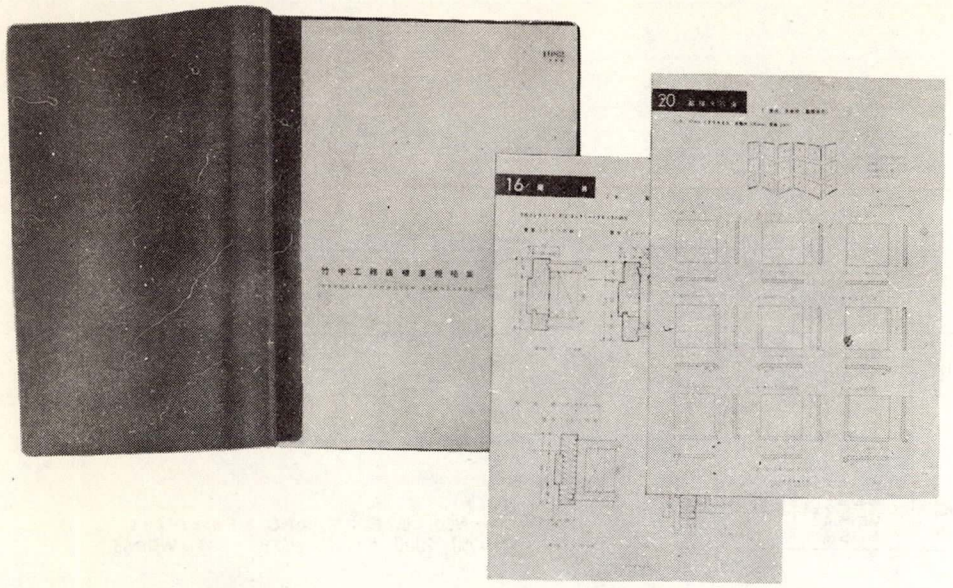
2.　大　林　組

3.　電々公社

4.　近畿地建

5.　住宅公団

防水関係
窓　廻　り
出入口廻り



設計と規格
1

標準ディテールの歩み

（株）竹中工務店設計部

緻密な設計と綿密な施工による精度の高い建築物の提供を，目的としている場合におけるテーマに関する解答は，ことさらに分解するなれば，次の段階を経て発展させていくべきものであるといえよう。

1. 精度に関する許容レベルの確保。
2. 工業生産との関連。
3. 設計方針による決定。

まづ現在までに経験し蓄積された資料を綜合研究し，方針として精度に関する許容のレベルを求め，そのレベルに従った標準ディテールを規格的な性格と重ね合せて作成し，設計の速度アップとクレームからの解放を目的としたもので，アプローチの第一段階といえるものが存在するとともに，設計工数の節減と未経験者の教育資料としての利用にも供され，第二段階への準備的期間ともいえるものである。

つぎに，木材，鋼材，その他の建築資材としての工業生産材に関する規格（寸法および材質）の決定がなされ，規格材の市場性を駆使して設計が行なわれ標準ディテールによる規格型の量産に入るのが第二段階であり，各産業に縦横の関連が必要であって共同目的への研究がなされる。そして，この段階を繰返して得た資料により標準の整備がなされて，第三の段階に入り標準としてだされたものが研究のテーマとなり，実用段階における目的，手段のおきかえのくりかえしによる研究・発展が行なわれて，シャープな設計方針による決定がなされる，本質的に合理的な活動が軌道に乗った状態になるものといえよう。

次に，発展の過程において問題となるべき事項については次のようなものが重要であるといえる。

1. 建築費と社会経済との関連に対する問題。
2. 風土と伝統とに関係する問題。
3. 構造，施工，保守に関する問題。
4. モデュールおよびモデュラーコオーディネーションの問題。

これらはそれぞれに関連するものでありつねづね論議されながらも，そのものの持っている意味の解釈にあたって，尨大で組織的な調査研究が必要でありまた主観的な相異のあるものであって　単純には統一された結論等でようはずのものでもなく，「それぞれのテーマについて各種の適応方法が用意されオーナーおよびアーキテクトの撰択を待つ型になるものであるのが当分の姿であろう」したがって，標準ディテールもこの意味から各種のものが作製されることとなるであろうが，“標準が標準として明確になること”，により改良等の段階が明瞭になり，改良についての方向もまたはっきりしてくるものである。殺那主義的に解決がなされることなく科学的な理論体係が生れることによって後ずさりなく着実な発展を期待でき，前節の問題と組合せて価値が発生すると思われる。

なお前節第二段階において各産業間という表現を用いたものについて，原料→加工→材質→加工→材料→加工→製品。の過程における産業間およびそれぞれの同業間における連繋については官庁，学術団体，などとの密接なつながりによってJISなど規格の整備がなされるものであって，いいかえれば，標準ディテールなくしては規格なく，規格がなくては標準ディテールもまた意味を減ずるものであるといえる。

以上テーマに関する考え方であるが，最後にディテール作製についての注意として標準ディテールの生い立ちからそのものの姿になるまでの経過を，科学的手法によって明確に整理された資料として添付し，閲覧に供するような仕組になっていることが必要であって，統計との関連も生きてくるものであり，さらに標準ディテールが単に部分の標準ディテールに留ることなく，建築物との関連においてそのエレメントとしての相互関係が明解になっていなければならないものである。モデュールとの関係もこのことにおいて意味を有するものである。したがって製品が建築物であるためには，標準ディテールがなければならないし，建築物は個別に基本ディテールを持っていなければならない。

竹中工務店としては卑近な例をとれば100ミリタイル（タイル97ミリ目地3ミリ），アスタイル・ソフトタイルによる貼付巾木。H100ミリなど規準寸法による製品の作成をメーカーとタイアップして実用化し，また機構的によく缺陥のあるドアーのノブに自動車用プッシュボタンタイプを採用して，その種クレームから解放されている。それらが規格としてとり上げて順次写真のような集成に収められて設計および施工にたづさわる社員の座右に備えられ，製作原寸図が用意されて工場につながっている。　　—以上—

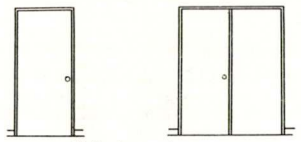
開き扉の大さ

内法寸法	規格符号 木製 / 鋼製	大さ W × H
片開	WDS 1 / SDS 1	900 × 2100
	WDS 2 / SDS 2	800 × 2100
	WDS 3 / SDS 3	750 × 2100
	WDS 4 / SDS 4	900 × 2000
	WDS 5 / SDS 5	800 × 2000
	WDS 6 / SDS 6	750 × 2000

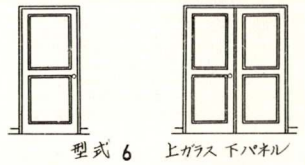
内法寸法	規格符号 木製 / 鋼製	大さ W × H
両開	WDS 7 / SDS 7	1650 × 2100
	WDS 8 / SDS 8	1500 × 2100
	WDS 9 / SDS 9	1500 × 2000

NO の打ち方
大さのNOを上位の桁に、型式のNOを下位の桁とする。
例は750 2000 ガラリ付木製フラッシュ扉はWDS63

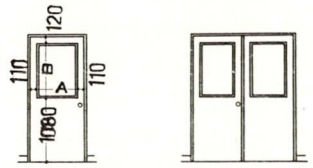
開き扉の型式



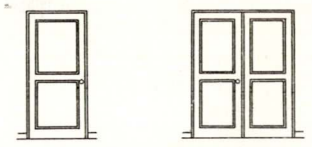
型式 1　フラッシュ



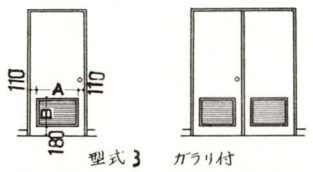
型式 6　上ガラス 下パネル



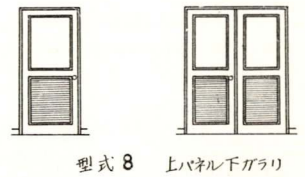
型式 2　ガラス入



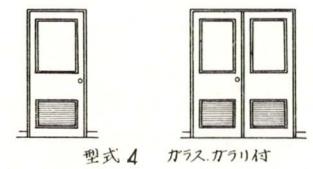
型式 7　上下ガラス



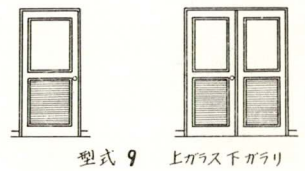
型式 3　ガラリ付



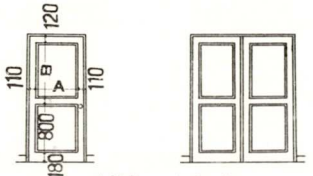
型式 8　上パネル下ガラリ



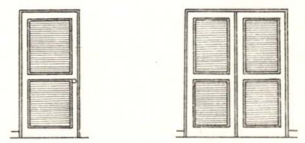
型式 4　ガラス.ガラリ付



型式 9　上ガラス 下ガラリ



型式 5　上下パネル



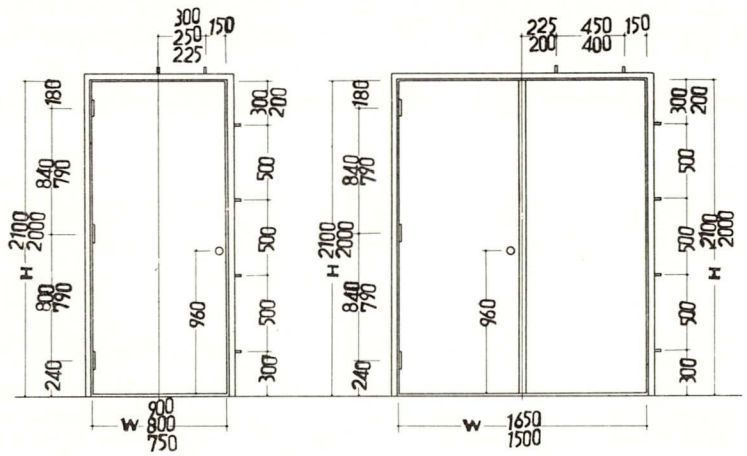
型式 10　上下ガラリ

工作寸法

	規格符号 木製 / 鋼製	出来寸法 w × h	型式の種類 2 ガラス入フラッシュ ガラスの大さ A × B	3 ガラリ付フラッシュ ガラリの大さ A × B	6 9 ガラス入パネル ガラスの大さ A × B
片開	WDS 1 / SDS 1	918 × 2103	698 × 903	698	698 × 903
	WDS 2 / SDS 2	818 × 2103	598 × 903	598	598 × 903
	WDS 3 / SDS 3	768 × 2103	548 × 903	548 換気量に依り決定スル	548 × 903
	WDS 4 / SDS 4	918 × 2003	698 × 803	698	698 × 803
	WDS 5 / SDS 5	818 × 2003	598 × 803	598	598 × 803
	WDS 6 / SDS 6	768 × 2003	548 × 803	548	548 × 803
両開	WDS 7 / SDS 7	832 × 2103 × 2	612 × 903	612	612 × 903
	WDS 8 / SDS 8	757 × 2103 × 2	537 × 903	537	537 × 903
	WDS 9 / SDS 9	757 × 2003 × 2	537 × 803	587	537 × 803

（ガラスの寸法は表中内法寸法に巻込を加える事）

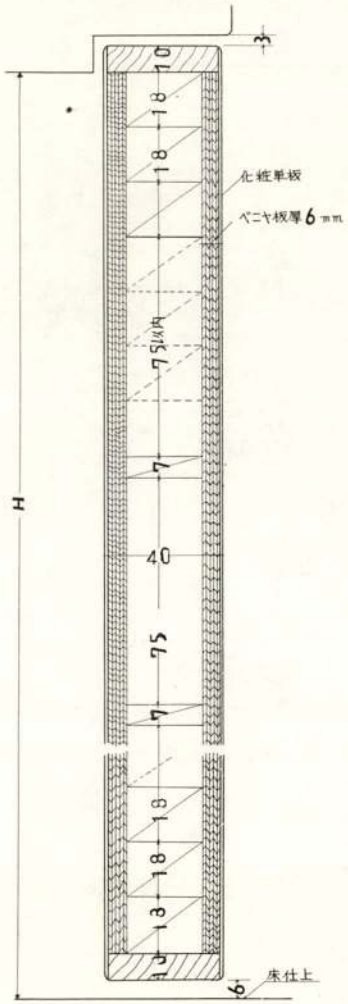
握玉，蝶番と木レンガ．アンカーボールトの取付位置



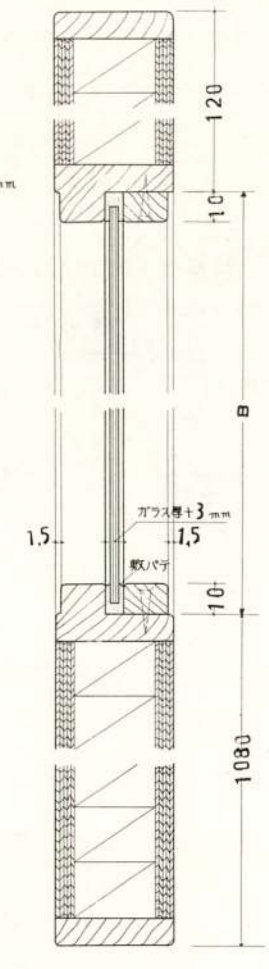
書込寸法に二行或は三行あるのはWとHの変化に依るそれぞれの変化を示す。

竹中工務店標準規格		
建具工事 共通事項	図面番号	S16 101
開き扉（事務所向）大さと型式	整理番号	
記		

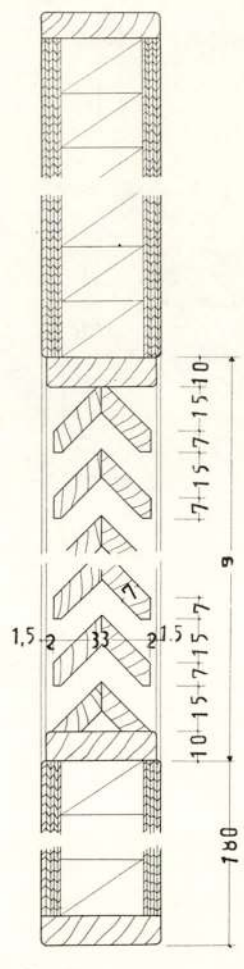
扉 断 面 図



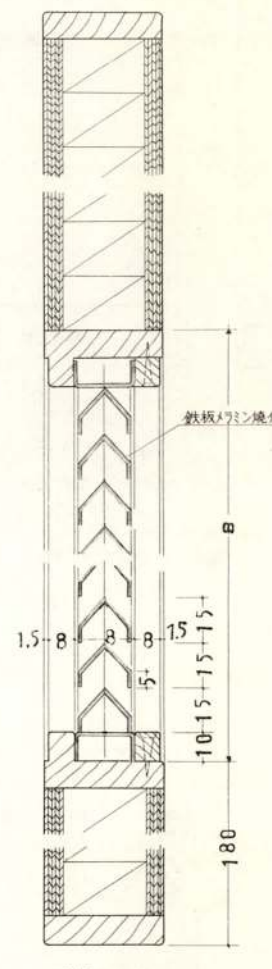
1 フラッシュ
化粧単板貼
(クリヤラッカー仕上の場合)



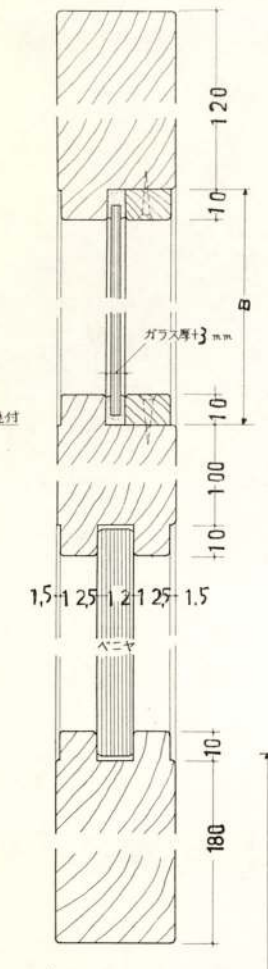
2 ガラス入フラッシュ
(㎜厚ベニヤ板貼
オイルペンキ仕上の場合)



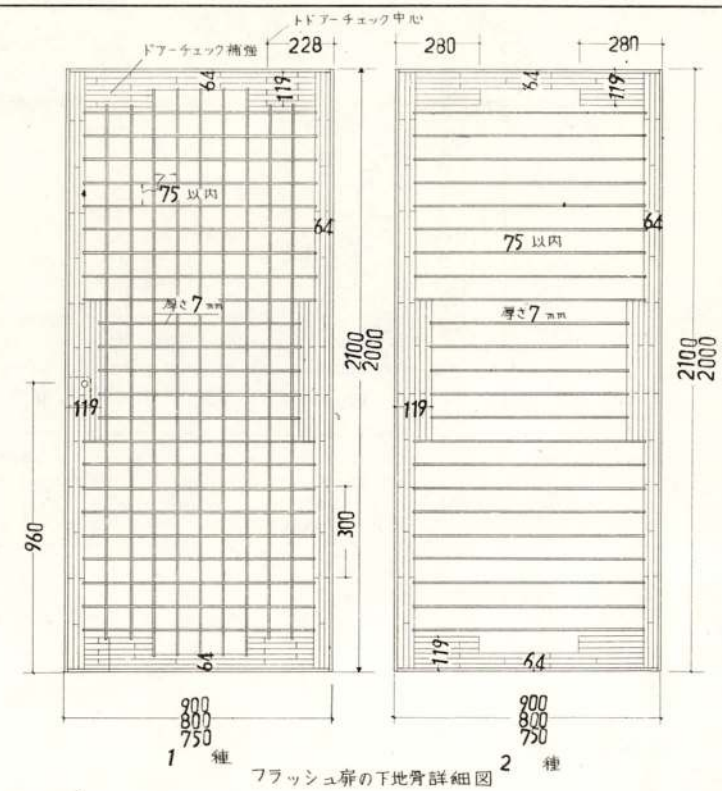
3 ガラリ付フラッシュ



鉄板ガラリ付フラッシュ

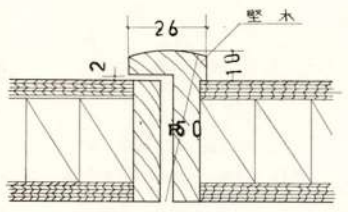


6 上ガラス下パネル

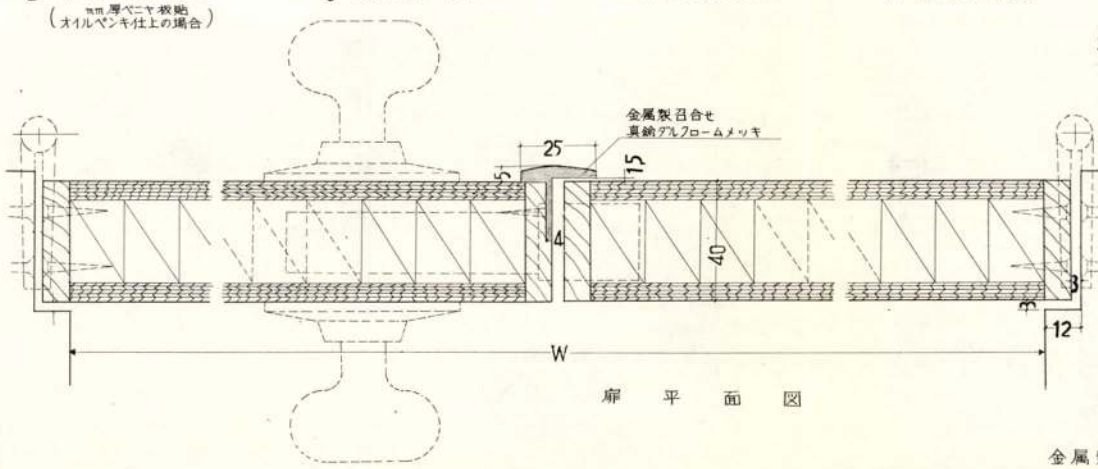


1 種　　2 種

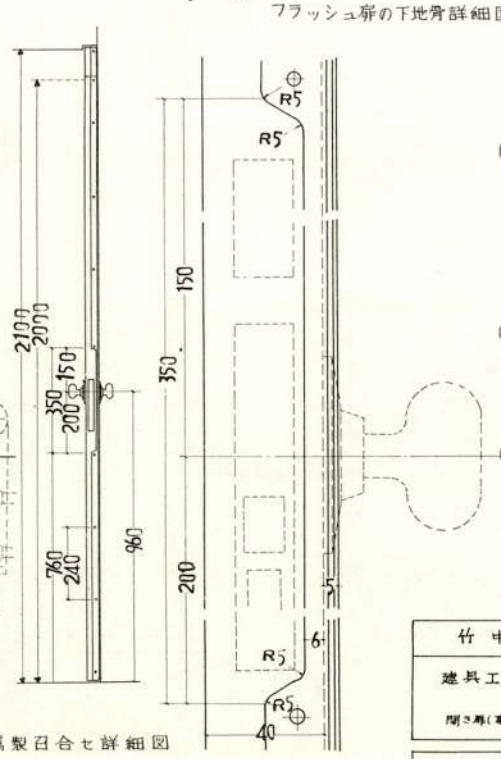
フラッシュ扉の下地骨詳細図



木製召合せ



扉 平 面 図



金属製召合せ詳細図

仕 様

(1) 下地骨は杉又はさわら材とする.
框は骨材 枚はぎ.鋸前.ドアチェック取付箇所 枚はぎとし長さ300㎜以内に鋸目を入れる.中骨は縦横とも75㎜以内の間隔に割合せ交又部は相欠.框付きは欠込みとする.

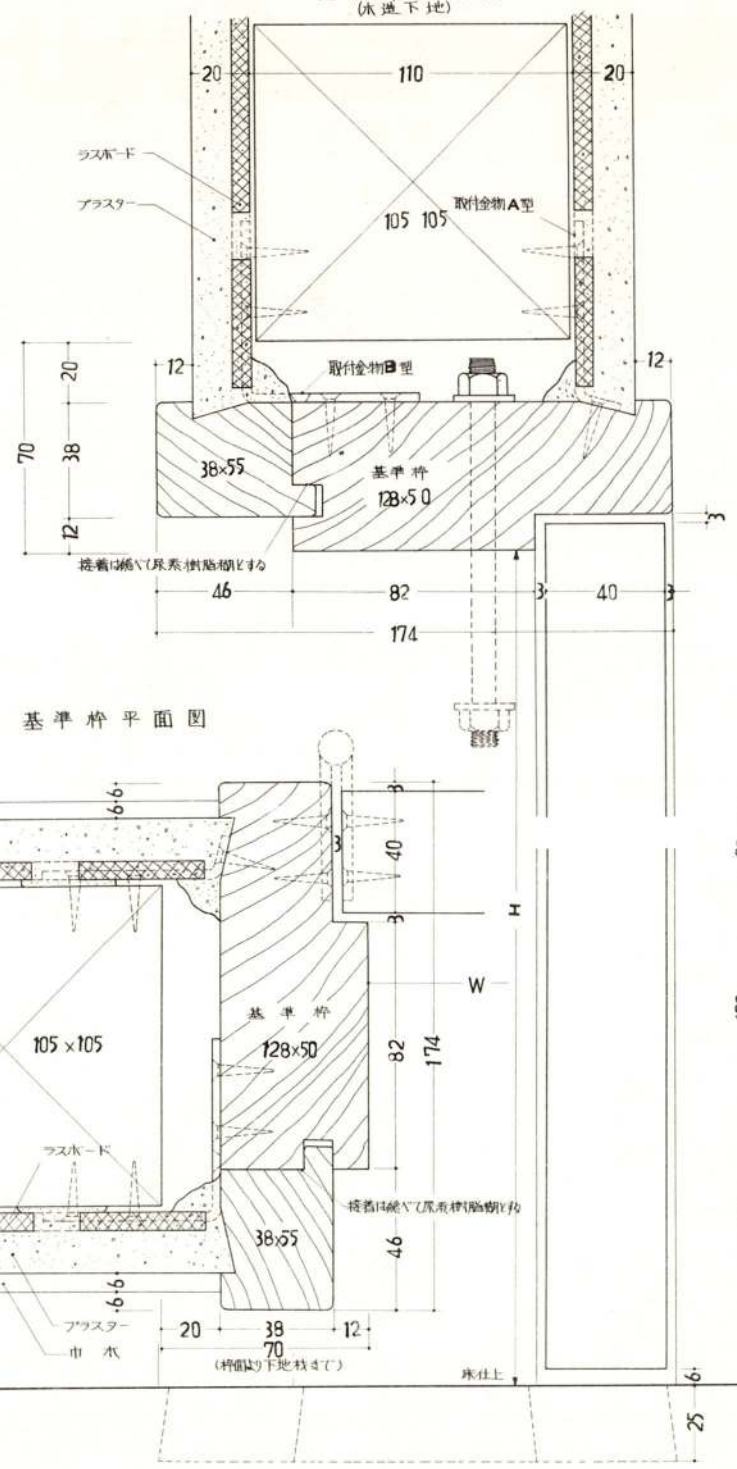
(2) 表張のベニヤ板は骨組の一種の場合は厚6㎜二種の場合は厚6㎜又は4㎜とする.ベニヤ板は接着剤として尿素樹脂のものを使用する.

(3) 金属製召合せには左勝手.右勝手の二種がある.

竹中工務店標準規格		
建具工事　木製	図面番号	S16 201
開き扉(事務所向)標準詳細図	図番号	

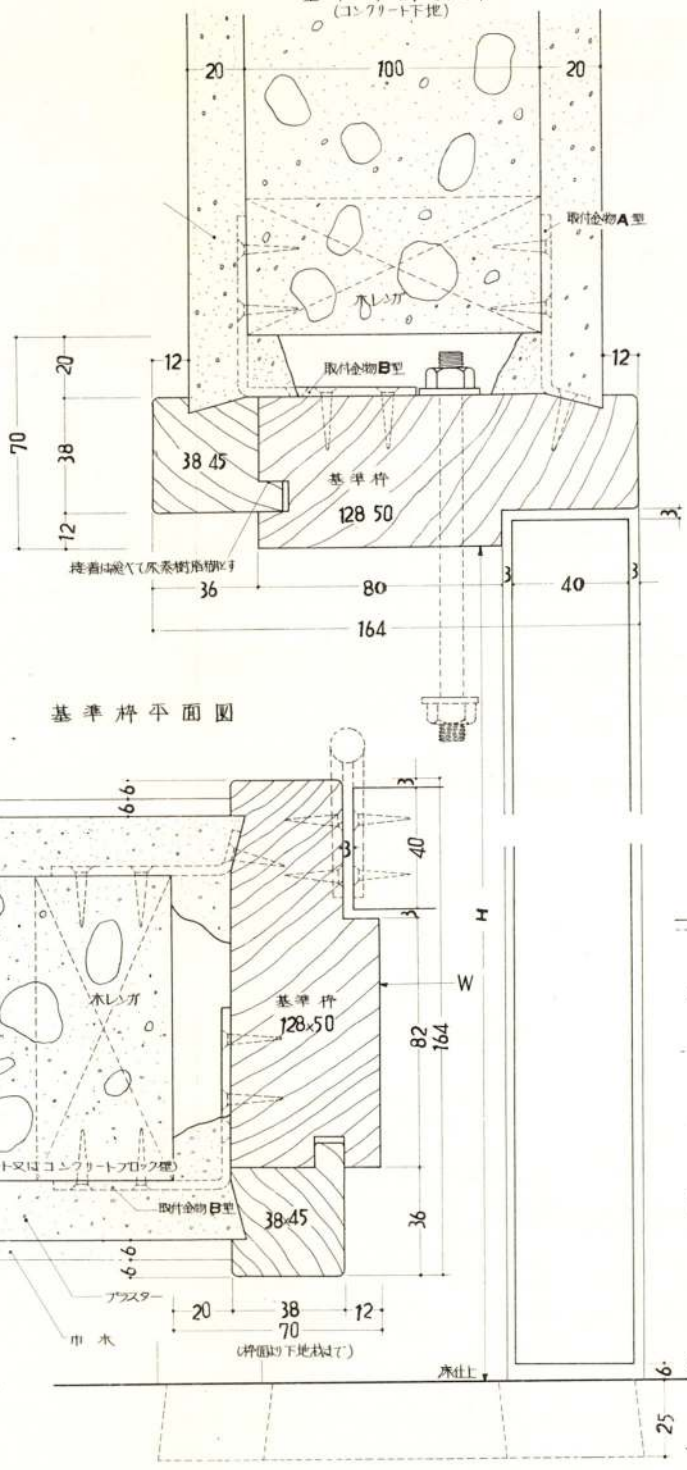
記

基準枠断面図
(木造下地)



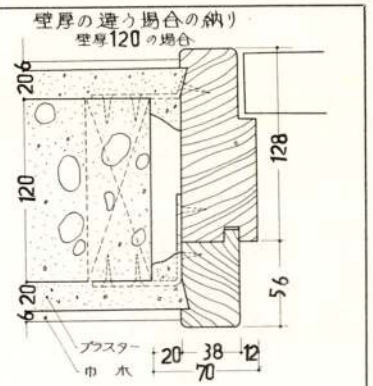
基準枠平面図

基準枠断面図
(コンクリート下地)

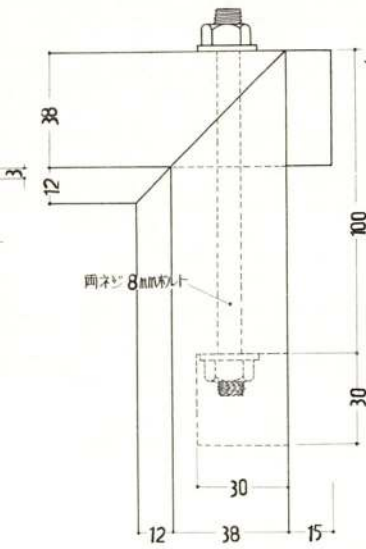


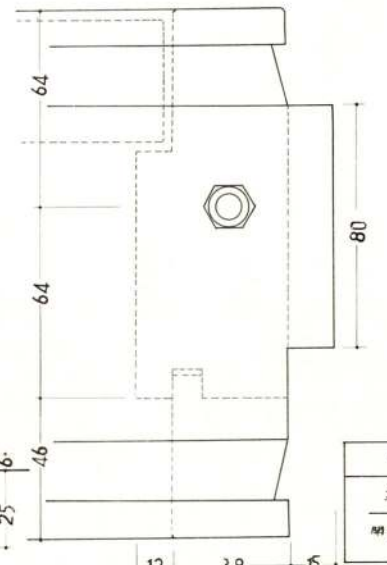
基準枠平面図

壁厚の違う場合の納り



隅組合せ詳細図





仕様

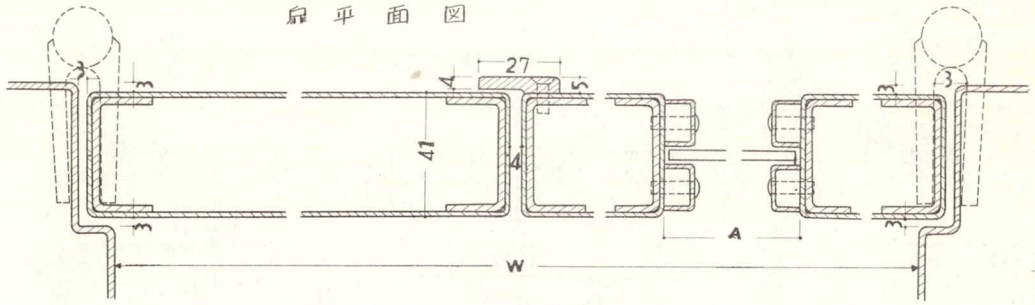
(1) 木レンガ・ペンキ塗枠の材料は針葉樹 其の他 粉材とする。

(2) 枠材の取合は尿素樹脂接着剤で仕付ける

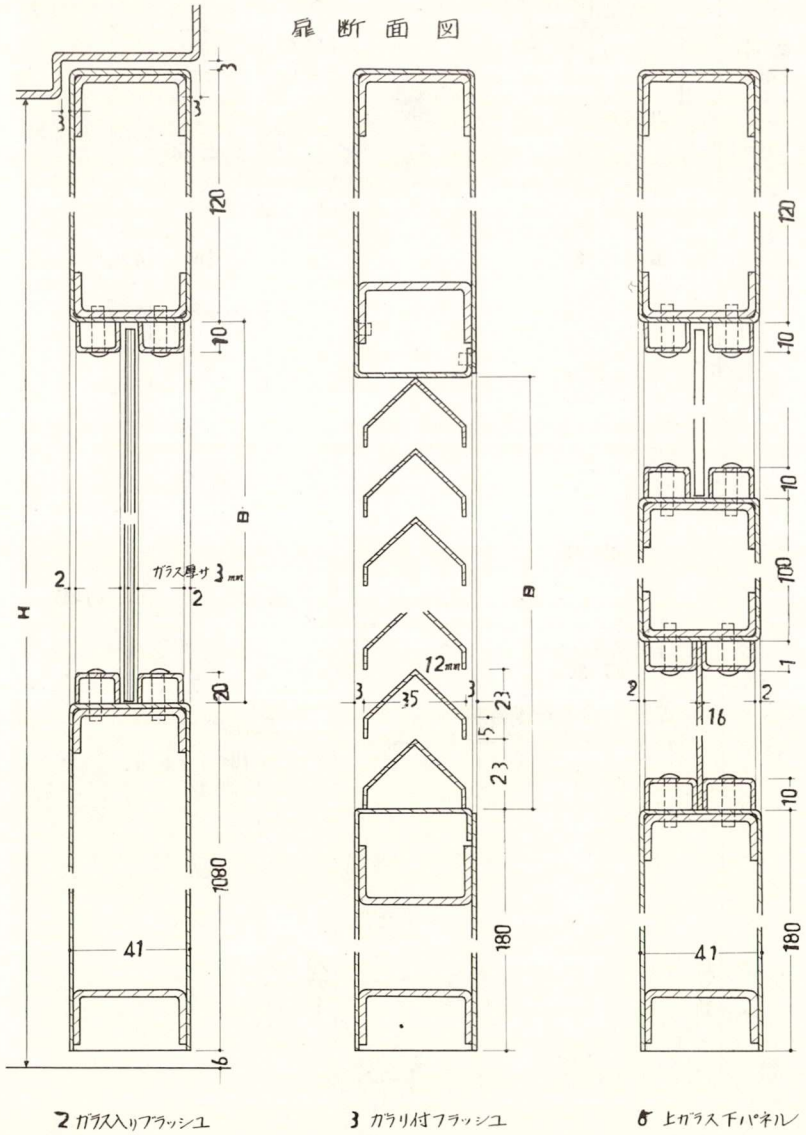
(3) 枠は構造体へ取付金物にて取付ける

竹中工務店標準規格		
建具工事　木製	図面番号	S16 202
開き扉(事務所向)基準詳細図	管理番号	
記		

扉 平 面 図



扉 断 面 図

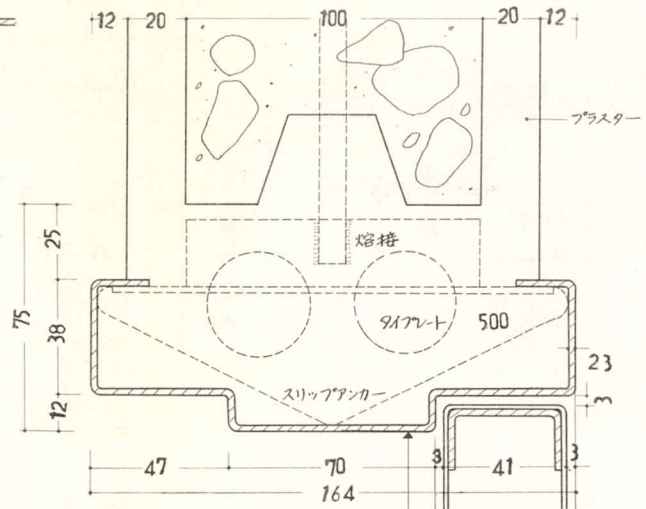


2 ガラス入りフラッシュ

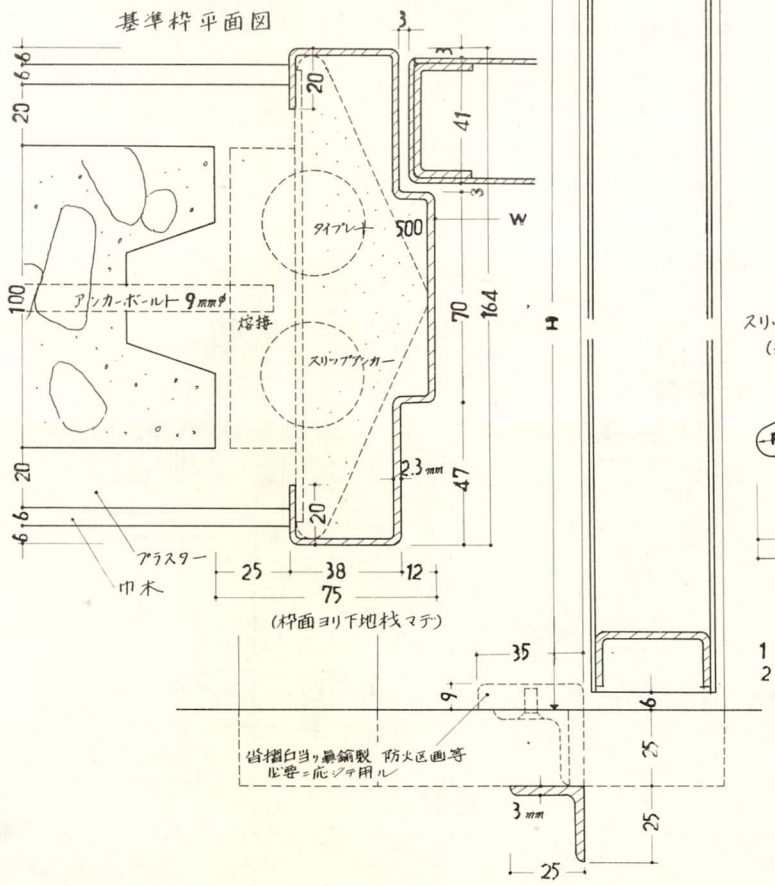
3 ガラリ付フラッシュ

6 上ガラス下パネル

基準枠 断面図



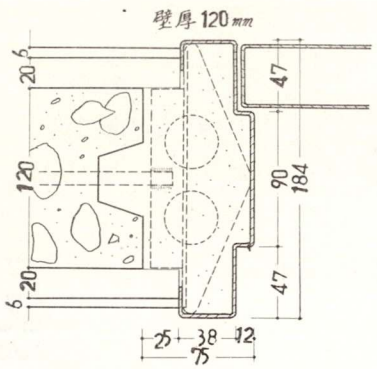
基準枠 平面図



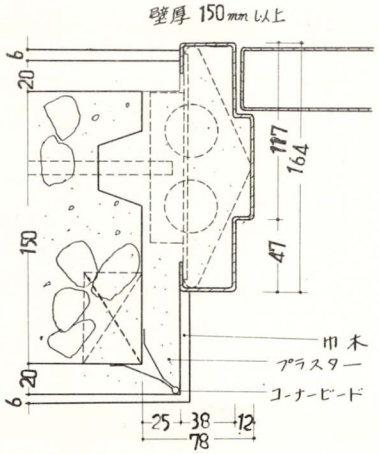
省摺白当り鋼製 防火区画等
必要ニ応ジテ用ル

壁厚の違う場合の納り

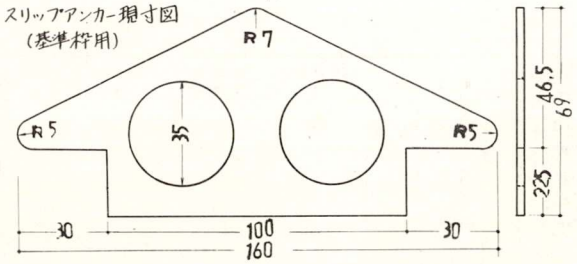
壁厚 120㎜



壁厚 150㎜ 以上



スリップアンカー現寸図
(基準枠用)



仕 様

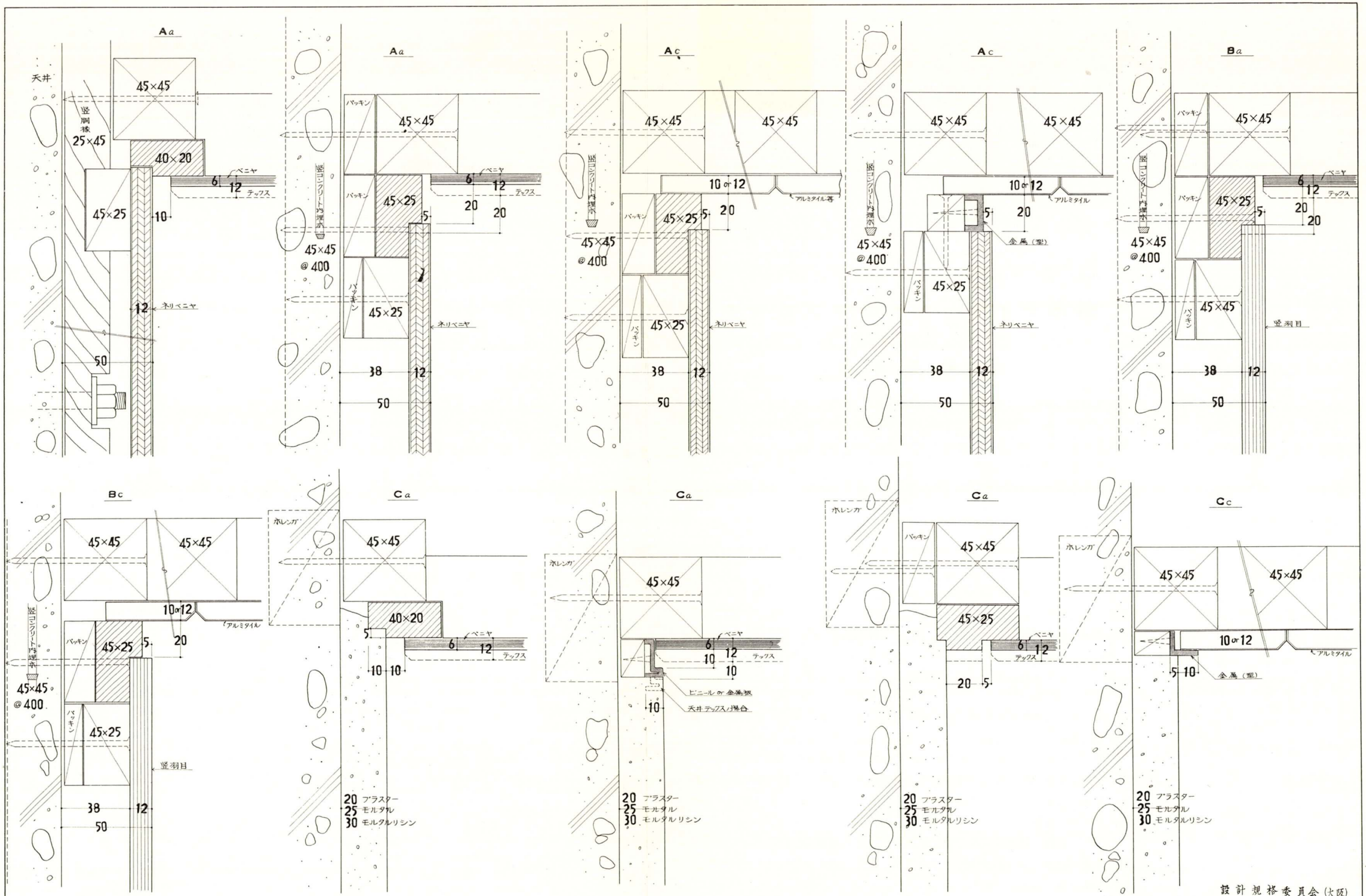
1 ドアーチェック裏板は両面に張る.
2 扉,枠共ヤスリ止処理を行う.
その方法は別に定める.

使用鋼板の標準板厚

区分	名称	厚さ mm
枠	枠	2.3 以上
扉	框桟	1.6
	鏡板	1.6
	力骨	2.3

フラッシュ扉の力骨は竪三本とする.

竹中工務店標準規格		
建具工事 鋼製 開き扉(事務所向) 扉枠詳細図	図面番号	S16 301
	整理番号	
記		


Aa
天井
竪胴縁 25×45
45×45
40×20
45×25
10
6
12
ベニヤ
テックス
12 ネリベニヤ
50
Aa
バッキン
45×45
45×25
5
20
20
6
12
ベニヤ
テックス
竪コンクリート打設ボ
45×45 @400
バッキン
45×25
ネリベニヤ
38
12
50
Ac
45×45
45×45
10 or 12
アルミタイル等
竪コンクリート打設ボ
45×45 @400
バッキン
45×25
5
20
ネリベニヤ
38
12
50
Ac
45×45
45×45
竪コンクリート打設ボ
45×45 @400
10 or 12
アルミタイル
5
20
金属(型)
バッキン
45×25
ネリベニヤ
38
12
50
Ba
バッキン
45×45
45×45
竪コンクリート打設ボ
45×45 @400
6
12
ベニヤ
テックス
20
20
バッキン
45×25
5
45×45
竪羽目
38
12
50
Bc
45×45
45×45
10 or 12
アルミタイル
竪コンクリート打設ボ
45×45 @400
バッキン
45×25
5
20
バッキン
45×25
竪羽目
38
12
50
Ca
ホレンガ
45×45
40×20
5
10
10
6
12
ベニヤ
テックス
20 プラスター
25 モルタル
30 モルタルリシン
Ca
ホレンガ
45×45
6
12
ベニヤ
10
12
テックス
10
ビニール or 金属板
天井テックス小場合
10
20 プラスター
25 モルタル
30 モルタルリシン
Ca
ホレンガ
バッキン
45×45
45×25
6
12
ベニヤ
テックス
20
5
20 プラスター
25 モルタル
30 モルタルリシン
Cc
ホレンガ
45×45
45×45
10 or 12
アルミタイル
5
10
金属(型)
20 プラスター
25 モルタル
30 モルタルリシン
設計規格委員会(大阪)
壁ト天井ノ納リ
NO 1

設計と規格

2

標準ディテールへのアプローチ

KK大林組工務監督

岩崎甚太郎

建築設計図面における一般的なものの規格化，標準化はもとより必要ではあるが，当組においては先ず施工標準図の作成を次の理由から取り上げることにされた。

工事現場の建築係員は施工上どうしてもおさまり図，現寸図，割付図などのいわゆる現場施工図面を書かなければならないのであるが，（1）現場の施工図面を一定の基準の上に立ったものとする趣旨からいっても，また（2）現場建築係員の業務能率を向上させる趣旨からいっても，それらの施工図面についての基準となり，模範となる標準図を必要とすることはいうまでもないことである。

こうした施工標準図集の刊行は当組がかねてより提唱している施工のスタンダィゼーションの一翼をなすものであり，それによる能率の向上ひいては当組の工事消化能力の増大に資すること少なからぬものがある。

現場で書く図面は設計者の考えでやり方に多少の違いはあるが，この標準図を基として工夫すればよい図面を能率的に作成することができる。

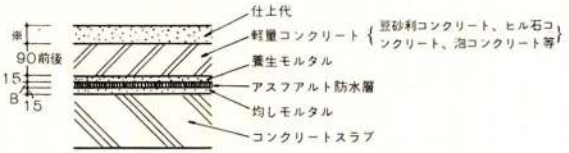
当組施工図集作成にあたっては，本店の重役をはじめ設計部，工務部関係のものならびに直接施工を担当する工事主任などより委員長1名，委員17名を選び標準図審議委員会を組織した。昭和33年4月より毎月2回以上の委員会を催したが，委員会の方々にはそれぞれ多忙の日常の業務のかたわら寸暇をさいて，貴重な経験と豊富な知識を生かして審議されたもので，各工事にわたり標準図を逐次決定し，昭和34年12月ひとまず完了して施工標準図集を発刊するに到った次第である。

しかし，これで標準図集を完結したわけではなく審議委員会においてはなお研究審議を続け，今後必要に応じての改訂，変更，追補を行なって一層標準図集の完璧を期する方針である。

（以下に大林組刊行の「施工標準図表」より防水関係の分のみについて掲載させていただいた。窓廻り関係は割愛した。——編集委員会——）

防水工事　アスファルト防水　（屋上関係）

屋上床仕上



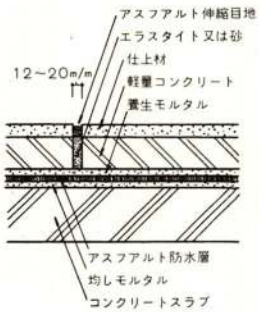
※仕上代m／m

クリンカータイル－45
豆砂利洗出シ　－35
モルタル塗　－25

水勾配について

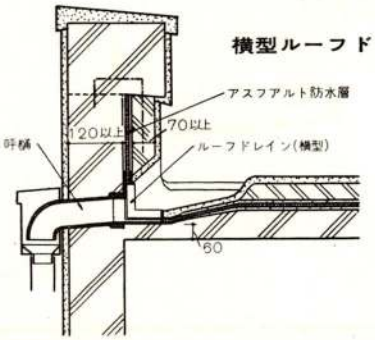
- 勾配1/150～1/200
  防水層から上の仕上は、できるだけ同一厚みにする。
- 水勾配はコンクリートスラブの型枠で勾配をとるのが理想的だが、できなければコンクリートスラブの天端、又は軽量コンクリートで勾配をとる。

屋上伸縮目地の入れ方

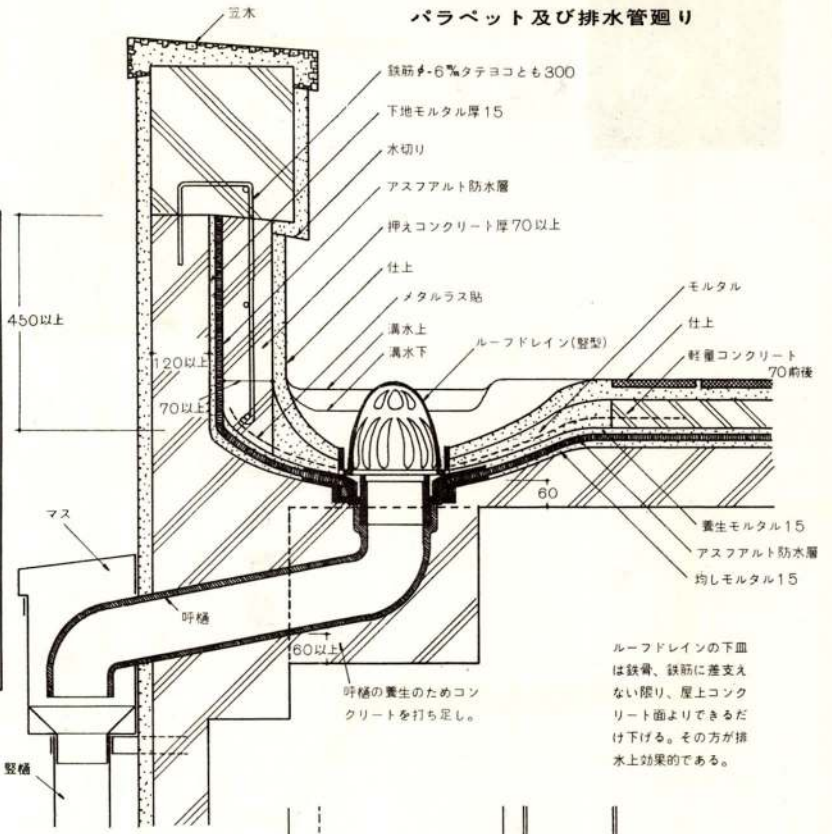


伸縮目地の間隔タテヨコとも約3.*000とし、貧調合モルタル又はアスファルトモルタルを詰める。

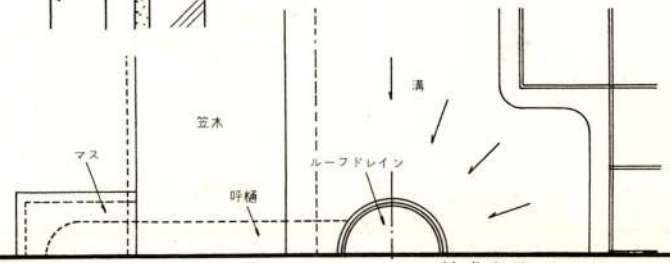
横型ルーフドレイン



パラペット及び排水管廻り



ルーフドレインの下皿は鉄骨、鉄筋に差支えない限り、屋上コンクリート面よりできるだけ下げる。その方が排水上効果的である。

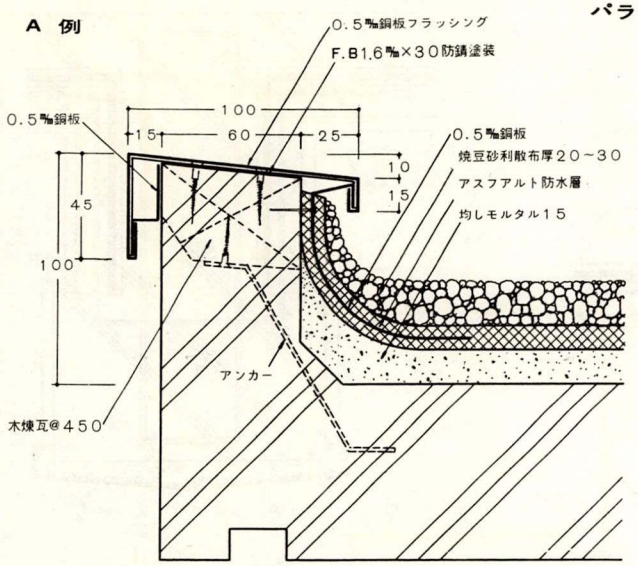


株式会社 大林組

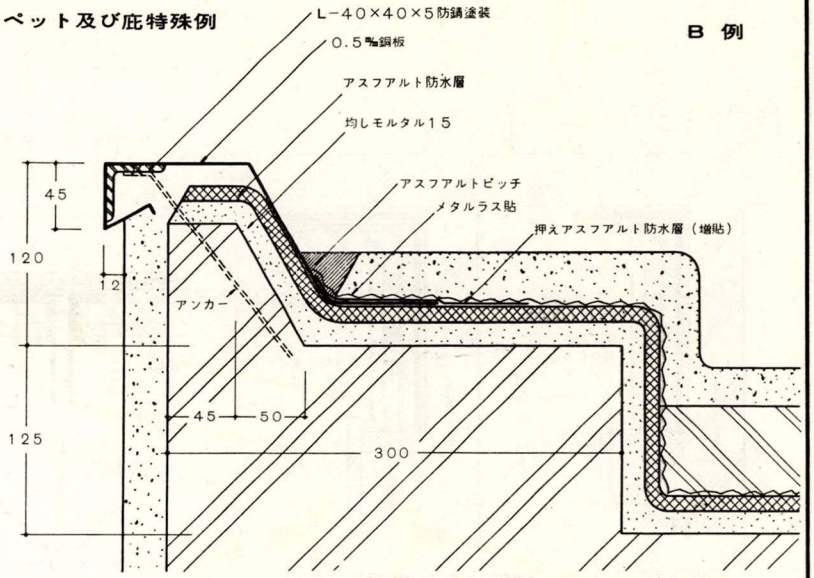
防水工事　　アスファルト防水　　（屋上関係）

パラペット及び庇特殊例

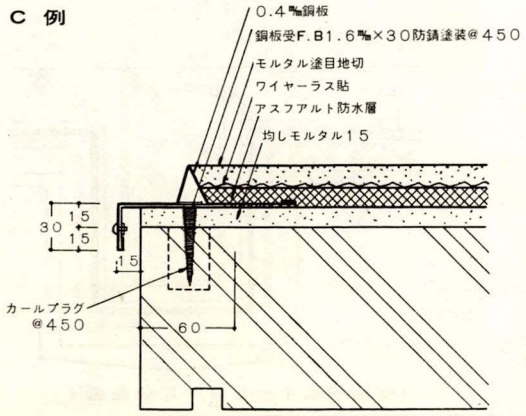
A 例



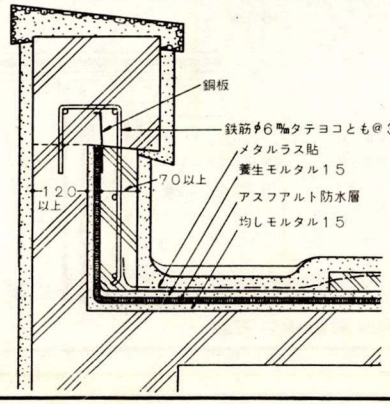
B 例



C 例



防水立上り押えに銅板を使った例

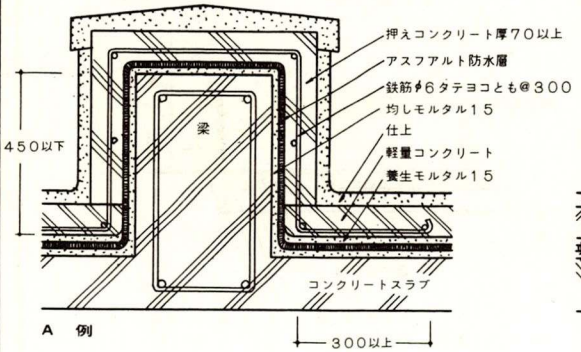


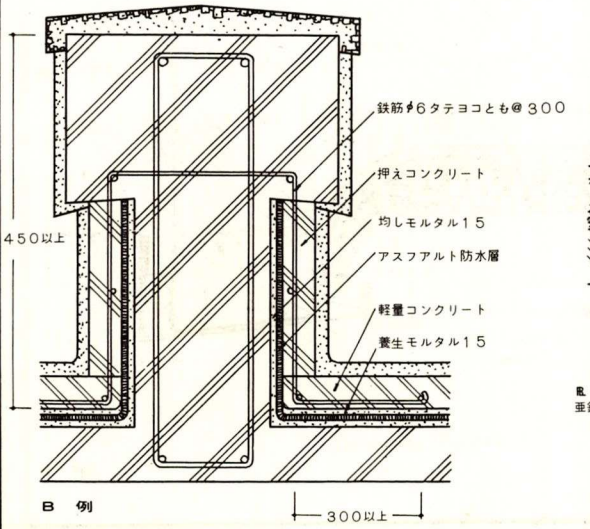
註　寒冷地に適する。

株式会社 大林組

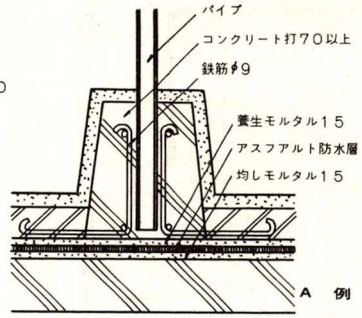
防水工事　　アスファルト防水　　（屋上関係）

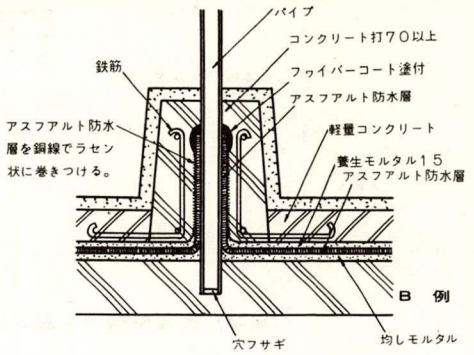
上梁等のコンクリート突出部廻り

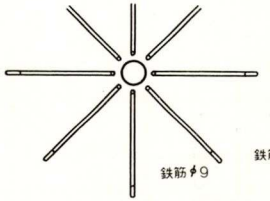


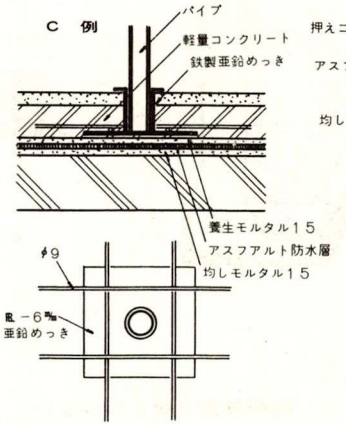


屋上に手摺等を設ける場合の床との接合部

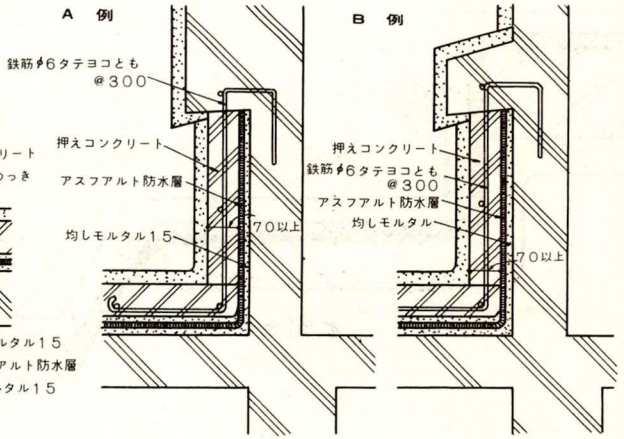








塔屋煙突等の立上り廻り

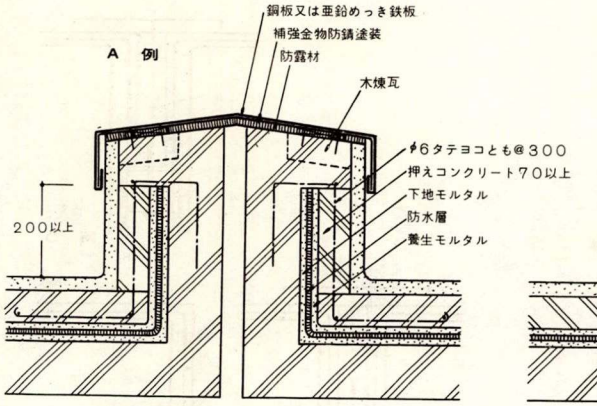


株式会社 大林組

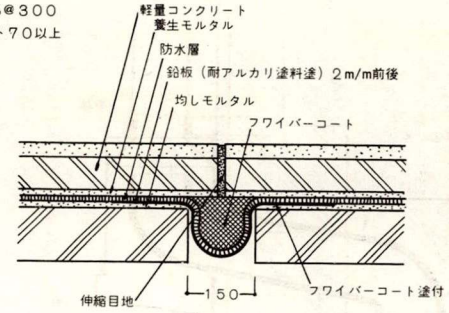
防水工事　　アスファルト防水　　(屋上関係)

エキスパンション・ジョイント

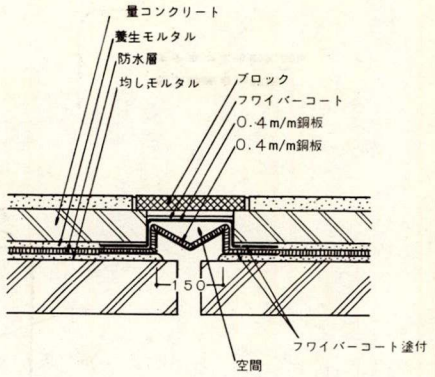
A　例



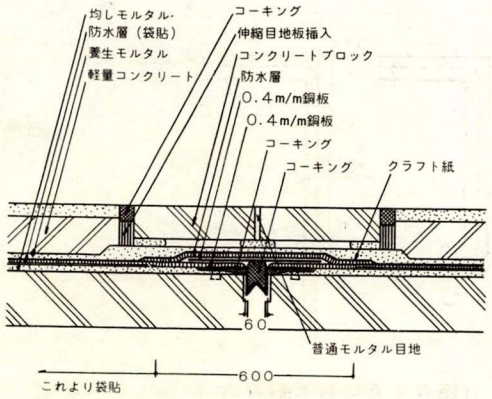
B　例



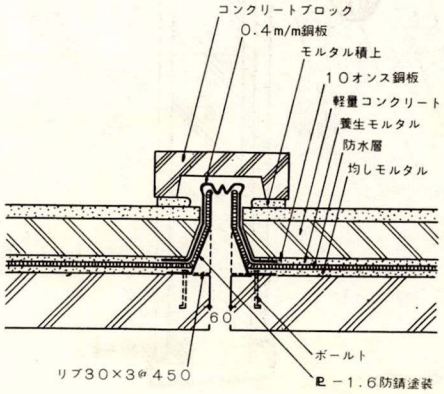
C　例



D　例

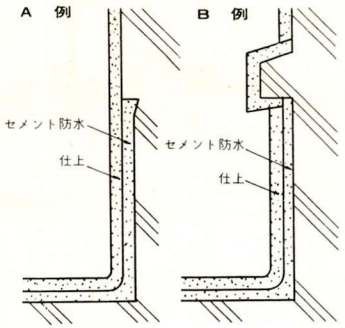


E　例

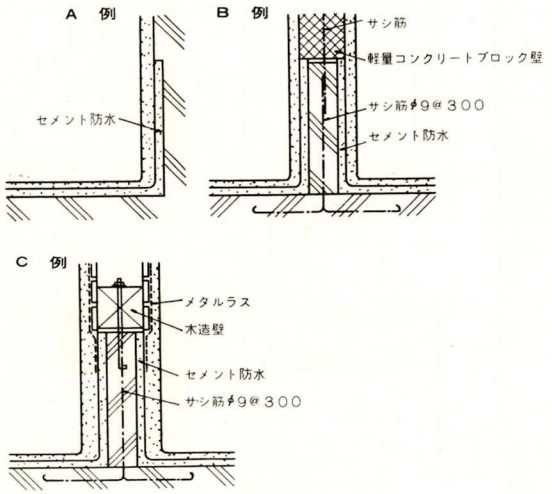


防水工事　　セメント防水　　（屋上及び一般室内関係）

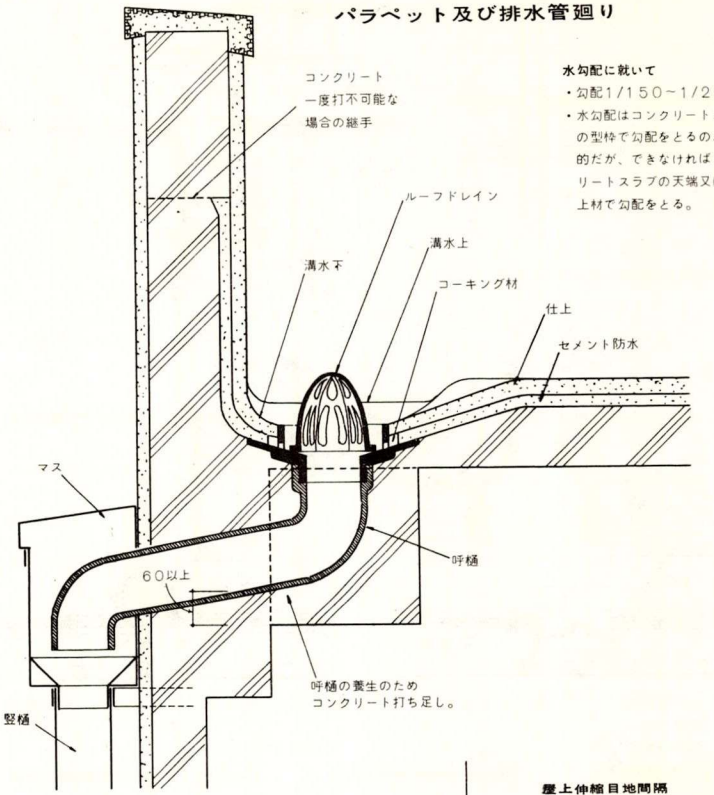
塔屋煙突等の立上り廻り



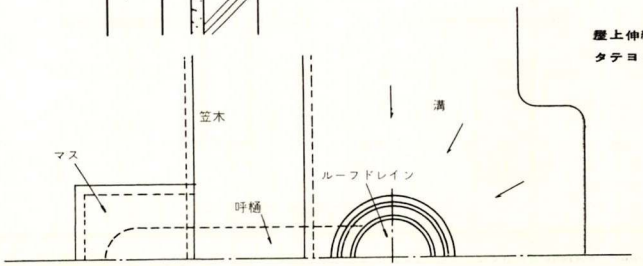
室内壁立上り廻り



パラペット及び排水管廻り



水勾配に就いて
- 勾配1/150~1/200
- 水勾配はコンクリートスラブの型枠で勾配をとるのが理想的だが、できなければコンクリートスラブの天端又は、仕上材で勾配をとる。

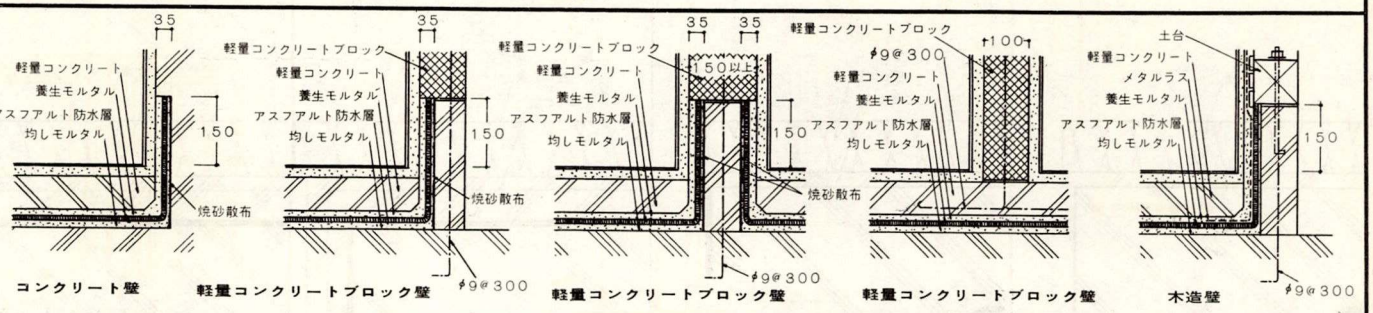


屋上伸縮目地間隔
タテヨコとも約3.000m

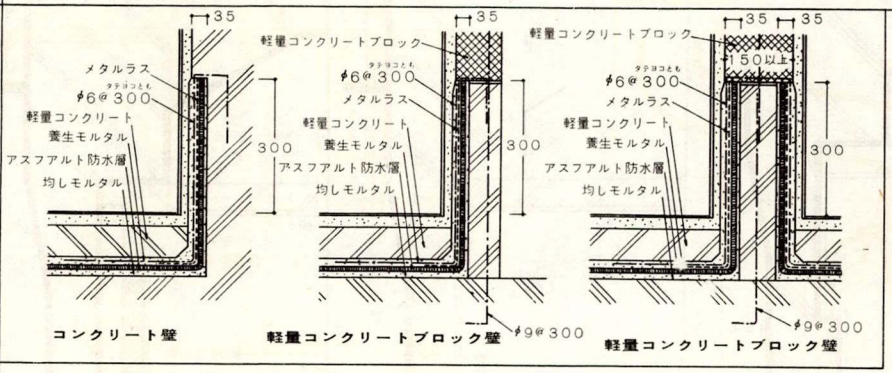
株式会社 大林組

防水工事　アスファルト防水　（室内関係）

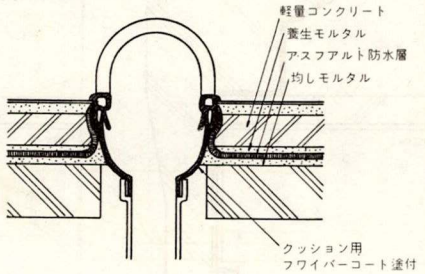
便所・洗面所・湯沸室



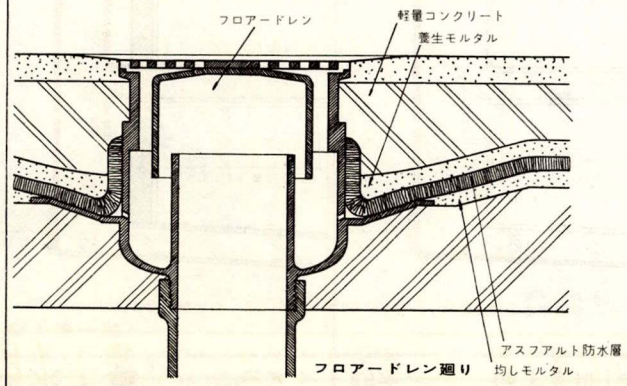
調理室・その他

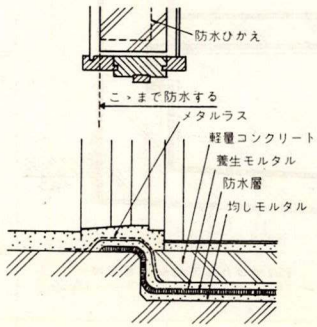


大便器廻り

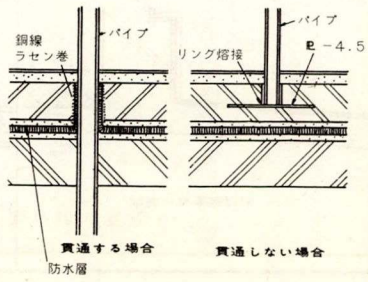


出入口及び器具廻り





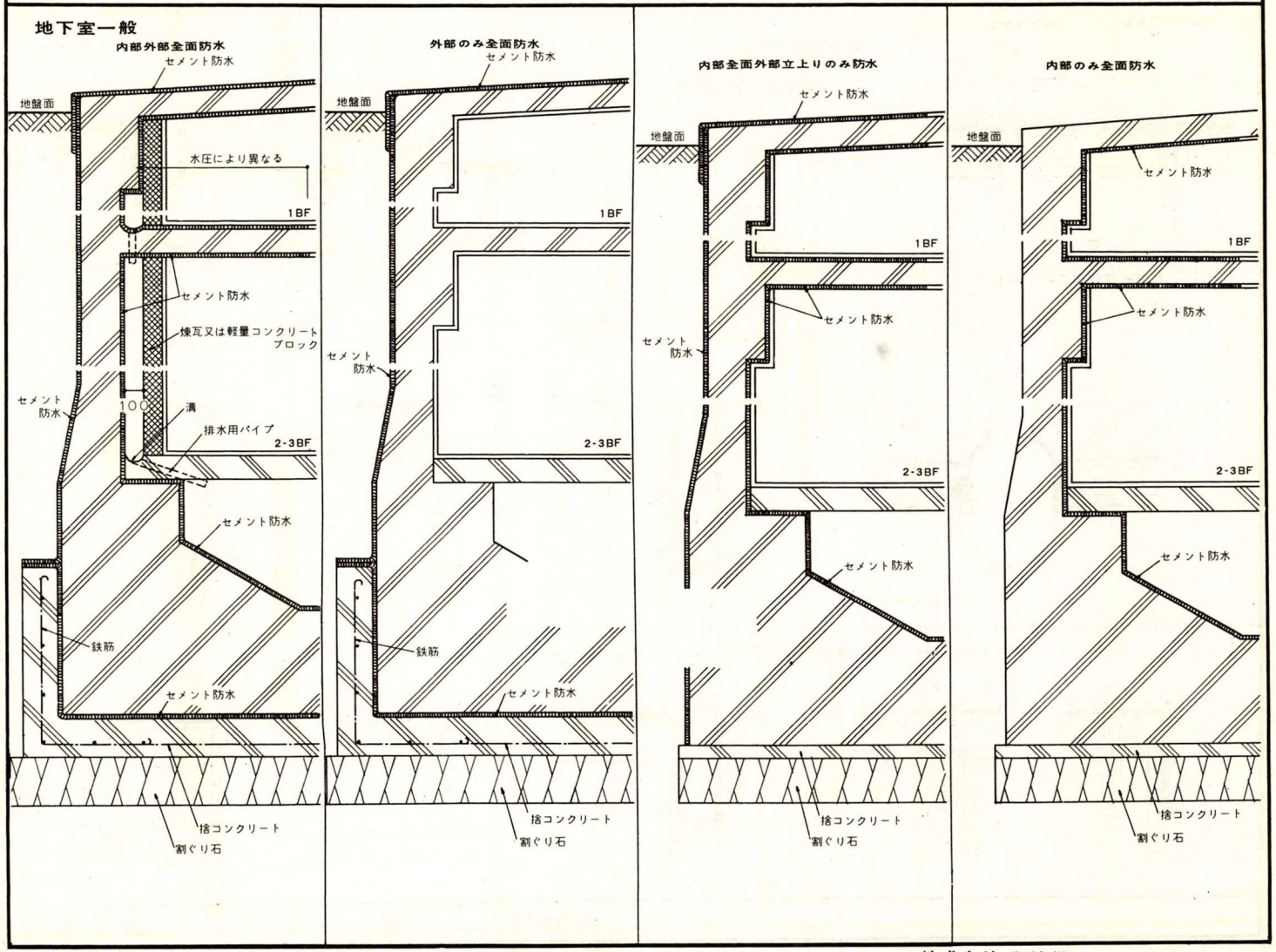
パイプたてこみの足元廻り



株式会社 大林組

防水工事　　セメント防水　　（地下室関係）

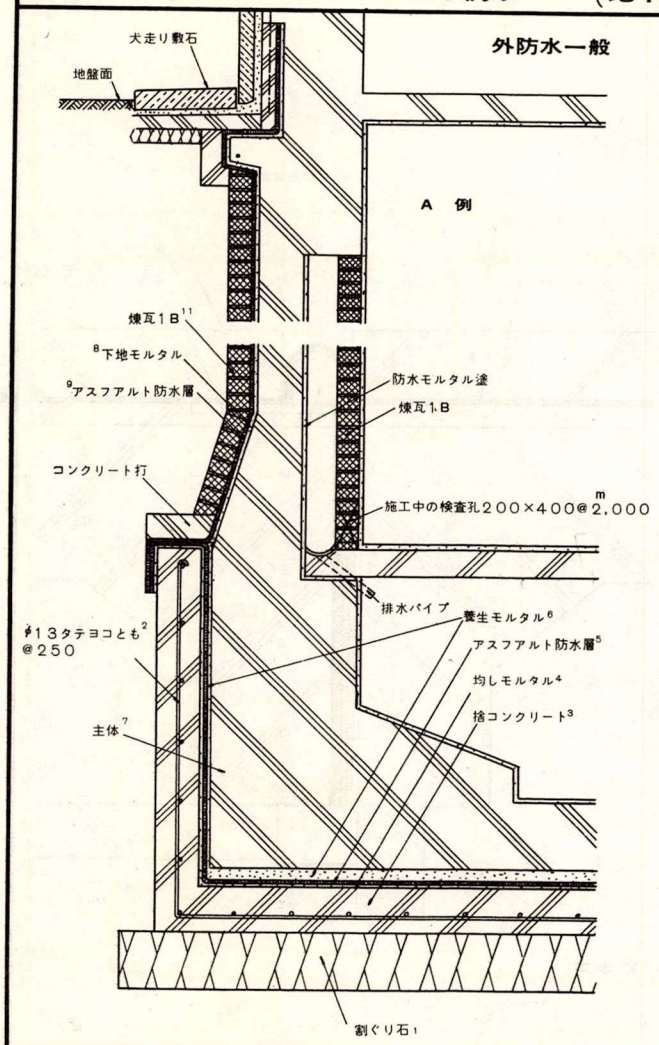
地下室一般

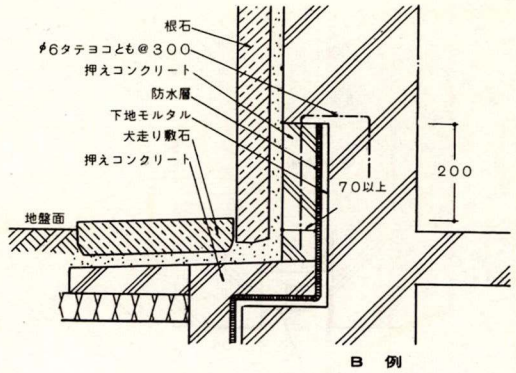


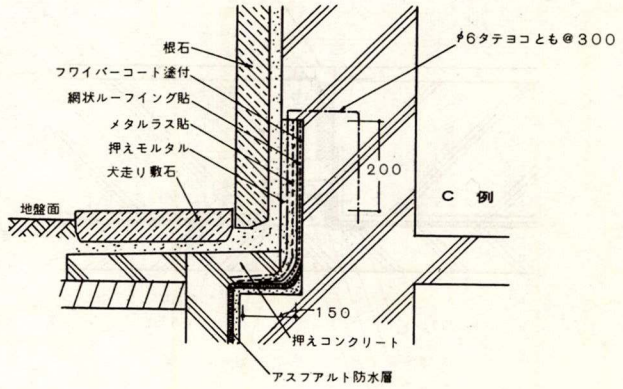
株式会社 大林組

防水工事　　アスファルト防水　　(地下室関係)

外防水一般







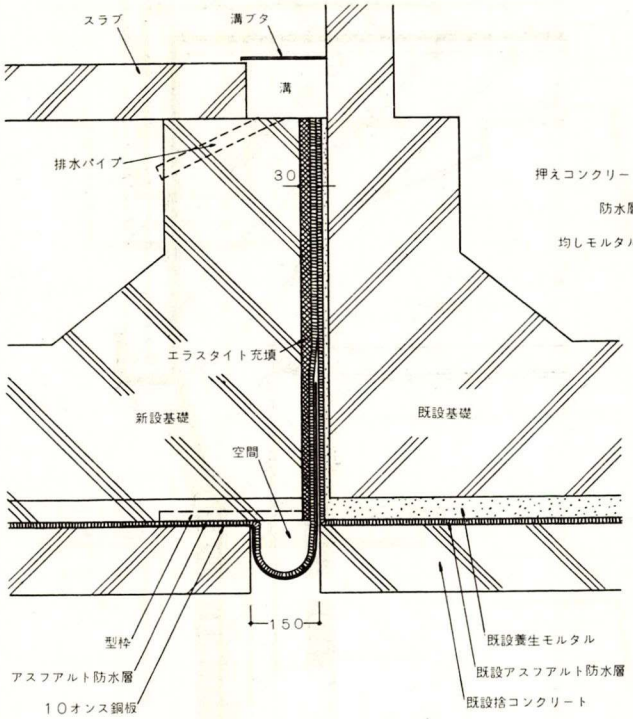
註　数字は施工順序を示す

株式会社 大林組

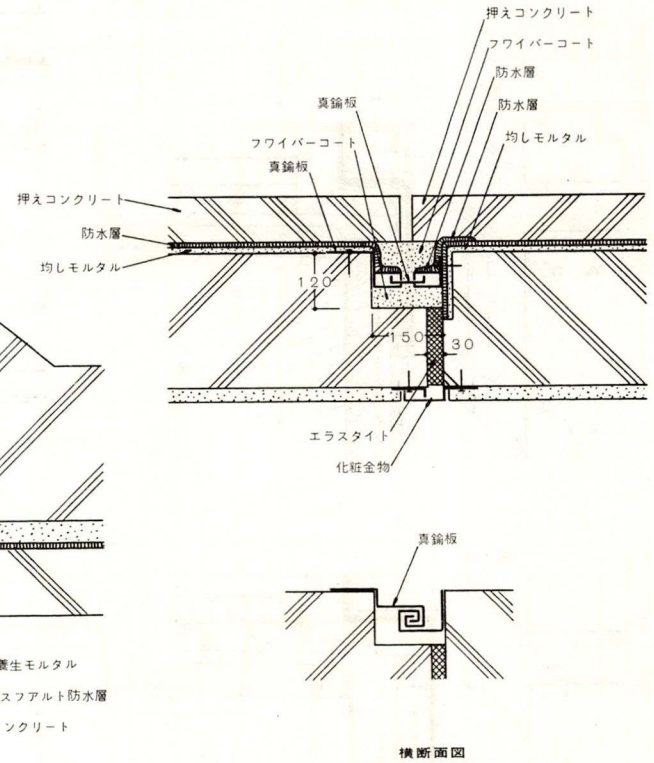
防水工事　　アスファルト防水　　（地下室関係）

エキスパンション・ジョイント

実例参考図



縦断面図



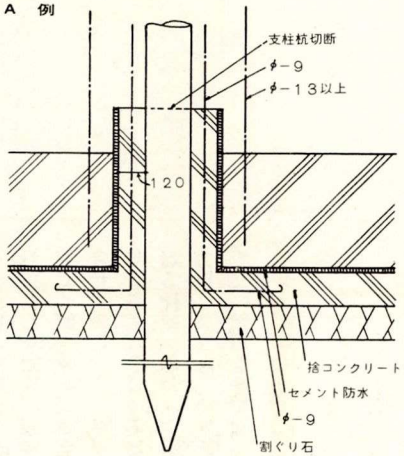
横断面図

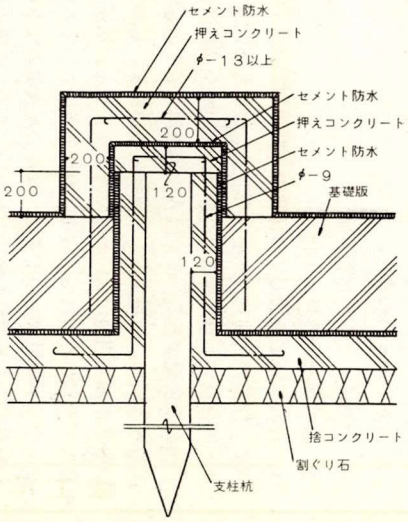
株式会社 大林組

防水工事　　セメント防水　　（地下室関係３）

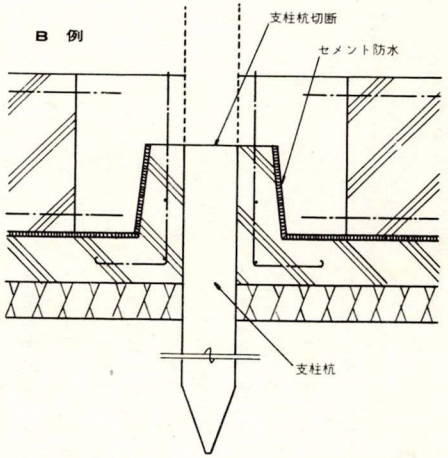
支柱杭の仕舞

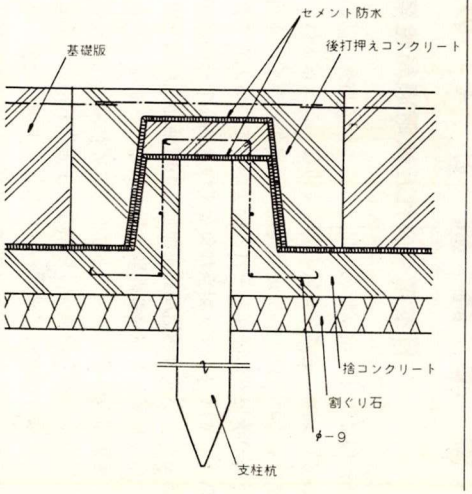
A　例



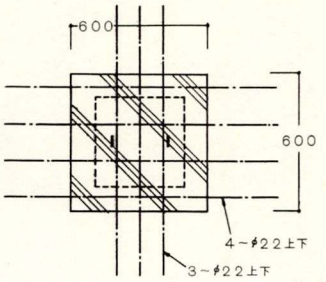


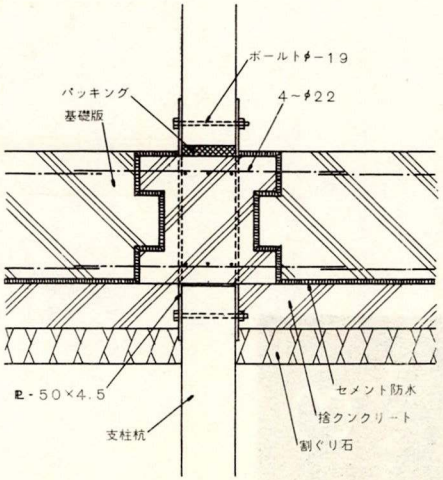
B　例





C　例　　註　一段切梁の場合のみ採用





株式会社 大林組

設計と規格

3

〈標準詳細とその周辺〉

日本電々公社近畿電通局建築部

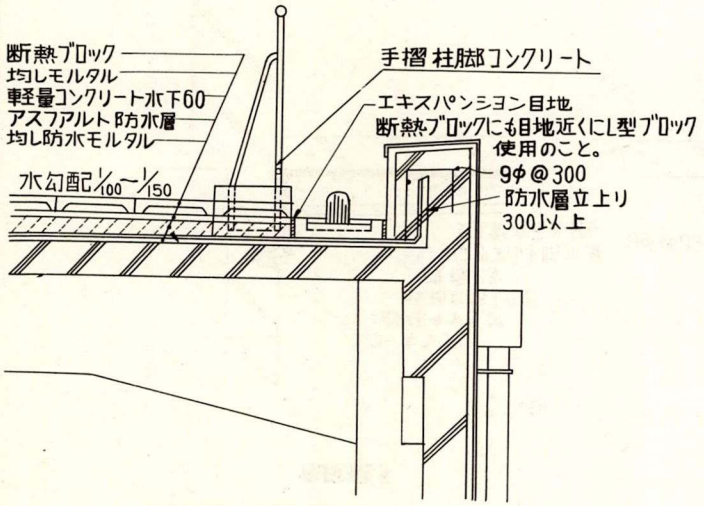
わが国における電話数の不足，ローカル線市外通話のみ自由さ，西欧諸国に比してわが国の電話保有数の著しく少ないことなどは，よくご存知の通りであります。これらはすべて電話施設の不足からきているわけでありますが，わが国経済の予想外の発展もそれに輪をかけているようであります。電々公社といたしましては毎年々々相当な資金をつぎ込んでその拡充に努力を続けており，建築局および地方通信局建築部などが電話局の局舎を担当しております。しかしながら予算および建設件数は年々増加の一途をたどり遂にはわれわれ全国の公社建築部の陣容ではとてもまかない切れぬほどふくれ上ってしまいました。

もちろんこれらの事実は以前から予想されていたことであり，その対策について種々検討を重ねて来たわけでありますが，その一途として「電報電話局各室設計指針」および「各部標準詳細図」の作成を行ない，設計の資料，条件としての範囲を示して問題点を整理して標準化の方針を確立し，標準化を通じて

① 技術レベルの均質化。
② 組織体としての意志の統一。
③ 設計期間のスピード化。
④ 設計，施工を通じての作業の一貫性。

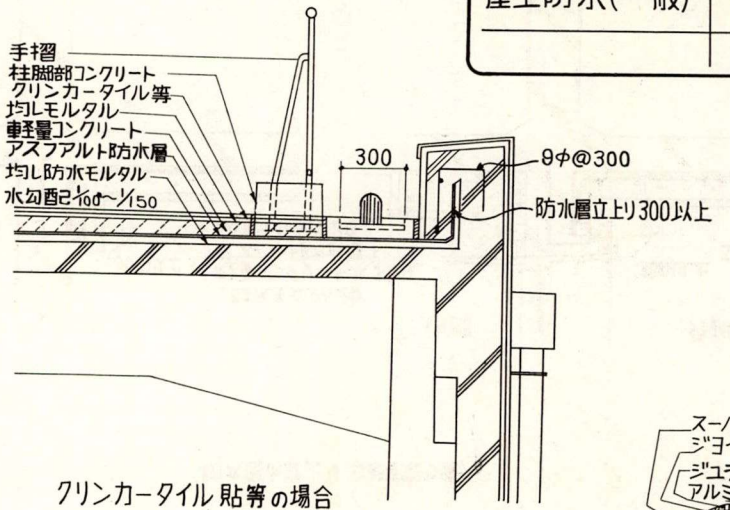
を求め，作業の合理化，能率化を計ることにしています。「標準詳細図」はAとBとに分れており，Aは局舎設計において全面的に採用する。Bについてはまだ検討の余地があるかまたはAの適用例としての参考図であるが，支障がない限りAと同様に使用することになっています。しかしながらこの設計指針および標準詳細に問題がないわけではありません。気候，風土，および地方性の相違など研究が行われておらず，内容の点においても疑問の点が多く残されているようで不満足なものですが，なにぶん大量の仕事に対処して行くためにはやむを得ずできる限りこれにしたがい，こんごの研究を待って修正していくことになっております。

いまやわれわれは業務をマスプロのベルトコンベアーに乗せるべく努力しています。そして品質管理の行きとどいた建築を能率的に大量製産しようと考えています。この事実に一個の建築家としていかに対応すべきか，この問題について模索している人がわれわれのなかに多いと思います。

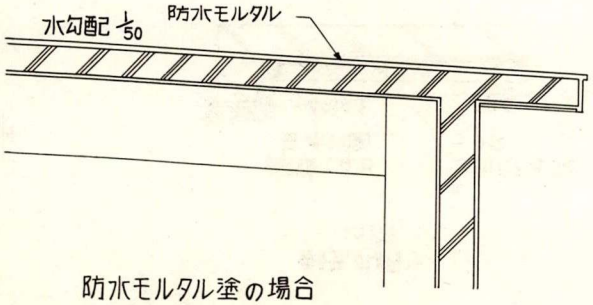


断熱ブロック貼の場合

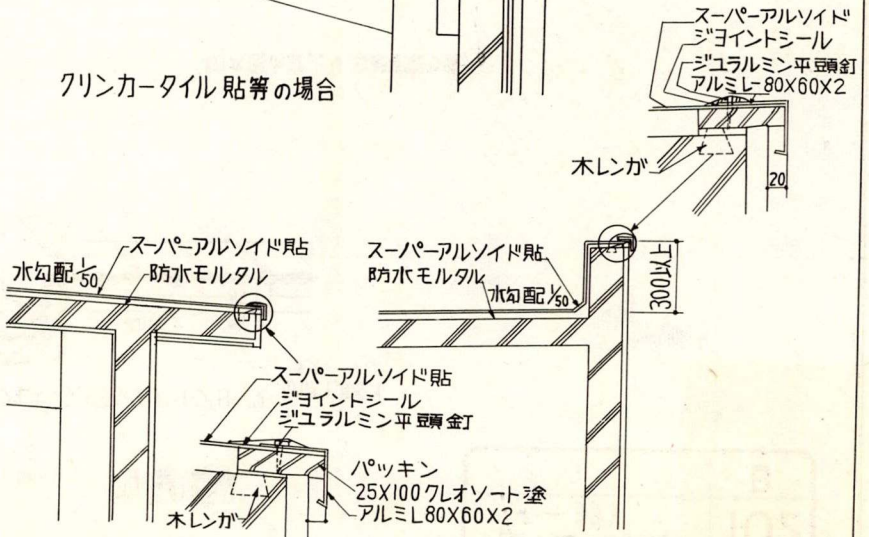
ベンチレーションブロックの立端部は通風口を開けておく
寒冷地では使用しない。



クリンカータイル貼等の場合



防水モルタル塗の場合

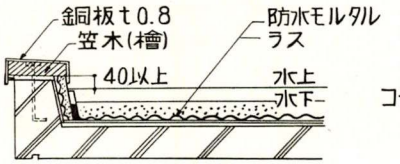


スーパーアルソイド貼りの場合

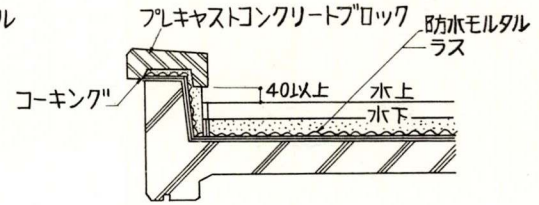
第一層アスファルトルーフィング
第一層スーパーアルソイド貼

屋上防水（一般）	102
	B

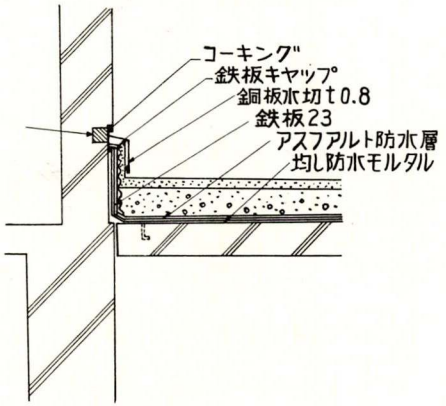
軒先の納り



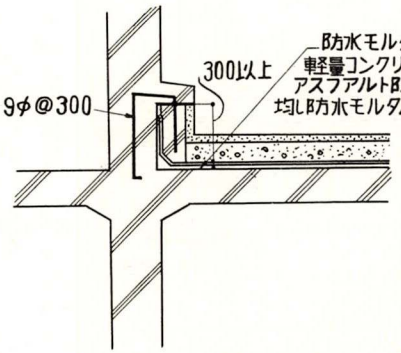
軒先の納り



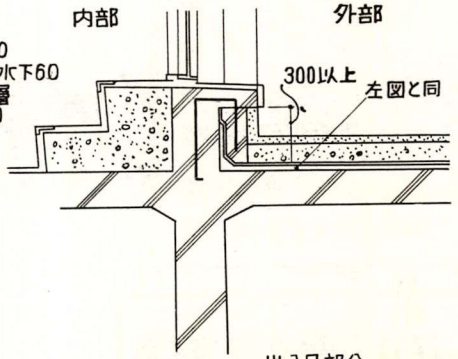
伸縮継手



防水層の立上り（塔屋廻り等）

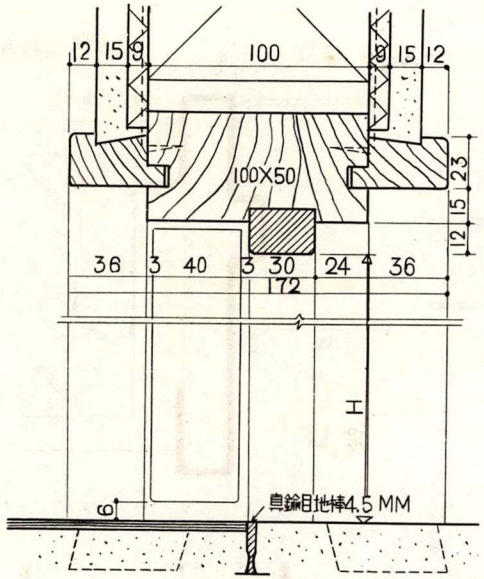


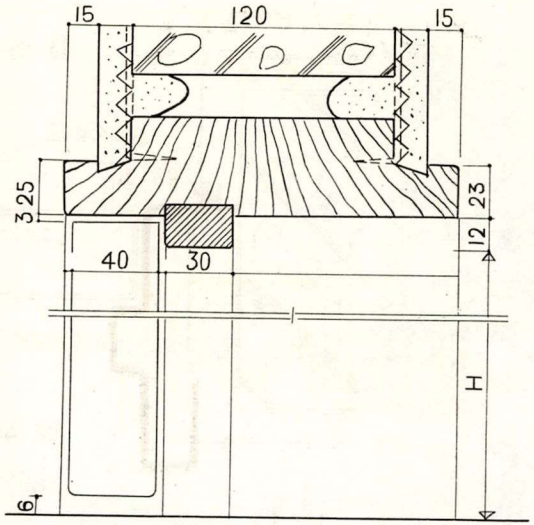
壁部分



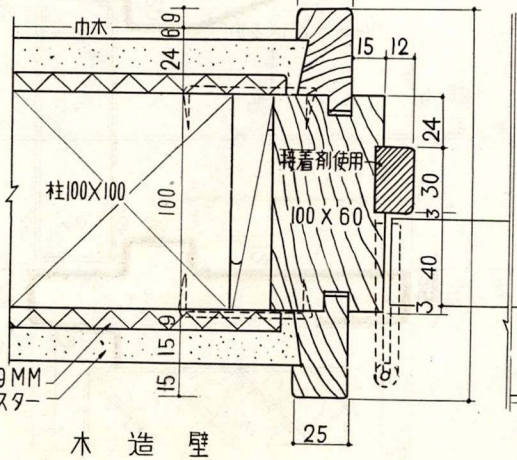
出入口部分

木製開戸わく 203 B



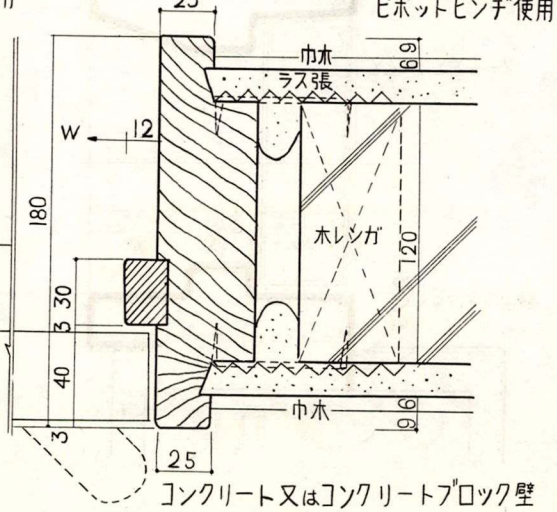


蝶番使用



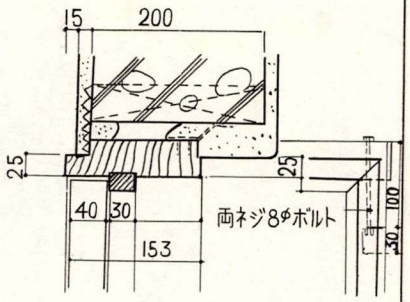
木造壁

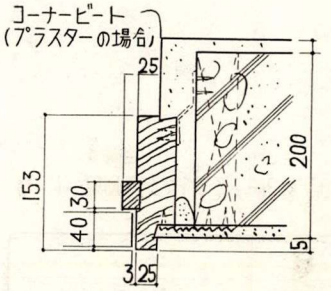
ピボットヒンヂ使用



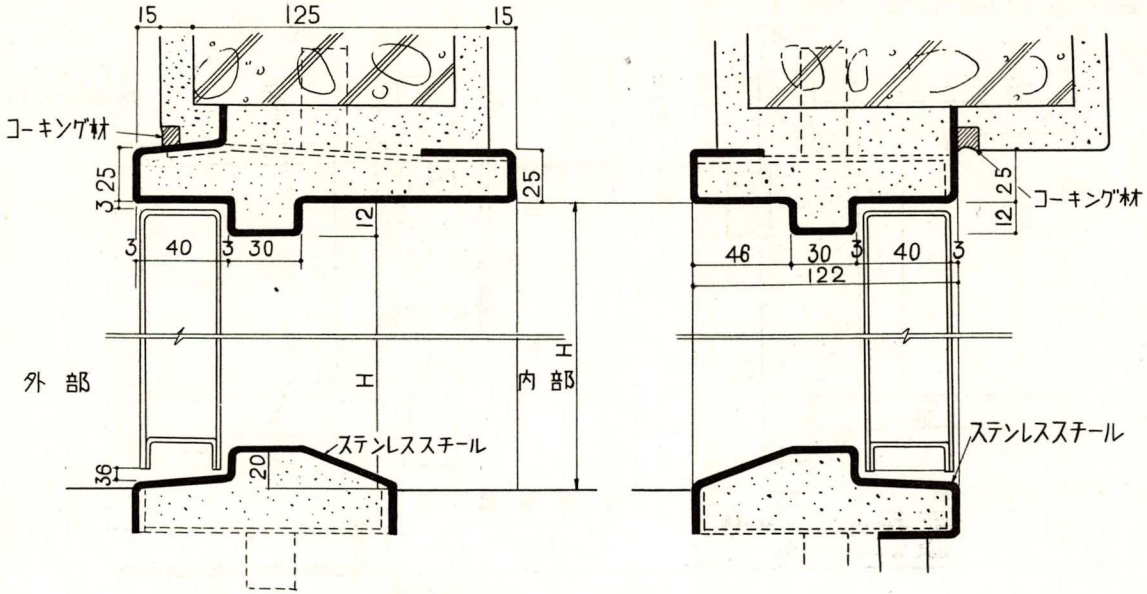
コンクリート又はコンクリートブロック壁

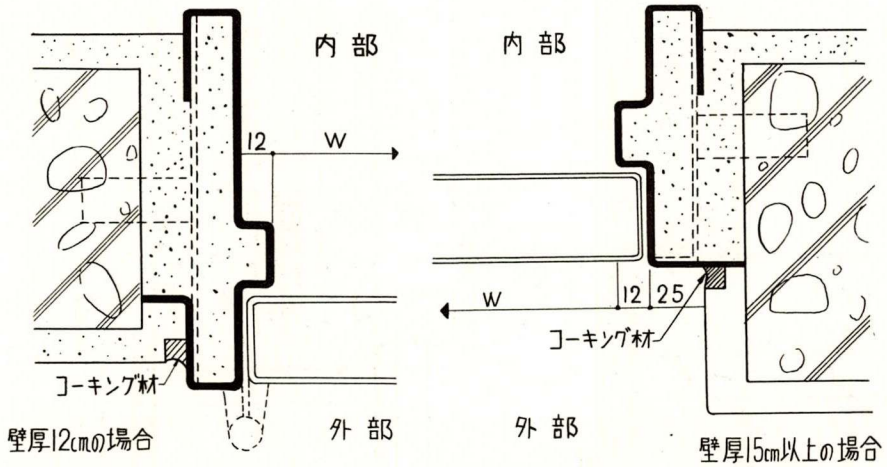
註 1. 踏摺 見切縁は原則として設けない。
2. 建具をわく面にそろえる場合はピボットヒンヂを使用。





壁厚が150以上の場合





鋼製開戸わく（外部用）	201 B

註 1. 踏摺はステンレススチール18,20MMを使用。

設計と規格

4

標準ディテールへのアプローチ

建設省近畿地方建設局営繕部

片　山　光　生

はじめに，結論的にいえば，建設省営繕局全体としては，設計計画の基準は作っているが，各部標準ディテールはきめておらない。おいおい作るとは思われるが，全国統一ということはなかなかむつかしい現状である。以下私達の仕事と基準との関係について現状をご説明することとする。建設省営繕局の出先である私達は，全国に散らばる中央官庁の出先機関の建築工事を担当しており，予算的には種々に分れている。大蔵省予算では，税務署，税関，労働省予算では，基準監督署，公共職業安定所および労災病院，建設省予算では合同庁舎，その他，総理府，農林省，法務省，など各省予算のものがある。したがって建物の種類もひじょうに多く，厚生施設である保養所や住宅なども含み雑多である。また各省により予算単価が異り，この辺にも標準ディテールの作りにくい理由がある。

建設省営繕局では全国的に設計態度方針を統一するために，設計計画の基準および資料を作りつつある。すなわち本省の建築課においては，各省庁とその建物の備えるべき機能，規模，を充分打合せ，検討を行ない，また各地方建設局で先に実施した工事のなかから取捨選択し，また設計面における最大公約数的要素を抽出して，基準や資料を作るわけである。私達は基準と資料を用語上で区別して，基準とは一応これに依らなければならないとしたもので，資料は基準の説明のためのものや，基準にするほど充分に固まっていないものを参考とし流す場合に資料という言葉を使う。現在営繕局で作った設計基準は，公共職業安定所，税務署，総合職業訓練所，労災病院などがある。以下そのひとつである公共職業安定所設計基準について，その目次を挙げて内容を紹介する。

第1章　総　則

1．1　目的

この基準は公共職業安定所の建築に関する一般的原則と最少限度の基準を定め，その効果的な業務運営に資することを目的とする。

にはじまっている。すなわち前述の最大公約数的なものである。以上目次だけとする。

1．2—法規およびその他との関係

第2章　設計方針

2．1—設計方針

第3章　敷地および配置計画

3．1—設置場所ならびに敷地条件　　3．2—敷地面積

3．3—配置計画

第4章　一般計画

4．1—構造ならびに階数　　4．2—平面計画

4．3—所要室および基準面積

第5章　各部設計

5．1—業務室　　5．2—一般事務室

5．3—所長室　　5．4—選考室兼会議室

5．5—書倉　　5．6—倉庫

5．7—宿直室　　5．8—小使室，湯沸室

5．9—便所　　5.10—交通部分

5.11—燃料庫　　5.12—自転車置場

5.13—敷地境界，棚，門　　5.14—掲示板

5.15—その他

第6章　待合人数の算定その他

6．1—一般紹介および認定の待合人数Nの計算

6．2—便所使用人数Vの計算

以上が基準の内容であるが，これに頁数において約10倍の説明資料がついている。この資料には職業安定所の組織規定より始まり，職員構成，求人者の分類，求職者や失業保険給付者の分類や事務手続の流れ，日雇求職者の登録および紹介，失業対策事業紹介など業務の説明がある。また業務室の計画においては接客線のありかた，職業紹介の机配置とクリヤランスの基準寸法，室面積など。あるいは待合室の計画においては，実態調査の結果求めた求職者の滞留状況や時召的変化。また月別の変化や週間の変動が図表によって表わされている。

上述のごとく私達は設計方針においては全国的に態度を統一しているが，標準ディテールは持っていない。しかしながら各地方建設局においては，それぞれ慣用数値をもっている。例えば近畿地方建設局においては，一般事務室の天井高は2.7米とし，したがって階高は3.5米が普通となる。また出入口の高さは1.9米または2.1米とし，柱間隔は普通7米×7米，6米×6米，7米×6米の格子に組み込む，しかしとくにそれが便利な場合には，5.4米や4.5米を使うこともある。スティールサッシは見込25粍のものまたは規格サッシとし，硝子は3粍，5粍である。一般事務室内部仕上は天井—プラスターボード，壁モルタル部エマルジョンペンキ塗，間仕切—ベニヤオイルペンキ塗，床アスファルトタイルまたはリノリュームが普通である。

終りに私見を述べれば規格化なるものはやはり能率を上げ工事費を低減させるのが目的であるので，詳細ばかりの規準ではなく，予算の取得，計画，設計，施工，維持管理までを含めて一連の規準にのせられれば理想的であり，工業としての建築を発達させるに必要である。私達の場合でいえば，例えば，A級の税務署といえば，7米×7米の柱間格子が何こま必要であり，単価は何程，また構造計算にしてもいちいちオーダーメードで計算するのではなく，予め柱間の規格と階数が決ったものを数種準備して置き，庇やアクセサリーの付き方で多少手を入れるようにする。この場合少々の耐力壁などはあてにしなくて柱にもたす。このようにすれば構造休の積算もいちいちしなくてよくなる。少し暴言かも知れないが数少ない人手で多量の工事をこなすには便利だと思われる。

設計と規格

5

公団住宅標準詳細図集

日本住宅公団大阪支所設計課長
小西嘉夫

①アプローチ

住宅公団大阪支所においては，今年度から標準設計図の一部として，標準詳細図集を作成して使用している。住宅の大量建設のためには，材料部品の規格化量産化をはかり，また設計監理施工監理の簡易化をはからなければならぬ。またそれが一般建築産業の合理化を促進するに役立つことは当然のこととして考えられる。そのためにも住宅公団の使命は重く，また現在におけるモデュラーコーディネィションの動きと相まって，建築産業構造の改革に大きな役割りを背負っているといわなければならぬ。発足当時は，ともかく年内3万戸の量をこなすために夢我夢中で工事を発注していた。ところが，このような大量建設をやると，いろいろと事故もあり，また入居者からクレームも相当でてきた。一方私達のほうでも五ヵ年にわたる設計経験・施工経験が蓄積され，これらが集大成されて今年になってやっと標準詳細図ができたといえる。したがって現在の段階では，公団住宅建設における設計および施工監理上の統一をはかり，住宅の質を確保するとともに経験の蓄積を図面として把握していく手段と考えている。

②問題点

鉄筋アパートが再生産の場として安全なねぐらであるためには，室の広さなど平面計画上の問題とか，暖房冷房などの環境衛生的な問題は別として，設計上の問題点としては，つぎの点が考えられる。

a）雨漏り

これは屋上からの漏水は当然として，窓枠建具周囲からの浸水，浴室廻りの防水などである。その内屋根防水については，当初から特殊仕様による簡易アスファルト防水を採用している。この点は公団のなかでも大阪だけが特異であって，他では防水コンクリートである。窓枠周囲からの浸水は，枠取付の際のモルタル詰めのあいまいさから生ずるもので，現在では周囲にコーキング剤を充填している。また敷居の水返しが問題である。規格型のスチールサッシュはこの点まだ問題を残している。浴室廻りの防水も，下階へよく漏水してクレームが多いところで，とくに注意をはらわなければならぬ。

b）子供の落下防止

入居者の不注意もあったとはいえ，やはり子供が落ちて死んだという現実は，私達の心を痛めずにはおれない。窓手摺やベランダ階段踊場などの手摺は現在では安全性と経済性を考慮して，軽量型鋼を使用して規格化をはかっている。竪子のピッチは12cm以内，取付の際にとくに注意を喚起する意味で別図のように細かく規定してある。15cmでは子供は抜け落ちる。また足掛りになるようなものはさけなければいけない。

c）防盗

従来の彫込式のシリンダー錠は完全なる財産の番人ではなかった。これはシリンダー錠だけの問題ではなく，鋼製ドアーの枠框と一緒に考えなければならぬ問題であるが，現在では面付錠を採用している，公団型はとくにデッドボルトの出

を 15 mm 以上と規定している。また用心鎖をつけて生命の危険を守り，従来ドアーにつけてあった廻転式の牛乳受箱などは，軸が破壊されるおそれがあるために廃止した。

d）換　　気

鉄筋アパートは木造日本家屋に比較して気密である。したがって暖房・炊事どきにおいて，ガスの燃焼により発生する水蒸気が飽和状態に達して，温度差によって壁面に結露をおこす。すでに金岡団地でひじょうに苦い験経をした。また共用排気筒を使用したガス風呂の焚口において，給排気が不充分で，ガス中毒を起したこともある。現在では構造体をいためないために窓建具に換気小窓をつけるとともに，台所には換気ファンを取付けえるよう考慮してある。ファンは別に公団規格型のものがある。

③表　　現

標準詳細図集を使用することによって，標準設計図のほうも当然表現の方法がかわる。すなわちディテールは図集にないものだけを書けばいいし，図集にあるものはすべて記号で表示すればよい。仕上の記入なども，仕上表と展開図によればいいわけで，平面詳細図もほとんど記号の表示だけでこと足りる。建具表などはリストだけでよい。図集のほうはつぎのように記号を分類した。

I ……内部詳細	100	床
E ……外部詳細	200	壁
	300	開口部
	⋮	
F ……建具詳細	100	スチールドアー
	200	スチールサッシュ
	⋮	

④期　　待

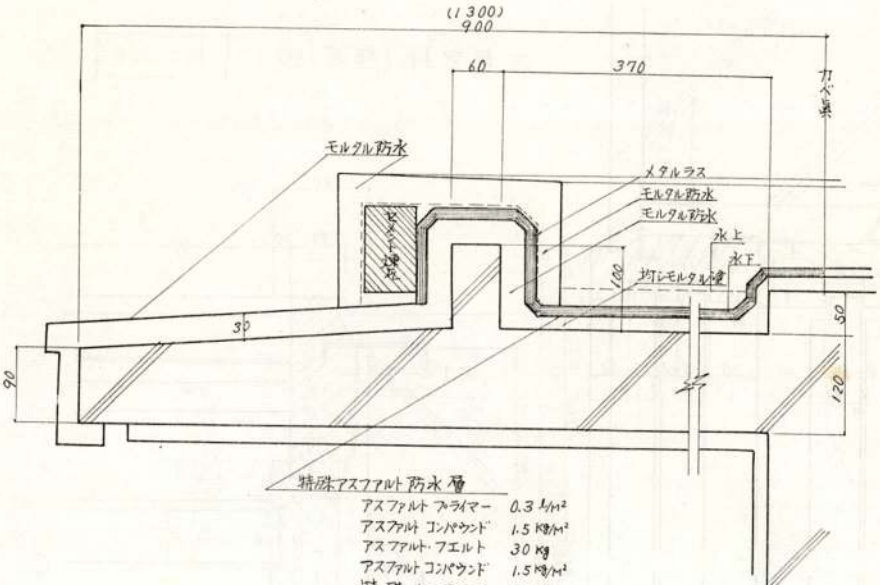
こういった設計の標準化に対しては，これが常識化し，固定化し，マンネリズムにおちいって新しい技術の展開をはばむと反論されることがある。しかし私達はこう考える。もちろんこれが完全なものであるなどとは毛頭思っていない。ただ過去における経験の蓄積をまとめたものであって，ふたたびおなじ失敗を繰返さないためにも，その手引きとして使用されればいい。これはあくまで新しい技術を開発するために，どうしても踏まなければならぬステップであり，このような量産のための規格化とディテールの統一が，自由なる設計を阻むものであってはならないのである。とかく合理化が人間の非人間化を招来することが多いなかで，その合理化が人間の規格化でなく，人間性を確保するための手段であるように考えたい。

合理化による生産性の向上，ひいては日本における住宅建設を世界的水準にまで高めるために，私達は懸命の努力を惜しまないものである。

以下4頁にわたって公団標準詳細図面を紹介します。

屋上アスファルト防水層

E-102



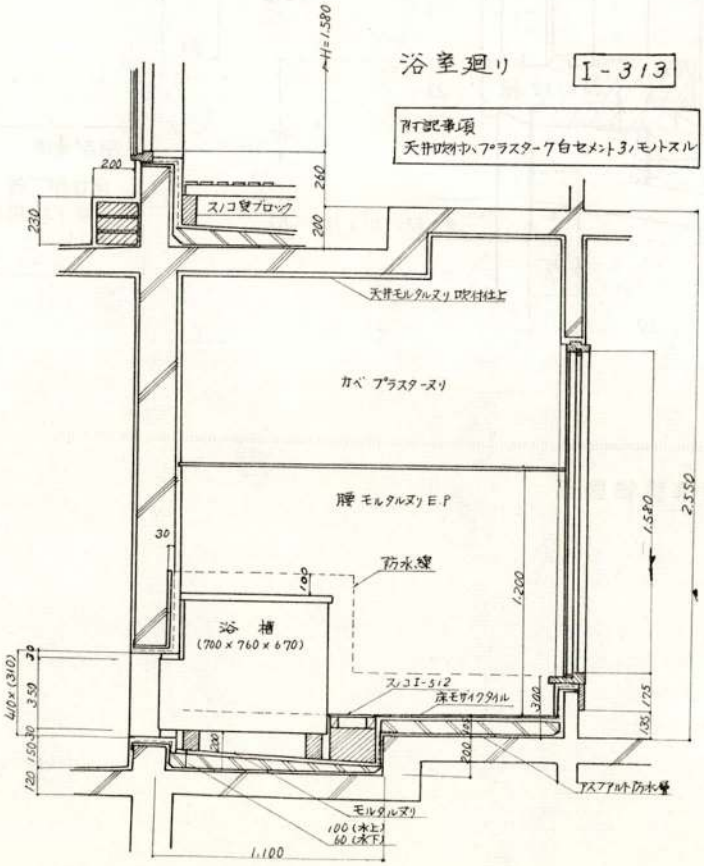
特殊アスファルト防水層

アスファルト プライマー	0.3 ℓ/m²
アスファルト コンパウンド	1.5 kg/m²
アスファルト フエルト	30 kg
アスファルト コンパウンド	1.5 kg/m²
特殊 ルーフィング	40 kg
アスファルト コンパウンド	1.5 kg/m²
砂付 ルーフィング	40 kg
アルミペースト吹付	2 回

附記事項
1. 裏側ニハ中370ノ溝ハ不要
2. ( )ハ南側ベルコニー上ノ寸法トスル

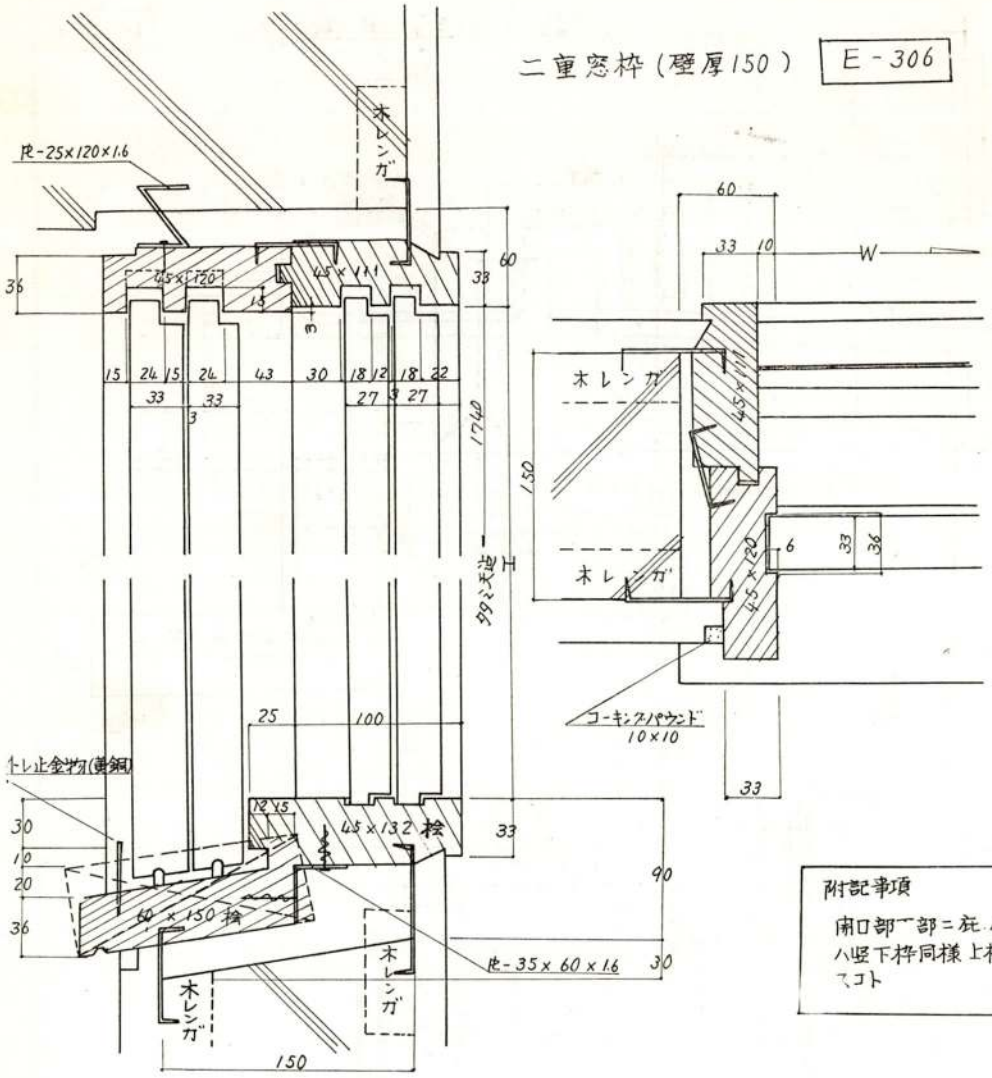
浴室廻り

I-313



日本住宅公団標準詳細図面

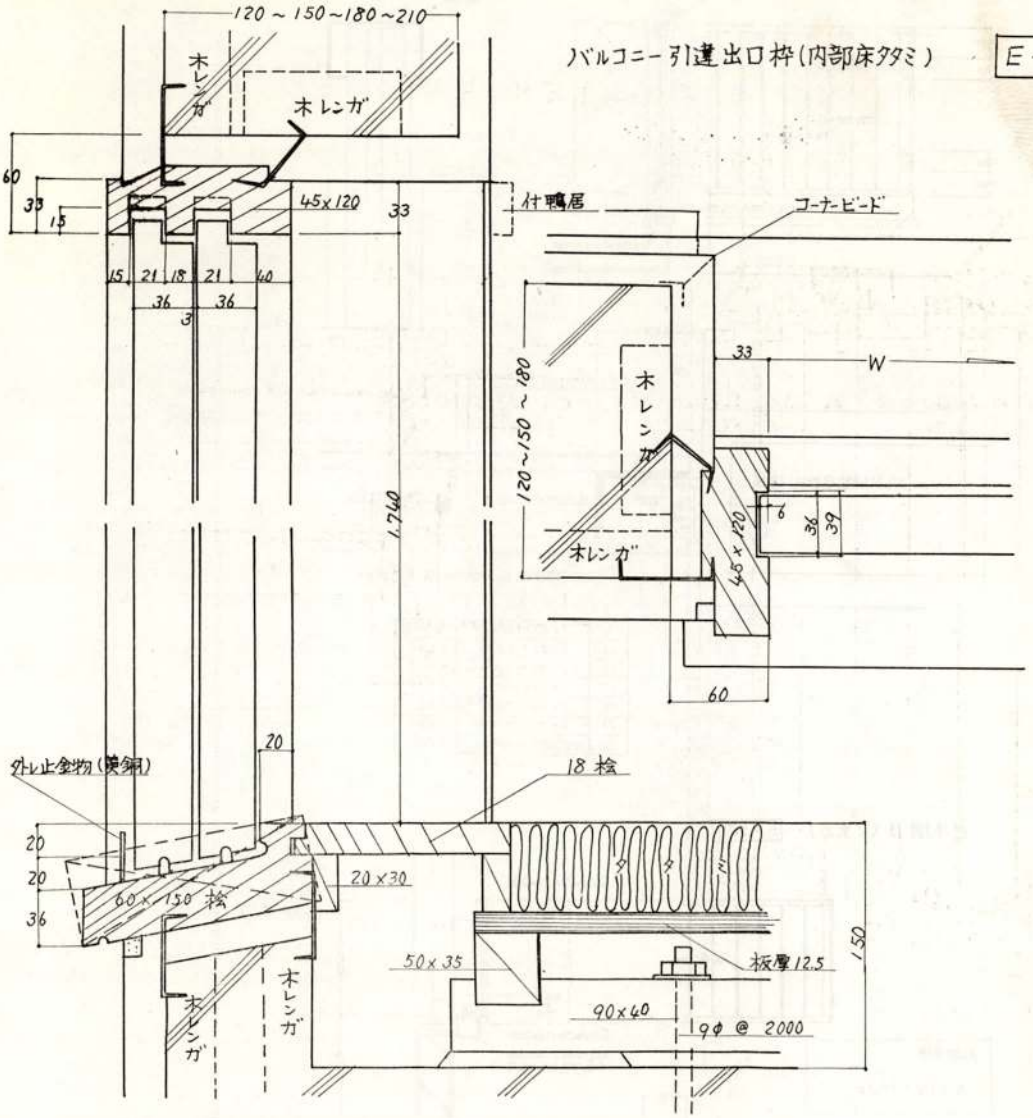
二重窓枠（壁厚150）　E-306



附記事項

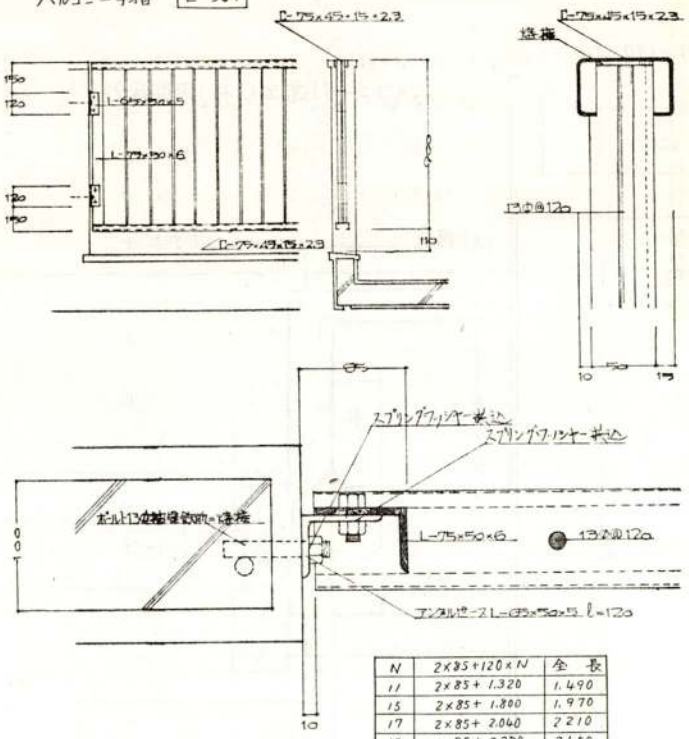
南口部一部ニ於バルコニー等ナキ時ハ竪下枠同様上枠ニモコーキングヲナスコト

バルコニー引違出口枠(内部床タタミ)　E-301



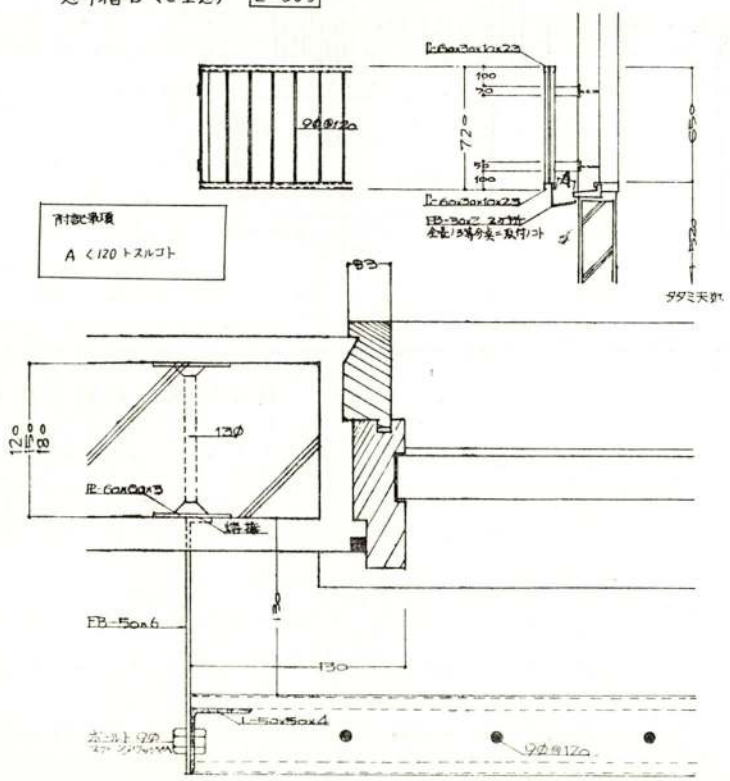
日本住宅公団標準詳細図面

バルコニー手摺 E-501



N	2×85+120×N	全長
11	2×85+1.320	1.490
15	2×85+1.800	1.970
17	2×85+2.040	2.210
19	2×85+2.280	2.450
21	2×85+2.520	2.690
24	2×85+2.880	3.050

窓手摺B（2重窓） E-503



建築と規格 アンケート

A. 建築の設計や施工の経験を通じて，もっと規格化が必要なもの，あるいは規格化されると便利になるものを1，2点お知らせください。

B. 現在，規格化されているもの，あるいはそのメーカーに注文することはありませんか。

上記アンケートについて，全員名簿のなかからアトランダムに選んだ約100名ばかりの会員に依頼しましたところ11名のかたから回答がありました。

数少いこれらの回答から速断するのはいけないが，一応回答のなかから規格化が必要とされるものの問題点を整理してみると，

① まだまだ，尺，インチ制がはびこっており，これらを至急にすべてメートル側にかえるべきだ
② そのさい新しいモデュールにしたがって規格せよ
③ 内装材，建具類（金物，鋼製建具）畳類，ボード，塗装製品などの規格化
④ 主体，構造の寸法規格化（構造の標準化）
⑤ 厚板のラミネーションを調べる規格がほしい
⑥ 附帯設備の分野での規格化
⑦ 施工精度の検定の規格が必要だ
⑧ 建築の型としての規格化
⑨ 都市の規格化の必要性

などがとりあげられております。

また注文することについては，サッシなどの規格化のほかに，碍子寸法の種類を少なくしたい。あるいは規格化された材料をフルに運用する講習が必要だというご意見もありました。

♥

和（やまと）設計事務所 **三輪泰司**

A. とくに，附帯設備といわれていた分野での規格化がもっと必要と思います。たとえばエレベーター，暖冷房のための製品，部材は，その互換性のうえからも必要です。しかし，それより以前に建築の施工そのものの規格化が要求されねばならないと思います。すなわち施工精度の検定の規格（たとえば誤差何%までは何級といった）により，全体の精度をコントロールできるようにすることが要求されると思います。

また，設計の側でも，表示の統一規格化された図面のかきかたを徹底させるべきだと思います。

♥

藤木工務店設計部 **辻野純徳**

A 現在の規格は，尺寸法のメートルに読みかえたもの。1mの単位のもの。フィートなどのメートルに読みかえのものと，それぞれなんの根拠もなくつくられている状態です。建築の設計，施工，技術に近代建築界としてのつみ重なりをえてきたこんにち，また，メートル法実施のときにあたって，新しいモデュールにしたがって規格寸法再検討する必要ありと思います。現在は便利ではなく，価格単位としての規格（＝単位）にすぎません。

B. 規格サッシュなどは良く用いますが，これは明らかに価格が安いという理由だけからで，前記の統一（モデューラ，コーオーディネイション）がないかぎり便利に用いるわけにはいきません。

♥

関電，春日出火力建設所 土木建築課 **井上雅嗣**

A. 内装材，建具類，畳類。

間，尺，寸，寸法を用いないようになっていますが，まだまだ『1尺5寸8分』などという人が多いのにはつくづくいやになります。もっとメートル法を強化しなければいけないと思います。

B. ○○製品で，JIS○○といっていても，番手#30とか#14とかただ単にインチ制を，番手にしたのみのものがはびこっていますが，おかしな具合ですね。

♥

東畑建築事務所 **池田武彦**

A. 建具金物 (1,818×606 / 1,818×909)
ボード類 (2,000×1,000)
スレート大平板 / フレキシブルボード
メートルものが非常に少ない。

B. 碍子寸法 125種類をもうすこし少なくならないでしょうか。

♥

倉敷レイヨンKK営繕部 **北村　修**

A．主体構造の寸法規格化が必要である。われわれが設計している建築のなかには，『柱間』『階高』『柱梁の大きさ』など寸法規格化が可能なものが相当ある。

主体構造の寸法規格化ができれば，そのなかに入れる調度品や，仕上材料の寸法規格化が完全なものになるだろうし，型枠，鉄筋などの加工法も工業的になるだろう。主体寸法は規格にガッチリはめ，仕上材料の種類，取扱いによって個性を出すような方向に向っていくことが望ましい。

♥

清水建設KK **清水民雄**

○　現在の社会形態における，このような営利会社のなかでの設計体験を前提とすると，ほしいものがありすぎる割りに規格化されているものの少いことがよくわかる。身近かな例は諸氏から提示あろうと思うので，わざと前提を離れ，つきつめて考えてみると，建築自体の規格化という問題にいきつく。

○　建築を殻と Space とにわけて考えるとして――これを論ずるのは別にゆずって――，殻（現在構造体とよばれている概念に近い）を規格化してどんどん創り，そのなかの空間を人々は自由に，好みのムードに区切りとっていく。こうすると，規格化と Personality との相剋も自然解決される。そのとき都市全体の計画がはじめにおこなわれねばならぬのはいうまでもない。都市の規格化といった大づかみなところで――もしくはごく小さな点で――規格化をすすめたい。

♥

竹々公社新営課 **太田伝一郎**

A．現在ほとんどの建築材料の寸法は尺，またはフィート，インチ制の大きさのものをメートル法に書きかえているだけであるが，すべてメートル制にかえるべきだと思います。最近目地ともで5cm角のモザイクタイルを使用している建物が多いようですが，われわれのところでも全面的に使用しており，設計，施工上たいへん便利です。設計の場合も施工の場合もメートル法を採用するようになったいまでも，建築材料の規格寸法の制約から尺やフィートに引きずられているのが現状です。

B．とくにありませんが，レディメードのアルミサッシュなどは良い例だと思います。

♥

泉佐野市土木課 **北山　理**

A．構造を標準化して一覧表にして欲しい。鉄筋コンクリート造の場合スパン5mのときは梁の断面30×80鉄筋数何本というように。

♥

日建設計工務KK技術室部長 **近藤　保**

A．規格化の一部の寸法が在来の尺寸単位から出発して，1尺が303 mm であり，3寸6分，2寸5分タイルというような材料の寸法を Metric にすべきと思います。

300mm，100mm（例）

目地含み 100mmタイルなどはいたって便利のように思います。

規格化された材料をフルに運用する訓練を教育すべきと思います。

テラゾーブロックを規格化されて製造され初めました。その材料を充分使いこなすようにすべきと思います。

♥

近畿電通局建築部 **前田浩輔**

A．1.鋼製建具をもっと，各社とも規格化してなるべく使用するようにしたいものだ。

2.塗装工事で，現在はほとんど合成樹脂塗装の時代になっているが，各社の製品名を各系統ごとに名前を統一したなら良いのではないかと思われる。

B．現在三機工業が，規格サッシュをよくだしているが，他のサッシュ業者も規格サッシュを製作し，設計者に多く使用していただくようにPRをしてほしい。

♥

円堂建築設計事務所 **黄翠娥**

A．現在某ビルに厚板（35 ㎜～25 ㎜）の溶接構法をとりました。そしてラミネーション（板厚方向に剝離する性質）をいちばん心配しています。ところがこれを調べる規定が JIS 規格にありません。

B．建築が次第に大型になり，使う板厚も大きくなってきております。ひじょうに困難だとは思いますが，ミルシートにラミネーションの項が入る日のくることを祈ります。

新規格の悩み

船場木材KK代表取締役
広瀬久治郎

トピックス

新農林規格は従来の十万種類にちかい規格寸法を十分の一以下に簡素化するべく制定されたもので，本年一月から発効した。そして木材業界では製材品入荷の95%がメートル表示にかわってきたものの，その半数以上が新農林規格の標準寸法でなく従来の地方色を反映した用途別寸法である。これは建築面のメートル法実施が五年先の41年からと予定されているために，官公庁や建築業界からの木材発註はほとんどが旧規格であって，木材業者としては新規格許りの在庫では到底註文に応えられない。そこでこれが旧規格のメートル表示材の横行する主因である。また受註書や見積書などがほとんど尺寸表示である。これをメートルに換算して荷送状，明細書などに尺寸とメートルとを併記しなければならぬ。このわずらわしさは木材界日常の大きな頭痛の種となっている。建築面のメートル実施は五年先などのんきなことをいわず，一年でもそうそう実施すべく，そして当面の対策としては，木材業者と発註業者とが事前に話合のうえ新規格品（メートル寸法に依る）で註文してもらいたいし，私達もその努力をつづけてゆきたいと思う。

木材業者より

三国木材KK代表
若木寛

新農林規格

新農林規格普及の本年の目標は，形量寸法に置かれている。設計建築のメートル法実施が昭和41年になっていることも新規格の普及を著しく阻害しているが，なんといっても千数百年の歴史をもつ尺貫法が，生活に根深く滲みこんでいるので，取引単位ひとつでも全国市場で統一することがむつかしい。製材歩出機の取替えも30%程度である。見積依頼の木材明細も大半は平気で尺貫法が使用されている現状である。

最近における建築費の上昇，とくに木材価格，人件費の急騰によって，心々一米の設計がおくれているようであるが，造材の時期とにらみあわせて，その時期が業者にとってもつとも関心ごとである。等級についての本格的な普及は来年以降になるようだ。木材強度の再検討（年輪巾により二区分する）木造組立ハウスの完成など，こんにちにほど木材研究の重大性が痛感されるときはない。

新農林規格

大阪府林務課主査
脇田勝之

トピックス

従来の木材関係の日本農林規格は，統制時代に制定されたもので，最近の取引の実情とはほど遠く，需給の実態に即せず，ほとんど励行されていなかったので，本年1月1日のメートル法実施を機会に，根本的に内容を検討して簡素化し，実施しやすいことを眼目とした新しい規格の制定が行なわれた。新規格の主体で，とくに建築と関係のふかい用材の規格にいつてその特徴をみると，関西関東間の統一を図る意味から，柱の心々一米を基準として用材の長さを決定，厚さ巾についても単純化し，使用度の高いものを標準とし，品等区分については従来考えられていなかった強度を考慮するとともに，化粧面に使用する材については，等級呼称と内容が一致するよう配慮されたことである。なお新規格には，「くい丸太」，「電柱」，「枕木」，「腕木」，「単板」，「合板」，「床板」，「一般材」（用材，きり材，建具材，すぎ薄板）「押角」，「耳付板」，「坑木」，「造船材」（木造船用材，鋼造船用材）「木箱仕組板」の別がある。

発注者から

大日本土木KK大阪支店購買課長
喜多聖泰

新農林規格

永年のあいだ身につけた習慣をかえることのいかに至難なことかとつくづく考えさせられながらも，法に定められた規格に沿うべく努めているのですが，本当に規格通りの製品が通用するのは全国の製材業者の製材機がすべてセンチ単位に切替わることが先決で，その時にはじめて新規格の寸法の製品が市中に出廻るのではないでしょうか。早い話が板類を発注した場合，一応厚15ミリ長さ4米としても，巾はやはり5分刻みの寸法が適用され，角材は3寸～3寸5分などとつい口からでて，しかも相手からセンチ単位で聞きかえされ，スケール片手に寸法を換算するのが現状ではないでしょうか。また規格の程度も農林規格と業者間の規格（同じ小節などでもペン下と否とにより異る）と二本立が多く，新規格でといっても旧規格なみに考えられたりしてますます混乱します。とにかく1日もはやく，つぎの時代のひとびとがなんの迷いもなく，この新規格になじめるようにするのがわれわれに課された義務とし，またその日のはやからんことを念じて，あえて現状を報告する次第です。

木の窓と鉄の窓

三機工業KK
斎藤祐義

トピックス

日本の建具は昔から規格寸法である。規格寸法の便利さは身をもって体験したはずの日本人が，西洋建具の規格寸法に抵抗をかんじてきたのはなぜだろうか。木製建具に規格があって，スチールサッシに規格が実施されなかったのはなぜだろうか。機械加工の技術をもちながら規格生産に踏みきれなかったのはなぜだったろうか。規格に対する設計者の無理解もあったろう。規格生産に踏みきれなかった製造業者の怯懦もあったろう。しかし，その根本の原因はサッシの年間需要が規格生産を可能にする量に達していなかったことであろう。サッシの年間需要100億円以下では規格品も育たない。年間5万屯以下の生産では，規格品の生長するよちがない。日本で規格サッシが生れたのは，世界的な日本の経済成長率が育てた建築量の急増と労力不足のたまわりである。こんごの労力不足はますますしんこくになろうし，この合理的な解決法として建築材料の規格統一，さらにすすんでは建築のプリハブ化が推進されよう。

アルミサッシと規格

不二サッシ工業（株）技師長
井上千寿

規格サッシ

窓は，木，スチールの時代からアルミニウムの時代にかわりつつある。欧米ではこんにちサッシはアルミが常識である。アルミサッシは，押出型材を全面的に活用している以上，鉄板を主材とするスチールサッシとくらべて，はじめから規格性をもっている。高級ビルだけに使用されている間は規格化の要求はすくないが，これが大衆化されるための必然過程として規格サッシの問題が生じてくる。アルミサッシのJISでは，主として品質上の規格だけにして，デイティルはメーカーの自由にした。これは日進月歩のアルミサッシの実情にマッチしていると思う。筆者の属する不二サツシ工業では，2年前にレディメードサッシFR型を発表したが，オーダー製品の半値以下であり，短期間に驚異的発展をとげてアルミサッシの大衆化に貢献した。最近さらにいろいろ改良を加えた。エヤータイト式の新FRを準備中である。業界の動向から見て，私は，つぎはレディメードアルミサッシの時代であると思う。

義務教育用家具

大阪市教育委員会事務局
庶務課調達係長
杉垣仙治郎

トピックス

家具といえば，従来はほとんど木製で，豪華なものから実用本位の簡素なものにいたるまで，いづれも生活の用具とし，かつ日常生活における欲望を満たす美的要素を備え，生活を快適にせしめるものである。家具はその時代の風俗，生活状態，科学，技術の発展により，種々構造，色彩，製作技術にいたるまで変遷があり，現在では木製品ばかりではなく，金属，プラスチックス，その他新材料が使用されている。家具は建物と密接な関係があり，最近学校においてもやや高度の家具類を要求されるようになってきた。しかし都市と田舎の学校，あるいは規模上，経済面などにおいてその限界がことなり一定していない。とくに義務教育の諸学校においては，部屋の装飾品とならないよう実用性を充分とりいれ，理想的な基本設備として全国共通するもつとも望ましい学校用家具類の規格（形状，寸法，構造，材質など）を一点につき2，3種設ければ，当事者はもちろん，これを製作する各業者も，技術と作業能率を高め，ある程度の適正な価額もえられるのではないか。

内容見本



鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集

編集発刊

社団法人　日本建築協会

発刊のことば

石崎澈雄

建築構造に関して出版された書物は多いが，実際に建てられた建築物の構造やその設計過程を明らかにしたものは少ない。しかも，鉄骨鉄筋コンクリート造の場合などは，でき上っている建物を見ても，主たる構造はコンクリートを被っているために，これを知ることができない。

本書は実在の建物の構造とその設計方法を示すために，最近つくられた代表的なビルディングの構造図面と計算書に施工中の写真をそえたものである。これにより鉄骨鉄筋コンクリート構造の詳細を知り，それに用いられる種々の手法を見ることができる。従って専門の建築構造技術者にとって役立つと同時に，現代の建築構造を示しているという意味で，専門外の方々でも，多少とも建築構造に関心のある方には，よい参考資料になると思う。

鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集編集委員会

編集委員長　石崎澈雄／京都大学・教授・工学博士
幹　事　倉石秀夫／竹中工務店
宮川達郎／日建設計工務
力武利夫／清水建設大阪支店
委　員　芦田弥直／大成建設大阪支店
石田　正／竹中工務店
木田幸夫／大林組
小泉　昇／竹中工務店
陶浪貞彦／清水建設
多田英之／日建設計工務・工学博士
竹森達郎／大成建設
長田正雄／大阪建築事務所
前川陽一／村野森建築事務所
レイアウト　山本敏郎／日建設計工務

総目次

新大阪ビルディング
地下2階・地上9階・塔屋4階・延面積 27,953m²
設計・村野森建築事務所
施工・株式会社　大林組

関電ビルディング
地下3階・地上12階・塔屋4階・延面積 36,826m²
設計・施工　株式会社　竹中工務店

阪神ビルディング
地下2階・地上11階・延面積 47,327m²
設計・施工　株式会社　大林組

千代田生命ビルディング
地下3階・地上9階・塔屋3階・延面積 12,875m²
設計・施工　大成建設株式会社

輸出繊維会館
地下3階・地上8階・塔屋3階・延面積 15,260m²
設計・村野森建築事務所
大阪建築事務所
施工・株式会社　戸田組

大阪国際貿易センター
本館・地下1階・地上5階・延面積 13,145m²
設計・日建設計工務株式会社
施工・株式会社　大林組

大阪東映会館
地下1階・地上8階・塔屋3階・延面積 8,845m²
設計・施工　清水建設株式会社

${}_sM' = 2,400 \times 15 \times 0.409 = 14.7$ t·m

${}_rM' = 36.1 - 14.7 = 21.4$ t·m

$\dfrac{P'}{bDf_c''} = \dfrac{86,200}{65^2 \times 112} = 0.182$ $\dfrac{{}_rM'}{bD^2 f_c''} = \dfrac{2,140,000}{65^3 \times 112} = 0.069$ ${}_rp_c = 0$

$\dfrac{P'}{bD{}_rf_t'} = \dfrac{86,200}{65^2 \times 2,400} = 0.0086$ $\dfrac{{}_rM'}{bD^2\,{}_rf_t'} = \dfrac{2,140,000}{65^3 \times 2,400} = 0.0032$ ${}_rp_t = 0.02\%$

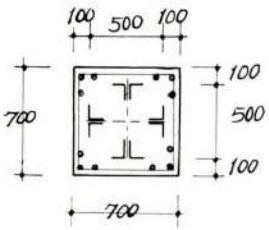
よって，鉄筋量は鉄筋コンクリート構造計算規準を準用して0.8%を適用する。

$\Sigma a = 65 \times 65 \times 0.008 = 34\ \text{cm}^2 \quad < \quad 12-22\phi = 45.6\ \text{cm}^2 \quad \therefore$ OK

剪断力の検討 $d_t = 9$ cm $d = 56$ cm $j = 49$ cm

$\tau' = \dfrac{22,900}{65 \times 49} = 7.2\ \text{kg/cm}^2 \quad < \quad 12\ \text{kg/cm}^2 \quad \therefore$ OK

3 階



主材 $8L_s-75\times75\times9$

主筋 $4-25\phi$, $8\sim22\phi$

P (柱頭) $= 126.8$ t

$P_x' = 126.8$ t $M_x' = 43.7$ t·m

$P_y' = 126.8 \pm 4.3 = 131.1$ t or 122.5 t $M_y' = 49.2 \pm 0.2 = 49.4$ t·m

$Q' = 31.4$ t

${}_ra_t = 17.42\ \text{cm}^2$ ${}_rP_t' = 41.8$ t ${}_rP_c' = 70^2 \times 120 = 589$ t

${}_rP_t' < P' < {}_rP_c'$ より

${}_sa_c = 25.38\ \text{cm}^2$ ${}_sa_t = 25.38 - 2.05 \times 0.9 \times 2 = 21.7\ \text{cm}^2$

${}_sp_c = \dfrac{25.38}{70 \times 70} = 0.0052$ $f_c'' = 120 \times (1 - 15 \times 0.0052) = 111\ \text{kg/cm}^2$

${}_sj = 50 - 2 \times 2.17 = 45.66$ cm

${}_sM' = 2,400 \times 21.7 \times 0.457 = 23.8$ t·m

${}_rM' = 49.4 - 23.8 = 25.6$ t·m

コンクリート $\dfrac{P'}{bDf_c''} = \dfrac{131,100}{70^2 \times 111} = 0.24$ $\dfrac{{}_rM'}{bD^2 f_c''} = \dfrac{2,560,000}{70^3 \times 111} = 0.067$ ${}_rp_t = 0$

鉄筋 $\dfrac{P'}{bD{}_rf_t'} = \dfrac{131,100}{70^2 \times 2,400} = 0.011$ $\dfrac{{}_rM'}{bD^2\,{}_rf_t'} = \dfrac{2,560,000}{70^3 \times 2,400} = 0.0031$ ${}_rp_t = 0$

$\Sigma a = 0.008 \times 70^2 = 39.2\ \text{cm}^2 \quad < \quad 4\sim25\phi,\ 8\sim22\phi = 50.04\ \text{cm}^2 \quad \therefore$ OK

剪断力の検討

${}_sa_t = 21.7\ \text{cm}^2$

${}_ra_t = 17.42\ \text{cm}^2$

$a_t = 39.12\ \text{cm}^2$

$d_t = \dfrac{21.7 \times 12.17 + 17.42 \times 6}{39.12}$

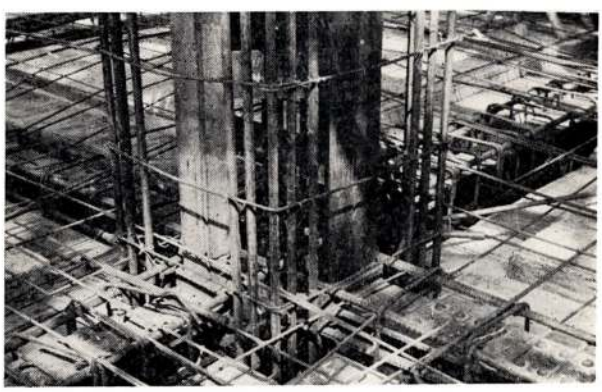
$= 9.4$ cm

$d = 70 - 9.4 = 60.6$ cm

$j = 53$ cm

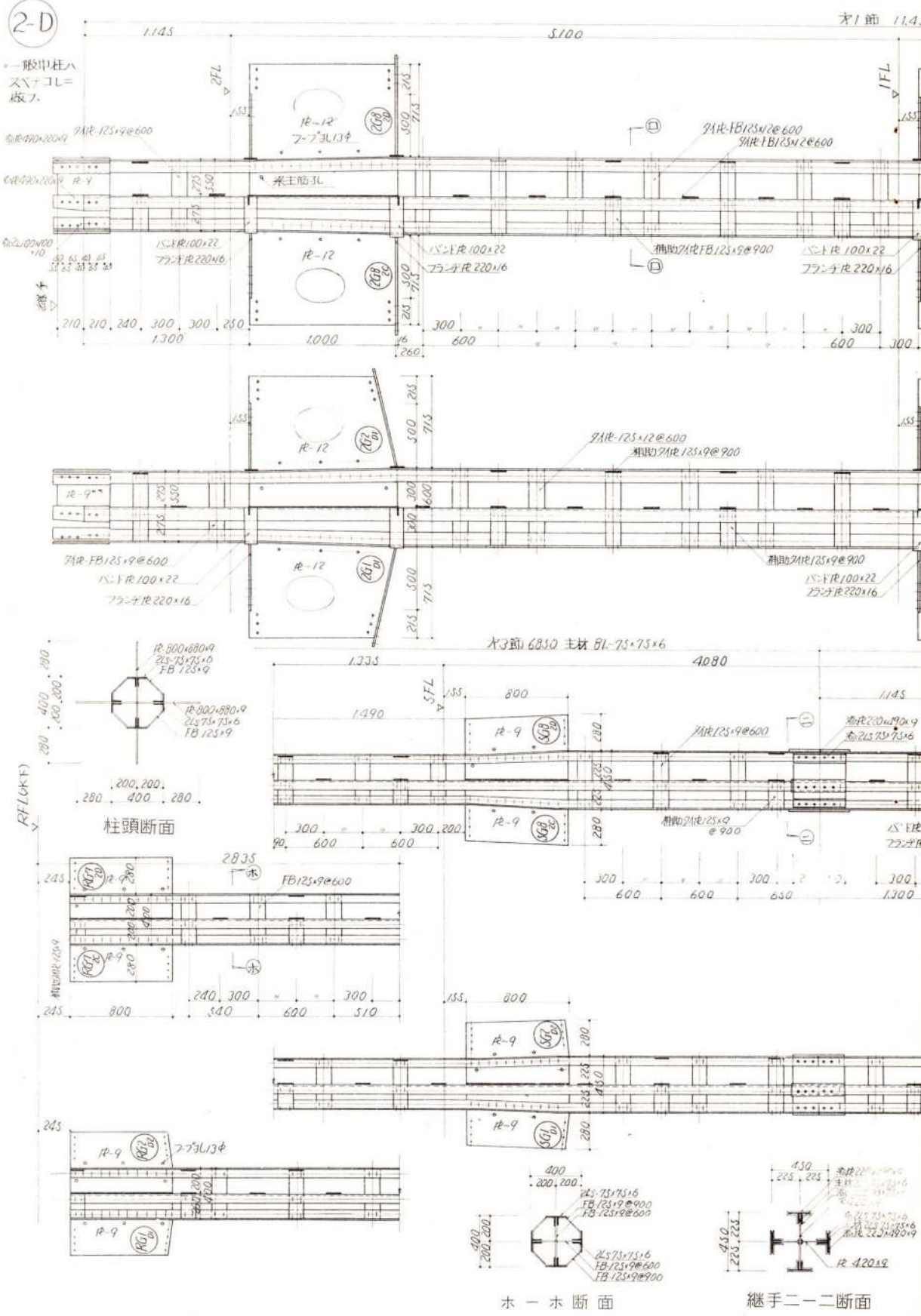
$\tau' = \dfrac{31,400}{70 \times 53} = 8.4\ \text{kg/cm}^2$

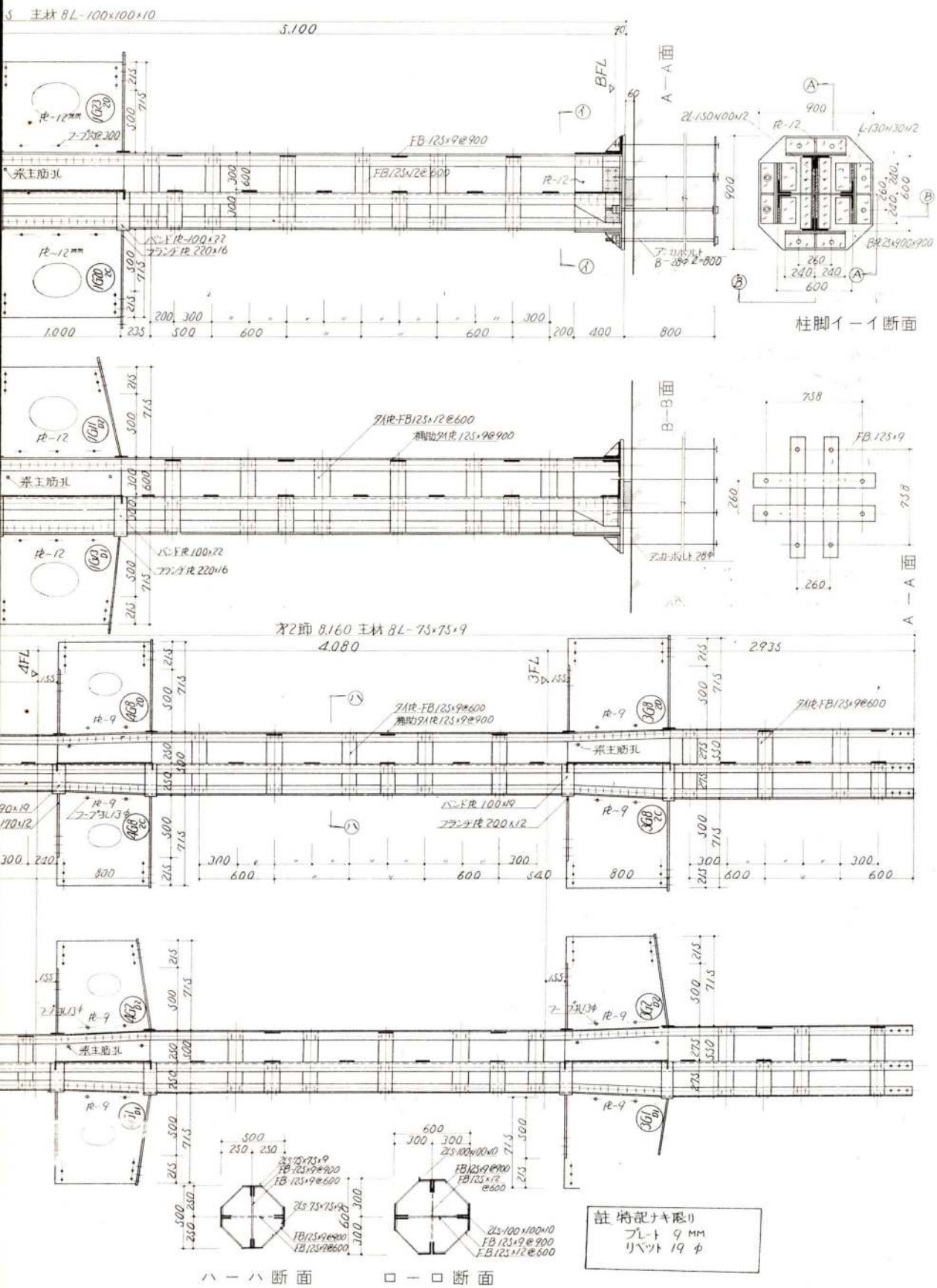
$< \quad 12\ \text{kg/cm}^2 \quad \therefore$ OK



設 計 図 面

組 見 本 [redacted]


2-D
一般中柱ハスバナコレ=板フ.
大1節 11.4
5100
1145
1FL
2FL
PL-12
フープ3L13ゆ
PL-9
PL-9"
PL-9""
PL-9""'
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''''
PL-9""'''''
PL-9""''''''
PL-9""'''''''
PL-9""''''''''
PL-9""'''''''''
PL-9""''''''''''
PL-9""'''''''''''
PL-9""''''''''''''
PL-9""'''''''''''''
PL-9""''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''''''''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''''''''''''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''
PL-9""''
PL-9""'''''''''''''''''''''''''''''''''''''''


S 主材 BL-100×100×10
5,100
BFL
A－A面
FB 125×9@900
FB 125×9@600
縦主筋孔
PL-12
2-ブラ@300
ベンド PL-100×22
フランジ PL 220×16
1,000
200 300 600 600 200 400 800
2L-150×100×12
L-130×130×12
900
260
240 240
600
BR 25×900×900
アンカーボルト B-25φ 2-800
柱脚イ－イ断面
B－B面
ブA PL-FB125×12@600
補助ブA PL 125×9@900
260
738
FB 125×9
アンカーボルト 28φ
A－A面
次2節 8,160 主材 BL-75×75×9
4,080
4FL
3FL
2,935
ブA PL-FB125×9@600
補助ブA PL 125×9@900
縦主筋孔
ベンド PL 100×9
フランジ PL 200×12
PL-9
ブラケット L 130×130×12
PL 90×9
PL 170×12
ハ－ハ断面
ロ－ロ断面
2L-75×75×9
2L-100×100×10
FB 125×12@600
註 特記ナキ限り
プレート 9 mm
リベット 19 φ

鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集

1. 構造計算書
2. 構造設計図面　　<ダンボール発送函入>

1. 構造計算書

B 5 判<タテ257×ヨコ182㎜>

総500頁　　写真・図版1000余点

8 ポイント活字 1 段横組

アート紙・上質紙使用

表紙・特クロース製本・箔押・ビニールカバー付

上製函入

2. 構造設計図面

B 4 判<タテ257×ヨコ364㎜>

総200頁・平版印刷美麗仕上げ

特上質紙使用

表紙・特クロース製本・箔押・ビニールカバー付

上製函入

会員特価　2,900円　　送料　200円

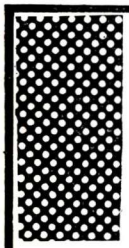
<定価　　3,500円　　送料　200円>

編集・発行所　　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜３丁目37番地
電話北浜㉓9648・9649・9640番
振替番号 大阪 ３９９７５ 番

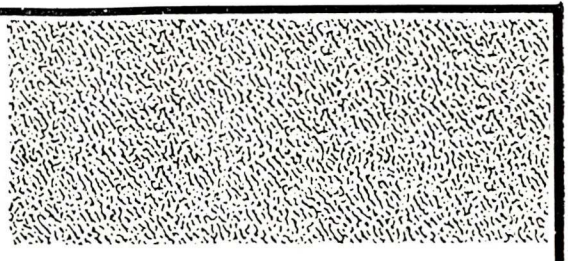
発刊／昭和36年９月上旬の予定

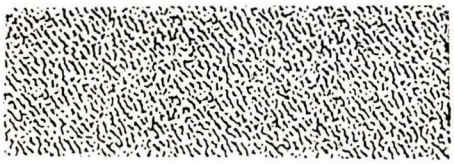
発刊後は下記の所でも販売いたします。

日本建築協会支部所在地
京都支部
京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645
京都建設会館内　電話（23）4161
兵庫支部
神戸市生田区下山手通５－23
兵庫県建設業協会内　電話（４）0437・0763
中国支部
広島市鉄砲町108　青盛建材内　電話（２）2281
九州支部
福岡市天神町41　福岡県建設業協会内　電話（４）1124
東海支部
名古屋市中区南大津通４－１　愛知建築士会内　電話（24）0249
和歌山支部
和歌山市四番丁４　島村建築事務所内　電話(２)3338
日本建築学会資料頒布所
東京都中央区銀座西３－１　建築会館
電話（561）１２３２・１２３８・４５７２番
振替口座　東京　１７１８７番

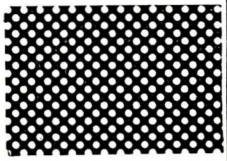


煖冷房温湿度調整
設計　施工



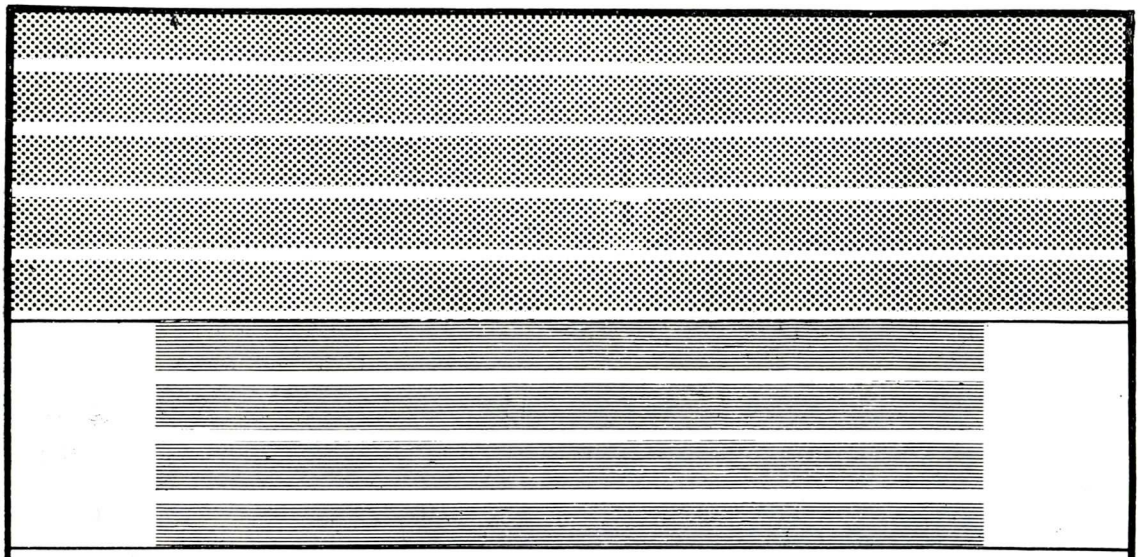


各種送排風機
設計　製作



関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東６丁目３番地
電話　大阪 67—6751(代表)・1570・1590
堺工場　堺市浜寺石津町中２丁目２４０番地
電話　堺　②１２１３　③１３２２
出張所　福岡・名古屋・徳島



東洋シヤッター



■ スプリングシヤッター　■ 重量スプリングシヤッター

■ 特許自動シヤッター　■ 手動式・電動式シヤッター

●亜鉛メッキボンデ処理の上に樹脂塗料焼付仕上

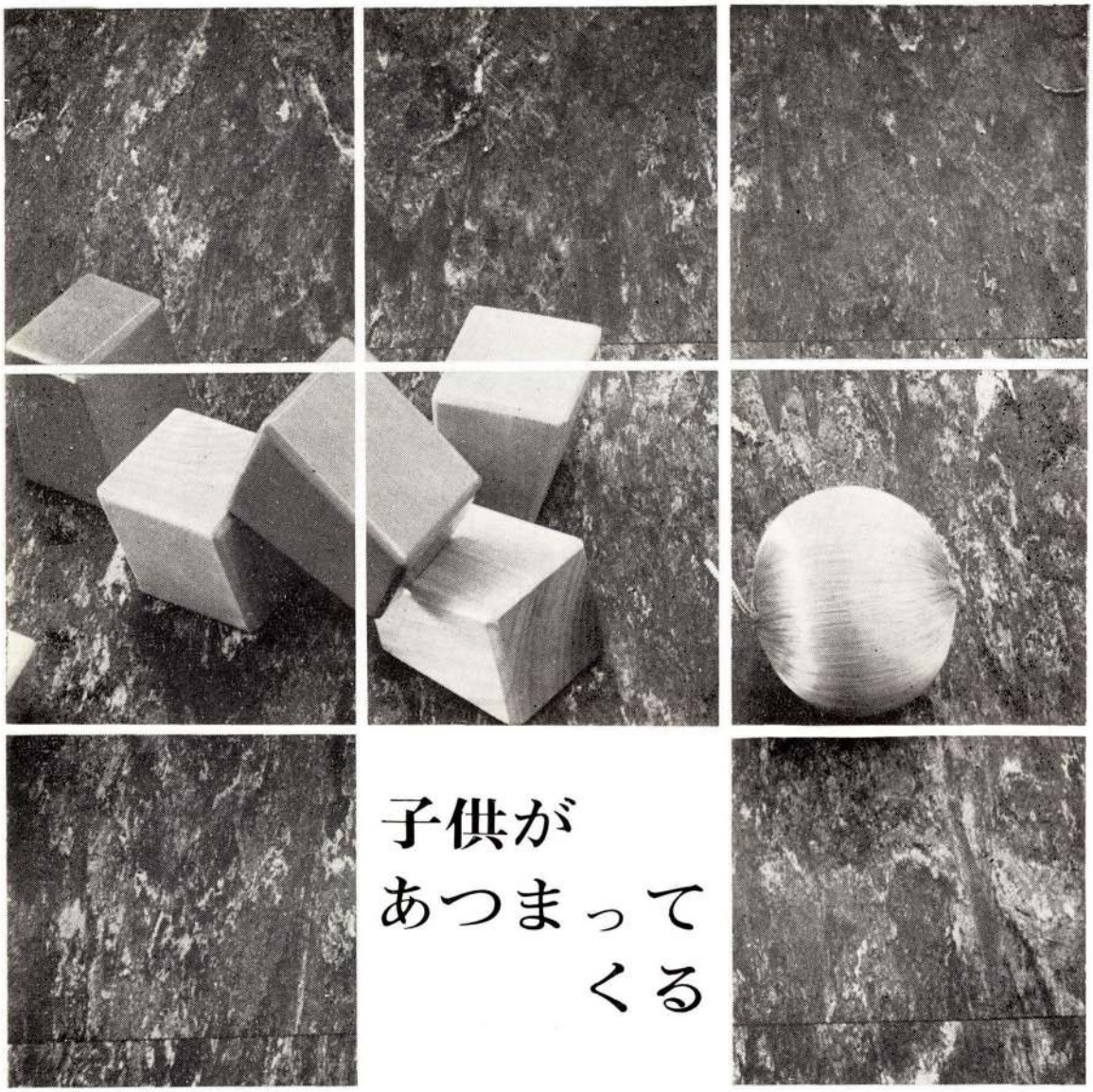
●キングゴールド特殊チタメート防錆処理（チタンを添加の完全防錆）

東洋シヤッター株式会社

本社・工場　大阪市西淀川区佃４－33　電話 ㊼ 2812～3・3116・0414
東京支店　東京都大田区新井宿５－547　電話 (771)１１７１～４
名古屋支店　名古屋市中区下日置町２－７　電話 ㉜５９５４・０９３３
大阪営業所　大阪市都島区中野町４－５０（35）7308・9902
出張所　岐阜・京都・神戸・横浜・津・福岡
其他出張所特約店は全国主要都市に有り

カタログの用意あります
御請求下さい

すべらない床材　すばらしい床材　あたらしい床材



子供が あつまって くる

遊び場所に敏感な子供たちは三星ソフトンタイルのしいてある応接間へ集まってきます。豊富な色調とソフトな足触り　それに少しぐらいおいたをしても床に傷がつかない特長をよく知っているからです。よごしたあとはちょっと拭くだけでOK！子供達にも人気のある新しい床材です。

●耐磨耗性●防滑性●施工容易●耐油性●耐候性●耐火性

三星ソフトンタイル

三星ルーフィングの **田島応用化工株式会社**

東　京／東京都千代田区神田岩本町13／TEL　(866) 代表6101
大　阪／大阪市西区京町堀1～74／TEL　(44) 代表5951

304.8㎜×304.8㎜ 厚2㎜一面坪　¥3,700～4,000

■カタログ進呈誌名記入の上お申込下さい

三菱銀行の神戸西支店ならびに大阪支店は，いずれも曽禰達三氏の設計になるものであるので，本号にはこの二つを同時けいさいすることにした。

(1) 三菱銀行神戸西支店

（旧称 三菱合資会社神戸支店）

所　在　神戸市生田区相生町一丁目10番地
工　期　明治30年3月15日～同32年10月31日
工　費　不詳
設計者　曽禰達三
施工者　直営
構造規模　石造および煉瓦造二階建，本館建坪270.331坪，軒高48.825尺，正面長さ120.300尺，側面長95.240尺，正面梁間24.850尺，測面梁間29.850尺，基礎の深さ10尺，杭打，末口5寸，長さ6尺松丸太使用，基礎コンクリートの巾は最広10尺，厚さ4尺5寸，小屋組に鉄骨トラスをかけ，床構造に生子鉄板による防火構造方式を採用する。
仕上概要　外部腰，壁，柱はすべて徳山産花崗岩を使用し，屋根は銅板葺なるも営業室屋根に英国製鉛板を葺く，室内の主なるところはチークを用いその他は桧材である。階段室床は英国製色タイル貼，段板に白色大理石を使用する。



1. 戦災前の外観
左側に隣接して「神戸銀行集会所」(大正3年，設計：辰野・片岡建築事務所)が見える



2. 戦災後の改造による外観

沿　革

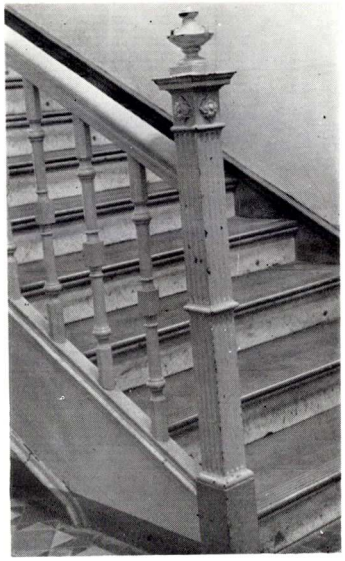
明治28年，三菱合資会社は社勢の進展に応じて銀行部（三菱銀行の前身）を設け，東京丸ノ内三菱旧一号館を本部に横浜・大阪・神戸などで銀行業務を開始した。神戸では，最初栄町5丁目にあった三菱合資会社神戸支店のなかで同年11月より営業がはじめられたが，はやくも店舗新築の計画が起り，かつての兵庫区と



3. 東北側隅部の詳細



4. 内部柱列



5. 階段親柱（鋳鉄製）

神戸区とのほぼ中間である現在地に明治30年より約3年7カ月の工期を費やして建築された。

これは三菱技師であった曽禰達三の設計になるものであるが，当時彼はその数年前より三菱煉瓦街の旧一号館～3号館（M25～29年）を手がけており，この間留学（M26年）を経て，建築家としての才能が高度に発揮されてきたころのものである。したがって著名な日本人建築家の手による大規模な建築として当時神戸人の注目をあつめたものであった。ルネッサンス風の外観は細部も極めて正しく，全体にまとまりをみせて破たんがない，彼の作品のなかでも優れたものの一つであろう。

また「明治工業史」建築篇によると，三菱銀行神戸支店に関して「設計者は設計について三菱会社の顧問なる英人ジェー・コンドルの提議を幾分容れたる由なり」とある。

のち昭和7年～8年にかけて営業室の拡張が三菱地所部営繕課の設計，竹中工務店の施工で行なわれ，内部営業室は相当大きな改変がなされた。

また戦火によって二階以上が炎焼しており，戦後の復旧工事で旧観にみられるペヂメントが失なわれ，パラペットのバラスターが除かれた。

施工・設備について

施工，設備などの諸点について，竣工当時の神戸新聞（昭治33年11月5日発行，第969号）に興味ある記事が掲載されているため，それを引用する。

三菱の大建築　今より30年の後に至っても 神戸第一等の建物と称せるべき抱負を以て 設計せられしとの噂ある三菱合資会社の大建築は 去月限りにて竣工，一昨日は同会社と取引又は縁故ある人々を招待して従覧に供せり，その工事に付ては天長節祭日の本紙に少しく記す所ありしか，尚素人的に見しまゝを紹介せん。当日は全部花崗石より成れるこの輪奐たる建物の東南の両側（他の両側は人家に接せり）には 入出を築きて往来う人の目を惹けり，宇治川の方に向ひし表門を入れば……正面の突当りが事務室 にてその傍に支店長室あり，此処へは用向ある人の 直接に出入するを得る為，別に入口を設けある事欧羅巴，亜米利加などに多く見る所の如し，……事務室の傍風10畳敷ばかりの金庫あり，鉄扉の裡全体が金庫なれども更に2個の金庫あり……。……各室共独逸流のスチーム管を用いて暖を取るの仕掛あり。心地よきは階段の大理石を用ひしと便所の清潔なる事なり，便所は最も新式ならねど，或は一定の時間ごとに自然に水の流出でて洗ひ去るものと 便所を出ずる時に紐を引けば上より水の流注し来る仕掛にて，大下水のなき我神戸市などにては その捌け口に非常なる面倒を要す。会議室は色の配合上光線を導く点には多少の遺憾ある様なるも善尽し，美尽しにて寄木の框もて 室内梁の四方を縁縫したる絨氈の結構なる他に比類なかるべし。

窓の戸はスチール（？）製にて 窓の上部へ畳み込まるゝ様になり居るなど殆んど間然する所なく，我国は愚か欧羅巴の大銀行に比するも遜色なかるべし。その石材の寸法を同一にし普通は2個以上継ぎて作る部分なども 1個の石もて作れる等一寸は目に付かぬ処に非常の費用と 苦心を要せるは同会社にあらざれば，能はざる所なるべし。

むすび

三菱銀行神戸西支店は神戸市内に現存する明治建築のなかで，日本人の建築家の手になるものとしては，年代・規模・様式・施工技術などで代表的な位置を占めるものであるが，その背景に施工形態が直営でありながら，各種工事に神戸の職方の参加が行なわれていて，明治以来神戸における洋風建築技術の蓄積が工事遂行上，多くの役割りを果していることを伺いうるのである。

今回の調査にあたって，三菱銀行神戸支店の井上寿夫氏の懇切なご配慮を賜った。あつくお礼申し上げる。

（坂本　勝比古記）

(2)　三菱銀行大阪支店

沿　革

三菱銀行大阪支店は，明治28年10月，三菱合資会社大阪支店として西区長堀南通に開業し，41年に，同大阪支店銀行部を設立した。現在の三菱銀行大阪支店の建物は，三菱合資会社大阪支店として，明治40年5月21日に起工し，43年12月20日に竣工したものである。こうして，44年2月1日に，新社屋に移転した。三菱銀行大阪支店となって，銀行部が独立したのは，大正8年10月である。この建物は，昭和27年に増改築が行なわれているが，旧規は，ほとんど残されている。当初の設計者は，建築顧問格で曽禰達三氏，嫒房顧問・真野文二氏，建築技師・保岡勝也氏が担当している。（地下室の記録板銘による）

概　況

この建物は，北浜の今橋通と心斎橋筋の交点にあり，敷地951坪，建坪856.4坪，延2,472坪の煉瓦造で両大通に面しては，花崗石の化粧張で，バロック風のオーダーで飾っている。また他の面は主に化粧煉瓦である。正面に四階建の円形平面の塔屋が建ち，その下部が主玄関で（写真1），別に右手（南）に副玄関がある。屋根は石板スレート葺で，棟包みはすべて銅板である。

平面1階は，営業室を中心に，客溜ロビー，応接室，金庫等で，2階は，営業室の上部を吹抜にして，他は事務関係室である。

地階内部は，白色の化粧煉瓦の壁で，（このような手法は，東京日銀本店地下にも見られる。）1，2階床は鉄骨のガーダーをかけ，その上浪形鉄板を置いて，防火床を形成している。

1階客溜の部分は，もっとも豪華で，床は大理石で，カウンターの東石および羽目石もすべて大理石を用いている。（写真2）

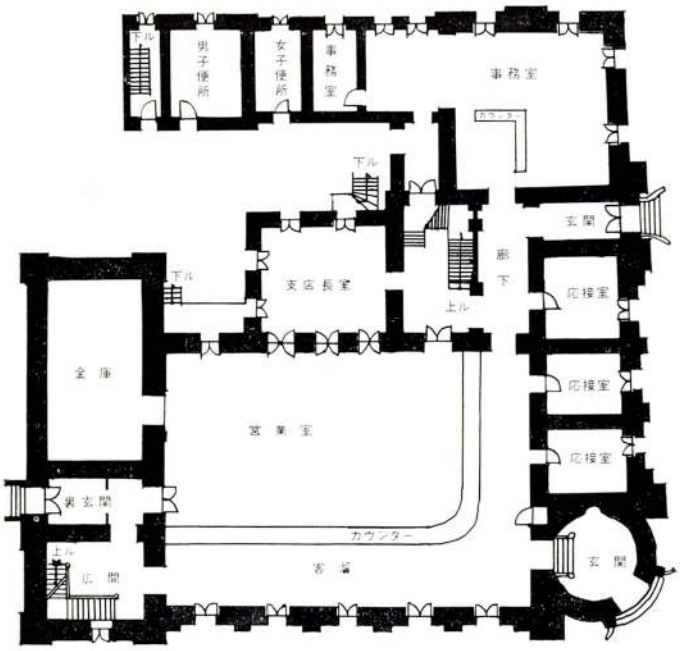
営業室の後方の支店長室との間は，大理石の三連アーチを用い，欄

1. 外　観



2. 1階客溜





三菱銀行大阪支店旧館プラン

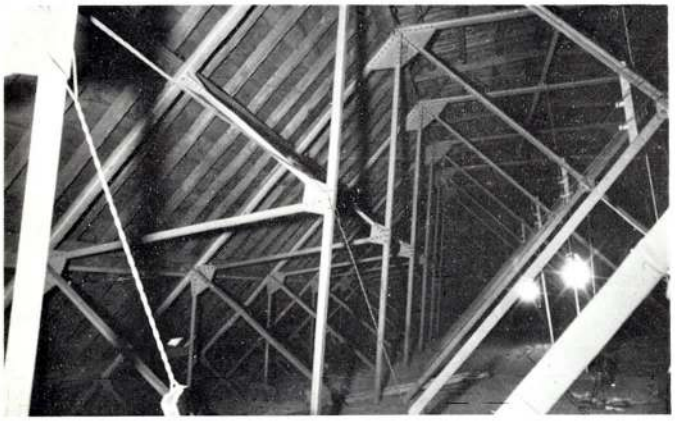


3. 主　階　段



4. 検　査　室

5. 小　屋　組



間はステインドグラスをはめ，金庫室の入口もまた，バロック風のペデイメントを大理石で作り，これらは1階の空間を，極めて豪華に見せている。

主階段は（写真3），4本の飾り角柱を階段室中央におき，内，中の2本は2階で円形ドーリック柱となっており，階段の踏板，蹴込板手摺共大理石である。しかし，手摺子は角束を用いており，も早往年のとくり形の面白味は消えている。

2階の検査室は，開口部がすべて円柱を飾りペデイメントは，細い紋様をもった，サラセンアーチに作られている。また壁もすべてサラセン紋様を浮彫にしていたそうであるが，いまは惜しくも塗りかえられてしまった。（写真4）

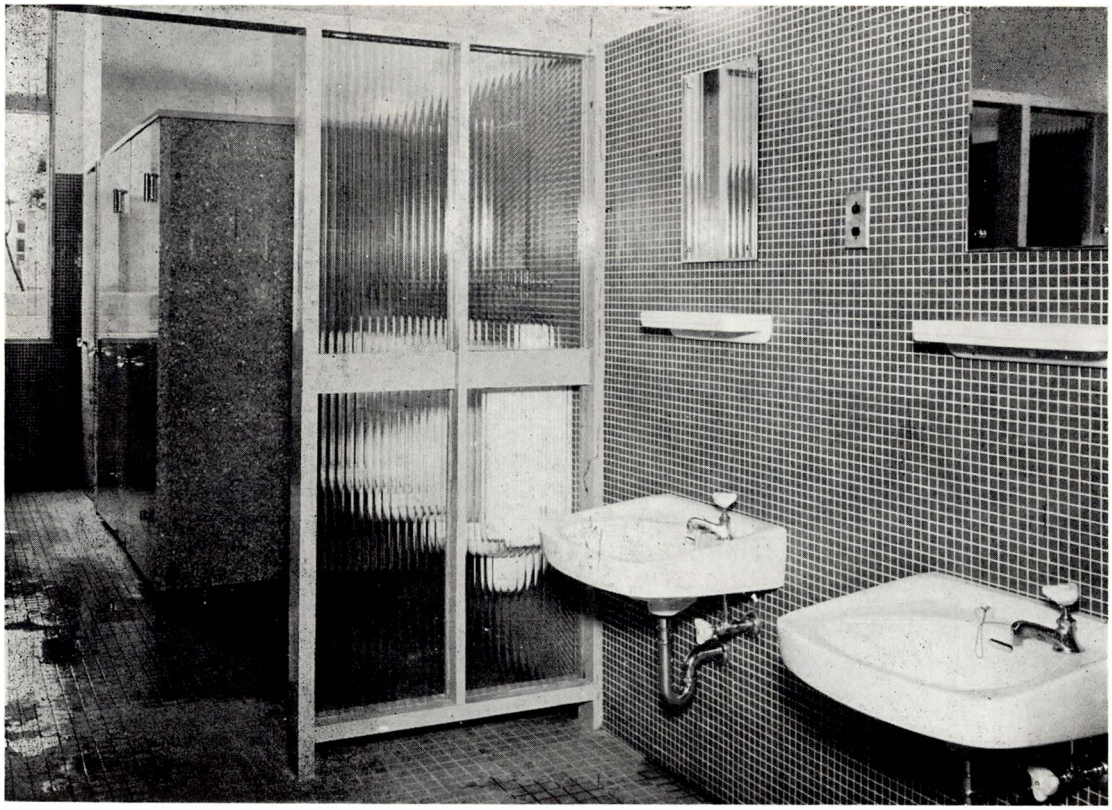
小屋組は鉄骨トラスを組み，節点はリベットで結んでいる。（写真5）

むすび

設計者曽禰達三(1852～1937)は，工部大学（東大）の造家学科第一回卒業生で，コンドルの弟子である。そのため，コンドルの影響を多く受け，この建物の所々にみられるサラセンモチーフなども，その一つの表れである。また彼は，明治25年頃より三菱に入り，東京の三菱煉瓦街が着々と造られている傍ら，三菱関係の設計も行ない，この大阪支店は，彼の壮年期の作として注目されるものである。

なお本調査に関し，三菱銀行大阪支店関係者のご協力を得たことを，厚く感謝いたします。

（林野　全孝記）



伊奈の
衛生陶器

伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電常滑700（代）
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2－8　電（551）6371（代）
大阪事務所　大阪市西区新町南通1－23　電㊃5484（代）

カタログ送呈

コーキングパテ

ウヅラEP

柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪 ㊼ 1494～4
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪 ㊼ 0426

パテタイル

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許……耐酸・耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした色つきのひふく鉄板

オリエンタル カラーメタル

美しいアルミ箔 ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

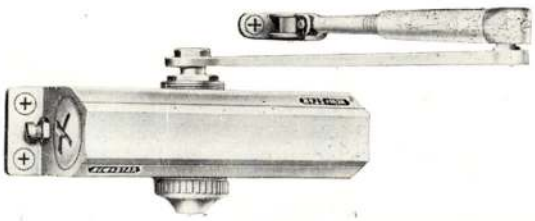
型録送呈

責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社並工場　尼崎市大物北口　電話(48) 4947～9
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨 3252～4
名古屋支店　名古屋市中村区黄金通8丁目6　電話(54) 1023
支店、出張所　八幡・郡山・敦賀・徳島・三原・徳山・延岡・岩国・宇部・川崎

NEW★STAR



ラバトリーヒンヂ



ピボットヒンヂ



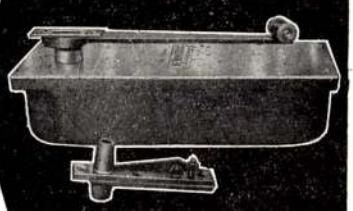
ピボットヒンヂ



ドアーチエック



フロアーヒンヂ



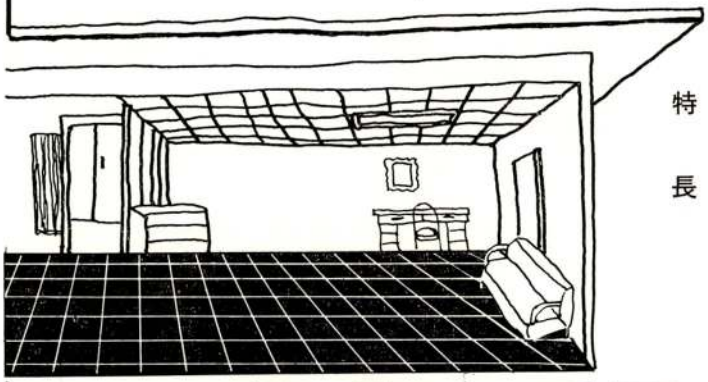
日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町２２２　電話　大阪(716)２２３１(代)
東京支店　東京都千代田区神田錦町１丁目２３　電話　東京(291)１９２０・４９２０
福岡出張所　福岡市舟津町１番地　電話　福岡(74)２３７２・３３１２
名古屋出張所　名古屋市中区下園町１丁目５番地　電話　名古屋(23)７３６１

世界長

床板(フロア)に美を生かして住む



特長

1. すべらない
2. 摩耗に強く、長もちする
3. 他のビニールタイルに比べ、疵が目だたない
4. 衛生的且つ経済的である
5. 施工が容易で仕上が美しい
6. 伸び縮みがない

セカイチヨータイル

世界長ゴム株式会社

ABCの建材

ABC コーキング

凡ゆる間隙から永久に漏水の心配を根絶する
永久に気密を保持する
廉価で耐久性のある コーキング剤

18リッター罐		8,500円（現場渡）
1cm×1cm×1m	材料費	48円
コーキングガン		3,000円（現場渡）

カラクリート

美しく，磨耗せず，滑らず，かつ耐水性に富んだ床材
床，廊下，階段，ロビー，バルコニー，ガソリンスタンド等美しい色彩と耐磨耗性を必要とする場所や，防水力があるので戸外にも使用出来る。

価　格　42kg袋入（6坪分）　現場渡｛緑　7,080円（坪当り￥1,180）／その他　5,880円（〃　￥980）

フェロコン

工場，倉庫用コンクリート床仕上材
コンクリート床の金属性硬化材で，フェロコンの施工によって床は恰も鋼板を張ったような効果をあげる。

価　格　49kg袋入（7坪分）　現場渡｛色物　6,200円／ナチュラル　5,400円

コルキート

近代人の部屋には疲れをいやし，いらいらを取る壁材
合成ゴムとコルクから製造されたコルクシートで落着いた上品な感覚で，老化せず水洗出来る

価　格　坪当り　東京渡　2,200円　　寸法　3尺×6尺×0.7mm

ロビンスコンダクティブタイル

麻酔ガスの爆発を防止する手術室用電導ビニールタイル

- ●常に一定の電導性を保証出来る
- ●施工翌日から使用出来る　●掃除、補修が容易である

K.K. ABC商会
東京都千代田区永田町2～77
TEL（581）1411（代表）～7
大阪出張所
大阪市西区京町堀通1～18（京町会館ビル）
TEL（44）3915・0500・9303

会　　報　（6 月 分）

通 常 総 会

27日　1時半――2時半　　於会館集会室
出席者　尾崎会長外12名　早川監事
議事（1）昭和35年度事業報告承認の件
（2）昭和35年度決算報告承認の件
（3）昭和36年度収支予算承認の件

定時評議員会

27日　1時――1時半　　於会館集会室
出席者　五十嵐議長外11名　委任状出席66名
計　78名　　理事5名　早川監事
議事（1）昭和35年度事業報告承認の件
（2）昭和35年度決算報告承認の件
（3）理事1名補欠選任の件

理　事　会

14日　3時――5時　　於会館会議室
出席者　東畑副会長外12理事　井手京都支部長
早川監事
議事（1）昭和35年度決算報告の件
（2）定時評議員会開催の件
（3）通常総会開催の件
（4）工業高校に設備工事の科目新設要望の件
（5）工業高校生設計コンクール実施の件
（6）第2回海外視察団募集に関する件
（7）日本建築学生会議の事業後援の件
（8）「毎日建築講座」後援の件
（9）中国支部決算ならびに予算承認の件
（10）45周年記念事業実施に関する件
（11）事務局職員上期賞与支給の件
（12）その他
（イ）日本建築学会卒業設計展示会後援の件
（ロ）会館裏防潮堤工事に伴う排水工事費の件
（ハ）夏期実習生指導要領配付の件
（13）入退会者承認の件
（14）報告事項
（イ）五日会外より会館基金え寄附の件
（ロ）現場実務講習会の件
（ハ）会計報告
（ニ）事業報告

会長副会長協議会

5日　5時半――7時　　於会館会議室
出席者　尾崎会長，東畑，竹中両副会長
45周年記念事業案に関し協議。

事 業 委 員 会

小委員会（若い会員の集い）

2日　5時半――7時　　於会館会議室
出席者　滝本主査外2委員
「プレジデント・クリーブランド」号見学会の件協議

小委員会（懇親会）

6日　正午――1時半　　於会館会議室
出席者　山本（義）主査外4委員
夏の会員懇親会実施案について協議

幹 事 会

10日　3時半――5時　　於会館会議室
出席者　岩崎委員長外4小委員会主査
日本交通公社　小川所長
第2回欧米建築事情視察団募集について協議

エマルジョン壁塗料
日本ペイント
ビニレックス
5000級 スーパー
外部用・内部用
ビニール壁塗料
ビニレックス 5000
大阪・東京・名古屋
福岡・広島・金沢
新潟・仙台・札幌

特許 防火シャッター全般

小俣式

電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖・オートマチック
ステンレス・アルミニウム・シャッター

株式会社小俣製作所大阪支店

大阪市北区若松町30 電話(34)9004・9016・4825
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

建築材料の選び方使い方の専門誌
建築技術者と材料業者の必読書

建築雑誌 材料と設計

毎月1日発行
B5 〒150〒共
全国書店で発売

建設文化社

本社 東京都文京区小石川町1—1 電話(921)2739
支社 大阪市西区西長堀1—5 四ツ橋ビル 電話㊾9200

杭

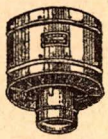
株式会社 武智工務所

取締役社長 福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話(202)3233・3234

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㉞四一三一～四



＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
南閉式レヂスター

大阪市西区江戸堀下通2-17
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

ブロックの防水塗料!
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト

刷毛又はスプレ塗り 常備淡彩12色
安価・速乾・美麗

水谷ペイント

委 員 会

14日　5時半――7時半　　於会館集会室

出席者　岩崎委員長外13委員

議事（1）7月8月の事業企画について

（2）不燃化建築協会企画の設備講習会の件

（3）第2回欧米建築事情視察団募集の件

（4）創立45周年記念事業に関する件

小 委 員 会（各種説明会）

20日　正午――1時半　　於会館会議室

出席者　井上主査外3委員

「これからのパーキング施設」説明会開催に関し協議

懇 談 会（展示会）

28日　正午――2時　　於会館会議室

出席者　三品小委員会主査外2委員

家具関係者　依田勇夫氏外3氏

「団地アパートにおける家具の在り方」展示会開催に関し懇談

教育委員会

打 合 会（工高生デザインコンクール）

2日　正午――2時　　於会館集会室

出席者　杉本小委員会主査外2委員

審査員西島委員長外6審査員

「工高生デザインコンクール」募集規定作成のため打合せ協議

委 員 会

9日　3時――5時半　　於会館集会室

出席者　中原委員長外10委員

議事（1）第5回現場実務講習会に関する件

（2）設備技術者を対象とした教育に関する件

（3）工高の施工教育に関する件

（4）工高生デザインコンクールに関する件

小 委 員 会（工高生デザインコンクール）

16日　正午――1時半　　於会館集会室

出席者　杉本主査外3委員

募集規定の字句の修正ならびに入選者に対する賞品，記念品などについて協議

30日　正午――1時　　於会館会議室

出席者　杉本主査外2委員

入選者に対する賞牌に関し協議

編集委員会

委 員 会

9日　4時――7時　　於会館会議室

出席者　上林副委員長外7委員

議事（1）7月「第8回青年建築家特集」号経過報告

（2）8月「建築と規格特集」号経過報告

（3）9月「リクリエーションと建築特集」号企画審議

（4）10月「建設産業構造特集」号について

（5）11月「材料特集」号について

幹 事 会

19日　12時半――2時半　　於会館会議室

出席者　森，上林正副委員長外2幹事

29日　4時――6時半　　於会館会議室

出席者　森，上林正副委員長外4幹事

10月「建設産業構造特集」号企画について協議

住宅委員会

小 委 員 会（婦人部）

13日　2時半――4時　　於会館会議室

出席者　下河内幹事外2委員

住宅関係文献資料整備の件ならびに「個人住宅の最近の傾向」に関する座談会企画について協議

委 員 会

22日　3時半――5時　　於会館集会室

出席者　海上委員長外5委員

議事（1）36年事業企画実施に関する件

（2）報告事項

（3）座談会「個人住宅の最近の傾向」実施に関する件

出版委員会

鉄骨鉄筋コンクリート構造実例集編集委員会

15日　5時半――8時半　　於会館会議室

出席者　石崎主査外7委員

本の定価ならびに宣伝に関して協議

近代建築調査委員会

15日　4時――5時半　　於会館集会室

出席者　滝沢委員長外6委員

議事（1）鹿児島異人館調査報告に関する件

（2）大阪の明治建築見学会の件報告

（3）鹿児島ザビエル滞鹿記念堂外1件の件
（4）菱産スレートKK社長より来翰に関する件
（5）北野寮移築に関するする件報告
（6）7月号発表建物の件
（7）神戸市長宛礼状の件
（8）「東京大学その百年」の紹介

講　習　会

第5回現場実務講習会

会　期　6月12日——26日　日曜を除く13日間
時　間　午前 8時半——10時半 / 10時半——12時半
会　場　大阪建設会館6階
聴講生　183名

自8時半　自10時半

12日		建築工事の着工から竣効までの業務総論 大阪府営繕課　板垣精治郎氏
	12日	労務管理と安全管理
13日		鹿島建設KK　岸田　成計氏
	13日	仮設物と仮設材料
14日		松村組　政岡　基次氏
	14日	現場に関する諸法規とその手続
		大成建設KK　大久保　登氏
15日		材料の検収とその管理
		鴻池組　横山　裕氏
	15日	工事機械と工器具類
16日		大林組　依田　潔氏
	16日	施工計画
17日		大成建設KK　松岡　照夫氏
	17日	現場製図
		浅沼組　篠崎　一郎氏
19日		地下工法
		竹中工務店　北山二十三氏
	19日	鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事型枠工事
20日		清水建設KK　鬼頭　寿郎氏
	20日	土工事，基礎工事，排水工事
21日		間組　渡辺　勇氏
	21日	木工事，屋根工事，金属工事，雑工事
22日		鹿島建設KK　岩下　久哉氏
	22日	石工事，タイル工事，ブロック工事
23日		藤木工務店　矢野　豊作氏
	23日	防水工事，左官工事，塗装工事
24日		銭高組　武藤　藹吉氏
	24日	設備工事
26日		竹中工務店　石黒　次郎氏

現場見学　大阪神ビル基礎工事　19日午後
終講式　26日11時　尾崎会長より終了証書交付

陳　　情

昭和38年度に新設される大阪府下の工業高等学校に設備工事の専問学科新設方を要望のため，大阪府管工事業協同組合石田理事長，大阪府電気工事工業協同組合山本理事長，大阪建設業協会久米事務局長，本会手島事務局長の4名は，相川本会教育委員の案内により6月2日大阪府教育長を訪問し，設備工事関係技術者不足の実状とその教育施設の整備の緊急性に関して陳情した。

若い会員の集い

「プレジデント・クリーブランド号」を見る会

8日　1時半——5時

神戸港に碇泊中の同船を見学。参加者270名に上ったため，午後1時半，3時の2回にわかれて実施

見　学　会

離宮見学会

桂　離　宮　8日　延16名
学修院離宮　8日　20名

関西ペイント株式会社尼崎工場見学会

22日　1時半——5時　参加者　40名

関西ペイント株式会社ご提供の貸切バスによって実施

淀屋橋勧銀ビル見学会

設計施工　竹中工務店
24日　1時半——3時　参加者　140名
大阪府建築士会と共催

興銀ビル見学会

設計監理　山下寿郎設計事務所
施　　工　大林組
27日　3時——5時　参加者　50名
大阪府建築士会と共催降雨のため少数

後援した会

日本建築学会卒業設計展示会

1.名　称　全国大学卒業設計展示会
1.主　催　日本建築学会
1.会　期　6月16日，17日
1.会　場　大阪工業大学建築学教室

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器　連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本　社　大阪市城東区野江東之町４の104　㊳3679・4481・8471
支店新居浜・名古屋・四日市・広島

田中式
スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所　兵庫県尼崎市南竹谷町２～89　　TEL 大阪(40)6341（代表）・(40)6342

本社　東京第一工場　東京都墨田区錦糸町１～25　　TEL 東京(623)代表0106～0108・(622)0790
東京第二工場　東京都墨田区吾嬬町東４～122　　TEL 東京(611)2118～9
小倉工場　福岡県小倉市赤坂上の宿37　　TEL 小倉0653・2833
川崎工場　神奈川県川崎市東渡田３～43　　TEL 川崎 ② 4540
札幌出張所　北海道札幌市北上通東４丁目４　　TEL 札幌 ③ 6762・0515
盛岡代理店　岩手県盛岡市本伏49・東北建設（株）　　TEL 盛岡 7642
名古屋代理店　愛知県名古屋市西区西菊井町2～12・岡田建材ＫＫ　　TEL 名古屋(53)0121・2057
米子代理店　鳥取県米子市崎園町２～93・吉田工務店　　TEL 米子 4683
長崎代理店　長崎県長崎市要町11・関西工業（有）　　TEL 長崎 ② 6046

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町５番地　電話大阪(34)207～8・4836～7

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル8階）
電　話　大　阪　㉓　7　6　4　1（大　代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工

東洋キヤリア工業株式会社
大　阪　支　店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電　話　大　阪　㉞　局　8　3　5　6（代表）
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支　店　東　京・名古屋　出張所　九　州
工　場　東　京　都　足　立　区　下　沼　田　町　3　6　0　番　地

給　排　水・衛　生
暖　冷　房・換　気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城　口　庸　平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575(代表)
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設　計　施　工

株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**

取締役社長　菅　谷　三　郎

本　店　大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電　話　大　阪　㊹　大　代　表　8　2　3　1　番
支　店　東　京・名　古　屋・福　岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設　計　並　施　工
特許ＹＭ式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉖代表4496～8・4993～4番
本　店　東京都千代田区丸ノ内２ノ８仲12号館５号
電話(281)局 6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195

創　業　暖冷房・換気・空気調和
大正二年　病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東京店　東京駅前丸ビル６階６７６区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話大　阪　㊹　1568・1569・2594
札幌店　札幌・北　四・西　四（札幌駅前）
電話札幌　②0010・0956　③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代
田ビル522号　電話中局　㉔　1　7　6　6

暖冷房・環境衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
荷　役　機　械・製　造　販　売

三機工業大阪支店

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　池田英太郎

大阪市東区高麗橋三丁目一番地　電話(202)代3071
本　社　東京都千代田区有楽町一丁目十番地
支　店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・金沢・富山・高松
工　場・鶴　見・六　郷・高　槻

暖房・冷房・水道・衛生設
設　計　施　工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通１丁目14番地
電　話　㊹　代　表　5　1　7　1　番
東京支店　東京都港区芝田村町６丁目　電話(431)代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町１丁目　電話㉓代表 7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話㉟1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通２丁目電話③代表 5101
福岡支店　福　岡　市　千　代　栄　町電話㊺代表 4731

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社 **西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通4—44　ＴＥＬ㊾3415(代表)
東京事務所　東京都港区西芝浦3の1電話東京(451)5281
広島出張所　広島市空鞘町99の1　電話広島③7544
福岡出張所　福岡市下呉服町2の9　電話福岡②5389
祐徳ビル

空気調和装置・熱風乾燥装置
設　計　施　工

株式会社 **建　材　社**
大　阪　支　店

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル５階）
電話大阪㉓6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営　業　所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・温湿度調整
水道・衛生・環境衛生装置
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹(代表)2613・(代表)9431
営業所 神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所 名古屋市中村区牧野町1－6 電話㊺0966
〃 東京都北区上十条1の10 電(911)2346
〃 広島市西魚屋町31 電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 **三晃商会**

本社 大阪市北区富田町一六 ㉞7031㊱6793
出張所 東京都中央区宝町二・六(村幸ビル2階)(561)5441
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
松江市東本町四丁目一四九 5098
広島市紙屋町八 ②1938
福岡市養巴町二二 ④1158

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山敏正

本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話(351)2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
京都出張所 京都市中京区高倉通三条下ル 電話上③2869番
三沢出張所 青森県三沢市上久保三一 電話大三沢36番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市北区中之島4－39 電㊹6671～5

東京支店 東京都港区芝浜松町2－7 電(431)7341～5
北海道支店 札幌市北四条西15丁目 電②2203・③5374・5969
仙台支店 仙台市元寺小路(五城ビル) 電②8061・③9261
名古屋支店 名古屋市中区東陽町6－5 電㉔1270・1484
広島支店 広島市大手町8－155 電③7949
福岡支店 福岡市薬研町3 電㊼0788・㊻0296

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㉞ (代表)0977 / 0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2－10
電話(281)2631－5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 73 32
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3－6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川進男

本社 京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話㉒(代表)7975・(夜間専用)5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2－111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長 牛田正郎

大阪市東区唐物町5丁目10
電話㉕代5171～3・3643
東京支店 東京都千代田区神田和泉町1
電話(866)7683・7716・2594
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話㉓4690・4317
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 嘉幡政四郎

大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊱直通2085・5725
(代)9851～9・9951～9
東京 東京都千代田区西神田町一ノ八
電話東京(291)8002～3
出張所 愛媛県川之江市・九州福岡市

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市西区江戸堀北通3丁目46番地
電話大阪㊹(代表)3818
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話(921)(代表)6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

冷暖房・温湿度調整装置・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1(大ビル)
電大阪代(44)8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46(大同ビル)
電東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡

各種電気工事設計・施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄
本社 大阪市東区北浜二丁目六九
電話大阪㉓5273—5・5451—2
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)1316・2536・4715・3573
営業所 名古屋・札幌・沖縄・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英
大阪市北区永楽町8番地(日産生命館)
電話 大阪㉞代表 1234～9
支社 東京都港区芝浜松町(大門ビル)
出張所 名古屋・舞鶴・広島・八幡
福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪 代表㉞8131～4 ㊱7263・2144
営業所 東京・名古屋・新宮・御坊

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(44)9516～8番夜間専用(44)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話 笹島(54)6865・9495番
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4)7813番 (5)3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4)2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話 大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三
本社 大阪市北区絹笠町50(堂ビル3階)
電話 (312)1471(代)～5
倉庫 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話 (45)5148・6646
支店 東京都中央区西八丁堀4丁目10番地
(後関ビル3階) 電話(551)5590～2
営業所 名古屋市中村区泥江町2ノ1
電話 (55)7146

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル7階
電話 大阪局㉙9531(大代表)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所 京都市右京区西院今田町六番地
電話 京都局㉞3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎
本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話 (716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 ㉝5143・5373・9594・2134
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 ㉝2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長　梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪（94）6531（代）～5
支店　名古屋
出張所　東京・岡山・門司

電気工事設計施工
株式会社　三興社
取締役社長　坪井大
本社　大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話　㊱ 2138（代）～9
支店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話　㊲ 1478（代）～9
出張所　堺・下関

青写真とマイクロフイルム
株式会社　内外写真
製図・トレース・複写写真
大阪市北区堂島北町16　TEL ㊱ 9055（代表）

エレベーター・コンベヤー・リフト
エスカレーター・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計・製作
日本エレベータ工業株式会社
本社　大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（35）3812・4987・9339・7071
東京営業所　東京都台東区仲御徒町1－66
電話（831）7 9 4 9
東淀川工場　大阪市東淀川区小松中通5－6－2
電話（38）0 3 6 3


発売元
大和洋瓦（だいわ）
雨風に強く緩勾配に最適
超軽量荷重（坪当37貫）
和型より安い
大仏組
大仏瓦，各種和洋瓦
美術タイル・工事請負
本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥ 3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㊾ 975
名古屋営業所　名古屋市瑞穂区堀田通一丁目　㊽ 2703



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ 3145

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社　**林塗装店**
TEL. 大阪 ㉕ 1756—7・東京 ㉙ 1335

平安瓦・大安瓦
各種瓦葺工事請負業
合資会社　**佐村木商店**
大阪市東区京橋前之町2（市電京阪東口停前）
電話 ㉞ 7016・7017・1528番

特許植物性　型枠離剝塗料
サンヒット
メタルフォーム用特号
関西代理店　株式会社　**金剛商会**
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㊼0417・4091

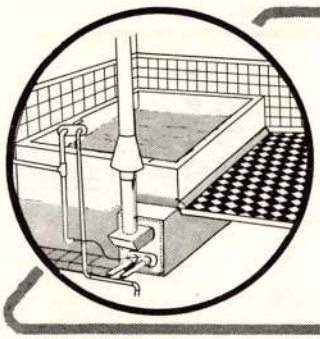
奉仕感謝の店
タイル　衛生陶器
㊿ 株式会社　**川岸窯業商店**
大阪市西区靱南通2丁目21　市電靱南通り電停前
電話大阪・（54）2435・2788・8597番

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729・6810

北陸営業所 金沢市三構町7～17　電話③1086



田中のガス風呂

清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128



平和式

親切・丁寧

ご御照会

軽量シヤッター

平和工業株式会社

大阪工場　大阪市浪速区河原町2丁目電(64)5750・8444

東京工場　東京都太田区糀谷町4丁目電(741)0160・1733

鋼製建具
製作・販売

栄進鋼業株式会社

大阪市城東区野江西之町2—2　電話 城東 ㉝ 8261～3番

支店・福岡　営業所・広島・長崎

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

福屋工業株式会社

本店　大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 大阪 ㊸ 3426～7

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント
セレミコンク
ブロック
特約販売店
セントラル硝子特約販売店

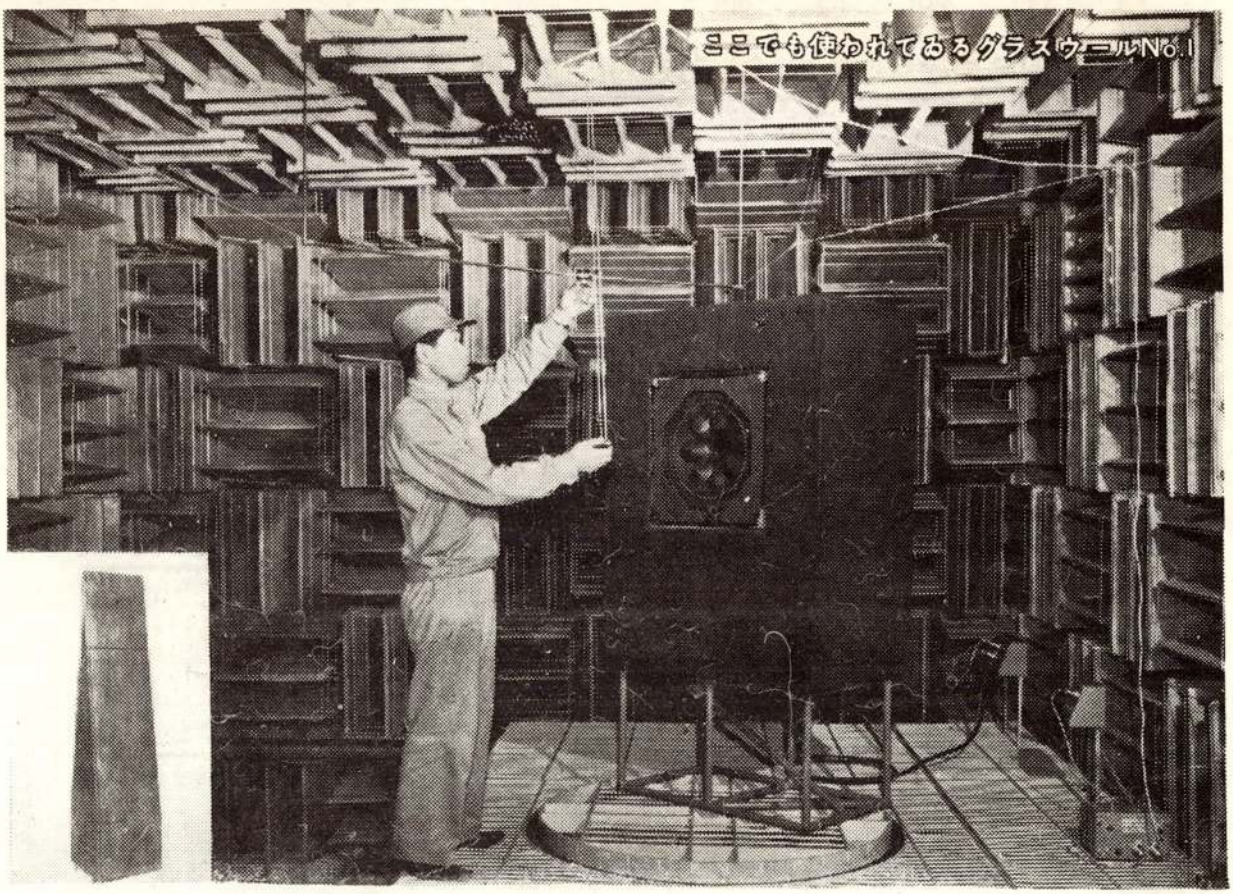
樫野石灰工業株式会社
大阪支店

大阪市北区曽根崎新地三丁目十四番地
(桜橋電停曽根崎新地西入)　電話大阪㉞1274～6
支店・東京・神戸・姫路・徳島・高松

暑中御見舞

昔からの建材店ゆるがぬ信用　　建材信和会　（いろは順）

岩元式スカイライト 岩元式通風装置（ベンチレーター） その他建築材料	岩元工業株式会社 社長 岩元熊雄	大阪市東成区東今里町四丁目40 電話 ㊽ 06 6～7
Ⓢ印ルーフイング・フエルト Ⓢ印砂付ルーフイング Ⓢ印石綿ウエルドルーフイング 陸屋根・地下室防水及耐酸工事　責任施工	日新工材株式会社 社長 井場績	大阪市西区新町北通一丁目53 電話 ㊹ 721
衛生陶器・同附属器具 製造販売	東洋陶器株式会社大阪営業所 所長 伊藤和美	大阪市東区高麗橋5－32 電話 ㉓ 4518～9・1424
東洋フレンチ瓦・S型瓦 東洋スパニッシュ瓦 東洋日本型瓦・陶器瓦 製造販売・責任施工	東洋洋瓦株式会社 社長 青木トシ	大阪市天王寺区大道三丁目125 電話 ㊼ 3076～
暖冷房・給排水・換気・衛生 汚水浄化装置・大正便所 設計・施工	株式会社大阪城口研究所 社長 城口庸平	大阪市北区高垣町1 電話 ㊲ 7575～7
ガス圧接 建築金物	株式会社小野弥商店 社長 小野甚蔵	大阪市西区立売堀北通一丁目24 ㊹ 1443・5066 電話 ㊸ 1212・1667
日進式軽量鉄骨 日進式リブラス 日進式メタルラス 日進式クリップ	株式会社奥村重兵衛商店 社長 奥村重兵衛	大阪市北区木幡町56 電話 ㊹ 4131～3
室内装飾設計施工 窓掛・リノリューム・アスタイル オリエンタルクロス・ニッポンクロス カラークロス　製造発売元	河津装飾株式会社 社長 河津喜之助	大阪市北区堂島上一丁目24 電話 ㊹ 1351～4
プラスチック防水耐酸工事 各種レヂンライニング ペブコグリップデック ダウラテックス560	耐酸化学工業株式会社 社長 松井邦彦	大阪市北区高垣町8 ㊹ 4957・4958 電話 ㊱ 0178～9・4161
石灰・セメント・壁材料 大阪窯業セメント(株) 大阪生コンクリート(株)　代理店 コガネライト（蛭石）　製造販売	玉置産業株式会社 社長 玉置孝太郎	大阪市南区鰻谷仲之町25 電話 ㉗ 5675～7
一般塗装工事 請負業	竹林塗装工業株式会社 社長 竹林昭二	大阪市北区茶屋町78 電話 ㊹ 6431～3
各種ベニヤ板丸徳製品 ヤマハボード・ハードボード ホモゲンホルツ オーツカクロース総代理店	浪速合板株式会社 社長 村石秋吉	大阪市浪速区幸町通三丁目20 電話 ㊸ 代表 2201
フローリング（ブナ・ナラ・サクラ） 吸音板，ボード，販売並施工 内装材各種	株式会社室谷商店 社長 室谷山水	大阪市北区絹笠町50（堂ビル） 電話 (312) 2031－4
各種板硝子・鏡販売・施工 各務クリスタルKK代理店 ガラスブロック・プリズム 製造・販売・設計・施工	村田硝子株式会社 建材特殊硝子部 社長 村田経政	大阪市南区北炭屋町7 電話 ㉗ 4580・3367
艶出ケントク（白木・家具・塗物用） 液体ケントク（フローリング・アスタイル・リノリューム用） フロアオイルケントク 床清掃請負・掃除器具販売	株式会社ケントク 社長 鈴木清市	大阪市東淀川区新高南通一丁目14 電話 ㊴ 0864～6・1416・1658
建築金物・建具金物 サッシ金物 製造販売	株式会社日垣本社 社長 日垣太市郎	大阪市南区安堂寺橋通二丁目3 電話 ㉕ 5091～6
タイル工事一式	株式会社平田タイル 社長 平田伊三郎	大阪市西区阿波座中一丁目5 電話代表 ㊸ 1003 ㊹ 8731



音を吸いとる ガラスのクサビ！

日本ビクター横浜工場内に完成した技術ビル（総工費二億円・三階建・総建坪五九四〇平方米）に 電蓄技術課に所属する 無響室（工費二千万円・七二平方米）ができました

この無響室は NHK技術研究所や 工業技術院電気試験所 田無分室をモデルとして 日建設計工務が設計 建築したものです

内部は 吸音性のすぐれた 音を吸いとるガラスのクサビ フエザーグラス製の吸音楔 四一〇組がスキ間なくとりつけられてあります

そのため理想的な音場が得られるので 微弱な音も定量的に測定分析して音響機器の周波数特性 歪特性 指向特性 過度特性などを精密に調べることができるため 製品の改良 研究に大へん役立っております

パラマウント硝子工業は フエザーグラスをはじめ わが国最大の生産実績とゆたかな経験を誇るグラスウール製品専門のトップメーカーです

フエザーグラスの主な特長

1. 保温・保冷など断熱材として効果が大きいこと
2. 吸音効果がすぐれていること
3. 非常に軽量であること
4. 不燃性であること
5. カビが生えたりくさったりせず 半永久的に耐久力があること
6. 水ハケがよく 吸湿性が少ないこと
7. 運搬 切断 加工 取付がかんたんで 施工も早くできること
8. 破損が少なく ムダが殆どないこと
9. 弾力性があり 突きつけ部分がピッタリ合うので熱ロスがないこと

グラスウールを使いましょう

パラマウント硝子

●資料進呈・本誌名をご記入の上 下記へご請求ください

パラマウント硝子工業株式会社
東京・中央区・八重州6—1

広告目次 (50音順) 建築と社会 昭和36年 Vl.o 42 No. 8

ア アスファルト ……14
浅海電気kk …… 4
kk 朝日工業社…… 3
旭化工板 ……前付
味の素 ……10
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk ……19
泉石綿工業 ……17
kk 岩住鉄工所……前付
岩元工業kk ……18
kk 栄興商会……13
栄進鋼業kk……33
荏原製作所 …… 表4
ABC商会 ……中挟
オリエンタルメタル製造KK ……中挟
大阪建材工業kk ……22
kk 大阪城口研究所…… 2
kk 大阪電気暖房商会…… 2
大阪耐酸工業所 ……16
大島応用化工業kk …… 1
kk 奥村重兵衛商店……本文
奥山化工業kk ……21
織本建築事務所 ……19
小野田ブロック ……13
小俣製作所 ……本文
カ 樫野石灰工業kk …… 6
kk 川岸窯業…… 5
川口ゴム工業kk ……前付
関西暖房工業kk ……17
関西三星タイル会 ……前付
関西ペイント ……前付
協和産業kk ……前付
工藤電気kk …… 4
kk 久保商店…… 1
栗原工業kk …… 4
kk 建材社…… 2
建材親和会 …… 7
kk 工英社…… 表2
江東電気kk …… 4
合同特許建材工業kk ……15
kk 金剛商会…… 5
サ 斎久工業kk …… 2
kk 斎藤省三商店…… 2
佐村木商店 …… 5
「材料と設計」 ……本文
三栄建材 ……20
三機工業kk …… 2
kk 三幸商会…… 5
kk 三晃商会…… 2
三宝電機kk …… 4
三和シヤッターkk ……前付
敷島金物kk ……前付
新鋼建設工業kk ……15
kk 新興建材工業所……21
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 6
住友金属工業kk ……12
世界長ゴム ……中挟
タ 竹原化成工業kk ……前付
田島応用化工kk …… 表4
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所…… 6
田辺工業kk ……本文
田村商会建材部 ……12
kk 谷山製作所……本文
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
耐酸化学工業kk ……17
大嘉熱工業kk ……13
大日本硝子工業kk ……16
太洋木材工業kk ……10
大仏組 …… 5
高砂熱学工業kk …… 3
kk 武智工務所……本文
淡陶kk……挟込
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
東京鋼板工業kk ……17
東邦商会 ……15
東洋キヤリア工業kk …… 3
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 5
内外工業kk ……16
内外建材kk ……18
内外写真 …… 5
中本電気kk …… 4
浪速合板 ……15
浪速建材工業kk ……20
日共冷熱機材kk ……前付
日本アスベストkk ……13
日本アスファルト防水工業会関西事務所 ……前付
日本エレベータ …… 5
日本管工業kk …… 3
kk 日本金具製作所……前付
日本サッシ協会関西支部 …前付
kk 日本シヤッター製作所… 表3
日本セメント防水剤製造所…表3
日本ドアーチエック製造KK ……中挟
日本パイプ ……16
日本レイヨン ……前付
日本熱学工業kk …… 3
日東紡績kk ……前付
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合……11
kk 西原衛生工業所…… 2
ハ パラマウント硝子 …… 8
kk 林塗装店…… 5
kk 平川鉄工所……前付
平田タイル ……18
フタバ黒板 ……19
福屋工業kk …… 6
藤森建材kk ……前付
平和工業kk …… 6
マ 前田白蟻 ……挟込
松下電器産業kk …… 表2
水谷ペイントkk ……本文
kk 三高製作所……19
美素工業所 ……前付
kk 室谷商店……15
森井電業kk …… 4
森延窯業 ……20
ヤ 山田工業kk …… 2
八幡製鉄 ……前付
kk ヤマト電気商会…… 4
八千代電設工業kk …… 5
kk 山本建材社……22
kk 油脂化工社…… 表3
kk 吉田芳雄商店……19
吉野石膏kk ……15
kk 寄木商会……18
ラ 理研鋼機kk …… 3

特別広告 (順不同)

kk 竹中工務店…… 4
理研電化工業kk …… 5
東洋リノリュームkk …… 5
田島応用化工kk …… 6
kk 室谷商店…… 7
奥村重兵衛商店 ……7.13
浪速建材工業kk ……7.13
kk 三木塗装店…… 7
kk 伊藤喜商店…… 8
kk 矢橋大理石商店…… 9
kk 鈴木シャタア商会…… 9
栗原工業kk …… 9
須賀工業kk ……10
松尾橋梁kk ……11
日本橋梁kk ……11
kk 大阪硝子店……11
有田タイルkk …… 11.15
旭硝子kk …… 3.11
東海興業kk ……12
愛知kk ……13
kk 増岡組……14
kk 三晃商会……15
三菱レイヨンkk ……会告裏

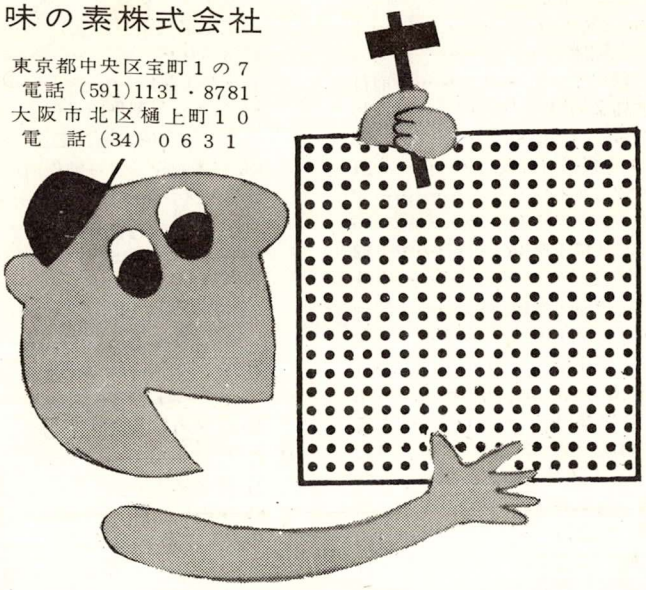
味の素 K.K. の 防火(吸音)アコースデックス

● 新防火規格難燃材料試験に合格

寸法（9 mm 厚・303mm ×303mm）
（9 mm 厚・455mm ×455mm）

味の素株式会社

東京都中央区宝町１の７
電話（591）1131・8781
大阪市北区樋上町１０
電　話（34）０６３１



● デラックス床材の決定版！



御一報次第係員参上致します

TLモザイク・フローリング
TLモザイク・ブロック

★**フローリング**はランパーコア合板式で狂いがなく簡単に張る事が出来ます寸法が一定していますから取扱が便利ですその上値段は寄木の½位の格安です
★**ブロック**はタイル式でコンクリートや板の上に接着剤で簡単に安価に豪華な寄木張の床が出来ます。
（各々樹種はなら、さくらがございます）

製　造　元　天塩川木材工業株式会社
関西総代理店　**太洋木材工業株式会社**
大阪市東区横堀６丁目２１　電話　大阪㉕１０２５・５１２７

カタログ進呈

■ 防水工事施工に望む ■

防水工事は建築工事の最も枢要な部門の一つでありその良否は建築物の死命を制すると言っても過言ではない。

外部に見えないと言う理由で或は又その効果が年月を経てはじめて表われると言う理由で不当な競争の結果粗雑な工事に趨り或は一部に防水工事はいくらでも安く出来ると云う概念すらあることは極めて危険であり建築技術の向上を阻害すること甚しいものである。

アスファルト防水工事は今更こと新しく言うまでもなく適切な材料の選択は勿論その施工が最も大切であり、しかもそれは明確な責任を伴うものでなければならない。

斯界激讃の冊子

——アスファルト防水工事——

• 年限仕様の理論と実際 • ¥400 〒60

建築家に限り２割引

何よりも安心できる年限仕様

アスタイト防水

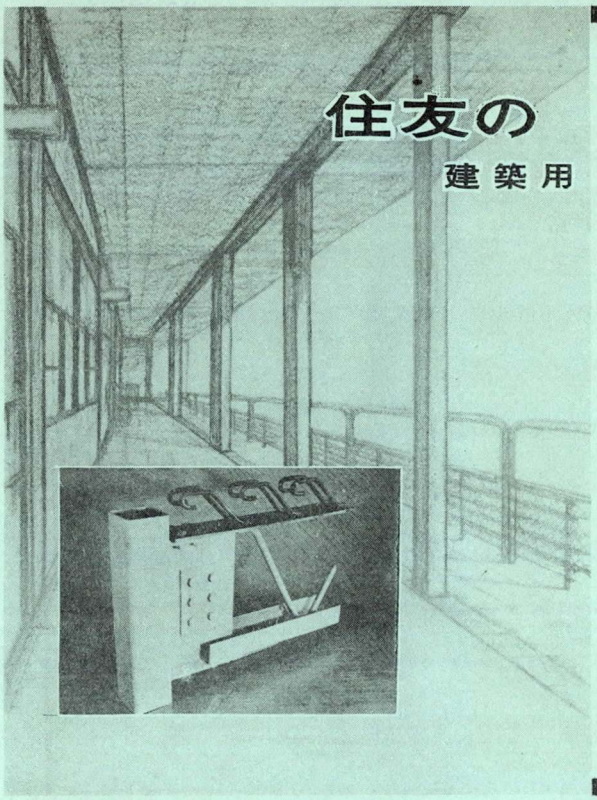
建設省阪建22号認可

出資金600万円

三星 西日本アスファルト事業協同組合

大阪市西区京町堀１ノ７４　　TEL ㊹代表5951　夜間管理人室用 ㊹ 9910

東京連絡所　東京都千代田区神田岩本町13（田島応用内）　　TEL （866）代表６１０１



住友の
建築用
角形鋼管

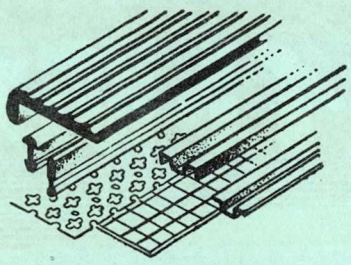
角形鋼管は断面性能が著しくすぐれておりますので、形鋼を組み合わせて溶接した角形鋼などにくらべると、溶接の必要がなく、均質で信頼度に富み、軽量で取扱いがたやすくなり、その上経済的であるなど有利な特徴をもっております。

住友金属工業株式会社

本　社 大阪市東区瓦町4丁目31 電話(大代表)大阪(202)2201
支　社 東京都千代田区丸ノ内1丁目8ノ6(新住友ビル) 電話(大代表)東京(211)2211
福岡営業所　福岡市天神町58番（天神ビル8階） 電話福岡(75)5190・3582
広島営業所　広島市紙屋町8番地（広電ビル内） 電話広島(2)7471・7596
名古屋営業所　名古屋市東区久屋町59(住友商事名古屋ビル) 電話 名古屋(971)1490・6222
仙台営業所　仙台市東1番町11東1番丁ビル内 電話仙台(3)3501・(5)2643
札幌営業所　札幌市北大通西4丁目6(住友生命札幌ビル内) 電話 札幌(4)0378

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

金属建材

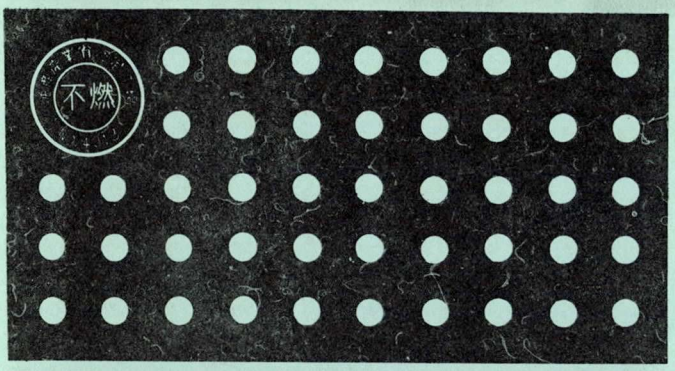


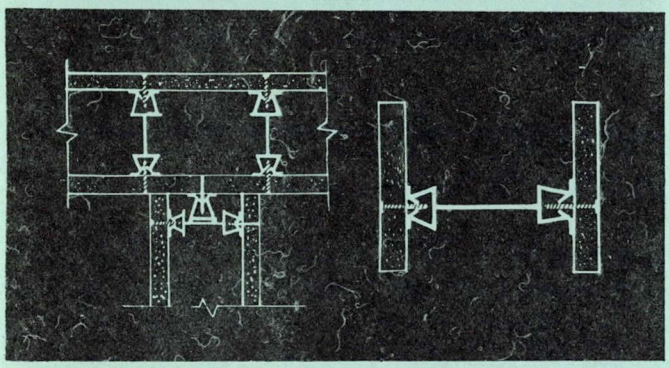
田村式メタルシーリング
田村式金属タイル
田村式ジョイナー
モリソン式ボードサッシュ
ノンスリップ・目地棒
コーナービード・パンチング

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本　店　神戸市生田区京町72（クレセントビル）　電話　代表神戸㊴0881
支　店　東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰　電話　東京(271)　6181・6182





ファイアボード

（法定不燃材・軽量石綿耐火板）

完全耐火性
軽量・断熱性・吸音
変形は全くない
木材と同様の加工が出来る
釘打ち・鋸引き・孔あけ等

トムレックス

（吹付石綿・責任施工）

吸音・断熱・結露防止
耐火・耐振動・腐食防止

N.A.K.

日本アスベスト株式会社

本　　社　東京都中央区銀座西6の3　電（572）0321.0331(代)
大阪支店　大阪市南区塩町通4の25　電船場（25）5491～8
名古屋支店　名古屋市中区下前津町117　電南（32）6591～5
九州支店　福岡市薬院大通り2の81　電福岡（74）1747 2827
札幌出張所　札幌市北三条西2丁目西向　電（2）6472（3）520（5）308

小野田防水ブロック

美しくて、強くて経済的な唯一の化粧目地、仕上用防水ブロック

特許 小野田NN防水剤

透水比も吸水率も低く、耐久的な防水モルタル、防水コンクリートをつくるには唯一不可欠な防水剤

小野田パーライト

粒状・均質・純粋で軽量性・断熱性・耐火性・吸音性の卓れた経済的なパーライト

特許 小野田CXモルタル

耐薬品性・防水性・防滑性・耐震動性・接着力の卓れた特殊弾性（ゴムセメント）モルタル

小野田 パール・フォーム・ボード

小野田パーライトの特性を活かした軽量・断熱・耐火・吸音防湿の諸点が特に卓れた強化気泡コンクリート板

特許 小野田K6セメント

塗装によって人造大理石が簡易にできる特殊着色セメント

小野田ブロック株式会社

本　社・東京都千代田区丸の内1の1　第一鉄鋼ビル
電　話・東京（201）1311・1411内線365～7

御問合せは最寄り工場へ
東京工場　東京都江東区深川豊州1の1
神戸工場　神戸市灘区灘浜町3
名古屋工場　名古屋市港区丸池町1の1

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社

協和建材工業k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(301) 6437・6438
k.k.工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(66) 8861～2
k.k.工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(97) 4460・8288
田島応用化工k.k. 大阪出張所	大阪市西区京町堀1丁目74	(44) 5951
大恵工業k.k.	大阪市西淀川区姫島町1690	(47) 3131～2
東亜工業k.k.	八尾市字太子堂629	八尾 (029) 2308・3039
日瀝化学工業k.k. 大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(39) 0924～5・2045
日新工業k.k. 大阪営業所	大阪市西区新町北通1丁目18	(53) 5281～3

◀販売業社

東京通商k.k. 大阪支店	大阪市東区瓦町2(三和ビル)	(23) 1731代・2931代
池田商事k.k.	大阪市福島区鷺州本通1丁目48ノ3	(45) 7601～5
内田商会	大阪市北区万才町47	(312) 0871～8
梅本石油k.k.	大阪市東淀川区新高南通1丁目28	(39) 2080・2207・0238
枝松商会	大阪市北区道本町41	(36) 5858～9・5850
大阪朝日瀝青k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(53) 4520・8401
三友アスファルトk.k.	大阪市東住吉区矢田住道町913	(79) 4427
川崎物産k.k. 大阪営業所	大阪市北区絹笠町50（堂ビル二階）	(36) 0774
中西瀝青k.k. 大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(34) 4305
k.k.長野商店	大阪市西区京町堀上通3丁目40	(44) 5195～6
日本建設興業k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(23) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目36	(44) 5224
村井工業所	大阪市生野区生野田島町94	(73) 2514
山文商事k.k.	大阪市西区土佐堀通1丁目13	(44) 0255代・5392代

◀工事業社

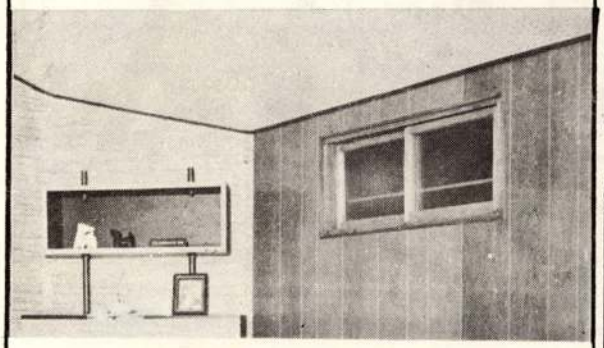
旭化建工業k.k.	大阪市北区茶屋町38	(37) 6555～7
k.k.井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(44) 3520・4564・1005
k.k.石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(37) 3340・3505
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(37) 1333
大島応用化学工業k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(33) 3679・4481・8471
大野産業k.k.	大阪市北区同心町1丁目33	(35) 3845
k.k.カナヱ商会	大阪市北区空心町1丁目30	(35) 2922
共栄瀝青工業k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(94) 5561～2
k.k.木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(44) 5408・5486
k.k.久保商店	大阪市北区真砂町5	(34) 0207～8・4836～7
坂口興業k.k.	大阪市北区木幡町18	(34) 1105・8640
清水興業k.k.	大阪市北区鶴野町34	(37) 0251～3
k.k.新光商店	大阪市南区塩町2丁目13	(26) 7195代
関本建材k.k.	高槻市大字高槻146	高槻（5）1646～7
k.k.大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(63) 6221～4
谷中建材工業k.k.	京都市下京区西七条比輪田町28	京都（5）9954
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通6丁目41	(35) 4779・0997
内外工業k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(64) 3434～6
日新工材k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(54) 3785～6
日本瀝青工業k.k. 大阪支店	大阪市北区富田町40	(34) 1804
フタバ興業所	大阪市福島区上福島北4丁目24	(45) 6089
k.k.双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(37) 3375
松本瀝青工業k.k. 大阪支店	大阪市北区伊勢町40	(35) 9231
マルヱス工業k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(45) 2360・2030
丸藤商店	大阪市北区天神橋筋2—1	(35) 2150・2030
k.k.明正社	大阪市東区高麗橋詰町21	(94) 8125～8
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸（5）2697
k.k.中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	神戸（5）4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	神戸（4）6930
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区北長狭通6神繊共栄ビル	神戸（4）5884
日建瀝青工業k.k.	神戸市兵庫区水木町8丁目5	神戸（6）0505
有限会社小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山（2）4272
k.k.浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
青盛建材k.k.	広島市鉄砲町108	広島（2）2881～2
古市断熱工業k.k.	高松市宮脇町960	高松（3）5034
正和商事k.k.	松山市一番町	松山 0525・1159・2159
k.k.山本商会	松山市萱町2丁目95	松山 2717

▶賛助会員

丸善石油k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(27) 1251(代)

クトーの新建材

プリント合板
ビニオン
九徳天井板
美装パネル
リズムウッド
スーパーショイナー



クトー製品製造発売元

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通の3の20
TEL (53) 2201(代)

Acoustic Tex
吸音テックス



株式会社 室谷商店
本社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL神戸 ③ 0881～3
支店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪 (312) 2031～4

燃えない建築資材
耐火ボード
タイガー印
石膏ラスボード
タイガートーン
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材
Y.N石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏
吉野石膏大阪支店
大阪支店 大阪市西区土佐堀通1－1(大同ビル)
電話 (44) 8912～4
本社 東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京 (281) 2391(代表)
福岡営業所 福岡市相生町1－1 電話 (58) 631～3

木毛セメント板

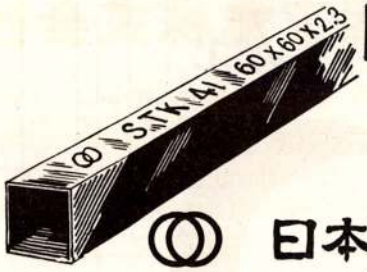


東邦商会
本社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話大阪 ⑭ 1296～7
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山 ②0298・9435

軽量鉄骨
設計・施工
新鋼建設工業株式会社
取締役社長 吉田信武
本社 大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸ 7418・6096・6575
工場 神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話 神戸 ⑧ 616
広島県御調郡向島町立花3010
電話 尾道2868 向島西19

諸官庁御指定
吹付及び掻落ソリジットスタイン
床材（合同リグノイド）マグネシート
外壁シリコン防水
製造。販売。責任施工
合同特許建材工業株式会社
取締役社長 山下謙治
本社 大阪市東住吉区田辺東之町3－109 電大阪 ㊿ 9086
営業所 大阪市東住吉区駒川町3－54 電大阪 ㉙ 4370・7660
出張所 広島市比治山本町1180 電広島 ④ 4967
出張所 東京都新宿区花園町46 電東京(351)5298・5264

仮枠工事用
バタ材の決定版！



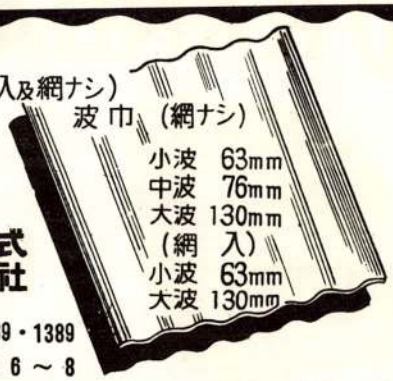
日本パイプの角形鋼管

従来の木材・軽量形鋼などのバタ材に比べると次の利点があります
- 半永久的に反覆使用出来ますので経済的であります
- クローズセクション（完全閉鎖断面）を有するので変形しません。
- コンクリート工事の精度を保ちます。

日本パイプ製造株式會社
東京・大阪

光り 波型ガラス （網入及網ナシ）

ダイニチライト
ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元 大日本硝子工業株式会社
大阪支店 大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル） 電話 大阪 ㊹3389・1389
本 社 東京都中央区京橋3—6 電話(281)6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事
アスファルト専門工事
アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所
大阪市北区浮田町82番地 電話大阪㊲1333番

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式
N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売
内外工業株式会社
脇山静夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話㊸3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元

アルミニウム

ステンレス　　カーテンウオール

ブロンズ

T K K

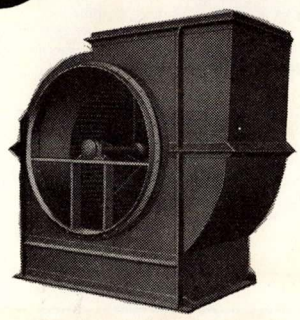
東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話　(891) 8131～8
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚噂ビル3階）
電話　㊱ 9154～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④ 2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）　㉔8825

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



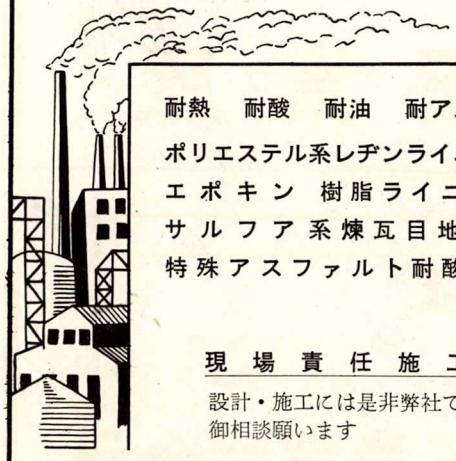
各種送排風機

設計　製作

関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電話　大阪　67－6751(代表)～4・1590
堺工場　堺市浜寺石津町中二丁目二四〇番地
電話　堺 ① 1213 ③ 1322
出張所　福岡　徳島

化学工場の構造物を酸蝕から守れ！



耐熱　耐酸　耐油　耐アルカリ
ポリエステル系レヂンライニング
エポキシ樹脂ライニング
サルファ系煉瓦目地材料
特殊アスファルト耐酸工事

現場責任施工
設計・施工には是非弊社で
御相談願います

耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80
電話大阪 ㊱ 178（代表）4161 ㉞ 4957～8

泉

石綿セメントの
最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

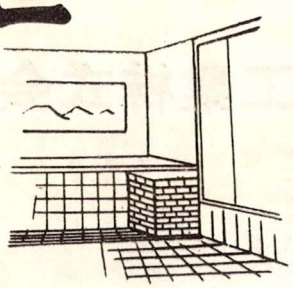
Asbesto. Barriev
（硬質石綿板）

建物内外壁、間仕切、天井扉、電気室
発電所；配電室、製鋼、ガラス工場
の壁、製糖、製油製薬工場の床スカ
ート壁などに最適

泉石綿工業株式会社

大阪市北区同心町1の11
電話 ㉟ 3442・4078

（呈カタログ）



タイル.衛生陶器

株式會社

平田タイル

内外式電動 ベンチレーター

電気扇付　屋上強制換気装置

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

内外式スカイライト

工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター

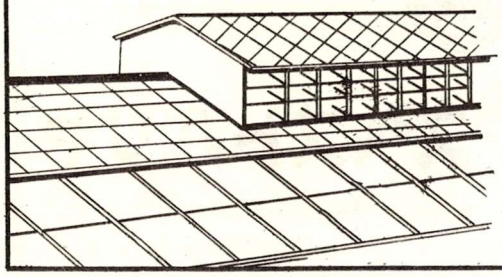
設計　施工

内外建材株式会社

旧名（株）内外土木建材社

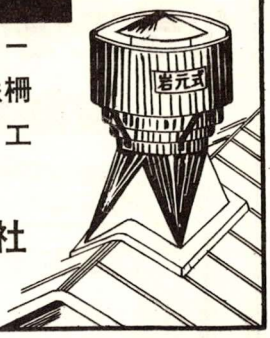
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）ＴＥＬ（44）3983
工場　大阪市城東区天王田町１の141　ＴＥＬ（98）1149

岩元式 **スカイライト** 並 固定筒型 コンチニアス **ベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



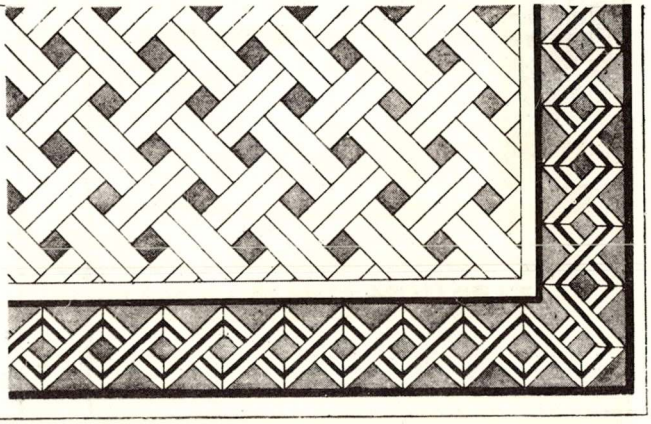
岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町４の40
電話 ㊽0616～0618

寄木貼床板
フローリング　施工請負
ブロック
ベニヤフラッシュドアー　造作取付
グラインダー床削

株式会社 **寄木商会**

営業所　大阪市東区横堀6—49
電話 ㉕3731・3960
工場　大阪市浪速区勘助町1



三高式 サッシュ.ドアー.シヤッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7—69
電話 大阪 301—0737(代表)

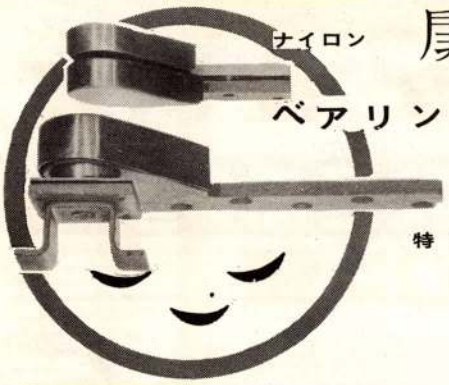
コペンハーゲンリブ
商月報無料送呈
井田ペイント
井田商事株式会社
大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物入号門前
電話 (53) 4890 (54)0808~9

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量
大阪市浪速区元町二丁目七四三番地(66)五〇六五
ナニワ瓦株式会社
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

Standard Board&Slate
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話天王寺(74)4692番

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店
株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪㊱2403・3904

綜合建築設計への道
設計部 1.各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2.ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理
金物部 耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT.O式(織本式)ヂベル及クランプ
地質部 ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査
ボーリング
株式会社 織本建築事務所 所長 織本道三郎
(旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体)
東京都中央区日本橋かきがら町3の2 電話(671)6443・7007・7062



ナイロン 扉 555

ベアリングで扉の開閉が軽快

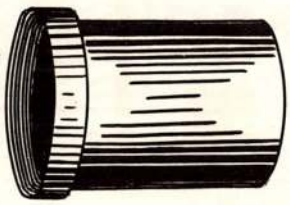
ピボットヒンヂ

特徴 ◘ボンデライジングに依る完全防錆加工品
◘回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

三栄建材工業株式会社

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪 (74) 4655 ・ 0189 (716) 0188 番

築炉並に建築用煉瓦積工事・装飾用化粧煉瓦積工事
コンクリートパイル・コンクリートブロック



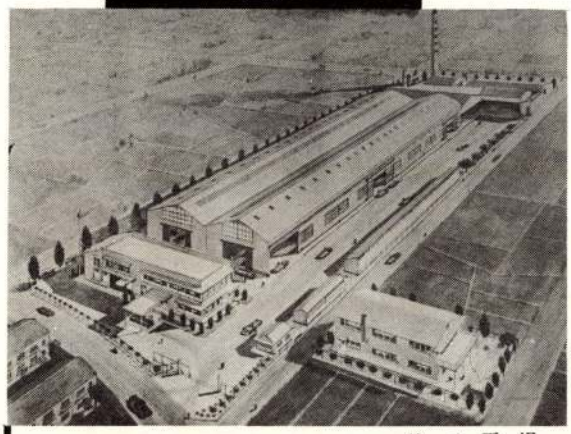
陶管・煉瓦・ヒューム管・衛生陶器
モルタル敷ブロック・スペーサ・各種コンクリート製品一式

森延窯業株式会社

取締役社長 森下延幸・専務取締役 船津 稔
大阪市住吉区上住吉町三一 電話 (67) 2420・8217

NK

浪建式
アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —



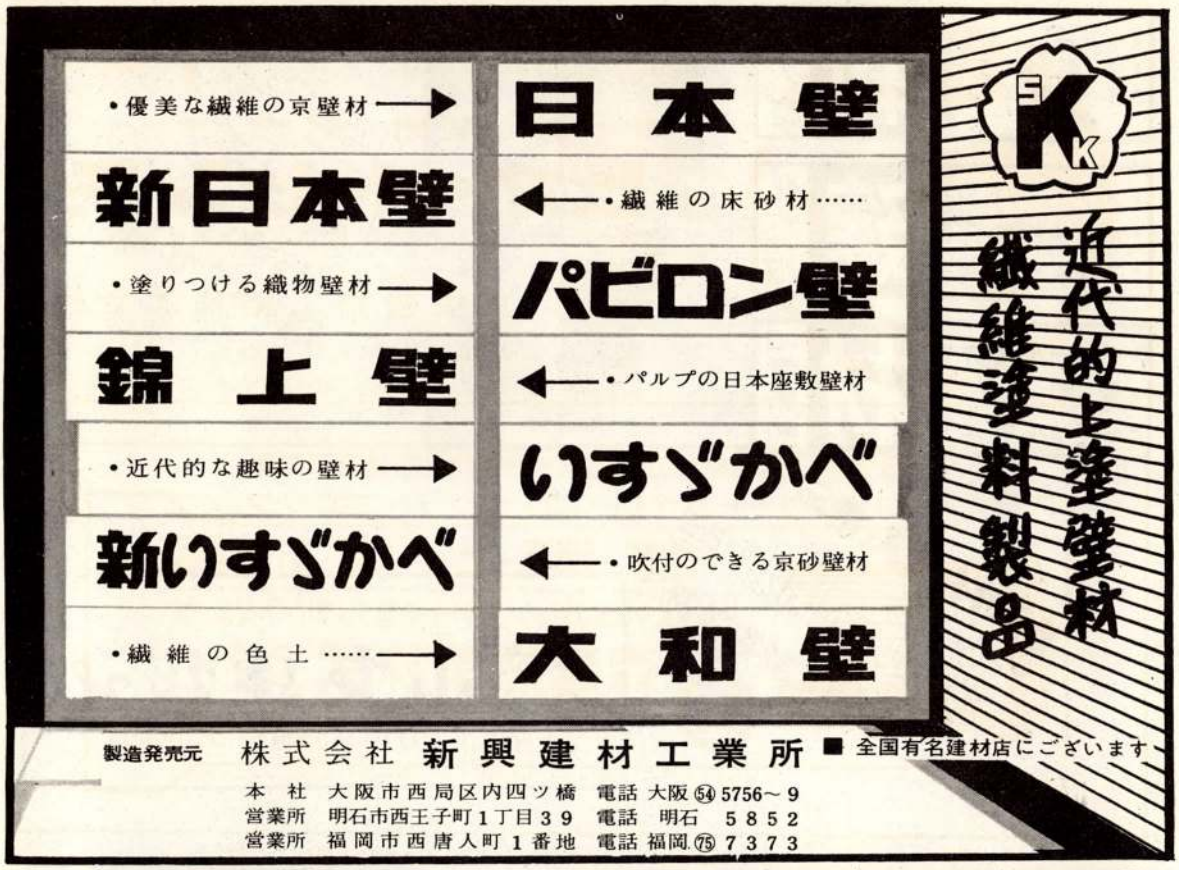
第二工場

NANIWA
大正十四年創業

日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地 電話 大阪 ㉝1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地 電話大阪㉝6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番



COPPER-BOSUITAI TRADE MARK OAM

● 黄綬褒章受賞

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8の3
TEL 銀座(571)2703～4・2370・4064・0264

● 御申越次第カタログ進呈

新建材

防火材
- アルマイト吸音板
- スギメラス
- 木毛セメント特殊板

化粧板
- メラミン樹脂製品
- ボード特殊合板
- プラスチック製品

吸音断熱
- スロール天井板
- 吸音ボード
- スロール断熱板



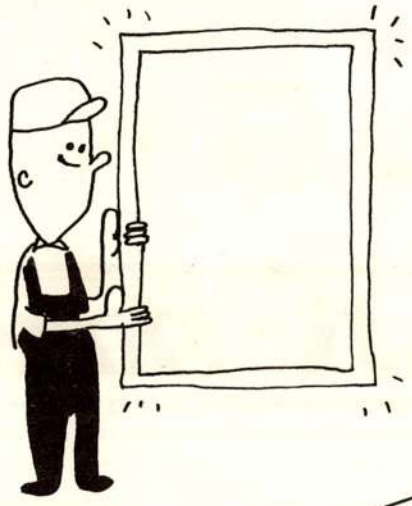
四ツ橋 すまい

生きる近代建築に
魂ある文化材

モデルハウス展示
すまいの開発店
西区立売堀2電(53)2843

30メーカー代理店

大阪・四ツ橋
株式会社 山東建材社
TEL (54) 1861～5・2131・2233



近代建築に…
大建の
アルミサッシ
住友軽金属工業株式会社と提携

■錆びないスチールサッシは
オートメーション焼付塗装ラインに依る
大建の 2重焼付塗装で
■部材で1回、成品で1回

大建
大阪建材工業株式会社
営業所 大阪市南区九郎右衛門町21番地 TEL 大阪 ㉕ 0836～9
本社工場 堺市松屋町1丁目6番地 TEL 堺 ② 3323～7
名古屋営業所 名古屋市東区東新道町2丁目7 TEL名古屋 ㊲ 7264
出張所 金沢 TEL 金沢 ③ 3427～8

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO B

仕様書型録贈呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚(079) 2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話 ㊾ 2626(直通)
出張所電話　東京 (431) 0874 ・ 名古屋 ㉜ 1331
ウォータイト式防水工事代行店電話　大三工業 高松②8697 安藤工事　仙台 ③ 0721・札幌 ⑤ 7171　福岡 ③ 5765　豊永建材　広島 ④ 3567

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS 合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

本社 東京都品川区二葉町1－441　電話東京(781) 1715
取締役社長 矢中龍次郎　大阪営業所 大阪市東成区西今里町2－48 電話 ㊼ 4765・0063

防火シャッター

甲種

乙種

パイプシャッター

電動式・手動式・バランス

株式会社 日本シャッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地　電話(大阪)(301) 3656～9番
東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159番地　電話中原局(047) 6325～7番
九州工場　福岡市榎田町1268番地　電話 ② 4647番
名古屋支店　名古屋市中区宮出町23番地　電話 中 ㉔ 4811番
高松営業所　高松市丸ノ内10番地(井筒ビル内)　電話 ② 4008番
岡山営業所　岡山市内山下307番地　電話 ② 7219番
高知営業所　高知市西紺屋町10番地　電話 ② 7349番
神戸連絡事務所　神戸市生田区中山手通3丁目18番地　電話 ② 2650番

(呈カタログ・資料)

代行販売店

中博光商店　札幌市北1条通東1丁目(浦川通)　電話 代表 (4) 0281番
理研興業株式会社　小樽市色内町5ノ45番地　電話(2)0872・2656・7523番
三協建材株式会社　東京都中央区八重洲3ノ1(広瀬ビル2階) 電話(272)165～6番
栄進鉄工所　沼津市大岡南小林3400　電話 沼津 955番
佐野鋼材株式会社　清水市江尻竹下町8　電話 (2) 3628・4615番
石本金属株式会社　新潟市古町五番町624　電話(2)3181～5番
福田商店　富山市角橋北町8番地　電話代表8541市外9
藏田金属工業株式会社　広島市研屋町25　電話(4)8271～4番
水見金属株式会社　松江市朝日町駅南口通　電話3224・5452番
三京交易株式会社　福岡市下浜口町23番地　電話 (3) 0144 (2) 4647番
〃 小倉出張所　小倉市博労町721　電話 (5) 3673番
〃 長崎出張所　長崎市千馬町1ノ9　電話 (2) 0890番
大石産業株式会社　八幡市通町207丁目　電話(6)1195～6番
中村金物株式会社　鹿児島市武町570番地　電話代表6650～3番
〃 熊本支店　熊本市紺屋町1ノ30　電話 (2) 1231・4684番
田中鉄工株式会社　丸亀市城西町142　電話329・1221番
小川建材店　千葉市汐見ケ丘24番地　電話 (2) 0897番
橋本工作所　福島県郡山市北田町16　電話 郡山 2830番

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十六年八月二十日印刷
昭和三十六年八月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

エハラ・ポンプ
ターボ冷凍機



株式會社
荏原製作所

新しい製品！

●色柄がずっと豪華版な……

三星ソフトンタイル

足ざわりも歩いた気分も

ソフトな弾力

ソフトンタイルは，まるで美しい織物のように，
複雑な絵模様を出すのに成功しました　それに，
姉妹品プラスタイルPに比べ，弾力もつよく，すべりも少くなりました
ご家庭やホテル・喫茶店，会社・官庁などに，……

●三星プラスタイル　●三星アスファルトタイル
●三星Pタイル　●三星マチスタイル

三星ルーフィングの

田島応用化工株式会社

工場・小台営業所・東京都足立区小台町633　TEL（911）1181（代）
本社・神田営業所・東京都千代田区神田岩本町13　TEL（866）6148（代）
大阪出張所・大阪市西区京町堀1～74　TEL（44）5951（代）
夜間管理人室用　TEL　40　9910

売価　一部　金百五十円（送料共）

御入会の御申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話大阪㉓ 9648・9649・9640
振替口座 大阪39975番